

博士学位論文（東京外国語大学）
Doctoral Thesis (Tokyo University of Foreign Studies)

氏名	ジャクシルク, アクマタリエワ
学位の種類	博士 (学術)
学位記番号	博甲第 182 号
学位授与の日付	2014 年 3 月 14 日
学位授与大学	東京外国語大学
博士学位論文題目	キルギス語の〈持続〉を表わす補助動詞 — jat-, tur-, otur-, jür- を中心に —

Name	Jakshylyk , Akmatalieva
Name of Degree	Doctor of Philosophy (Humanities)
Degree Number	Ko-no. 182
Date	March 14, 2014
Grantor	Tokyo University of Foreign Studies, JAPAN
Title of Doctoral Thesis	Auxiliary verbs expressing “continuation” in the Kyrgyz language. With a focus on jat-, tur-, otur-, jür-

2014年3月 博士（学術）論文

キルギス語の〈持続〉を表わす補助動詞

—jat-、tur-、otur-、jür-を中心に—

東京外国語大学大学院総合国際学研究所博士後期課程

アクマタリエワ ジャクシルク

Akmatalieva Jakshylyk

目次

目次.....	i
表の目次.....	vii
第 I 部 序論.....	1
第 1 章 本研究の目的、および研究対象.....	1
1.1. 本研究の目的.....	1
1.2. 本研究の対象.....	1
第 2 章 本論文の構成と表記.....	4
2.1. 構成.....	4
2.2. 表記.....	6
2.3. 略号.....	7
第 3 章 キルギス語について.....	11
3.1. 言語特徴と使用地域.....	11
3.2. 音韻特徴.....	11
第 4 章 先行研究.....	16
4.1. キルギス語における先行研究の概観.....	16
4.1.1. 辞典の記述.....	16
4.1.1.1. Yudaxin(1965).....	16
4.1.1.2. Krippes(1998).....	20
4.1.1.3. Akmataliev(2010).....	21
4.1.2. 文法書などの記述.....	23
4.1.2.1. Davletov & Kudaybergenov(1980).....	23
4.1.2.2. ターライバク キズ(2007).....	26
4.1.3. 先行研究の問題点.....	28
4.2. アスペクト的な補助動詞に関わる諸記述.....	28
第 5 章 本研究の方法論.....	30
5.1. 日本語の先行研究 —工藤(1982a)—.....	30
5.2. キルギス語の先行研究.....	36
5.2.1. Kudaybergenov(1979)、Davletov & Kudaybergenov(1980).....	36
5.2.2. Abdubaliev(2008).....	39

5.3. 本研究の方法論	43
5.3.1. 主動詞の意味的なタイプ	43
5.3.2. 動詞の分類方法	44
5.3.3. 文中での他の要素	46
第6章 本研究で扱う「副動詞」と「補助動詞」	49
6.1. 本研究で扱う「副動詞」	49
6.1.1. -a/-y 副動詞	50
6.1.2. -(i)p 副動詞	52
6.2. 本研究で扱う「補助動詞」の捉え方	54
6.2.1. 「補助動詞」の定義	54
6.2.2. 「補助動詞」の形式的な特徴	55
6.3. 「本動詞」と「補助動詞」の違い	56
6.3.1. 副動詞と動詞の表わす動きが継起的である場合	56
6.3.2. 副動詞の表わす動きが動詞にとって付帯状況的である場合	57
第7章 本研究の言語資料	58
7.1. 資料の選定方法	58
7.2. 資料から得られた用例数	59
第II部 本論（各補助動詞の考察）	61
第8章 本動詞としての jat-、tur-、otur-、jür-	61
8.1. 本動詞の jat-	61
8.2. 本動詞の tur-	62
8.3. 本動詞の otur-	63
8.4. 本動詞の jür-	64
8.5. まとめ	65
第9章 補助動詞 jat-	66
9.1. V-(i)p jat-形式の場合	66
9.1.1. 「動作動詞」	67
《主体の活動動作を表わす動詞》	68
《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》	73
《自然現象の動きを表わす動詞》	76
《主体の生理的な動きを表わす動詞》	77
《主体の再帰的な動作を表わす動詞》	78
《主体の移動動作を表わす動詞》	80

9.1.2.	「変化動詞」	86
	《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》	86
	《人の社会的な変化を表わす動詞》	94
	《主体の漸進的な変化を表わす動詞》	94
9.1.3.	「状態動詞」	96
	《主体の空間的な関係を表わす動詞》	96
9.1.4.	「内的感情動詞」	98
	《主体の思考活動動作を表わす動詞》	98
	《主体の感情を表わす動詞》	99
	《主体の評価的な態度を表わす動詞》	100
9.2.	V-a/-y jat-形式の場合	101
	《主体の移動動作を表わす動詞》	101
	《主体の活動動作を表わす動詞》	110
9.3.	まとめ	112
第 10 章 補助動詞 tur-		113
10.1.	V-(i)p tur-形式の場合	113
10.1.1.	「動作動詞」	114
	《主体の活動動作を表わす動詞》	114
	《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》	121
	《主体の視覚・視聴活動動作を表わす動詞》	122
	《自然現象の動きを表わす動詞》	125
	《主体の生理的な動きを表わす動詞》	127
	《主体の移動動作を表わす動詞》	128
10.1.2.	「変化動詞」	131
	《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》	132
	《主体の表示を表わす動詞》	140
	《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》	141
	《主体の再帰的な動作を表わす動詞》	142
	《主体の漸進的な変化を表わす動詞》	143
	〔V-ki+所有接尾辞 kel-形式で現れる場合〕	145
10.1.3.	「状態動詞」	147
	《主体の空間的な関係を表わす動詞》	147
	《主体の擬態的な様態を表わす動詞》	149
10.1.4.	「内的感情動詞」	151
	《主体の思考活動動作を表わす動詞》	151
	《主体の感情を表わす動詞》	152

《主体の評価的な態度を表わす動詞》	153
10.2. V-a/-y tur-形式の場合	155
〔V-a/-y tur-gan〕	155
〔V-a/-y tur-gan N〕	156
〔V-a/-y tur-gan bol-〕	157
〔V-a/-y tur-IMP〕	157
10.3. まとめ	160
第 11 章 補助動詞 otur-.....	161
11.1. V-(i)p otur-形式の場合	161
11.1.1. 「動作動詞」	162
《主体の活動動作を表わす動詞》	162
《自然現象の動きを表わす動詞》	166
《主体の生理的な動きを表わす動詞》	167
《主体の再帰的な動作を表わす動詞》	167
《主体の移動動作を表わす動詞》	168
11.1.2. 「変化動詞」	172
《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》	172
《主体の漸進的な変化を表わす動詞》	174
11.1.3. 「状態動詞」	177
《主体の擬態的な様態を表わす動詞》	177
《主体の付帯的な動作を表わす動詞》	178
11.1.4. 「内的感情動詞」	179
《主体の思考活動動作を表わす動詞》	179
《主体の感情を表わす動詞》	180
11.2. まとめ	181
第 12 章 補助動詞 jür-.....	182
12.1. V-(i)p jür-形式の場合	182
12.1.1. 「動作動詞」	183
《主体の活動動作を表わす動詞》	183
《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》	187
《主体の移動動作を表わす動詞》	194
12.1.2. 「変化動詞」	199
《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》	199
《主体の漸進的な変化を表わす動詞》	202
《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》	203

《主体の再帰的な動作を表わす動詞》	204
12.1.3. 「状態動詞」	206
《主体の状態的な性質を表わす動詞》	206
12.1.4. 「内的感情動詞」	207
《主体の思考活動動作を表わす動詞》	207
《主体の感情を表わす動詞》	208
《主体の評価的な態度を表わす動詞》	209
12.2. V-a/-y jür-形式の場合	210
《主体の連帯的な動作を表わす動詞》	210
〔jür-が常に命令形で現われる〕	211
12.3. まとめ	212
第Ⅲ部 形式的な条件により生じる意味	213
第13章 【V-(i)p AUXV-(i)p】形の場合	214
13.1. V-(i)p jatip の場合	215
13.2. V-(i)p turup の場合	218
13.3. V-(i)p oturup の場合	222
13.4. V-(i)p jürüp の場合	227
13.5. まとめ	230
第14章 主動詞が否定接尾辞を含む場合	231
14.1. jat-の場合	231
14.2. tur-の場合	233
14.3. otur-の場合	236
14.4. jür-の場合	237
14.5. まとめ	239
第15章 補助動詞が否定接尾辞を含む場合	240
第16章 主動詞が受身接尾辞を含む場合	244
16.0. 受身接尾辞の種類とその特徴について	244
16.1. V-PASS-(i)p jat-の場合	246
16.2. V-PASS-(i)p、-a/-y tur-の場合	249
16.2.1. V-PASS-(i)p tur-の場合	249
16.2.2. V-PASS-a/-y tur-の場合	252
16.3. V-PASS-(i)p otur-の場合	253
16.4. V-PASS-(i)p jür-の場合	254
16.5. まとめ	255

第 17 章 jat-、tur-、otur-、jür-が主動詞として現れる場合	257
17.1. V-(i)p jat-の場合.....	258
17.2. tur-の場合.....	259
17.3. V-(i)p otur-の場合.....	261
17.4. V-(i)p jür-の場合.....	262
17.5. まとめ.....	263
第IV部 結論と今後の課題	264
第 18 章 結論	264
18.1. 第II部のまとめ.....	264
18.1.1. 文法的な意味について.....	264
18.1.2. V-(i)p AUXV 形式のまとめ.....	265
「動作動詞」.....	266
「変化動詞」.....	276
「状態動詞」.....	279
「内的感情動詞」.....	280
18.1.3. V-a/-y AUXV 形式のまとめ.....	281
18.2. 第III部のまとめ.....	284
18.3. 本動詞としての「語彙的な意味」と補助動詞としての「文法的な意味」.....	285
18.3.1. V-(i)p AUVX 形式の場合.....	285
18.3.2. V-a/-y AUVX 形式の場合.....	286
第 19 章 残された課題	287
用例出典	289
初出一覧	293
参考文献	294
資料一覧	298
資料 I 動詞類に含まれる動詞のリスト.....	298
資料 II コーパス内の主動詞と補助動詞の詳細.....	1

表の目次

表 1	キルギス語の短母音.....	12
表 2	複数接尾辞-lar の 12 種類の異形態.....	15
表 3	Krippes(1998)のキルギス語・英語辞典の記述によるまとめ.....	20
表 4	Akmataliev(2010)のキルギス語辞典の記述によるまとめ.....	21
表 5	アスペクト的な補助動詞に関する諸記述.....	29
表 6	データの見本.....	59
表 7	本論文の全体の用例数.....	60
表 8	主動詞が否定接尾辞を含む場合（〔V-NEG-CVB AUXV〕形）.....	60
表 9	補助動詞 jat-の全用例数.....	66
表 10	V-(i)p jat-形式の場合に現れる動詞の大分類.....	66
表 11	主体の移動動作を表わす動詞-(i)p jat-の用例数.....	80
表 12	補助動詞 tur-の全用例数.....	113
表 13	V-(i)p tur-形式の場合に現れる動詞の大分類.....	113
表 14	移動動詞-(i)p tur-の用例数.....	128
表 15	補助動詞 otur-の全用例数.....	161
表 16	V-(i)p otur-形式の場合に現れる動詞の大分類.....	162
表 17	移動動詞-(i)p otur-の用例数.....	168
表 18	補助動詞 jür-の全用例数.....	182
表 19	V-(i)p jür-形式の場合に現れる動詞の大分類.....	182
表 20	移動動詞-(i)p jür-の用例数.....	194
表 21	〔V-(i)p AUXV-(i)p〕形の用例数.....	214
表 22	〔V-(i)p AUXV-(i)p〕形のまとめ.....	230
表 23	〔V-NEG-CVB AUXV〕形の用例数.....	231
表 24	主動詞が受身接尾辞を含む文の用例数.....	246
表 25	jat-, tur-, otur-, jür-が主動詞として現れる場合の用例数.....	257
表 26	各補助動詞が主動詞として現れる場合の相互関係.....	263
表 27	動詞の大分類ごとの各補助動詞形式の数.....	266
表 28	「動作動詞」の場合にみられる主動詞の意味的なタイプと文法的な意味.....	267
表 29	《主体の移動動作を表わす動詞》の場合にみられる文法的な意味.....	273
表 30	「変化動詞」の場合にみられる主動詞の意味的なタイプと文法的な意味.....	276
表 31	V-a/-y jat-形式のまとめ.....	281
表 32	V-a/-y tur-形式のまとめ.....	282
表 33	V-a/-y jür-形式のまとめ.....	283

第I部 序論

第1章 本研究の目的、および研究対象

1.1. 本研究の目的

本研究の目的は、以下のとおりである。

本研究では、キルギス語の持続を表わす補助動詞 *jat-/at*¹、*tur-*、*otur-/oltur*²、*jür-*を
実例に基づいて、分析・考察し、それぞれの補助動詞の文法的な意味や相互関係（共
通点や相違点）を明らかにすることである。

1.2. 本研究の対象

キルギス語における補助動詞とは、主動詞に副動詞接尾辞を介して後接し、何らかの文法的な意味を表わす。基本的に動詞の副動詞形³に後接し、〔主動詞-副動詞接尾辞 補助動詞〕という形で用いられる。キルギス語には、このような形で用いられる補助動詞がいろいろある⁴が、本研究では、持続を表わす *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*という補助動詞を研究対象とする。なお、これらの各補助動詞が *-a/-y*、*-(i)p* といった副動詞接尾辞に後接して現れる場合のみ研究の対象とする（詳細は、第6章で後述する）。

これらの4つの補助動詞を研究対象とする主な理由は、共通する文法的な意味をもつからである。まず、次の例文⁵をみてみよう。

¹ *at-*は *jat-*の異形態である。本論文では、*jat-*で代表させて表記する。

² *oltur-*は *otur-*の異形態である。本論文では、*otur-*で代表させて表記する。

³ 副動詞形とは、動詞の変化形のひとつである。これは主に副詞的な機能を果たす。

⁴ *ber-*「与える」、*kör-*「見る」、*koy-*「置く」、*sal-*「入れる」、*jiber-*「送る」、*tašta-*「捨てる」などが存在する。「」内は本動詞としての意味である。

⁵ (1)～(6)はいずれも筆者（キルギス共和国ナルン州出身、1978年生まれ。）による作例である。

(1) Men anī **küt-üp** **jat-a-m.**
私 彼:ACC 待つ-CVB jat-PRES-1SG

(2) Men anī **küt-üp** **tur-a-m.**
私 彼:ACC 待つ-CVB tur-PRES-1SG

「私は彼を待っている。」

(3) Men anī **küt-üp** **otur-a-m.**
私 彼:ACC 待つ-CVB otur-PRES-1SG

(4) Men anī **küt-üp** **jür-ö-m.**
私 彼:ACC 待つ-CVB jür-PRES-1SG

これらは、キルギス語としていずれも自然な文である。ここでは、それぞれの文で異なる4つの補助動詞 (jat-, tur-, otur-, jür-) が使われている。日本語に訳すと、いずれも「私は彼を待っている」になる。そして、いずれの文もある動作「待つ」が時間的過程の中において持続していることを表わす。

しかし、次の例文の場合は、4つの補助動詞のうち1つしか使われない。

(5) Mišik **öl-üp** **jat-a-t.**
猫 死ぬ-CVB jat-PRES-3
「猫が死んでいる。」

(5) の場合は、補助動詞 jat-のみ使われる。他の3つの補助動詞 (tur-, otur-, jür-) とは置き換えられない。

このように、主動詞の意味的なタイプによって、4つの補助動詞がいずれも使えたり、そうでなかったりする。そして、主動詞の意味的なタイプだけではなく、副動詞接尾辞の種類によっても文法的な意味が異なる場合がある。たとえば、上の küt-「待つ」の例文を -a/-y 副動詞接尾辞に置き換えてみると、4つの補助動詞 (jat-, tur-, otur-, jür-) のうち、tur-のみが自然な文になれる。

(6) Men anī **küt-ö** **tur-a-m.**
私 彼:ACC 待つ-CVB tur-PRES-1SG

この場合、主体の動作の持続を表わすが、-(i)p 副動詞接尾辞の場合と異なり、「少しの時間の間」というニュアンスが生じる。

上のように、主動詞の意味的なタイプや補助動詞に前接する副動詞接尾辞等に密接にかかわっていると考えられる。そして、これらの組み合わせに何らかの制限がある。

これまでのキルギス語研究の中で、これらの補助動詞は文法的な意味を優先した研究であり、その記述は実証的に行われたと言い難い。これに対して、本研究は多くの言語作品から手作業で抽出した大量の実例に基づき、これらの補助動詞に先行する主動詞の意味的なタイプをはじめ、他の要素との共起関係、各補助動詞の相互関係、使用頻度等を考慮にいれている。これらの補助動詞の文法的な意味を実証的に記述する。このように、実際に使われている生きた例文を用いて、客観的に検証することに最大の意義があると考ええる。

第2章 本論文の構成と表記

2.1. 構成

本論は、4つの部から構成される。第Ⅰ部「序論」、第Ⅱ部「本論」、第Ⅲ部「形式的な条件により生じる意味」、第Ⅳ部「結論と今後の課題」となっている。以下、それぞれの部について簡単に紹介する。

第Ⅰ部 序論

(第1章～第7章)

まず、第1章で本研究の目的と研究対象を述べる。そして、本研究で4つの補助動詞を扱う理由を記す。

次に、第2章で本論文の構成やキルギス語の文字表記について説明する。また、本論文で使用する略号のリストをあげる。

第3章では、キルギス語について全般的な概説を述べる。ここでキルギス語はどのような言語で、どのような地域で話されているか、すなわちキルギス語の言語特徴と使用地域について簡単に述べる。その後、キルギス語の音韻特徴について述べる。

第4章では、この研究を行う上での大前提として、本研究の先行研究、その先行研究の問題点について述べる。

まず、キルギス語の補助動詞についての先行研究を取り上げる。最初に、辞典の記述として Yudaxin(1965)、Krippes(1998)、Akmataliev(2010)の記述を紹介する。そして、文法書として、Davletov & Kudaybergenov(1980)を詳しく取り上げる。最後に、最新の研究として、ターライバク キズ (2007) を紹介する。

次に、チュルク諸語におけるアスペクト的な補助動詞にかかわる記述について簡単に述べる。チュルク諸語の多くの言語に本研究で対象とする補助動詞に相当するものが存在し、それぞれの言語において、様々な文法的な意味を果たすことがすでに多くの研究者に指摘されている。本研究では、その中で Mamanov(1949)、Yuldašev(1965)、Ščerbak(1981)、Nasilov(1989)を取り上げる。

第5章では、本研究の立場や方法論について述べる。ここでは、日本語のアスペクト研究とキルギス語の動詞分類についての研究に触れる。日本語のアスペクトをめぐって、様々な観点から多くの研究が行われている。本研究では、主に工藤(1982a)の研究方法を参考にするので、その研究理論を紹介する。

第6章では、本研究で扱う「補助動詞」や「副動詞」とは何かを明確にし、それぞれの定義と特徴について述べる。

第7章では、本研究で使用される言語資料について述べる。言語資料の選定方法、実例の具体的な抽出方法や抽出された用例数などについて述べる。

この第I部を踏まえた上で、第II部から本論に入る。

第II部 本論（各補助動詞の考察）

（第8章～第12章）

まず、第8章では、本研究の対象である各補助動詞 *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*の本動詞としての意味を説明する。

次に第9章から12章まで、各補助動詞の文法的な意味の考察にはいる。各補助動詞がどのような文法的な意味を表わし、それらがどのような語彙的・文法的な条件のもとで実現されるのかを実例をもとに分析し、詳細にみていく。その際、各補助動詞を副動詞の形式別に記述する。たとえば、*jat-*の場合、*V-(i)p jat-*と *V-a/-y jat-*形式に分けて考察を行う。

第III部 形式的な条件により生じる意味

（第13章～第17章）

ここでは、補助動詞・主動詞が一定の形態をとることによって生じるいくつかの特徴について述べる。各補助動詞が文中に *[V-(i)p AUXV-(i)p]* の形（第13章）、主動詞が否定接尾辞を含む *[V-NEG-CVB AUXV]* の形（第14章）、補助動詞が否定接尾辞を含む *[V-CVB AUXV-NEG-]* の形（第15章）、主動詞が受身接尾辞を含む *[V-PASS-CVB AUXV]* の形（第16章）、そして、最後に、本研究の考察対象である補助動詞が主動詞として現れる場合にみられる特徴（第17章）について考察を行う。

第IV部 結論と今後の課題

（第18章～第19章）

最後のこの章では、論文全体の結論をまとめる。本論文の中核をなす第II部での議論をふまえ、各補助動詞の体系を示す。最後に、残された課題について述べる。

2.2. 表記

現在のキルギス語は1917年の革命後、北部方言を基にして、文語として構成された。1917年まではアラビア文字が広く使用されていた。アラビア文字による表記は、ソビエト連邦において1924年に修正が加えられ、25の文字をもつ正書法が完成した。そして、1928年にラテン文字化が行われた。その後、1940年にはラテン文字はキリル文字におきかえられて現在の正書法になった。その際、ロシア語のキリル文字に次の3文字 **н**、**ү**、**ө** が加えられた。

本論文における例文の表記は、キルギス語の正書法であるキリル文字を、ラテン文字に翻字した。翻字法は次のようである。

本論文におけるキリル文字の翻字法

Аа=Aa	Пп=Pp
Бб=Bb	Рр=Rr
Вв=Vv	Сс=Ss
Гг=Gg	Тт=Tt
Дд=Dd	Уу=Uu
Ее=Ee	Үү=Üü
Ёё=Yo yo	Фф=Ff
Жж=Jj	Хх=Xx
Зз=Zz	Цц=Cc
Ии=Ii	Чч=Čč
Йй=Yy	ь (硬音符) =”
Кк=Kk	Шш=Šš
Лл=Ll	Щщ=Šč šč
Мм=Mm	Ыы=Īī
Нн=Nn	ь (軟音符) ='
ң=ŋ	Ээ=Ěě
Оо=Oo	Юю=Yuyu
Өө=Öö	Яя=Ya ya

※ 本研究で使用されるキルギス語の用例をすべて上の表記に変えた。先行研究などで取り上げられている例文も上の表記に従った。但し、先行研究の記述を引用する場合、原文のまま表記している。

2.3. 略号

本論文における略号

1	first person	1 人称	NEG	negation, negative	否定
2	second person	2 人称	NMLZ	nominalization	名詞化
3	third person	3 人称	PART	participle	分詞
ABL	ablative	奪格	PASS	passive	受身
ACC	accusative	対格	PRES	present/future	現在
ADJ	adjective	形容詞	PST1	past1	確定過去
AOR	aorist	アオリスト	PST2	past2	不明過去
AUXV ⁶	auxiliary verb	補助動詞	PST3	past3	不定過去
CAUS	causative	使役	PST4	past4	経験過去
COMP	comparative	比較級	PL	plural	複数
COND	conditional	条件	PLN	place name	地名
COP	copula	コピュラー	POSS	possessive	所有
CVB	converb	副動詞	POT	potential	可能
DAT	dative	与格	PSN	person name	人名
EMPH	emphatic	強調	Q	question marker	疑問詞
GEN	genitive	属格	RECIP	reciprocal	相互
HBT	habitual	習慣	REFL	reflexive	再帰
HON	honorific	敬称	REQ	request	依頼
IMP	imperative	命令	FUT	future	未来
INTJ	interjection	間投詞	SG	singular	単数
LOC	locative	位格	VN	verbal noun	動名詞
MOD	modality	モダリティ	VOL	volitional	意志

⁶ 特に、本研究で取り上げる4つの補助動詞をまとめて示す場合に、AUXVと表記する。一方、本研究の考察対象でない補助動詞の場合、その補助動詞の語彙的な意味（本動詞としての意味）を記すことにする（詳細は、次の「略号の補足説明」を参照）。

略号の補足説明

- 本研究の対象である各補助動詞 *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*を、グロスでもそのまま表記する。また、*jat-*と *otur-*の異形態である *at-*と *oltur-*の場合、*jat-*と *otur-*で代表させて表記する。
- 本研究の対象ではない補助動詞が文中に現れた場合、その補助動詞の語彙的な意味のみ表記する。

例) *ič-íp* *sal* *ayt-íp* *ber*
 飲む-CVB 入れる 言う-CVB 与える
 「飲んでしまう」 「言ってあげる／くれる」

- menen* の場合、文中での意味によって、表記する。

例) *koon* *menen* *darbız* (「接続」の意味の場合)
 メロン と スイカ

例) *kayči* *menen* *kes* (「手段」の意味の場合)
 はさみ で 切る

- 形動詞の意味で使われる *-gan* を PART と、*-uu* を VN で表記する。

例) *otur-gan* *adam*
 座る-PART 人
 「座っている人」

例) *oku-u* *kitep*
 読む-VN 本
 「読む本」

- dep* の場合、引用節マーカーとしての「と」ではなく、「言う-CVB」とグロスを付す。

例) *de-p*
 言う-CVB

- 接尾辞 *-ış* は、ある動作を複数の人が相互に行うことと、一斉に共同で行うことを表わす。グロスでは、両方の意味を区別しないで、RECIP で示す。
- dik*、*-ki*、*-san* をそのままグロスに用いる。以下、用例を示しておく。

例) ayt-kan-dik-tan
言う-PART-dik-ABL
「言ったから」

例) kitep-te-gi
本-LOC-ki
「本での」

例) kör-mök-sön
見る-VN-san
「見ぬふり」

- ・ グロスでは、擬声語・擬態語の場合に現れる-(i)p 副動詞接尾辞を分析せずに記す。

例) tatira-p sülküldö-p
がたがたと シクシクと

- ・ 縮約されて現れる動詞がいくつか存在する (tap-「見つける」、öp-「キスする」、jab-「閉じる」、など)。これらの動詞の場合、次のようにグロスを付す。

例) taa-p ööp
見つける-CVB キスする-CVB

- ・ キルギス語の過去を表わす時制の意味と表記の仕方は次のとおりである。

キルギス語の過去を表わす時制には、以下の四つの区別が存在する (Davletov & Kundaybergenov1980:173-176)。

aykïn ötkön čak 「確定過去」 (PST1)
belgisiz ötkön čak 「不明過去」 (PST2)
kapïskï ötkön čak 「不定過去」 (PST3)
adat ötkön čak 「経験過去」 (PST4)

以下、それぞれについて簡単に説明しておく。

aykïn ötkön čak 「確定過去」 (PST1)は、動詞の語幹に-di という接尾辞が付加されることによって作られ、単なる過去に行われた動作を表わす。比較的近い過去の動作を示す。

belgisiz ötkön čak 「不明過去」 (PST2)は、動詞の語幹に-gan という接尾辞が付加されることによって作られ、終了時期を明確にさせる必要のない一般的な動作の完了、完了した結果の状態、あるいは過去の経験などを表わす。

kapïskï ötkön čak 「不定過去」 (PST3)は、動詞語幹に-ïptir という接尾辞が付加されること

によって作られ、時期や実現がはっきり確認されていない過去の動作を表わす。人から聞いた動作や予想外の動作、推定に基づく過去の動作などを示す。

adat ötkön čak 「経験過去」(PST4)は、動詞語幹に-ču⁷という接尾辞が付加されることによって作られ、過去のくりかえしを表わす。また、現在も続いている習慣的な動作を表わす場合もある。

本論文における記号の説明

- 形態素境界（グロスの場合、半角で示す。）
- キルギス語の正書法でハイフンが用いられている場合は、それを全角で示す。

例) kayra—kayra 「何度も」
tez—tez 「しょっちゅう」

- = 同義語の場合
- : 意味が重なる場合
- ... 文が省略される場合

- 《 》 主動詞の意味的なタイプを表わす。
- 〈 〉 補助動詞の文法的な意味を表わす。
- [] 形態論的な特徴を表わす。

本論文における日本語訳などについて

本論文で用いているすべての引用文及び用例の日本語訳は筆者によるものである。グロスでは、場合によっては、意識を用いる。ただし、その際、逐語訳も付すこととする。

なお、本論文で引用する先行研究の引用文や今回の言語資料などからの用例の太字による協調、下線、グロスなどは、本論文の体裁に合わせて変えている。すべて筆者によるものである。

⁷ 動詞を名詞化する役割をもつ ču は NMLZ で示す。

第3章 キルギス語について

3.1. 言語特徴と使用地域

現在、キルギス語は中央アジアのキルギス共和国の国語である。キルギス共和国以外に、周辺のカザフスタン、ウズベキスタン、タジキスタン、中国西部などにもキルギス語話者が存在する。キルギス語話者は全部で約 260 万人である⁸。

キルギス⁹という名称は、チュルク民族の中でも最も古い民族名の一つである。この名称は 5 世紀から 8 世紀ごろに作られたエニセイ碑文やオルホン碑文などにも現れる。また、紀元前の『史記』や『漢書』などの古代中国の歴史書にも現れるとされている (Yunusaliev(1966:482-505))。古代キルギス民族の祖先は、もともとアルタイ山脈のふもと、エニセイ川のほとりから、9 世紀ごろに南下しはじめ、現在のキルギス領にある天山地方に移ってきたと言われている。

キルギス語はチュルク諸語の一つである。音声的な面と文法的な面からチュルク諸語の中でもアルタイ語に一番近い。更に、キルギス語はカザフ語と親密な関係がある。19 世紀にカザフ語は「キルギス語」と、そして、現在のキルギス語は「カラキルギス語」(カラは「黒」という意味)と呼ばれていた(Kirchner(1998:344-356))。

3.2. 音韻特徴¹⁰

この節では、キルギス語の音韻特徴について述べる。

母音

キルギス語の母音は短母音と長母音からなる。

まず、キルギス語の短母音には a、o、e、ö、u、ü、ı、i の 8 つの母音がある。これらの母音は発音するときに、舌が前にあるか後ろにあるか、唇の形が非円唇か円唇か、口の開き

⁸ 話者数は Boeschoten (1998)によった。

⁹ 日本語では一般に「キルギス」と呼ばれている。これはロシア語による民族名 Киргиз (Kirgiz) に由来すると考えられる。キルギス語による自称は Кыргыз (Kyrgyz)、日本語で表記すると「クルグズ」になる。

¹⁰ 主に Abduldaev(1984)と Üsönaliev & Ömüralieva(2004)を参考にしている。

が狭いか広いかで、次のように分類される。

表 1 キルギス語の短母音

	非円唇		円唇	
	前舌	後舌	前舌	後舌
狭母音	i	ï	ü	u
広母音	e	a	ö	o

次に、長母音は、aa、ee、oo、öö、uu、üü からなる。以下にそれぞれの例を記す。

sat-	売る	saat	時計
en	幅	een	無人の
kon-	泊まる	koon	メロン
sök-	叱る	söök	骨
kur	帯	kuur-	炒める

古代チュルク語の tag 「山」、elig 「五十」などの単語は、現代キルギス語では、too、elüü などのように長母音になっている。これらは長い歴史において変化したとみられる。キルギス語のような長母音は他に、アルタイ語、ハカス語、トゥバ語などには存在するが、ウズベク語やウイグル語などでは使用されない。

なお、キルギス語の長母音はアラビア語やペルシア語からの借用語によく使用される (Abduldaev(1998:31-32))。

母音調和

キルギス語の母音調和について、庄垣内(1988:1418)は以下のように述べている。

「キルギス語の母音調和は、チュルク語の中ではもっとも発達した段階のものであり、この言語の大きな特徴となっている。チュルク諸語の母音調和は、口蓋調和を基調とし、円唇同化がそれに加わり、最終的には唇音牽引へと進んでいくが、キルギス語は、そのすべてを備えている。」

前舌母音と後舌母音は同一語の中で同時には現れない。つまり、最初の音節に前舌母音があると、その後に前舌母音が続く。後舌母音でも同じ規則がある。

子音

庄垣内(1988:1418)をもとにキルギス語の子音の体系を示すと次のようである。

閉鎖音	無声	p	t		k	q
	有声	b	d		g	
破擦音	無声		(c)	č	(šč)	
	有声			j		
摩擦音	無声	(f)	s	š		(χ)
	有声	(v)	z	(ž)	y	ɣ
鼻音		m	n		ŋ	
側音				l		
顫動音				r		

上で示した文字表記のうち、()内の c、šč、f、x、v、ž はロシア語からの借用語のみに用いられる。このうちžは、キリル文字では j を表わす文字と同じ文字で表記される。また、k と q、および g と ɣ は、音声的に明らかな違いがあるにもかかわらず、これらはキリル文字では表記上は区別されていない。これは、キルギス語の研究者の間でしばしば取り上げられる問題でもある。

子音の交替

子音の交替は、語幹と接尾辞との結合部分においてみられる。以下に代表的なものを示す。

・ 同化によって起こる場合

キルギス語の同化は、同化の程度、または同化の方向によって、様々な種類が存在する。

① 無声子音と有声子音が結合すると、無声子音に交替する場合

[b→p]	jaš 「年齢」	+ -bi 「疑間接辞」	→	jašpi 「若いですか」
	uk 「聞く」	+ -ba 「否定接辞」	→	ukpa 「聞くな」
[d→t]	jumuš 「仕事」	+ -dan 「奪格」	→	jumuštan 「仕事から」
	klass 「教室」	+ -da 「位格」	→	klassta 「教室で」
[g→k]	bak 「木」	+ -ga 「与格」	→	bakka 「木に」
	taš 「石」	+ -ga 「与格」	→	taška 「石に」

なお、母音・有声子音終わりの語幹に有声子音始まりの接辞や倚辞がつく場合は、その接辞や倚辞の初頭子音は有声のまま現れる。

mal 「家畜」 + -bi 「疑問接辞」 → malbi 「家畜ですか」
 jaz 「書く」 + -ba 「否定接辞」 → jazba 「書かないで」
 sura 「尋ねる」 + -ba 「否定接辞」 → suraba 「尋ねないで」

② 話し言葉でよく起こる同化の種類

[n+g]や[n+k]が並んだ時に、n が [ŋ] と発音される

[n+g] men gana → meŋ gana 「私だけ」
 [n+k] tünkü → tünkü 「夜の」

[z+s]が s と発音される

[z+s] söz 「語」 + -süz 「無」 → sössüz 「必ず」
 [z+s] jaz 「書く」 + -sa 「条件接辞」 → jassa 「書いたら」

[n+b]や[n+m]が m と発音される

[n+b] ton 「コート」 + -bu 「疑問接辞」 → tombu 「コートですか」
 [n+m] kün 「日」 murun 「前」 → küm murun 「前もって」

・ 異化によって起こる場合

① -la、-lar、-lik、-luu の接尾が [l]、[n]、[ŋ]、[m]で終わる単語と結合する時、異化が起こり d に変わる。

jan 「命」 + -la 「動詞化接尾辞」 → jan-da 「同行する」
 mal 「家畜」 + -lar 「複数接尾辞」 → mal-dar 「何種かの家畜」

② -nī、-nīn、-nīkī の接尾辞が [y]、[m]、[n]、[ŋ]、[l]、[r]で終わる語と結合する場合に異化が起こる。

karagay 「縦の木」 + -nī 「対格」 → karagay-dī 「縦の木を」
 koom 「社会」 + -nīn 「属格」 → koom-dun 「社会の」
 ataŋ 「君の父」 + -nīkī 「所有接尾辞」 → ataŋ-dīkī 「君の父の」

③ 語幹末の *č* の直後に [s]、[t]、[č]、[j] が後接する場合は、*š* に交替する場合がみられる。但し、正書法では、もとのとおりに書かれる。

[č + s] *čač* 「散かす」 + *-sa* 「条件形」 → [čaš-sa] 「散かしたら」
 [č + t] *ač* 「開く」 + *-tī* 「過去形」 → [aš-tī] 「開いた」
 [č + č] *jīgač* 「木」 + *-či* 「名詞化接尾辞」 → [jīgaš-či] 「大工」
 [č + j] *üč* 「三」 + *jüz* 「数詞」 → [üşjüz] 「三百」

また、キルギス語の場合、接尾辞初頭子音の同化や異化と母音調和によって、子音で始まる接尾辞は、多数の異形態をもつ。たとえば、複数接尾辞 *-lar* は 12 種類の異形態を作る。

表 2 複数接尾辞 *-lar* の 12 種類の異形態

最終音節の 母音	-a、-i、-u	-i、-e	-o	-ö、-ü
母音、y、r	-lar	-ler	-lor	-lör
y、r 以外の有聲子音	-dar	-der	-dor	-dör
無声子音	-tar	-ter	-tor	-tör

第4章 先行研究¹¹

この章では、キルギス語における先行研究の概観とアスペクト的な補助動詞にかかわる諸記述について述べる。

4.1. キルギス語における先行研究の概観

キルギス語の先行研究には大量の実例に基づいて、jat-、tur-、otur-、jür-補助動詞の文法的な意味記述を行った研究はない。

しかしながら、jat-、tur-、otur-、jür-の文法的な意味について述べている先行研究は少なからず存在する。特に、辞典や文法書などによる記述は多々ある。この節では、辞典による記述と文法書による記述を具体的にあげることにする。

また、近年では、キルギス語の補助動詞に注目する研究者も出てきて、新しい研究といえるものがいくつかある。たとえば、Tan(2005)やターライベク キズ(2007)の論文があげられる。Tan(2005)の論文は、トルコ語で書かれており、キルギス語の補助動詞全般について記述されているものである。但し、本研究の対象である4つの補助動詞については、特に詳細な分析や考察が行われていないので、本論文では取り上げない。

4.1.1. 辞典の記述

ここでは、やや古い辞典ではあるが、Yudaxin(1965)を詳しく取り上げる。次に、Krippes(1998)とAkmataliev(2010)の記述を紹介する。

4.1.1.1. Yudaxin(1965)

Yudaxin(1965)は、キルギス語・ロシア語の辞典である。したがって、キルギス語の単語の説明などはロシア語で解説されている。以下、Yudaxin(1965)から、jat-、tur-、otur-、jür-

¹¹ 先行研究の引用においては、先行研究に書いてあるとおりに引用することを原則とするが、次のような事項は記述の便宜上変更する。まず、一つの意味に複数の例文があげられている場合は、適切だと判断されるものいくつかのみ、取り上げることにする。したがって、原文の例文の順序とは異なる。また、キルギス語で書かれる例文の場合は、本論文の翻字法（本論文の2.2.を参照）に従って表記する。

の項目を順に引用する。

jat-について

jat-については、補助動詞として2つの意味が記述されている。

まず、“обычно выражает длительность действия, соответствие действия данному моменту;” (p.239)「通常、現時点における動作の持続を表わす。」として、次の例文をあげている(Yudaxin1965:239)。

- söz **süylö-p** **jat-a-t**
言葉 話す-CVB jat-PRES-3
(он говорит (*продолжает говорить*) речь)
「(彼は) 挨拶言葉を話している」
- kat **jaz-ïp** **jat-kan-da**
手紙 書く-CVB jat-PART-LOC
(когда он писал письмо)
「(彼は) 手紙を書いていた時」
- orusça **süylö-p** **jat-a-bi**, kïrgizça **süylö-p** **jat-a-bi?**
ロシア語 話す-CVB jat-PRES-Q キルギス語 話す-CVB jat-PRES-Q
(он (*в данный момент*) по-русски говорит или по-киргизски)
「(彼は) (現時点で) ¹²ロシア語で話していますか、キルギス語で話していますか。」

tur-について

tur-について次のように記述されている。

“в роли вспомогательного глагола указывает на длительность или постоянство действия, на пребывании в каком-л. состоянии;”(p.269)「補助動詞として機能している時、動作の持続、或いは、なんらかの状態にある時の動作の恒常性を示す」として、次の例文をあげている(Yudaxin1965:269)。

¹² ロシア語で補足されている文の日本語訳である。()内は原文のまま斜めに表記している。

- a. **kel-ip tur**
 来る-CVB tur
 (захаживай иногда (сделай это своим обыкновением))
 「また時々来なさい (これを自分の習慣にしてください)」

- b. **bil-ip tur-up jašir-a-t**
 知る-CVB tur-CVB 隠す-PRES-3
 (он намеренно скрывает)
 「彼は知っていながら、隠している」

- c. **koy-o tur, erteŋ bil-eyin**
 置く¹³-CVB tur 明日 知る-1SG:VOL
 (подожди, я завтра узнаю)
 「待っていなさい、私はあした調べよう」

otur-について

otur-については次のように記述されている。

“в роли вспом. гл. указывает на длительность и непрерывность действия; встречается и в форме отуру;” (p.68) 「補助動詞としての機能の場合、動作の持続と連続を表わす。そして、oturu という形式でも表示される。」そして、次の例文をあげている(Yudaxin1965:68)。

- **jaz-ip otur-u**
 書く-CVB otur-PRES
 (он пишет)
 「(彼は) 書いている。」

- **ište-p otur-u-mun**
 働く-CVB otur-PRES-1SG
 (я работаю)
 「(私は) 働いている。」

¹³ 「待つ」という意味でよく使われる。küt-「待つ」と意味が殆ど変わらない。

jür-について

jür-の項目で補助動詞としての jür-について次のように記述されている。

“в роли вспомогательного глагола придает действию основного глагола характер длительности, постоянства,” (p.274) 「補助動詞としての機能を果たす場合、主動詞の動作に持続や恒常性の性質を加える。」として、次の例文をあげている(Yudaxin1965:274)。

- al Frunze-de **oku-p** **jür-ö-t**
彼 PLN-DAT 勉強する-CVB jür-PRES-3
(он учится во Фрунзе)
「彼はフルンゼで勉強している」
- ümüt-üm **üz-üp** **jür-ö-mün**
希望-1SG:POSS 失う-CVB jür-PRES-1SG
(я теряю надежду)
「(私は) 希望を失っている」

以上、Yudaxin(1965)に書かれている補助動詞 jat-、tur-、otur-、jür-の記述を紹介した。Yudaxin(1965)では、各補助動詞の説明に *длительность действия*「動作の持続」、*постоянство действия*「動作の恒常性」、*непрерывность действия*「動作の連続性」などのような用語は使われているが、これらはどのように使い分けられているのかが分かりにくく、あいまいである。

4.1.1.2. Krippes(1998)

Krippes(1998)は、キルギス語・英語辞典である。そこから *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*の項目を以下に引用する。

表3 Krippes(1998)のキルギス語・英語辞典の記述によるまとめ

補助動詞	あげられている例文	説明
jat-	<p>・ <i>kurulup jatkan meymankana</i> hotel which is under construction (p.166l) 「建てられているホテル」</p> <p>・ <i>Konkurska katišip jatkan kizdar</i> girls who are participating in the contest(p.166l) 「コンクールに参加している女性たち」</p>	“v-aux progressive action” (p.166l)
tur-	<p>・ <i>...Lefortovodogu izolyatordo surak stolu kütüp turat.</i> A board of inquiry is awaiting them at the Lefortov detention center...(p.518l) 「...レフォルトフ留置場で取調べが待っている。」</p> <p>・ <i>Ėmi A.din akim boloorun kütö turali.</i> Now let's wait for A.to become mayor. (p.518l) 「これで、Aが市長になることを待ちましょう。」</p>	“v-aux in the process of” (p.518l) “v-aux do briefly” (p.518l)
otur-	<p>・ <i>Bul demokratiya önügüp oturup azirkı abalına keldi.</i> This democracy had been in the process of developing for a long time before it reached its present form. (p.386l) 「この民主主義は発展しつづけて、今の状態に至った。」</p> <p>・ <i>Aynekten tiktep oturam.</i> I am gazing in the mirror. (p.397r) 「窓から見つめている。」</p>	“v-aux in the process of” (p.386l)
jür-	<p>・ <i>tamak— aš jasap jürgöndö</i> While preparing the meal (p.190r) 「食事を準備していた時」</p>	“v-pass (aux.)be in the process of something” (p.190r)

Krippes(1998)では、各補助動詞がいずれも動作の持続を表わしていることが記述されている。なお、tur-については、“v-aux do briefly”「ちょっとの間」に使用されることが指摘されている。

4.1.1.3. Akmataliev(2010)

Akmataliev(2010) は、キルギス語の辞典である。そこから jat-、tur-、otur-、jür-の項目を以下に引用する。

表 4 Akmataliev(2010)のキルギス語辞典の記述によるまとめ

補助動詞	あげられている例文	説明
jat-	<p>・ Jardīn aldında kübürlönüp suu agīp jatat. (p.435r) 「岩の底に激しく水が流れている。」</p>	<p>“Negizgi etišter menen aytilip, tataal etišterdi uyušturuuču kömökçü etiš katarında koldonulat.”(p.435r) 「主動詞に後接し、補助動詞として使用される。」</p>
tur-	<p>・ Ėr Oljobay ėline, bul kezde süylöp turat oktolup. (p.1220r) 「英雄のオルジョバイは国民に、この時期、話している。」</p>	<p>“Kıymıl-arakettin üzgültüksüz bolup turuşun belgilüü bir abaldın uzakka saktalıšın bildirüü iretinde jardamçı etiš katarında koldonulat.”(p.1220r) 「動作が続いていること、ある状態が長く保たれていることを表わし、補助動詞として使用される。」</p>
otur-	<p>・ Nasten kitep tandap oturup, Akbar jönündö oylondu. (p.1006l) 「ナステンは本を選びながら、アクバルについて考えた。」</p>	<p>“Jardamçı etiš katarında kıymıl-arakettin sozuluşun, üzgültüksüz bolup turganin körsötüü üçün koldonulat.”(p.1006l) 「補助動詞として動作が連続して持続していることを表わすために、使用される。」</p>
jür-	<p>・ Jolooçu aylançıktap basıp jürdü. (p.501r) 「旅人が歩き回っていた。」</p>	<p>“Kömökçü etiš katarında koldonulat.”(pp.501l-502r) 「補助動詞として使用される。」</p>

Akmataliev(2010) では、*jat-*と*jür-*の文法的な意味については触れず、補助動詞として使用されることについてのみ記述されている。一方、*tur-*と*otur-*については、補助動詞として使用されていて、動作の持続を表わすと述べられている。なお、「補助動詞」を表わすキルギス語の術語として *kömökçü etiš*、*jardamçı etiš* (6.2.を参照) の両方とも使われているが、これらの使い方の区別については言及されていない。

以上、辞典による *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*の意味を紹介した。これらの辞典において共通して、各補助動詞は、〈持続〉を表わしていることが述べられている。しかし、これらの先行研究は、辞典であることもあり、簡単な例文があげられているだけである。さらに、より詳しい文法的な説明などは記述されていない。

4.1.2. 文法書などの記述

ここでは、キルギス語の動詞の先行研究として Davletov & Kudaybergenov(1980)を取り上げ、各補助動詞に関する意味記述を紹介する。Davletov & Kudaybergenov(1980)の Ётиш「動詞」の部分が、Kudaybergenov により執筆されている。次に、ターライベク キズ(2007)の論文を取り上げる。

4.1.2.1. Davletov & Kudaybergenov(1980)

ここでは、Davletov & Kudaybergenov(1980)から jat-, tur-, otur-, jür-の項目を順に引用する。

jat-について

jat-について、“Жам чакчылдар менен айкашып жардамчы этиш катарында колдонулганда, кыймыл-аракеттин созулгандыгын, азыркы учурда болуп жаткандыгын көрсөтөт.” (p.147) 「jat-は副動詞と組み合わせたり、補助動詞として機能する時、動作が持続すること、現時点で行われていることを示す。」と記述され、次の例文をあげている(Davletov & Kudaybergenov 1980:147)。

- Kol-don kel-gen kamkordug-u-n kör-üp
手-ABL 来る-PART 世話-3:POSS-ACC 見る-CVB

jol-go dayardan-ïp jat-a-t.
道-DAT 準備する-CVB jat-PRES-3

「できるかぎりの世話をして、旅の準備をしている。」

- Ubakit öt-üp jat-a-t, konok-tor kel-ip jat-a-t.
時間 過ぎる-CVB jat-PRES-3 客-PL 来る-CVB jat-PRES-3

「時間が過ぎている。客が来つづけている（続々と来る）。」

また、“Жам жардамчы этиш катарында кээде кыймыл-аракеттин сүйлөгөн мезгилден кийин болорлугун да көрсөтөт.” (p.147) 「補助動詞としての jat-は、時々動作が発話時の後に実行されることを示す。」と指摘されている。

- Baš-ka tüš-kön-ü-n kör-ö jat-ar-büz.
頭-DAT 落ちる-VN-3:POSS-ACC 見る-CVB jat-AOR-1PL
「仕方がない。みてみましょう。」

tur-について

tur-について“Жардамчы этиш *tur* чакчылдар формасындагы этиштер менен айкашып, кыймыл-аракеттин узакка созулгандыгын, речтин сүйлөгөн мезгилинде болуп жатканын же дайыма болгондугун билдирет. (p.146)” 「tur-は副動詞と組み合わせたり、補助動詞として使われた時、動作が長く続いていること、発話時点で動作が進行中であること、或いは、動作がいつも起こることを表わす。」と記述している。そして、次のような例文をあげている (Davletov & Kudaybergenov 1980:146)。

кыймыл-аракеттин созулгандыгы 「動作が続いていること」

- Uul-um ököö-büz ёpte-p
息子-1SG:POSS 二人-1PL なんとかして
ёje-η-di bag-ёp tur-a-büz.
姉-2SG:POSS-ACC 養う-CVB tur-PRES-1PL
「息子と二人でなんとかして (君の) お姉さんを養っている。」
- Kün alay-dölöy түš-ёp jaa-p tur-a-t.
日 吹雪 下りる-CVB 降る-CVB tur-PRES-3
「天気は崩れ (吹雪になって)、雨が降り続いている (降っている)。」

кыймыл-аракеттин дайыма болгондугу 「動作がいつも起こること」

- Anin çoη šaar-din teatr-i-nan ayırma-si jok,
そこ:GEN 大 都会-GEN 劇場-3:POSS-ABL 違い-3:POSS 無
keη zal-i jaηёр-ёp tur-a-t.
広い ホール-3:POSS 響き渡る-CVB tur-PRES-3
「その大都会の劇場と変わりなく、広々としたホール (音) が響き渡っている。」
- Bul kír-dan aylana-nin bardig-i daana körün-ёp tur-a-t.
この 丘-ABL 周り-GEN 全て-3:POSS はっきり 見える-CVB tur-PRES-3
「この丘から周りの全てがはっきりと見えている。」

これらの他に、“Жардамчы этиш **tur** негизги компонентинин маанисине байланыштуу мезгил-мезгили менен кайталанган кыймыл-аракетти да билдирет(p.146)” 「補助動詞 tur は、主動詞の意味によっては、時折繰り返される動作のことも表わす」として、次の文をあげている(Davletov & Kудaybergenov 1980:146)。

- Kün sayın tuš tarap-tan ondogon vagon-dor **kel-ip tur-a-t.**
日 ごと 色々な 方面-ABL 十数 列車-PL 来る-CVB tur-PRES-3
「毎日、色々な場所から十数台の列車が来る（来ている）。」

otur-について

otur-について、“Отур жардамчы этиш катарында көбүнчө *-ын* формасындагы чакчылдар менен айкашат, кыймыл-аракеттин созулгандыгын билдирет.” (p.147) 「otur-は補助動詞として使用される時、多くの場合、-(i)p 副動詞接尾辞と組み合わせり、動作の持続を表わす。」とされている。そして、次の例文をあげている(Davletov & Kудaybergenov1980:147)。

- Jöö¹⁴ tuman ulam **ıldiyla-p otur-up,**
霧 徐々に 下る-CVB otur-CVB
Ėrkin-ge da jet-ti.
PSN-DAT EMPH 着く-PST1
「霧が徐々に下り続けて（下がってきて）、エルキンのところにも辿り着いた。」

また、Davletov & Kудaybergenov(1980)は、副動詞形が特定の動詞である場合にふれて、以下のように述べている。

“Эгерде чакчыл формасындагы компоненттер *кел, кет* деген этиштерден болсо, анда **отур** жардамчы этиш катарында кыймыл-аракеттин сүйлөгөн мезгиле чейин, же сүйлөгөн учурдан тартып иштелгени билдирилет” (p.148) 「もし、kel- 「来る」、ket- 「行く」という動詞の副動詞形であったならば、otur-は、補助動詞として、動作が発話まで、あるいは、発話時から引き続き行われていることを表わす。」

¹⁴ jöö は単独で「徒歩」という意味を表わすが、jöö tuman という組み合わせの場合、「霧」という意味を表わす。

jür-について

Davletov & Kudaybergenov(1980)は jür- について、“Жүр. Бул этиш *-a//-e//-й* жана *-ын* формаларындагы чакчылдар менен айтылат; кыймыл-аракеттин мезгил-мезгили менен узакка созулгандыгы туюндурулат.” (p.145) 「jür は *-a//-e//-y* 副動詞、*-йр* 副動詞と組み合わせる。そして、動作が時折、長く持続することを表わす。」と記述され、次の例文があげられている(Davletov & Kudaybergenov 1980:145)。

- ... erteli—keč bir ubak **kel-ip ket-ip jür-üş-tü.**
 早い 遅い 一時 来る-CVB 帰る-CVB jür-RECIP-PST1
 「... (彼らは) 一日に一度は来たり行ったりしていた。」

また、“Жардамчы этиш жүр кээде үзгүлтүксүз созулган кыймыл-аракетти да билдирет. Мындай кыймыл-аракет кыска бир убакыттын аралыгында же болбосо жалпы эле созулган болушу да мүмкүн.” (p.145) 「補助動詞 jür-は、時々連続して持続する動作も表わす。このような動作は短期間、或いは長期間で持続することも表わすかもしれない。」と述べ、次の例文があげられている (Davletov & Kudaybergenov 1980:145)。

- Men ökmöt-tün mildet-i-n **atkar-йр jür-ö-m.**
 私 政府-GEN 義務-3:POSS-ACC 果たす-CVB jür-PRES-1SG
 「私は政府の義務を果たしている。」

以上、キルギス語の文法書である Davletov & Kudaybergenov(1980)を紹介した。ここでは、jat-、tur-、otur-、jür-の意味について詳細に書かれているが、出されている用例数はかなり少ない。

4.1.2.2. ターライベク キズ(2007)

ターライベク キズ(2007)は、日本語の「V-テイル」とキルギス語の「V-jat」¹⁵について「進行」、「結果の残存」という観点からアスペク的な意味用法の類似点と相違点について考察を行っている。ターライベク キズ(2007)は、日本語教育の立場から考えており、キルギスの日本語学習者は「V-テイル」の意味を誤解しやすいと述べている。誤解しやすいものとして、以下の文があげられている。

¹⁵ 原文のまま表記している。

- (1) 息子は今アメリカに行っている。
- (2) 犬が死んでいる。

キルギス人学習者は、(1)を「息子は今アメリカに行って(向かって)いる途中です」、(2)を「(目の前で)犬が死にかかっている」と、いずれも「進行」の意味で解釈することが少なくないと述べている。

(ターライベク キズ 2007:305)

また、ターライベク キズ(2007)は、本研究で取り上げる *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*の違いについて以下のように説明している¹⁶。

- (13) a. *Atam gazeta oku-p jat-a-t.*
父 新聞 読む-p *jat-a-3* 人称
- b. *Atam gazeta oku-p tur-a-t.*
父 新聞 読む-p *tur-a-3* 人称
- c. *Atam gazeta oku-p otur-a-t.*
父 新聞 読む-p *otur-a-3* 人称
- d. *Atam gazeta oku-p jür-ö-t.*
父 新聞 読む-p *jür-ö-3* 人称
(父は新聞を読んでいる。)

たとえば、(13b)は「父が立っている状態で新聞を読んでいる」、(13c)は「父が座っている状態で新聞を読んでいる」、(13d)は「父が話し手や聞き手に見えない所で新聞を読んでいる」という意味をもっている。(13a)は、他のものと比べ、動作が行われる場所、動作主の姿勢に関係なく、自由に使用される。

発話時における動作・出来事を表す場合、「*-tur*」、「*-otur*」、「*-jür*」は、動詞の種類によって結びつきにくいものがある。「*-tur*」は移動動詞には用いられない。「*-otur*」は活動性の強い動詞や自然現象を表す動詞、移動動詞(「行く」、「来る」)には付加されない。もともと動作動詞である「*-jür*」は、状態性のある動詞(「寝る」など)には用いられない。一方、「*-jat*」にはそのような結びつきの制約がなく、どの動詞に付加しても発話時における動作・出来事を表し得る。

(ターライベク キズ 2007:312)

¹⁶ 例文番号やグロスなどは、すべて原文のまま表記している。

4.1.3. 先行研究の問題点

前節では、キルギス語の *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*に関する先行研究として、辞典類と文法書などによる意味について述べた。これらの先行研究に *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*について取り上げられており、様々な文法的な意味が指摘されている。辞典による意味の場合、辞典であることもあり、簡単な例文があげられているのみで、それ以上の詳しい文法的な説明などは記述されていない。しかしながら、文法書である Davletov & Kudaybergenov(1980)の場合、例文をあげながら、各補助動詞の文法的な意味が詳しく書かれている点が重要であり、本研究の考察の際にも大変参考になる。なお、最近の新しい研究として、ターライバク キズ(2007)があげられる。これは、日本語教育の観点から「V-テイル」と「V-jat-」の類似点と相違点について考えていて、*jat-*の意味を考える上で、参考になる。

ただし、以下の点が未解決な問題としてあげられる。

- ・ 大量の実例調査は行われていないので、記述の客観性に欠ける。
- ・ どのような語彙的・文法的な条件のもとで、その文法的な意味が表されているのか、示されていない。
- ・ それぞれの補助動詞の関係が明確ではない。互いの関連性が示されていない。
- ・ 補助動詞の文法的な意味のみが書かれており、主動詞や副動詞接尾辞など他の要素との関連性についての記述がみられない。
- ・ 補助動詞の単純な形のみがあげられていることがほとんどである（本論文の第Ⅲ部でとりあげる形については記述が全くない）。

このように、あげていくと、*jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*の意味について未解決の問題が多く存在している。これらの補助動詞はまだ十分に研究されていないといえるだろう。

4.2. アスペクト的な補助動詞に関わる諸記述

チュルク諸語の多くの言語に本研究で取り上げる *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*に相当するようなアスペクト的な意味を表わすものが存在し、それぞれの言語において、様々な文法的な意味を果たすことがすでに多くの研究者に指摘されている。もっとも代表的な研究を次の表で記す。

表5 アスペクト的な補助動詞に関する諸記述

先行研究	対象言語	補助動詞
Mamanov (1949)	カザフ語	動作の局面と様式: <ul style="list-style-type: none"> ・動作の準備 -galı-, -yın (otır-, tur-, jatır-, jür¹⁷) ・動作の完了 kel-(otır-, tur-, jatır-, jür) ・動作の開始 -a-, (-e-, -y) basta ・動作の経過 -p (otır-, tur-, jatır-, jür) ・動作の終了の前 -p kal-, bitir-, jet-, kel-, bar-, ayakta ・動作の終了 -p bol-, bitir-, bit-, šik-, koy-, tasta-, kal-, al-, ber-, ket-, jiber
Yuldašev (1965)	チュルク 諸語全体	analitičeskiye formi 「分析的な形式」 ¹⁸ : <ul style="list-style-type: none"> ・ -p yat-, -p otur-, -p tur-, -p yür-, -a(-y) tur-
Ščerbak (1981)	チュルク 諸語全体	perifrastičeskiye formi 「迂言的な形式」 ¹⁹ : <ul style="list-style-type: none"> ・ jat-, joru~jori-, o(l)tur-, otur-, tur-

この表から分かるとおり、最も古い先行研究としては、Mamanov(1949)があげられる。Mamanov(1949)はカザフ語の補助動詞全体について記述している。また、それぞれの動詞の本動詞としての語彙的な意味と補助動詞としての文法的な意味について例文をあげながら、詳しく記述している。

次に、Yuldašev(1965)は analitičeskiye formi「分析的な形式」、Ščerbak(1981)は perifrastičeskiye formi「迂言的な形式」と呼び、チュルク諸語の補助動詞全体について記述している。

これらの研究は本研究で扱おうとする補助動詞のみではなく、名詞と動詞の組み合わせ（複合動詞）などについて扱っている。また、研究対象の言語が違うため、おのずと取り上げる補助動詞も違う。また、それぞれの研究者が扱っている補助動詞の数も異なる。Ščerbak(1981)も、それぞれの言語によって補助動詞の数は異なると述べている。Nasilov(1989)の調査によると、古代チュルクの文献に出る補助動詞の数は20個、カラカルパク語やウズベク語は27個、タタール語29個、トゥバ語とヤクート語（サハ語）は約20個、トルコ語は15個の補助動詞が存在するとしている。

このように、チュルク諸語の研究では、補助動詞に関する研究が行われてきたのだが、アスペクト的な意味をめぐって、まだ議論が続いており、解決にいたっていない。

¹⁷ 網掛けは本研究の対象である補助動詞のことを示す。

¹⁸ 他に次のようなものがあげられている。

-p bar-, -p kel-, -a bar-, -a ber-, -a tüš-, -p čik-, -p al-, -p yiber-, -p tašla-, -p ket-

¹⁹ 他に次のようなものもあげられている。

al-, bar-, ber-, bil-, bitir~bütür-, id~id~ic-, jaz-, jet-, jibar-, koy~ko-, kal-, kel-, ket-, kör-, öt-, sal-, tašla-, tüš-, u-, čik-, e(r)-, bol-, ~ol-

第5章 本研究の方法論

この章では、本研究の方法論について述べる。まず、本研究で主に参考にしている先行研究を紹介し、次に、本研究の方法論について述べる。

5.1. 日本語の先行研究 —工藤(1982a)—

これまでキルギス語をはじめとするチュルク諸語の先行研究などでは、補助動詞には、どのような意味があり、どのような使い方があるか等のように、主に補助動詞の文法的な意味に焦点をあたえられた記述が多くみられる。しかし、補助動詞の文法的な意味と密接なかかわりをもつ主動詞の語彙的な意味については、殆ど言及されていない。このような、動詞の語彙的な意味に注目して補助動詞の文法的な意味を明らかにした研究として日本語の先行研究があげられる。

日本語のアスペクト形式であるシテイル形式の分析において、これまで金田一(1950)、奥田(1967-1984)、工藤(1982-1995)などで、動詞の語彙的な意味(とくにカテゴリカルな意味²⁰)に注目する研究が行われてきている。これが日本語においてシテイル形式のアスペクト的な意味の解明にとって有効な方法であると考えられている。本研究ではその多くを工藤(1982a)の言語理論に依っている。そこで、キルギス語の各補助動詞形式について具体的な記述を進める前に、以下、工藤(1982a)の論文の内容を紹介するとともに、工藤の基本的な発想についての文法論を概観する。

工藤(1982a)はシテイルのアスペクト的な意味は、動詞の語彙的な意味(正確には、語彙的な意味の側面、すなわちカテゴリカルな意味)で異なるとしている。そして、スルとシテイルの対立をもつ動詞は、(A) 運動動詞と (B) 状態動詞に分類されている。以下、それぞれの動詞例を示しておく。

(A) 運動動詞

(A1) 動き動詞

²⁰ 「カテゴリカルな意味」とは、奥田の用語である。奥田(1979 [1984:162])では、次のように述べられている。

「カテゴリカルな意味というのは、文法的なむすびつきとかかわりとのなかにおける、語彙的な意味の一般化である。」

(i) 主体の動きを表わす動詞

歩く、走る、駆ける、飛ぶ、流れる、泳ぐ、すべる、這う、動く、徹、たどる、うろつく、ふらつく、揺れる、回る、あえぐ、震える、うなづく、暴れる、もがく、泣く、笑う、吠える、うなる、さえずる、うめく、どなる、わめく、答える、叫ぶ、嘆く、働く、等

(ii) 客体に働きかけていく主体の動きを表わすが客体の変化については問題としない動詞

たたく、殴る、打つ、ける、振る、つつく、かきまわす、はじく、投げる、放る、搔く、なでる、さする、もむ、いじる、押す、引く、鳴らす、揺らす、揺する、回す、動かす、流す、飛ばす、燃やす、食べる、飲む、吸う、なめる、すする、かじる、吐く、読む、等

(iii) 客体に変化をもたらす主体の動きを表わす動詞

開ける、占める、作る、塗る、切る、刻む、削る、壊す、崩す、つぶす、折る、割る、曲げる、結ぶ、巻く、練る、畳む、破る、裂く、包む、解く、むく、溶く、掘る、建てる、直す、焼く、煮る、湧かす、殺す、片づける、染める、消す、植える、ためる、敷く、等

(A2) 変化動詞

死ぬ、消える、開く、閉まる、汚れる、切れる、湧く、割れる、壊れる、崩れる、裂ける、破れる、つぶれる、曲がる、折れる、くさる、枯れる、直る、濡れる、湿る、乾く、酔う、ふくらむ、染まる、建つ、伸びる、縮む、たまる、温まる、冷える、等

(B) 状態動詞

(B1) スルしかないもの → ある、いる、熱すぎる、等

(B2) シテイルしかないもの → そびえている、すぐれている、等

工藤(1982a)は、シテイル形式は、次のように多義的であると述べている。

(I) 基本的な意味

(1) 動きの継続

- ・廊下を先生が歩いている。
- ・お母さんが窓を開けている。

(2) 変化の結果の継続

- ・玄関の戸が開いている。
- ・庭に子犬が死んでいる。

(II) 派生的な意味

(1) (a) 反復

- ・私は朝日新聞を読んでいる。
- ・私は毎朝六時に起きている。

(b) 現在有効な、過去の運動の表現

- ・また中学生が先生をなぐっている (新聞を読みながら)。
- ・私達は去年の三月に結婚している。

(2) 単なる状態

- ・太陽は地球から遠く離れている。
- ・この町には二つの川が流れている。

(I) は基本的な意味であって、「継続」というアスペク的な意味を表わしつつ、(I・1)「動きの継続」か(I・2)「変化の結果の継続」で対立している。この対立をもたらすのは、動詞の語彙的な意味の違いであると述べている。たとえば「読む、開ける、歩く」などの動きの動詞と「開く、結婚する、死ぬ」などの変化動詞は運動の「動き」の側面をきりとるか、「変化」の側面をきりとるか対立しつつ、基本的に前者は「動きの継続」、後者は「変化の結果の継続」を表わすとしている。しかし、この二つのアスペク的な意味は「継続」という点で一つであり、と同時に「動き」と「変化」とは運動の側面として統一しているため、特別な条件の下では、相互移行の現象もおこりうると述べている。

まず、動き動詞が、「変化の結果の継続」を表わす構文的条件として、次の4つがあげられている。

(1)「開ける、作る、塗る、摘む」等の動詞は、主体の観点からは動きをとらえているが、同時に客体の観点からは変化をとらえている。このような動詞のシテイルは、主語が意志的動作主体を表わしつつ、「主体の動きの継続」を表すのが基本的な用法である。

- ・栗栖はパレットを離さず、刷毛でちよいちよい絵具を塗っていた。(縮図)
- ・給仕は昼食の茶をわかしている。(風にそよぐ葦)

しかし、次のような場合、「客体の変化の結果の継続」を表わす。

(i) 意志的動作主体を表わす主語が欠除している場合。

- ・昨日、行ったけれど雨戸を閉めていましたよ。(海と毒薬)

(ii) 主語が意志的動作主体を表わしていない場合。

- ・ 節子は糸屑を落としてなくしていた。さがす気力はなかった。(帰郷)

「なくす、失う、ちらかす、汚す」等は、主体の無意志的動きを表すことが多く、「客体の変化の結果の継続」を表わす。

(iii) 主語が意志的動作主体を表わして、基本的に無生 (inanimate) であって、原因、手段、材料を表している場合。

- ・ 消防車が出かける頃には、沼津は町中飛火で、欠陥が空を染めていた。(人間の運命)
- ・ 宮本さんの蔵書の一部も教員室の中を飾っていた。(桜の実の熟するとき)
- ・ そこには乗客が列をつくっていた。(僕たちの失敗)

しかし、変化する客体が主語で示される主体の部分である場合と客体を主体にとりついたり、とりはずしたりする場合、「主体の変化の結果の継続」を表わすようになる。

- ・ 被害者が前歯を全部折っていたからである。(あすなろ物語)
- ・ 彼はジャンパーを着て、首まきまで巻いていた。(自分の穴の中で)
- ・ 眼鏡を外しているので、眼が見えないんだよ。(夏草冬濤)

(2) 「たたく、撲る、飲む、読む」など、客体はどう変化するか問題としない動詞 (A1 の (ii))、また「歩く、動く」などの主体のうごきを基本的にとらえている動詞 (A1 の (i)) も、動作量=変化量を規定する修飾語がつくと、動きそのものではなく、運動の量的変化を問題としつつ、「変化の結果の継続」を表わすようになる。

- ・ 伸子はその人の作品はほとんど全部読んでいた。(二つの庭)
- ・ こんなに血を吸っているよ。(森の実)

(3) 「歩く、走る、流れる、飛ぶ」等の移動動詞は、移動動作の終了点、目的地を示すマデ格、ニ格がつくと、移動動作そのものではなく、主体の位置変化をとらえつつ「変化の結果の継続」を表わすようになる。

- ・ 「出血してたのね。」「内股まで流れていたわ。」(無影燈)
- ・ 投げる瓦も可なり遠くまで飛んでいた。(黒い雨)

(4) (A1) に属する伝達動詞において、伝達活動そのものよりも、基本的な伝達内容を示す引用の「一ト」をとりつつ伝達結果が問題とされている場合「変化の結果の継続」を表わすようになる。構文的条件としては次の三つのものがある。

① 次のように「手紙の中で」「訴状のなかで」がついている場合。

- ・ この手紙の中で、伊吹さんの奥さんは私を妊婦だと書いていらっしやるわ。(女面)

② 主語がなく伝達主体が問題とされていない場合。

- ・ あ的那天は大変な人出で百十万人とか新聞に書いていましたね。(女であること)

③ 次のように「通信」「新聞」が主語である場合。

- ・ 同通信はまた、十五人のメンバーからなる政治局会議が第一書記の後継者選出をめぐって協議を続けている、と伝えている。(朝日新聞)

以上の(1)から(4)は、動き動詞が「変化の結果の継続」を表わす条件である。逆に変化動詞が、「動きの継続」を表わすようになる構文的条件には次の4つがあげられている。

(1) 「だんだん、次第に、徐々に、ますます、どんどん、ぐんぐん、じりじり、少しずつ、刻々、着々、着実に、日一日と」などの変化の速度あるいは変化のすすみぐあいを規定する修飾語がついている場合。

- ・ 額と鼻と耳からあふれた血は舗道の熱気でどンドン乾いていた。(僕たちの失敗)
- ・ いつの間にかこんなになったんだ、刻々変わってるんだな。(旅愁)

(2) 変化をもたらす動きを規定する修飾語がついている場合。

- ・ 気がつくとよるよる彼女が立ち上がっている。(永遠なる序章)

(3) 動きが行われる場所を示すデ格がついている場合。

- ・ 山の上で雨に濡れていたのですか。(私は忘れない)

(4) 移動動詞において、うつりうごく場所を示すヲ格がついている場合。

- ・ 十人ばかりの子供が大川の土手をガチャガチャ学校から帰っていた (子供の四季)。

また、次のように移動動詞が「～の方へ」「～から」をとっている場合も「動きの継続」を表わすようになるとしている。

- ・ この船は佐渡の方へ戻ってるんじゃないか。(旅路)

以上の(1)から(4)は、変化動詞が「動作の継続」を表わす条件である。

また、派生的な意味である「反復」については、同一主体による運動の反復と複数主体による運動の反復があって、動き動詞からも変化動詞からも区別なく作られるとしている。

- ・ わたし、強い。夜、父のをこっそり飲んでるから。(内灘夫人)
- ・ だからこの村の人は『板』と云っている。(静物)

これらの他に、次のような反復の用法とみられるものがあるとしている。

- ・ 何時行っても画をかいていた。(その妹)
- ・ あの頃のことを思うと、百万ぐらいのお金はしょっちゅう紙入れの中に入っていたんですがねえ。(家)

前者は「動きの継続の反復」であり、後者は「変化の結果の継続の反復」であるとしている。この場合には、シテイルの意味が動き動詞か変化動詞かで対立すると同時に、スルに置き換えることができない。これらの例文では、基本的な意味が変わらないままに、「何時行っても」「しょっちゅう」という反復を示す形式がついたことによって反復の意味が出てくると述べている。

他に「反復」の意味は、「近頃、最近、この頃」のような巾の広い期間を表わす形式、「よく、時々、たびたび、しばしば、しょっちゅう、たまに」のような頻度を表わす形式、「毎日、毎朝、一週間に一度、三日おきに、三日ごとに」、「いつも、いつでも、常に」などの形式がついたときには、その意味が明示されると述べている。

以上、工藤(1982a)を簡単に紹介した。工藤(1982a)は、シテイルのアスペク的な意味はまず、第一には、動詞の語彙的な意味で異なるとしている。しかし、具体的な文においては、一定の構文的な条件によってアスペク的な意味は変わってくるとしている。この構文的な条件として、上述したように、文中での様々な文法的な要素があげられている。たとえば、主語の有無、主体の動作の意志性・無意志性、名詞の格、修飾語などによって移行することが例文を出しながら、詳しく説明されている。

このような方法論において本論文は工藤(1982a)を参考にしている。すなわち、本研究の対象である各補助動詞について具体的な記述をする際に、工藤(1982a)の構文的な条件の捉え方を参考にして考察していきたいと考えている。

5.2. キルギス語の先行研究

キルギス語の動詞についてアスペク的な観点から論じたものはほとんどない。そこで、本研究ではキルギス語の動詞の先行研究として Kудaybergenov(1979)及び Davletov & Kудaybergenov(1980)と Abdubaliev(2008)を取り上げることにする。これらの先行研究は異なる観点から現代キルギス語の動詞について記述している。Kудaybergenov(1979)は動詞の語形成に重点をおいているが、Abdubaliev(2008)は動詞の意味に重点をおいて記述している。これらの先行研究を本研究の考察の際に参考にする。

5.2.1. Kудaybergenov(1979)、Davletov & Kудaybergenov(1980)

Kудaybergenov(1979)及び Davletov & Kудaybergenov(1980)では、キルギス語の動詞の語形成について詳しく取り上げられている。本研究で主動詞の意味的なタイプを考える際に、動詞の形をみるうえで、大いに参考にする（後述）。

Kудaybergenov(1979)及び Davletov & Kудaybergenov(1980)は、キルギス語の動詞を次の2つに分けて、記述している。

- ① 形態論的な手続きによって形成される動詞
- ② 統語論的な手続きによって形成される動詞

以下、それぞれについて簡単に紹介する。

① 形態論的な手続きによって形成される動詞

形態論的な手続きによって形成される動詞とは、名詞に接尾辞がつくことによって作られる動詞のことを言っている。ここでは、いわゆる派生動詞のことを指す。以下、主な接尾辞について簡単に紹介する。

・名詞に-la²¹がついている場合

名詞に-la 接尾辞がつくことによって作られる動詞は、主に主体の動作を表わす。

²¹ 12種類の異形態を作る（表2を参照）。

例) kūrök 「くわ」	küröktö- 「くわを入れる、くわで耕す」
aŋ 「考え」	aŋda- 「考える」
jogoru 「上」	jogorula- 「のぼる」
kabar 「知らせ」	kabarla- 「知らせる」
tīš 「カバー」	tīšta- 「カバーをつける」

・名詞に-lan がついている場合

名詞に-lan 接尾辞がつくことによって作られる動詞は、主体の変化を表わす。

例) sanaa 「心配」	sanaalan- 「心配する」
šat 「楽」	šattan- 「楽しむ」
bulut 「雲」	buluttan- 「曇る」
et 「肉」	etten- 「太る」
öŋ 「色」	öŋdön- 「色めく」

・名詞に-laš がついている場合

名詞に-laš がつくと、動作がある過程において相互に参加することを表わす。

例) dos 「友人」	dostoš- 「知り合う」
aŋgeme 「話」	aŋgemeleš- 「相談する」
birge 「一緒に」	birgeleš- 「協力する」
karši 「反対」	karšilaš- 「対立する」

・その他

他に、-a、-e；-ar、-er；sa、-se；-ča、-čī；-sī、-si；-sīn、-sin などのような接尾辞から成り立つ動詞について記述されている。これらは生産度の低い接尾辞の類にはいる。

例) oyun 「遊び」	oyno- 「遊ぶ」
kīska 「短い」	kīskar- 「短くなる」
suu- 「水」	suusa- 「のどが渴く」
kur 「ベルト」	kurča- 「ベルトをしめる」

② 統語論的な手続きによって形成される動詞

キルギス語には、名詞と動詞の組み合わせで作られ、文法的な機能をはたす動詞がある。たとえば、次のようなものである。

・ēt-

キルギス語では、動詞 ēt-が単独で使用されない。名詞や擬声語・擬態語などと組み合わせ

さって、使われることが多い。

例) tars ət- 「バーンとなる」

jilt ət- 「ピカピカとなる (光る)」

• de-

de-は、日本語に訳すと「言う」に当たる。擬声語・擬態語などと共に使われることが多い。

例) bış de- 「ぱっという」

ču de- 「チュという」

• bol-

bol-は、日本語に訳すと「なる」に当たる。単独でも使われ、語彙的な意味ももつ。bol-は、自動詞の機能を果たす。基本的に状態を表わす。

例) kapa bol- 「悲しくなる」

baš bol- 「指導者になる」

• kıl-

kıl-は、日本語に訳すと「やる、する」に当たる。他動詞を作る。単独で使われることもある。

例) jumuš kıl- 「仕事をやる (する)」

tamak kıl- 「料理をやる (する)」

Kudaybergenov(1979)及び Davletov & Kudaybergenov(1980)では、動詞の形成だけではなく、それぞれの動詞が形成される接尾辞の意味についても詳しく記述されており、更に動詞の例も数多く取り上げられている。

以上、キルギス語の語形成についての先行研究を2つ紹介した。これらの研究は本論文において、次のような点で非常に参考になる。すなわち、本論文では、「主動詞の意味的なタイプ (5.3.1.を参照)」を考えるときに、まず動詞の形を確認する。たとえば、動詞 *kabarla*- 「知らせる」や *ëtten*- 「太る」を例にとると、*kabarla*- 「知らせる」は *-la* 接尾辞 (*kabar-la*-) から、*ëtten*- 「太る」は *-lan* 接尾辞 (*ët-ten-*) から成り立っていることが見てとれる。次に、これらの接尾辞が表わす意味用法について、Kudaybergenov(1979)及び Davletov & Kudaybergenov(1980)を参考にする。上であげた動詞の接尾辞についていえば、Davletov & Kudaybergenov(1980)では、*-la* 接尾辞は主体の動作を表わし、*-lan* 接尾辞は主体の変化を表わすと記述されている。このように、動詞について考えるとき、単に動詞の意味を考えるのではなく、動詞の形²²も大いに参考にしつつ、「主動詞の意味的なタイプ」を取り出す。

²² 資料ⅡのF欄を参照されたい。

5.2.2. Abdubaliev(2008)

Abdubaliev(2008)は、キルギス語の動詞について、意味に重点をおいて記述している。Abdubaliev(2008:156-158)は、キルギス語の動詞を4つのタイプに分類している²³。

- (1) Kiyimil ėtišter 「動作動詞」
- (2) Abal ėtišter 「状態動詞」
- (3) Özgörüm ėtišter 「変化動詞」
- (4) Sezim ėtišter 「感情動詞」

Abdubaliev(2008:156-158)は、それぞれの動詞のタイプについて、次のように記述している²⁴。

(1) Kiyimil ėtišter 「動作動詞」

Кыймыл этиштер кыймыл-аракетти ачык билдирет. Булар кыймыл-аракетти аткаруучу субъект менен кыймылга кириптер болгон обьектилердин катышына карата андан ары дагы бөлүнөт: (p.156) 「動作動詞は、動作を明確に表わす。これらは、動作主体と動作客体によって更に分類される。」

a). Субъектинин кыймылга келишин, бир нерсеге багыталышын билдирген этиш сөздөр:

жүгүр-, чурка-, бас-, жорт-, чап-, ур-, кайт-, чык-, көтөрүл-, калкы-, серүүндө-, тара-(кабар тарады), тарка-ж.б. Мындай этиштер сүйлөмдөгү субъектинин өзүн кыймылга кириптер кылат, башкача айтканда, кыймыл-аракетти аткарган заттын өзү кыймылга келет. (p.156) 「主体が動きをし、なにかの為に向かうことを表わす動詞がはいる。jügür- 「走る」、čurka- 「走る」、bas- 「歩く」、jort- 「探し回る (駈け回る)」、čap- 「早く走る」、ur- 「叩く」、kayt- 「戻る」、čik- 「出る」、kötörül- 「上がる」、kalki- 「浮かぶ」、serüündö- 「散歩する」、tara- 「広がる」(kabar taradi 情報が広がった)、tarka- 「別れる」など。これらの動詞の場合、主体自身が動作をすることになる。」

²³ Abdubaliev(2008)はこの動詞分類の際、参考にしてはいる先行研究について記述していない。

²⁴ Abdubaliev(2008:156-158)の原文はキルギス語であり、筆者自身が日本語に訳した。キルギス語の語の表記なども本論文の表記に従った。例文の斜め字や太字は原文のままである。なお、グロスには、筆者が追加した。

²⁵ 原文では、硬音符の ъ は ѐ で表記されている。本論文でもそのまま示す。

b). Объектини өзгөрүүгө дуушар кылган этиш сөздөр: *каз-, курут-, майла-, самында-, көтөр-, алып бер-, алып кел-, жүр-*(шахматты, картаны, тогуз корголку) ж.б. Мындай этиштер сүйлөмдөгү объекттини, башкача айтканда, кыймыл-аракет барып тийип турган затты кыймылга келтирет. (p.156) 「客体を変化させるような動詞がはいる。 *kaz-* 「掘る」、*kurut-* 「根絶する」、*mayla-* 「塗る」、*samında-* 「石けんをつける」、*kötör-* 「あげる」、*alıp ber-* 「取ってあげる (くれる)」、*alıp kel-* 「持ってくる」、*jür-* 「動かす (*šaxmattı* 「チェスを」、*kartanı* 「トランプを」、*toguz korgoldu* 「トグズ・コルゴール (キルギス伝統ゲーム) を)」」など。これらの動詞の場合、主体の動作が客体を変化させる。」

(2) Abal ětišter 「状態動詞」

Булар даана туюндурулган кыймыл-аракетти эмес, субъектинин кандайдыр бейпилдик ал-абалын билдирет: *отур-, олтур-, жат-, тур-, бол-* ж.б. (p.156) 「これらは動作ではなく、主体のなんらかの空間的な状態を表わす。 *otur-* 「座る」、*oltur-* 「座る」、*jat-* 「横たわる」、*tur-* 「立つ」、*bol-* 「なる」など。」

- *üstöl-dö ěalkala-p Asan agay oltur-a-t.*
椅子-LOC 寄り掛る-CVB PSN 先生 座る-PRES-3
「椅子に寄りかかってアサン先生が座っている。」
- *üě okuuĉu uĉ burĉ-ta tur-a-t.*
三 生徒 三 角-LOC 立つ-PRES-3
「三人の生徒が三カ所の (部屋の) 角に立っている。」

Мисалдардагы *олтурат, турат* деген этиштер кыймылды эмес, Асан агай менен үч окуучунун бир орундагы бейпилдик абалын билдирди. Абал этиштердин этиштик маанилери адатта контекст менен аныкталат. Заттардын кандайдыр бейпилдикте болушу, бейпилдик абалда турушунун өзү аракет болгондугун, аракеттин барып токтогондугун туюндурат. Демек, анын ар жагында кыймыл жатат, ошондуктан мындай сөздөрдү абал этиштер дейбиз. Абал этиштер татаал формада да айтылат. (pp.156-157) 「これらの例文での *olturat* と *turat* という動詞は動作ではなく、アサン先生と3人の生徒のある場所での空間的な状態を示している。状態動詞は文脈によって決定される。事柄の何らかの空間的な状態にあるということは、動作が行われたということを表わす。したがって、その裏には動作が行われている。だから、このような動詞のことを状態動詞という。状態動詞は、複合形式でも用いられる。」

- *Orto-do il-in-gen kooz lyustra üy-dü jarik*
真中-LOC 掛ける-PASS-PART 美しい 照明 家-ACC 明るく
kil-üp tur-a-t.
する-CVB 立つ-PRES-3
「真ん中にかかっている美しい照明が家中を明るくしている。」

- *Biz-din mektep-tin klass bölmö-lör-ü*
私達-GEN 学校-GEN クラス 教室-PL-3:POSS
dayıma taza bol-up tur-a-t.
いつも 綺麗な なる-CVB 立つ-PRES-3
「私達の学校の教室はいつも綺麗になっている。」

(3) Özgörüm etişter 「変化動詞」

Өзгөрүм этиштери субъектинин же обьектинин сандык же сапаттык жактан кандайдыр өзгөрүүгө дуушар болгондугун билдирет: *агар-, жааша-, түлө-, той-, чанай-, кампай-, ичиркен-, семир-, арыкта-, аз-(өңдөн аз)* ж.б. (p.157) 「変化動詞は客体或いは主体の数および質の面からなんらかの変化を受けたことを表わす。*агар-*「白くなる」、*jaša-*「柔らかくなる」、*tülö-*「色あせる」、*toy-*「満腹になる」、*çanay-*「腹一杯になる」、*kampay-*「腹一杯になる」、*içirken-*「身震いする」、*semir-*「太る」、*arikta-*「痩せる」、*az-*「痩せる」(*öñdön az*「青白い顔になる」) など。」

- *Akmat-tin bak-kan mal-i biyil jakši semir-dī.*
PSN-GEN 育てる-PART 家畜-3:POSS 今年 良い 太る-PST1
「アクマトが育てている家畜は今年、よく太った。」

Кыймыл-аракет анча байкала бербейт. Этиш сөз (*семирди*) заттын кыймыл-аракетин эмес, сапаттык жактан өзгөрүшүн билдирип турат. Акырындык менен сапаттык өзгөрүү кыймылынын жүргөнүн байкайбыз. Албетте, заттагы сандык өзгөрүү да, сапаттык өзгөрүү да кыймылдын натыйжасы менен жүрөт. Ошондуктан мындай сөздөрдү кыймыл-аракетти билдирген сөздөр катары сандык-сапаттык өзгөрүү этиштери деп атайбыз. (p.157) 「動作が余りみられない。動詞 (*semirdi* 「太った」) は、物の動作ではなく、質の面から変化したことを表わす。徐々に質の変化が起こっていることが分かる。もちろん、物の数の変化や質の変化は動作の結果によって生じるものである。その為、これらの動詞は動作を表わしつつ、数や質の変化を表わす動詞だと呼ばれている。」

(4) Sezim ėtišter 「感情動詞」

Сезим этиштери субъектини же объектине кыймылга келтирбестен, акыл-ой ишмердигиндеги кыймыл-аракет маанилерин гана туюндурат: *эсте-, түшүн-, ойло-, ук-, тыңша-, бил-, сүй-, сез-, көр-, эшит-, байка-, баамда-ж.б.* (p.158) 「感情動詞は、客体或いは主体に動作を起こすのではなく、認識での動作の意味だけを表わす。*ėste-* 「思い出す」、*tüšün-* 「分かる」、*oylo-* 「考える」、*uk-* 「聞く」、*tüňša-* 「立ち聞きする」、*bil-* 「知る」、*süy-* 「愛する」、*sez-* 「感じる」、*kör-* 「見る」、*ėšit-* 「聞く」、*bayka-* 「観察する」、*baamda-* 「考える、理解する」など。」

Мындай этиштерде аткарылган же аткарыла турган кыймыл-аракет боло бербейт, бирок бул сөздөрдүн лексикалык маанисинде биз баамдагыдай даана кыймыл-аракет болбогону менен кандайдыр натыйжалуу аракет, акыл-эс аракети жатат. Мисалы: *Ушундай мазмунда кат жазганын эстеди.* Этиш сөздө (*эстеди*) кыймыл-аракеттин өзү жок, субъектинин акыл-оюндагы, баамындагы аракеттин натыйжасы гана жатат. (p.158)

「このような動詞には行われた或いは行われる動作にならない。しかし、これらの動詞の語彙的な意味から考えられるように明確な動作が行われないにしても、なんらかの結果的な動作、認識的な動作が存在する。」

- *Ušunday mazmun-da kat jaz-ıl-gan-ı-n ėste-di.*
 このような 内容-LOC 手紙 書く-PASS-VN-3:POSS-ACC 思い出す-PST1
 「このような内容で手紙が書かれていたことを思い出した。」

「動詞 (*ėstedi* 思い出した) には、動作自体はないが、主体の認識や考えの中の動作の結果だけは存在する。」

上では、Abdubaliev(2008)からキルギス語の動詞分類について原文に上がっている動詞や例文を全てそのまま引用した。この動詞分類はどのような観点から分類されているかについて詳しく記述されていない。なお、それぞれの動詞分類には全ての動詞が示されているわけではなく、典型的だと思われるもののみあがっている。

5.3. 本研究の方法論

ここでは、本研究で用いられる方法論について述べる。まず、本研究における語彙的・文法的な条件のとらえ方について説明しておく。

本研究でいう「語彙的・文法的な条件」とは広い意味で用いているものである。具体的には、主動詞の意味的なタイプ（動詞のカテゴリカルな意味）、動詞の種類や文中での他の要素（副動詞接尾辞、補助動詞の形式、名詞の種類、副詞相当句や後置詞句、文の成分等との関係等）のことをいう。この「語彙的・文法的な条件」は、*jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*の各補助動詞形式のアスペク的な意味を明らかにする上で、非常に重要な条件である。

以下、それぞれについて説明する。

5.3.1. 主動詞の意味的なタイプ

「主動詞の意味的なタイプ」の把握においては、主に奥田(1967-1984)と工藤(1982a)を参考にしている。

本研究でいう、「主動詞の意味的なタイプ」というのは、主動詞それぞれの個別的な「語彙的な意味」を指すというよりも、補助動詞が後接する主動詞に「共通する意味」を取り出し、一般化したものである。これによって、補助動詞の文法的な意味に近づくことができる。と考える。「共通する意味」をひきだして記述するという点に重点をおき、各補助動詞の意味特徴がおたがいどのように関連しているかを予測することが可能である。もちろん、こうして一般化されたタイプ（特徴）は、けっして機械的に同列に並べられるものではなく、その間には、一定の関係が存在する。すなわち、ある動詞は、他の補助動詞の場合、一定の語彙的・文法的な条件の下で、異なるタイプに分類されることがありうる。本論文では、「主動詞の意味的なタイプ」を《○○を表わす動詞》と示している。

たとえば、以下の2つの例文をみてみよう。

- Tereze-den kara-sa-m, apa-m bir-deme **jaz-ïp** **jat-ïptür.** (作例)
 窓-ABL 見る-COND-1SG 母-1SG:POSS 一-序数 書く-CVB jat-PST3
 「窓から見たら、母はなにかを書いていたようだ。」
- Al kiyin-ki uçur-da gazeta-ga makala **jaz-ïp** **jür-öt.** (作例)
 彼 後-ki 時期-LOC 新聞-DAT 記事 書く-CVB jür-PRES-3

「彼は最近、新聞に記事を書いている。」

これらの例に現れる jaz-「書く」は、「動作動詞」に属する。しかし、各補助動詞形式の「主動詞の意味的なタイプ」としては、異なるタイプに分類される。まず、最初の例の jaz-は、《主体の活動動作を表わす動詞》にはいるが、次の例の場合、《主体の長期活動動作を表わす動詞》にはいる。jat-の場合に現れる jaz-は、従属節を伴って、その場の母の動作を表わしている。すなわち、ある時点での個別的な動作を表わしているのだ。これに対して、jür-の場合に現れる jaz-は、特定の個別的な状態ではなく、新聞に書かれていることが表わされている。

このように、同じ動詞であっても、組み合わせる補助動詞の種類によって、その動詞の意味の異なる側面が発揮され、「主動詞の意味的なタイプ」は必ずしも同じタイプにはいるというわけではない。

5.3.2. 動詞の分類方法

ここでは、本研究で採用した動詞分類について簡単に述べておく。本研究で、次のような手順で動詞の分類を行った。

まず、各補助動詞形式ごとに「主動詞の意味的なタイプ」を取り出す。これは、前節で述べたように、あるグループの語に共通の語彙的な意味のことである。この「主動詞の意味的なタイプ」は、繰り返しになるが、各補助動詞形式との関係の中でのみ明らかになってくるものである。

次に、取り出された「主動詞の意味的なタイプ」から、動詞全体がいくつかの種類に分けられることが確認できる。これらは、大きく「動作動詞」、「変化動詞」、「状態動詞」、「内的感情動詞」の4つのグループに分類される。これらの動詞は、主体の動作か、主体の変化か、主体の状態か或いは主体の内面的な状態かという意味特徴によって、分類されている。以下、それぞれの分類について、説明しておく。

「動作動詞」とは、主体の動きの側面を表わす動詞である。たとえば、ayt-「言う」、oku-「読む」、oyno-「遊ぶ」、izde-「探す」、ište-「働く」、je-「食べる」、süylö-「話す」、kil-「やる」、küt-「待つ」、jaa-「降る」などは、「動作動詞」である。現代キルギス語の動詞の多くがここに属している。

「変化動詞」とは、主体の変化の側面を表わす動詞である。これらの動詞の場合、動作が終わった後、主体の状態が変わることになる。しかし、「変化動詞」の中に短い時間で変

化する動詞と長い時間をかけて変化する動詞がある。たとえば、前者には açıl-「開く」、jigil-「倒れる」、öl-「死ぬ」、tol-「あふれる」などがあげられる。これに対して、後者には agar-「赤くなる」、tünör-「暗くなる」、alïsta-「遠ざかる」、küböy-「増える」、などのように徐々に変化するものがあげられる。

しかし、これらは、全ての動詞がこの2つの分類にきれいに分けられるとは言いにくい。たとえば、jaša-「生きる、暮らす」は、具体的な動作を表わさないが、長い期間にわたる主体の動きを表わす。したがって、このような動詞は、「動作動詞」に属する。この他、「動作動詞」には、主体の言語活動、視覚・視聴活動を表わす動詞（たとえば、ayt-「言う」、kara-「見る」、など）もはいる。その他に、主体の移動を表わす動詞 ket-「行く」、kel-「来る」、uç-「飛ぶ」などは、主体の動きを表わすと同時に、主体の変化も表わす動詞でもある。本研究では、主体の動作という点に重視して、これらの動詞を「動作動詞」に入れて考えることにする。

「状態動詞」とは、主体の状態を表わす動詞である。ここには動きと変化をともなわない現象を表わす動詞がはいる。ここには、存在の意味を表わす場合の jat-「居る」、jür-「居る」、主体の空間的な関係を表わす kurča-「囲む」、kamti-「含む」、čēle-「占める」、sozul-「伸びる」、などのような動詞がはいる。

「内的感情動詞」とは、主体の内的な感情を表わす動詞である。これらの動詞は、人の思考 (oylo-「考える」、bil-「知る」、sez-「感じる」、išen-「信じる」、tüşün-「分かる」、など) や感情 (kork-「怖がる」、azap ček-「苦勞する」、keyi-「悩む」、kapalan-「悲しむ」、など)、そして、人の評価的な態度 (čarča-「疲れる」、čida-「我慢する」、siymïktan-「誇りに思う」、など)、つまり、人の心の動きを表わす動詞がはいる。

本研究の動詞の分類は、キルギス語の jat-、tur-、otur-、jür-の各補助動詞形式のアスペクト的な意味を明らかにする上で、必要である。上述した「動作動詞」、「変化動詞」、「状態動詞」、「内的感情動詞」の4つのグループの動詞に jat-、tur-、otur-、jür-が後接すると、なんらかのアスペクト的な意味が生じる。

まず、「動作動詞」によって〈動作の持続〉、「変化動詞」によって〈変化の結果の状態〉というアスペクト的な意味が表わされる。しかし、これらのアスペクト的な意味は、一定の語彙的・文法的な条件の下では、「動作動詞」が〈変化の結果の状態〉の意味を表わし、「変化動詞」が〈動作の持続〉を表わす場合がでてくる。更に、キルギス語の場合、動詞の語彙的な意味だけではなく、各補助動詞形式の種類によっても、アスペクト的な意味が異なる場合があり、非常に複雑に相互に絡み合っている。

なお、「状態動詞」と「内的感情動詞」に各補助動詞が後接する場合、基本的に〈状態〉

という文法的な意味を表わすが、本研究では主動詞の意味的なタイプによって、〈状態〉の意味を更に細かく分けている。

キルギス語の場合、日本語と異なり、いくつかの補助動詞形式が使用されるので、それぞれの補助動詞形式の場合にでてくる動詞のタイプが異なる。たとえば、「動作動詞」は、4つの各補助動詞形式いずれとも組み合わせることができる。しかし、それぞれの補助動詞形式によって、「動作動詞」のタイプの偏りがみられる。本研究では、具体的にどのような偏りがあるのかを確認する。

以上、本研究に取り入れた動詞の分類について説明した。まとめると、まず、各補助動詞形式の場合に現れる「主動詞の意味的なタイプ（動詞のカテゴリカルな意味）」を取り出し、タイプ化していく。これらの主動詞の意味的なタイプは、大きく4つの動詞の種類から成り立つ。つまり、動詞全体を対象とする動詞の分類（4つの動詞の種類）とそのある一つの類の中にみとめられる小さな動詞類（「主動詞の意味的なタイプ」）が存在するということである。本論文の記述の際に、まず動詞全体の動詞の種類を示してから、「主動詞の意味的なタイプ」について記述していく方法を選ぶ。

5.3.3. 文中での他の要素

ここでいう「文中での他の要素」というのは、副動詞接尾辞、補助動詞の形式、名詞の種類、副詞相当句や後置詞句、文の成分等と各補助動詞の関係を指す。補助動詞の文法的な意味は、このような文中での他の要素によって、他の文法的な意味に移行してしまうことがしばしばある。以下では、各補助動詞と共起する名詞の種類や副詞相当句、後置詞句等について説明する。

(1) 共起する名詞の種類²⁶

ここで取り上げる名詞の種類は、キルギス語の *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-* の各補助動詞形式の用例を考察する上で参考にする。

名詞は、大きく具体名詞、抽象名詞、現象名詞に分けられる。以下、それぞれについて簡単に例をあげながら、説明しておく。

具体名詞（物名詞）

人名詞：adam「人間」、mugalim「教師」、kuday「神」、mamleket「国」、など

²⁶ 名詞の種類を考える際に、国立国語研究所(2004)『分類語彙表—増補改訂版—』を参考にした。

動物名詞：at「馬」、koy「羊」、uy「牛」、took「鶏」、mal「家畜」、など

物名詞：kitep「本」、tereze「窓」、kiyim「服」、avtobus「バス」、など

場所名詞：mektep「学校」、aškana「食堂」、Biškek「ビシケク（地名）」、など

抽象名詞（事名詞）

一般的抽象名詞：madaniyat「文化」、maani「意味」、masele「問題」、など

動作性名詞：okuu「勉強」、iš「仕事」、keb「話」、など

行事名詞：soguš「戦争」、šayloo「選挙」、mayram「祭り」、など

時間名詞：kün「日」、kündör「日々」、jıldar「年月」、ubakit「時」、など

現象名詞

jaan「雨」、kar「雪」、šamal「風」、jaš「涙」、など

(2) 共起する副詞相当句

補助動詞の文法的な意味は、文中に現れる副詞相当句や後置詞句などによって、他の文法的な意味に移行してしまうことが多々ある。ここでは、本研究で扱う「副詞相当句」について簡単に説明しておく。

まず、本研究でいう「副詞相当句」は次のようなものである。

辞書などに「副詞」として載っている tez「早く」、daroo「すぐに」などのような質や様子を表わす副詞、köp「沢山」、biz az「ちょっと」などのように量や程度を表わす副詞、azır「今」、janjı ėle「ちょうどさつき」などのように時間を表わす副詞以外にも、様々な要素が文中で連用修飾語として機能する場合がある。いくつかの語がつながって、全体として副詞と同じような働きをするものも含めて「副詞相当句」と呼ぶことにする。たとえば、次のようなものがあげられる。

擬声語・擬態語を表わすもの：

- barkıldat-ıp kaynat-ıp jat-a-t
グツグツと 煮る-CVB jat-PRES-3
「グツグツと煮ている」

- kürs-tars-ët-ıp urgula-p jat-a-t
ドンドンと 叩く-CVB jat-PRES-3
「ドンドンと叩いている」

移動動作の方法を表わすもの：

- arı-beri bas-ıp tur-a-t
あちこち 歩く-CVB tur-PRES-3
「あちこち歩いている」
- öydö-ıldiy uç-up jür-ö-t
上 下 飛ぶ-CVB jür-PRES-3
「上下に飛んでいる」

(3) 共起する後置詞句

「後置詞句」として、文中に *jaraşa* 「と伴って」、*karay* 「によって」、*sayın* 「と共に」などのような変化の条件を表わすものをいう。たとえば、次のようなものである。

- Temperatura-nin özgörüŝ-ü-nö karay
気温-GEN 変化-3:POSS-DAT よって
ösümdüktüü-lük da özgör-üp otur-a-t. (Biologiya)
植生的-NMLZ EMPH 変化する-CVB otur-PRES-3
「気温の変化によって、植生の成長も変化していく。」

(4) 動作主

文中に現れる動作主が特定者であるか・不特定者であるか、或いは同一主体であるか・複数主体であるかという点についても考える。これらの要素によって、他の文法的な意味に移行する場合が想定される。

(5) 単文か複文か

文の種類（単文或いは複文）によって、各補助動詞形式の文法的な意味が変わることがある。本論では、第Ⅲ部の第13章で各補助動詞が文中に複文として現れる場合にみられるアスペクト的な意味について考える。

第6章 本研究で扱う「副動詞」と「補助動詞」

具体的な考察を行う前に、この章では本研究で扱う「副動詞」と「補助動詞」の定義を明確にしておきたい。

6.1. 本研究で扱う「副動詞」

キルギス語に *čakčıldar* 「副動詞」という品詞が存在する。*čakčıldar* 「副動詞」には人称の接尾辞や時制（過去形、現在形、未来形）などはつかない。文中で動詞は主要な動作を表わすが、*čakčıldar* 「副動詞」は第二義的な動作を表わす。

- Al katkır-ıp küldü.
彼 大声で笑う-CVB 笑う-PST1
「彼は大声で（大声を出して）笑った。」

(Davletov & Kudaybergenov 1980:187)

Davletov & Kudaybergenov(1980:188-192)によると、キルギス語の *čakčıldar* 「副動詞」には、次のような副動詞形が存在する。

-a//e//y²⁷
-ıp//ip
-ganča//-genče
-giča//-giče
-gani//-geni
-gali//-geli
-mayın(ča)//-meyin(če)

これらの副動詞形は、2つに分類される。

- ① *jönököy čakčıldar* 「単純副動詞形」: -a//e//y、-ıp//ip
- ② *tataal čakčıldar* 「複合副動詞形」: -ganča//-genče、-giča//-giče、-gani//-geni、-gali//-geli、-mayın(ča)//-meyin(če)

²⁷ 原文のまま表記している。

②のタイプは、いくつかの接尾辞から成るので、*tataal čakčildar*「複合副動詞形」と言われる。たとえば、副動詞形の*-ganča*は、*-gan*と*-ča*という2つの接尾辞から構成される。

本研究では、上の①の *jönököy čakčildar*「単純副動詞形」、つまり、*-a/-e/-y*、*-ip/-ip* が用いられた補助動詞構造を本研究の対象とする（本研究では、*-a/-y*、*-(i)p* と表記する）。それは、これらの副動詞接尾辞の場合、本研究の対象である各補助動詞が〈持続〉というアスペク的な意味を表わすためである。次節では、これらの副動詞形の意味について Davletov & Kudaybergenov(1980)を参考にして、概説する。

6.1.1. -a/-y 副動詞

子音で終わる動詞には *-a* (*-e*、*-o*、*-ö*) 接尾辞、母音で終わる動詞には *-y* 接尾辞がつく。基本的に次のような意味を表わす(Davletov & Kudaybergenov(1980:188))。

① *Негизги кыймыл-аракет менен кошумча кыймыл аракет мезгилдеш, бир убакта болгонун билдирет:* (pp.188-189)「主要な動作と副次的な動作が同じ時間において行われることを表わす。」

• *Çоң бүркүт екен, канат-и-n jay-a otur-up kal-dī.*
 大きい 鷹 MOD 羽-3:POSS-ACC 広げる-CVB 座る-CVB 残る-PST1
 「大きな鷹みたい、羽を広げ、座ってしまった。」

• *Kol-u-nda-gī sumka-sī-n al-a čurka-dī.*
 手-3:POSS-LOC-kī 鞆-3:POSS-ACC 持つ-CVB 逃げる-PST1
 「手に持っている鞆を持って走った。」

② *Кээде удаалаш кыймыл-аракетти да билдирет;мындай учурда чакчылдар формасындагы кыймыл негизгиге караганда мурда иштелген болот:* (pp.188-189)「時々、同時の動作を表わす。このような時、副動詞は主動詞より先に行われるようになる。副詞的な用法である。」

• *Ėkzamen-der-ge aldīn al-a dayarda-n-gan bol-ču.*
 試験-PL-DAT 前 持つ-CVB 準備する-REFL-CVB なる-PST4
 「(彼は)試験に前もって準備したんだ。」

- **Kabar-dī ug-a jol-go čik-tī-k.**
知らせ-ACC 聞く-CVB 道-DAT 出る-PST1-1PL
「(私たちは) 知らせを聞き、外に出た。」

③ **Негизги кыймылдын иштелиш ыгын билдирет:** (pp.188-189) 「主要な動作を修飾する。」

- **Bak — čarbag-ī-n aylandir-a kurča-dī.**
木 庭-3:POSS-ACC 回る-CVB 囲む-PST1
「(彼は) 庭を回って、囲んだ。」

- **Kalpakbay aga ormoy-o kara-dī.**
PSN 彼:DAT にらむ-CVB 見つめる-PST1
「カルパクバイは、彼ににらみ(ながら) 見つめた。」

④ **Кыймыл-аракеттин күч менен иштелгенин билдирүү үчүн колдонулат:** (pp.188-189) 「動作が強勢的に行われたことを表わす。」

- **katkīr-a kül-dū.**
大声で笑う-CVB 笑う-PST1
「(彼は) 大声で(大声を出して) 笑った。」

- **Kīmiz-dan ayak-ka toltur-a — toltur-a kuy-du.**
馬乳酒-ABL 茶碗-DAT いっぱい いっぱいにする-CVB 注ぐ-PST1
「馬乳酒から茶碗にいっぱいいっぱいにして注いだ。」

⑤ **Негизги кыймылдын иштелишин чегин көрсөтөт.** Мындай учурда чакчылдар да, негизги этиш да терс формада колдонулат. Ушул мааниси боюнча чакчылдардын **-a//-e//-й** формасы грамматикалык синоним боло алышат: (pp.188-189) 「主要な動作の制限を表わす。このような場合、副動詞も、主動詞も否定形で用いられる。この意味で **-a//-e//-й** 形は文法的な同意語になることができる。」

- **Ėl kel-be-y, jīynališ baštal-ba-y-t.**
国民 来る-NEG-CVB 会議 始まる-NEG-PRES-3
「国民が来ない(と)、会議が始まらない。」

6.1.2. -(i)p 副動詞

子音で終わる動詞に-(i)p (この接尾辞は、母音調和により、-ip、-ip、-up、-üp という異形態をもつ) 接尾辞がつき、母音で終わる動詞に-p 接尾辞がつく。主に次のような意味を表わす(Davletov & Kudaybergenov(1980:189-190))。

- ① Негизги этиштин кыймылынан мурун болгон кошумча кыймыл аракетти билгизет: (pp.189-190) 「主要な動作より先に行われた副次的な動作を表わす。」

- Kel-e jat-kan-dar-dī **kör-ö** **koy-up,**
 来る-CVB jat-PART-PL-ACC 見る-CVB 置く-CVB
 ayal üy ič-i-n jïynaštïr-a bašta-dī.
 女 家 中-3:POSS-ACC 片づける-CVB 始める-PST1
 「やってくる人々を見ておいて、女は家の中を片付け始めた。」

- ② Удаалаш кыймыл-аракетти билгизүү үчүн колдонулат. Мындай учурда кыймыл-аракеттер бири-бири менен убакыт боюнча тыгыз байланышта болушат, биринин артынан бири болгону көрсөтүлөт: (pp.189-190) 「同時に行われた動作を表わすために、用いられる。このような動作は、時間的な過程において密接な関係を持ち、同時に行われることを表わす。」

- ...kuyruk-tar-ī menen öz-dör-ü-n **čapkıla-p,** jer **tepkile-p,**
 尻尾-PL-3:POSS で 自分-PL-3:POSS-ACC 叩く-CVB 土 蹴る-CVB
 tuš—tuš-ka kač-ïp jönö-š-tü.
 他方-DAT 逃げる-CVB 行く-RECIP-PST1
 「... (彼らは) しっぽで自分達を叩いたり、土をけったりして、他方に逃げていった。」

- ③ Негизги кыймылдын иштелишин ыгын, амалын билдирет: (pp.189-190) 「主要な動作の実行された方法や、やり方を表わす。」

- Okuuču-lar kitepkana-da oltur-gan
 生徒-PL 図書館-LOC 座る-PART
 mugalim agay-ī menen **iyil-ip** salamdaš-tī.
 教師 先生-3:POSS と お辞儀する-CVB 挨拶する-PST1
 「生徒たちは図書館にいる男性の先生と**お辞儀**して挨拶した。」

- Kitep-te-gi jomok-tu **šarildat-ïp** oku-y başta-dï.
本-LOC-kï 昔話-ACC すらすらと 読む-CVB 始める-PST1
「本の昔話をすらすらと読み始めた。」

④ Негизги кыймыл-аракеттин максатын же себебин көрсөтөт: (pp.189-190) 「主要な動作の目的や原因を表わす。」

- Sarï-Jaz-dïn baş-ï-na ěčki — teke **izde-p** bar-ïp kal-dï-m.
PLN-GEN 頭-3:POSS-DAT 山羊 鹿 探す-CVB 行く-CVB 残る-PST1-1SG
「サルージャズの方に鹿などを探しに行っただんです。」

- Siz-ge uĉuraš-a **ket-eyin**
あなた-DAT 挨拶する-CVB 帰る-1SG:VOL
de-p kayrïl-a kal-dï-m.
言う-CVB 寄る-CVB 残る-PST1-1SG
「あなたに挨拶して帰ろうと思って、寄りました。」

以上のように *jönököy ĉakčïldar* 「単純副動詞形」の *-a/-y* と *-(ï)p* には、様々な用法が存在する。また、*-a/-y*、*-(ï)p* の否定形は、*-bay* である。

本研究で取り上げる4つの補助動詞の中、*jat-*、*tur*、*jür-*補助動詞は *-a/-y* と *-(ï)p* の両方も組み合わせることができるが、*otur-*は、*-(ï)p* としか組み合わせられない（今回の言語資料から得られた結果（7.2.を参照））。

6.2. 本研究で扱う「補助動詞」の捉え方

ここでは、本研究で扱う「補助動詞」の定義と特徴を記す。

6.2.1. 「補助動詞」の定義

キルギス語には、日本語の「補助動詞」にあたる術語が存在する。キルギス語研究者によって、jardamčï ėtišter「補助動詞」、kömökčü ėtišter「補助動詞」、tataal ėtišter「複合動詞」²⁸などのように様々な名づけが使われている。これらのうち、学校国語教育や現代キルギス語の研究 Davletov & Kudaybergenov(1980)などで用いられている jardamčï ėtišter「補助動詞」という術語が広く知られている。本研究でもこの用語を取り入れる。

Davletov & Kudaybergenov(1980)は、jardamčï ėtišter「補助動詞」を次のように規定している。

“Татаал этиштин составында туруп, негизги этиш аркылуу(туруп) берилген түшүнүктү грамматикалык маани жагынан толуктоо катарында айтылуучу этиштер жардамчы этиштер деп аталат(p.143)... (中略) Кыргыз тилинде этиштин баары эле жардамчы этиш боло бербейт. -a//-e//-ü жана ын формаларындагы чакчылдар менен бириккенде баштапкы лексикалык маанисинин ордуна мезгил менен мейкиндикте кыймыл-аракеттин өтүшүнүн объективдүү мүнөздөмөсүн билдирүүгө жөндөмдүү болгон гана этиштер жардамчы этиш боло алат. (p.145)”「複合動詞の形であって、主動詞によって表される意味を文法的な面から補助する形と言われる動詞群は、補助動詞と呼ばれる。(中略)キルギス語では動詞がすべて補助動詞になれる訳ではない。-a//-e//-y と-(i)p 形の副動詞と組み合わせさせた時に、元の語彙的な意味の代わりに時と空間で動作が行われていることを客観的に描写することができる動詞だけが補助動詞になることができる。」

また、Davletov & Kudaybergenov(1980)は、jardamčï ėtišter「補助動詞」にどのような動詞がなれるかについて次のように言及している。

“Кыймыл-аракеттин убакыт боюнча өтүшүн мүнөздөө үчүн чакчылдар формасындагы негизги компонентке кошулуп колдонулуучу жардамчы этиштер төмөнкүлөр:тур, отур, жүр, жат, сал, тапта, кой, жибер, түш, кел, кет, ал, бер ж.б. (p.145)”「動作が時によって行われることを表わす為に、主動詞の副動詞形に後接する補助動詞は以下のとおりである : tur

²⁸ jardamčï と kömökčü という単語は、日本語に訳すと、両方とも「補助的な」という意味を表わすが、tataal という単語は「複合的な」という意味を表わす。

「立つ」²⁹、*otur*「座る」、*jür*「動く」、*jat*「横たわる」、*sal*「入れる」、*tašta*「捨てる」、*koy*「置く」、*jiber*「送る」、*tüš*「降りる」、*kel*「来る」、*ket*「行く」、*al*「もらう」、*ber*「与える」など。」

このようにキルギス語には、*jardamči* *ëtišter*「補助動詞」とみなされているものは多数存在する。その中から、本研究では、次の4つ補助動詞を研究対象とする。これらの補助動詞は、主動詞によって表わされる動作・状態の〈持続〉を表わす。

jat-/at-、*tur-*、*otur-/oltur-*、*jür-*

jat-/at-、*otur-/oltur-*はそれぞれ異形態である。本論文では、それぞれを *jat-*と *otur-*で代表させて表記する。

6.2.2. 「補助動詞」の形式的な特徴

本研究の対象である *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*の補助動詞としての意味を考察する前に、形式的特徴を整理しておく。

- ・ 補助動詞の場合、主動詞の *-a/-y* または *-(i)p* 副動詞形に後接して表われる。
- ・ 主動詞に後接して表われ、文法的な意味を補助する。
- ・ テンス・アスペクト、モダリティによる語形変化は、主動詞ではなく、補助動詞が受ける。

例) *oku-p* *jat-ti* 「彼は読んでいた」
 読む-CVB *jat-PST1*

oku-p *jat-a-m* 「私は読んでいる」
 読む-CVB *jat-PRES-1SG*

oku-p *jat-sa* 「彼が読んでいたら」
 読む-CVB *jat-COND*

²⁹ 括弧内は単純で本動詞として使われている場合の語彙的な意味である。筆者による補足である。

6.3. 「本動詞」と「補助動詞」の違い

動詞の副動詞形に *jat-*、*tur*、*otur-*、*jür-* が連続して用いられていても、その *jat-*、*tur*、*otur-*、*jür-* が本動詞として用いられている場合がある。このような場合、基本的に次の2種類の場合がある。

- ・ 副動詞と動詞の表わす動きが継起的である場合 (6.3.1.)
- ・ 副動詞の表わす動きが動詞にとって付帯状況的である場合 (6.3.2.)

以下、それぞれについて *otur-* を例にして、実例をあげながら、概説する。

6.3.1. 副動詞と動詞の表わす動きが継起的である場合

ここでは、*otur-* を例に説明する。副動詞が表わす動作と *otur-* が表わす動作が継起的である。

- ・ Kanıbek üy-gö kir-ip otur-du. (Kanıbek)³⁰
PSN 家-DAT 入る-CVB otur-PST1
「カヌベクは家に入って、座った。」

この用例では、副動詞 *kirip* と *otur-* の結びつきが弱く、それぞれが「入る」、「座る」という動作を別々に表わしている。2つの動作が別々なので、上の例の副動詞と *otur-* の間に *stolgo* 「椅子に」、或いは *kečke* 「ずっと」などのように位格場所名詞や副詞などを挿入することができ³¹、こうしたことによっても、それぞれの *otur-* の意味に変化は生じない。

- ・ Kanıbek üy-gö kir-ip stol-go otur-du.
PSN 家-DAT 入る-CVB 椅子-DAT otur-PST1
「カヌベクは家に入って、椅子に座った。」
- ・ Kanıbek üy-gö kir-ip kečke otur-du.
PSN 家-DAT 入る-CVB ずっと otur-PST1
「カヌベクは家に入って、ずっと座つ(てい)た。」

³⁰ 用例を示した後、括弧内に作品名を記す。作品の詳細については、本稿末の「用例出典」を参照されたい。

³¹ 筆者の母語話者としての内省である。

これらの用例では、*otur-*が「座る」という語彙的な意味を表わし、本動詞としてのふるまいをしている。このような現象は、他の3つの補助動詞 *jat-*、*tur-*、*jür-*の場合も同様である。

6.3.2. 副動詞の表わす動きが動詞にとって付帯状況的である場合

ここでは、*otur-*を例に説明する。

- *Xan makul bol-up, kiyim-i-n čeč-ip ber-di da,*
 ハン 承諾 なる-CVB 服-3:POSS-ACC 脱ぐ-CVB 与える-PST1 EMPH
öz-ü ayip-tuu kiši bol-up tizele-p otur-du. (Akılduu dıykan)
 自分-3:POSS 害-ある 者 なる-CVB 跪く-CVB otur-PST1
 「ハンは承諾し、服を脱いで（あげて）、自分が罪を犯したように（床に）ひざまずいて座った。」
- *Biz-di köz-ü-nö il-be-y Kanıbek-ke jalın-ıp,*
 私達-ACC 目-3:POSS-DAT する-NEG-CVB PSN-DAT 懇願する-CVB
bet-i-nen ööp kuçakta-p otur-du. (Kanıbek)
 頬-3:POSS-ABL キスする-CVB 抱く-CVB otur-PST1
 「私達をものともせず、カヌベクに懇願し、彼の頬にキスして、抱いて座った。」

これらの用例では、*otur-*は「座る」ことを表わしており、副動詞の表わす動き（「ひざまずいて」、「抱いて」）は *otur-*にとって付帯状況的である。すなわち、これらの用例では、膝をついた状態のまま、抱いた状態のまま「座る」動作を行ったことを表わす。

これらの用例では、*otur-*は本動詞である、あるいは補助動詞であることが明確に規定できない。同じようなことが他の補助動詞の場合もいえる。

第7章 本研究の言語資料

本研究では、言語資料から実例を集め、考察・分析し各補助動詞形式の文法的な意味を記述するという方法をとる。

以下では、言語資料の選定方法、実例の具体的な抽出方法について述べる。具体的な言語資料の出典については、本稿末の「用例出典」を参照されたい。

7.1. 資料の選定方法

本節では、本研究で考察・分析の対象とした言語資料について紹介する。本研究では、言語資料として音声言語資料ではなく、文字言語資料を研究対象とする。用例収集の際に、できる限り多様なジャンルから用例を収集することを心掛けた。今回は、文字資料として次のようなものから用例の収集を行った。

- ・ キルギスの学校教科書（文学、生物学、物理学、天文学など）
- ・ 最近の流行小説、ノンフィクション
- ・ 新聞や雑誌

まず、キルギスの学校教科書について説明すれば、キルギスの中等教育（11歳から17歳まで）の国語の授業で使用される全ての教科書を収集し、そこに採用されている文学小説から用例を集めた（教科書に掲載されている部分からのみ、用例を収集した）。教科書には、主にソ連時代に書かれたキルギスを代表する文学作品が多く使われている。そのため、伝統的な言葉遣いや表現があることが予想され、比較的正確な用例が抽出できた。なお、学校教科書から文学小説だけではなく、学校で用いられている *Fizikalik geografiya* 「物理的な地理学」、*Biologiya* 「生物学」、*Fizika* 「物理学」、*Astronomiya* 「天文学」などの教科書からも用例を集めた。これらは、いわゆる「書きことば」の特徴をもつものとみなせるものである。

次に、最近の流行小説とは、ソ連崩壊後（1989年以降）に書かれた小説のことである。これらの作品をキルギスのサイト、<http://www.literatura.kg/>に掲載されている書籍から収集した。最終アクセス日は、2010年3月31日である。

そして、新聞や雑誌は2010年に出版されたものを対象とした（詳細は「本稿末の「用例出典」を参照）。

以上の文字言語資料は、すべて手作業で収集したものである。抽出した用例をエクセルファイルに直接入力し、テキストファイル化した。なお、すべてのキリル文字の用例を本研究の翻字法（2.2.を参照）にしたがって、表示して、分類を行っている。以下、データの見本を示し、それぞれの欄について簡略に述べておく。

表6 データの見本

A	B	C	D	E	F	G	H	I
Alıñ jetse ala jat!	al-	-a/-y	jat-	Astra gülü	Z.Sooronbaeva	56	2006	“Biyiktik” Biškeek
Birok amalsız ajıraşıp jatabız.	ajıraş-	-(i)p	jat-	Kanıbek	K.Jantöšev	85	1985	“Kırgızsta n” Biškeek
Okeandar, deñızder kantıp karmalıp turuşat?	karmal-	-(i)p	tur-	Fizika	Ė.Mambetakun ov	79	2000	“Mektep” Biškeek

- A 欄 : 作品から抽出した用例
 B 欄 : 主動詞
 C 欄 : 当該の主動詞につく副動詞接尾辞
 D 欄 : 当該の主動詞に後接する補助動詞
 E 欄 : 作品名
 F 欄 : 作者
 G 欄 : ページ³²
 H 欄 : 出版年
 I 欄 : 出版社

7.2. 資料から得られた用例数

以下、上で紹介した言語資料から収集した用例の詳細である。

³² インターネットのサイトから収集した作品の場合、空白にする。

表7 本論文の全体の用例数

補助動詞	-(i)p 副動詞接尾辞		-a/-y 副動詞接尾辞		全体の用例数
	用例数	割合	用例数	割合	
jat-	1121	30.3%	181	34.4%	1302
tur-	1248	33.7%	310	58.9%	1558
otur-	480	13.0%	0	0.0%	480
jür-	851	23.0%	33	6.7%	884
合計	3700	100.0%	526	100.0%	4224

この表には、各補助動詞の用例数を副動詞接尾辞の種類によって示している。-(i)p 副動詞形の用例は、-a/-y 副動詞形と比べると、圧倒的に多い。-(i)p 副動詞形の場合、tur-の用例数は最も多く 1248 例に対して、otur-は最も少なく 480 例である。一方、-a/-y 副動詞形の場合、otur-の用例は全く出てこない。これらの用例は、同様なレベルで収集した結果、このような結果になった。

なお、本論文の第14章で述べる「主動詞が否定接尾辞を含む場合」の用例数は上の表の数には入っていない。本論文の言語資料を採集し始めた当初は、各補助動詞を肯定文、否定文と分けずに用例を集めた。その結果、否定接尾辞が含まれる用例は圧倒的に少なかった。今回、「主動詞が否定接尾辞を含む場合」の用例数は、本論文の全体の用例数から外している。

表8 主動詞が否定接尾辞を含む場合（〔V-NEG-CVB AUXV〕形）

補助動詞	用例数
jat-	40
tur-	83
otur-	8
jür-	64
合計	195

第Ⅱ部 本論（各補助動詞の考察）

以下、本論である「第Ⅱ部」にはいる。まず、jat-, tur-, otur-, jür-³³の本動詞としての意味について述べる。その後、本研究で収集した具体的な実例をあげながら、補助動詞としての意味について考察を行う。

第8章 本動詞としての jat-, tur-, otur-, jür-

本章では、jat-, tur-, otur-, jür-の本動詞としての意味について、例文（筆者による作例）をあげながら、述べる。

8.1. 本動詞の jat-

本動詞として jat-は、次のように使われる。

- (1) Al divan-ga **jat-ti**³⁴.
彼 ソファー-DAT jat-PST1
「彼はソファーに**横た**わった。」

動詞 jat-は、人主語の場合には、(1)「体を横にする」ことを表わし、日本語の「横たわる」という動詞に対応する。そして、物主語の場合にも使われ、(2)「物が横になる」或いは「物が横にして置いてある」ということを表わす。この場合の jat-を日本語に訳そうとすると、「ある」にあたる。

- (2) Kire beriš-te temir **jat-a-t**.
入口-LOC 鉄 jat-PRES-3
「玄関に鉄が**ある**。」

また、jat-には、次のような使い方も存在する。

³³ まず、人の姿勢を表わす動詞 jat-, tur-, otur-, その次に、人の移動を表わす動詞 jür-という順で考察を進める。

³⁴ 第Ⅱ部では、用例番号を1から始める。

- (3) Men Narin-da beš kün **jat-ti-m.**
 私 PLN-LOC 五 日 jat-PST1-1SG
 「私はナルンに5日いた。」

この文では、jatが「居る」という〈存在〉の意味を表わしている。このような場合、jatは、位格場所名詞と共起して〔人 場所-LOC jat-〕という構文になる。そして、beš kün「5日」、bir aydan beri「1か月前から」などのような状況語と共に現われることが多い。

8.2. 本動詞の tur-

本動詞として tur-は、次のように使われる。

- (4) Al ord-u-nan **tur-du.**
 彼 席-3:POSS-ABL tur-PST1
 「彼は席から立った。」

- (5) Men erte **tur-du-m.**
 私 早く tur-PST1-1SG
 「私は早く起きた。」

上であげた例文から分かるとおり、動詞 tur-は、(4)「ある席についていた人が足を伸ばして自分の体を垂直の姿勢にすること」を表わし、日本語に訳すと「立つ」になる。また、(5)のように、「横になっている人が起き上がること」を表わし、日本語に訳すと「起きる」にあたる。つまり、tur-は、人の姿勢を表わす動詞である。

また、tur-には、次のような使い方も存在する。

- (6) Al Biškek-te **tur-a-t.**
 彼 PLN-LOC tur-PRES-3
 「彼はビシケクに住んでいる。」

この文では、tur-が「立つ」「起きる」の意味を表わすというよりも、「住む、居る」という意味を表わしている。ここでは、〔人 場所-LOC tur-〕のような構文になっている。つまり、人が主語にきて、そして、本動詞 tur-が位格場所名詞と共起する場合に、tur-が〈存在〉の意味を表わす。例文(6)の場合の Biškek「ビシケク」を ogorod「庭(畑)」などのような場所名詞に変えられる。その場合、「住む」というよりも、「いる」という意味を表わす。

- (7) Al ogorod-do tur-a-t.
彼 庭 (畑) -LOC tur-PRES-3
「彼は庭にいる。」

また、次のように物主語の場合にも使われる。この場合、「車が止まっている、存在する」という意味を表わす。

- (8) Eşik-tin ald-i-nda bir kara mašina tur-a-t.
ドア-GEN 前-3:POSS-LOC 一 黒い 車 tur-PRES-3
「ドアの前に一台の黒い車が止まっている (ある)。」

8.3. 本動詞の otur-

本動詞として otur-は、次のように使われる。

- (9) Al ord-u-na otur-du.
彼 席-3:POSS-DAT otur-PST1
「彼は席に座った。」

このように動詞 otur-は、(9)「膝をまげて、腰を下ろすこと」を表わし、日本語に訳すと「座る」になる。つまり、otur-は、人の姿勢の変化を表わす動詞である。このような場合、与格の場所名詞と共に起して〔人 場所-DAT otur-〕という構文になることが多い。

また、次のような使い方も存在する。

- (10) Al azir biz-diki-nde otur-a-t.
彼 今 我々-のもの-LOC otur-PRES-3
「彼は今、我が家にいる。」

この文では、otur-が「座る」という具体的な姿勢の変化を伴う動作の意味を表わすというよりも、「居る」という〈存在〉の意味を表わしている。このような場合、与格ではなく位格の場所名詞と共に起して〔人 場所-LOC otur-〕という構文になることが多い。

なお、otur-は、本動詞として使われる時、物主語の場合に使用されない。

8.4. 本動詞の jür-

本動詞として jür-は、次のように使われる。

(11) Avtobus **jür-dü.**

バス jür-PST1

「バスが動いた。」

この例文から分かるとおり、動詞 jür-は、(11)「ある物の位置が変わって、動くこと」を表わし、日本語の「動く、移動する」に対応する。また、(12)のように、「人がある目的地に向かう」ことを表わし、日本語の「行く」にあたる。この場合、[人 場所-DAT jür-]の構文になる。このように、jür-は、物や人の移動を表わす動詞である。

(12) Men ertej šaar-ga **jür-ö-m.**

私 明日 都会-DAT jür-PRES-1SG

「私は明日、都会に行く。」

また、次のような使い方も存在する。

(13) Al Narin-da **jür-ö-t.**

彼 PLN-LOC jür-PRES-3

「彼はナルンにいる。」

この文では、jür-が「動く」「行く」という物や人の移動を伴う動作の意味を表わすというよりも、「居る」という〈存在〉の意味を表わしている。このような場合、jür-は、位格の場所名詞と共に起して [人 場所-LOC jür-] という構文になることが多い。そして、ここでは、単なる「ある場所に居る」という意味だけではなく、「ある場所で動いて活躍している、居る」という意味が含まれる。

8.5. まとめ

以上、本動詞の jat-, tur-, otur-, jür-の意味について作例をあげながら、簡単に説明した。

その結果、jat-, tur-, otur-, jür-は、いずれも「主体の動作」、又は、「主体の存在（状態）」を表わすことができるといえる。

「主体の動作」を表わす場合、〔人 与格名詞 jat-/tur-/otur-〕という構文をとり、それぞれ、日本語に訳すと、「横たわる」、「立つ」、「座る」にあたり、主体の姿勢変化を表わす動詞である。但し、動詞 jür-は、他の動詞と異なる性質をもっている。jür-は、「主体の移動」を表わす動詞であり、「動く、行く」という意味を表わす。

「主体の「存在（状態）」を表わす場合、〔人/物 位格名詞 jat-/tur-/otur-/jür-〕という構文をとる。この場合、いずれの動詞も「人或いは物がある場所に居る、存在する」という主体の〈存在〉（或いは〈現在の状態〉）の意味を表わす。但し、各動詞によって、ニュアンスや使用の範囲などには相違点がある。

上のように、文の構文的な条件によって、それぞれの動詞の意味が変わる。

この章を踏まえた上で、次章から jat-, tur-, otur-, jür-の「補助動詞」としての文法的な意味を考察する。

第9章 補助動詞 jat-

この章では、補助動詞 jat-の考察を行う。本研究で扱う言語資料から次のようなデータが得られた。

表9 補助動詞 jat-の全用例数

補助動詞形式	異なり語数	延べ語数
V-(i)p jat-	508	1121 例
V-a/-y jat-	4	181 例
合計	512	1302 例

今回の言語資料から V-(i)p jat-形式の場合、異なり語数が 508 個に対して、V-a/-y jat-形式の場合、4 個しか現れず、かなり偏っていることが分かった。次の章から、V-(i)p jat-形式、V-a/-y jat-形式の順に、それぞれの文法的な意味について考える。

9.1. V-(i)p jat-形式の場合

ここでは、V-(i)p jat-形式の場合に生じる jat-の文法的な意味について考察する。今回のデータから、次のような動詞の種類が現れた。

表10 V-(i)p jat-形式の場合に現れる動詞の大分類

動詞の種類	用例数
「動作動詞」	725
「変化動詞」	281
「状態動詞」	19
「内的感情動詞」	94
その他 ³⁵	2
合計	1121

³⁵ 補助動詞としての意味で現れる動詞である。たとえば、次の用例では、kal-「残る」は補助動詞として使われるので、「その他」にはいる。

例) ... tez öç-üp kal-ïp jat-ïr. (Tejir menen süylöşüü)
 早く 消える-CVB 残る-CVB jat-PRES (方言)
 「...早く消えてしまっている。」

V-(i)p jat-形式の場合、全ての動詞の種類が現れた。圧倒的に多く現れたのは、「動作動詞」で、その次に多いのは「変化動詞」だが、「動作動詞」が3分の1強である。

以下、上の順にそれぞれの動詞の場合に現れる主動詞の意味的なタイプの種類と文法的な意味について考える。

9.1.1. 「動作動詞」

V-(i)p jat-形式の場合、主動詞は「動作動詞」が最も多い。「動作動詞」に jat-が後接すると、基本的にある時点における〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。しかし、V-(i)p jat-形式の場合に現れる「動作動詞」をみると、意味的なタイプによって、偏っている。そこで、補助動詞 jat-が後接する主動詞に「共通する意味」を取り出すと、次のような意味的なタイプがみられた。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の活動動作を表わす動詞》	jaz-「書く」、oku-「読む」、oyno-「遊ぶ」、など
《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》	jaša-「暮らす」、soguš-「戦う」、jaz-「書く」、など
《自然現象の動きを表わす動詞》	jaa-「降る」、jinden-「(風が)吹く」、など
《主体の生理的な動きを表わす動詞》	kaltira-「震える」、titire-「震える」、など
《主体の再帰的な動作を表わす動詞》	kiy-「着る、履く、かぶる」、kiyin-「着る」、など
《主体の移動動作を表わす動詞》	jönö-「発つ」、uč-「飛ぶ」、ket-「行く」、など

ここでは、動詞の例として代表的なものを示したが、すべての動詞がこのようにきれいに分類されるわけではない。たとえば、動詞 jaz-「書く」は、語彙的・文法的な条件の下で、《主体の活動動作を表わす動詞》にも、《主体の長期活動動作を表わす動詞》にも分類することができる。つまり、同じ動詞であっても、「主動詞の意味的なタイプ」は必ずしも同じタイプにはいるというわけではない。

以下、V-(i)p jat-形式の場合に現れる主動詞の意味的なタイプとそれらの場合に現れる文法的な意味、そしてその他の特徴について考える。

《主体の活動動作を表わす動詞》³⁶

《主体の活動動作を表わす動詞》の場合、V-(i)p jat-形式は、〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。これが成立するためには、一定の語彙的・文法的な条件が必要となる。

まず、主体の活動動作を表わす動詞でなければならない。この場合、主体は基本的に人や動物といった有情物に限る。

- (14) Boz üy³⁷-dön obočo ěki testiyer bala
 ボズウイ-ABL 遠 二 少年 子
 čikit čaa-p oyno-p jat-iš-a-t. (Telegey)
 おはじき する-CVB 遊ぶ-CVB jat-RECIP-PRES-3
 「ボズウイから離れた所で二人の少年がおはじきをして、遊んでいる。」
- (15) Ęrkeayım menen Asel öz-dör-ü-nün
 PSN と PSN 自分-PL-3:POSS-GEN
 kir-i-n juu-p jat-iš-a-t. (Kanıbek)
 洗濯物-3:POSS-ACC 洗う-CVB jat-RECIP-PRES-3
 「エルケアユムとアセルは自分達の洗濯物を洗っている。」
- (16) Tamak jasa-p jat-kan Ayaz reproduktor-don ber-il-ip jat-kan
 料理 作る-CVB jat-PART PSN 拡声器-ABL 与える-PASS-CVB jat-PART
 «Kırgız val's-ı-na» koşul-up ırda-y-t. (Ękinči ömür)
 キルギスワルツ-3:POSS-DAT 加わる-CVB 歌う-PRES-3
 「料理を作っているアヤズは拡声器から流されている「キルギスワルツ」に加わって歌う。」

そして以下のような場合、ある時点における〈動作の持続〉という意味が補強される。

³⁶ 《 》は主動詞の意味的なタイプを表わす。〈 〉は補助動詞の文法的な意味を表わす。〔 〕は形態論的な特徴を表わす。

³⁷ Boz üy 「ボズウイ (直訳→灰色の家)」とは、遊牧民の移動式住居のことである。いわゆるテント (ユルタ) のことを言う。

・動作が話し手の発話時において行われている場合

- (17) Ėne, ėmne **ġyla-p jat-a-siz?** – de-di tüz ėle. (Arbak bolgondo)
 母 何 泣く-CVB jat-PRES-2SG 言う-PST1 直接 EMPH
 「お母さん、どうして泣いていますか。と直接尋ねた。」

- (18) Tezeš, sen kim-ge telefon **ċal-ġp jat-a-siġ?** (Ėkinċi ömür)
 PSN 君 だれ-DAT 電話 かける-CVB jat-PRES-2SG
 「テゼシ、君は誰に電話をかけているの？」

- (19) Sen **ayt-ġp jat-kan** al-da-ġi
 君 言う-CVB jat-PART その-LOC-kġ
 söz-ġġ-dün baarġ jalġan. (Astra ġülü)
 言葉-2SG:POSS-GEN 全て 嘘
 「君が言っているその言葉の全てが嘘だ。」

- (20) Urkuya ċin **ayt-ġp jat-a-t,** –
 PSN 正直 言う-CVB jat-PRES-3
 de-p Madġmar uul-u tuura-dan ċik-tġ. (Tarġġ ėsteligi)
 言う-CVB PSN 息子-3:POSS 横-ABL 出る-PST1
 「ウルクヤは正直に言っているとマデマルの息子は横から出た。」

・文中に動作が行われている場所を示す位格または奪格が現れている場合

- (21) Bölmö-dö üç adam bar ėken:
 部屋-LOC 三 人 いる MOD
 ėköö bakġlda-p süylö-š-ġp iċ-ġp otur-uptur,
 二人 騒ぐ-CVB 話す-RECIP-CVB 飲む-CVB otur-PST3
 biröö bol-so jalġiz narġ jak-ta kitep **oku-p jat-ġptür.** (Dubal)
 一人 なる-COND 独り 向こう 方-LOC 本 読む-CVB jat-PST3
 「部屋には三人がいたそう。二人は騒いで話しながら飲んでいたので、もう一人は独りであるので本を読んでいたそう。」

- (22) Fedor Ivanoviċ öz bölmö-sü-ndö **ište-p jat-kan** bol-o-t. (Ėkinċi ömür)
 PSN PSN 自分 部屋-3:POSS-LOC 働く-CVB jat-PST2 なる-PRES-3
 「フョドル イワノヴィチは自分の部屋で働いていたんだ。」

- (23) Kanıbek bol-so ayt-il-gan jer-den
 PSN なる-COND 言う-PASS-PART 場所-ABL
 çuŋkur **kaz-ıp jat-a-t.** (Kanıbek)
 穴 掘る-CVB jat-PRES-3
 「カヌベクなら言われた場所から穴を掘っている。」

・文中に出来事が生起する時点・短い時期を表わす副詞相当句が現れる場合

まず、発話時 (azır 「今」) を基準とする時点・時期を表わす場合、「今」、「現在」の意味が明確に表され、発話時において動作が進行中であることが分かる。

- (24) Azır joob-u-n küt-üp jat-a-bız. (Kutbilim・№26)
 今 返事-3:POSS-ACC 待つ-CVB jat-PRES-1PL
 「今、返事を待っています。」

- (25) Azır mektep-te degi kim-der işte-p jat-ış-a-t,
 今 学校-LOC 一体 誰-PL 働く-CVB jat-RECIP-PRES-3
 kim-ge bol-so da tüşünük-tüü da. (Kırgız Tuusu・№58)
 誰-DAT なる-COND EMPH 理解-ある EMPH
 「今、学校でいったい誰が働いているかは、誰にでも、わかっているのだ。」

- (26) Azır 5 jaş-tan 18 jaş-ka çeyin-ki
 今 5 歳-ABL 18 歳-DAT まで-ki
 60–70 bala oku-p jat-ış-a-t. (Zamandaş・№4)
 60 70 子 勉強する-CVB jat-RECIP-PRES-3
 「現在、5 歳から 18 歳までの 60–70 人の生徒が勉強している。」

V-(i)p jat-形式の場合に現れた発話時を基準とする時点・時期を表わす副詞相当句は次のとおりである。

azır 「今」、azır da 「今も」、ěmi 「今」、ěmi gana 「今だけ」、azırınça 「今のところ」、azırkı tapta 「今のところ」、bügün 「今日」、bügünkü 「今日は」、bügünkü kündö 「本日」、azırkı kündö 「本日」、bügünkü mezigil 「今季」、bul kündö 「本秋」、bul učurda 「この時期」、ušul kezde 「今の時期」、bir kezde 「ある時」、など

次に、一定の長さのある期間を表わす *bir neçe künü* 「数日、何日か」、*kündür—tündür* 「昼も夜も」などのような副詞相当句によって、ある時点における〈動作の持続〉の意味が補強される。

- (27) *Bir neçe kün-ü tüşök-tön tur-ba-y İyla-p jat-ti.* (Kanibek)
 一 いくつ 日-3:POSS 寝床-ABL 立つ-NEG-CVB 泣く-CVB jat-PST1
 「(彼は) 何日か寝床から起きあがらないで、泣いていた。」

- (28) *Men siler-ge ayip-tuu-mun, kariz-dan kutul-a-m,*
 私 君ら-DAT 害-ある-1SG 借り-ABL 救われる-PRES-1SG
de-p kündür—tündür işte-p jat-a-m. (Čalgınçılar)
 言う-CVB 昼 夜 働く-CVB jat-PRES-1SG
 「私は君らに悪いです。借りから救われようと、昼も夜も働いています。」

また、*janı ele* 「ちょうどさつき」、*janatan* 「さつきから」などのように時間の起点を明示して表わす副詞相当句が用いられている、動作が持続していることが表わされる。次の用例では、主体の動作が発話時の前から始まって、今も持続していることを表わしている。

- (29) *Biz janı ele siz-der jönündö*
 私達 新 EMPH あなた-PL について
süylö-ş-üp jat-ti-k ele. (Ėkinçi ömür)
 話す-RECIP-CVB jat-PST1-1PL COP
 「私たちは、ちょうどさつき、あなた方について話し合っていたよ。」

・文中に持続的な動きを描写する修飾語が現れる場合

文中に *tatırap* 「がたがたと (動く)」、*barkıldatıp* 「グツグツと (煮る)」、*sülcüldöp* 「シクシクと (泣く)」などのように主体の持続的な動きを描写する修飾語の場合、現在における〈動作の持続〉の意味が明確に現れる。

- (30) *Kara kazan-da-gi et-ti barkıldat-ıp kaynat-ıp jat-a-t.* (Kanibek)
 黒い 鍋-LOC-kı 肉-ACC グツグツと 煮る-CVB jat-PRES-3
 「(彼は) 黒い鍋に入った肉をグツグツと煮ている。」

- (31) İldiy-da dizel' tatıra-p **ište-p** **jat-a-t.** (Ėne mēçrimi)
 下-LOC トラクター がたがたと 働く-CVB jat-PRES-3
 「下でトラクターががたがたと動いている。」

- (32) Batma-nin köz jaš-i bet İldiy ag-İp, köz-ü-n
 PSN-GEN 目 涙-3:POSS 顔 下 流れる-CVB 目-3:POSS-ACC
 kol-u menen bas-İp, sülküldö-p **İyla-p** **jat-ti.** (Čalgınçılar)
 手-3:POSS で 押す-CVB むせび泣き 泣く-CVB jat-PST1
 「バトマの涙が下に向かって流れ、目を手で隠し、むせび泣きをしていた。」

以上、《主体の活動動作を表わす動詞》の場合、ある時点における〈動作の持続〉という意味を表わす場合について考えてきた。

しかし、V-(i)p jat-形式は、必ずしも〈動作の持続〉という意味を表わすわけではない。たとえば、文中に *kayra—kayra* 「何度も」、*kēde* 「時々」、*jil sayin* 「毎年」などのように動作の頻度を表わす副詞相当句が現れる場合、V-(i)p jat-形式は、〈動作の持続〉の意味から〈動作のくりかえし〉という文法的な意味へ移行してしまうことがある。

- (33) Ėmne ėle kayra — kayra **kara-p** **jat-a-siŋ,** bala-m? (Astra gülü)
 何 EMPH 再び 再び 見る-CVB jat-PRES-2SG 子-1SG:POSS
 「息子、どうして、何度も何度も見ているの？」

- (34) Ėč kim-ge sİR čİgar-bas üčün kayra — kayra kol al-iš-İp,
 誰も-DAT 秘密 出す-NEG 為 再び 再び 手 取る-RECIP-CVB
kayra—kayra **öb-üş-üp** **jat-iš-ti.** (Astra gülü)
 再び 再び キスする-RECIP-CVB jat-RECIP-PST1
 「(彼らは) 誰にも秘密がばれないように、何度も握手し、何度もキスしていた。」

- (35) Kayın ėne-m jat-kan bölmö-gö kir-se-m Sapar ėne-si-nin
 義理 母-1SG:POSS 寝る-PART 部屋-DAT 入る-COND-1SG PSN 母-3:POSS-GEN
 töşög-ü-n oŋdo-p, kayra **jat-kiz-İp** **jat-İptür.** (Astra gülü)
 布団-3:POSS-ACC 直す-CVB 再び 横たわる-CAUS-CVB jat-PST3
 「お義母さんが寝る部屋に入ったら、サパルは、お母さんの布団を直して、再び横た
 わらせようとしていた。」

- (36) Jil sayın Alimbek datka³⁸-nün teatraldik
 年ごと PSN 王-GEN 演劇
 festival-ï-n ötkör-üp jat-a-biz. (Tarix eşteligi)
 フェスティバル-3:POSS-ACC 開催する-CVB jat-PRES-1Pl
 「毎年、アルムベク王の演劇フェスティバルを開催しています。」

また、複数主体による動作の場合、〈動作のくりかえし〉という文法的な意味を表わす。

- (37) Bat-pa-y kal-gan-dar-ï ěki-nĉi, üç-ünĉü
 入る-NEG-CVB 残る-PART-PL-3:POSS 二-序数 三-序数
 mašina-ga sekir-ip tüş-üp jat-iş-ti. (Astra gülü)
 車-DAT ジャンプする-CVB 乗る-CVB jat-RECIP-PST1
 「入りきらなかった者たちは二台目、三台目の車に飛び乗っていた（乗ろうとしていた）。」

以上、V-(i)p jat-形式の場合に現れる《主体の活動動作を表わす動詞》についてみてきた。このタイプの場合、V-(i)p jat-形式は、ある時点における〈動作の持続〉という文法的な意味を表わすが、文中での語彙的・文法的な条件によって、〈動作のくりかえし〉の意味へと移行する。

《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》

V-(i)p jat-形式の場合に《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》が現われた。このような動詞に jat- が後接する場合、主体の長期にわたる〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。

ここで取り上げる《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》には 2 種類のタイプの動詞がはいる。

まず、jaša- 「生活する、暮らす」、ĉoņoyt- 「(子供を) 育てる」、soguš- 「戦う」、tarbiyala- 「教育する」などのように、動詞自体が長い期間を表わす動詞がはいる。

- (38) Al biz jak-ka köč-üp kel-ip, jaša-p jat-a-t. (Selsayak)
 彼 私達 方-DAT 引越す-CVB 来る-CVB 暮す-CVB jat-PRES-3
 「彼は私たちの方に引っ越してきて、生活している。」

³⁸ datka 「ダトカ」は、封建時代の身分である。本論文では、「王」と表記しておく。

- (39) Ošol jak-tan očor—bačar bol-uš-up, tört bala-ni čöjoyt-up
 その方-ABL 家族 なる-RECIP-CVB 四子-ACC 育てる-CVB
jat-iš-a-t, alar-din aldi čon turmuš-ka attan-uu-da. (Zamandaš·№4)
 jat-RECIP-PRES-3 彼ら-GEN 前 大きい 人生-DAT 出発する-VN-da
 「あそこで家族をもち、四人の子供を**育てている**。そして、長女が結婚生活に旅立とうとするところだ。」

但し、次のように動詞自体が長い期間を表わす動詞であっても、**ある時点における〈動作の持続〉**の意味を表わす場合もある。

- (40) Siz dem al-ip jat-a-siz,
 あなた 呼吸する-CVB jat-PRES-2SG
 demek, jaša-p jat-a-siz. (Šookum·№7)
 従って 生きる-CVB jat-PRES-2SG
 「あなたは**呼吸**をしている。したがって、**生きているんだ**。」

次に、jaz-「書く」、ište-「働く」などの動詞は短い期間にも、長い期間にも使用される。

- (41) Sen kitep, gazeta—jurnal-dar-ga makala jaz-ip jat-a-siŋ. (Kaada-salt...)
 君 本 新聞 雑誌-PL-DAT 記事 書く-CVB jat-PRES-2SG
 「君は本や新聞や雑誌などに記事を書いている**(執筆している)**。」
- (42) Kırğızstan-da bir neče altın ken-i ište-p jat-a-t. (Fizikalik geografiya)
 PLN-LOC いくつか 金鉱-3:POSS 働く-CVB jat-PRES-3
 「キルギスタンでは、いくつかの金鉱が**稼働**している**(働いている)**。」
- (43) ...učur-da 163 pansionat ište-p jat-a-t. (Ėrkin Too·№65)
 現在-LOC 163 療養所 働く-CVB jat-PRES-3
 「...現在、163の療養所が**稼働**している**(働いている)**。」

上の用例のいずれの場合も主体の動作が長い期間において持続しているといえる。このような場合、主体の**長期にわたる〈動作の持続〉**の意味を表わす。

しかし、次の用例では、jaz-「書く」、ište-「働く」という動詞が使われているが、この場合は、主体の動作が発話時において行なわれており、**現在における〈動作の持続〉**の意味を表わす。

- (44) Bir az tünim öt-kön-dön kiyin
 一 少し 休み 過ぎる-PART-ABL 後
jaz-ïp jat-kan načal'nik-ke karay Kičan: (Kičan)
 書く-CVB jat-PART 上司-DAT 向かって PSN
 「少し時間が過ぎてから、**書いている**上司に向かってクチャンは...」
- (45) İldiy-da dizel' tatirap işte-p jat-a-t. (Ėne mēerimi)
 下-LOC トラクター がたがたと 働く-CVB jat-PRES-3
 「下でトラクターががたがたと**動いている**。」

また、文中に時間の起点や終点を明示して表わす副詞相当句（例；ėki jıldan beri 「二年前から」、buga čeyin 「これまで」、など）が現れることによって、主体の**長期にわたる〈動作の持続〉**の意味が補強される。

- (46) ...bir ay-dan beri Tülkübek üçün işte-p jat-ış-a-t. (Kanıbek)
 一 月-ABL から PSN 為 働く-CVB jat-RECIP-PRES-3
 「... (彼らは) 一か月前からチュルクベクの為に、**働いている**。」
- (47) Ėki jil-dan beri biz-din kolhoz öz küč-ü menen
 二 年-ABL から 私達-GEN コルホーズ 自分 力-3:POSS で
 jañi mektep kur-up jat-kan bol-ču. (Birinči mugalim)
 新しい 学校 建てる-CVB jat-PST2 なる-PST4
 「二年前から私たちのコルホーズは、自分らの力で新しい学校を**建てていたんだ**。」
- (48) Al bu-ga čeyin Orusiya-nin Moskva
 彼 これ-DAT まで PLN-GEN PLN
 šaar-ï-nda darılan-ïp jat-kan. (Ėrkin Too・№64)
 都市-3:POSS-LOC 治療する-CVB jat-PST2
 「彼はこれまでロシアのモスクワ市で**治療**をしていた。」

以上、V-(i)p jat-形式の場合に現れる《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》についてみてきた。この場合、主体の**長期にわたる〈動作の持続〉**の意味を表わすが、具体的な文において動詞の使い方によって、**現在における〈動作の持続〉**という文法的な意味も表わす。

《自然現象の動きを表わす動詞》

ここには、これまでのタイプと異なって、意志的動作主体ではなく、自然現象の動きを表わす動詞がはいる。

V-(i)p jat -形式の場合に現れた《自然現象の動きを表わす動詞》に次のようなものがある。

ak- 「流れる」、jaa- 「降る」、jañirikta- 「響く」、jinden- 「(風が) 吹き荒れる」、kulan- 「(自然現象が) 落ちる」、mončokto- 「(汗が) 流れる、落ちる」、sapiril- 「(空が) 荒れる」、šarpilda- 「(波が) 上がる」、tolku- 「(波が) 押し寄せる」、など

このタイプの場合、jat-は自然現象の〈うごきの持続〉という文法的な意味を表わす。

まず、自然現象の持続的な動きを表わす動詞がここにはいる。たとえば、次の jaa-「降る」、jinden- 「(風が) 吹く」などのよう動詞である。

- (49) Jer körün-bö-y kal-dī, kün jaa-p jat-a-t...(Üčünčü šar)
 地 見える-NEG-CVB 残る-PST1 日 (雨) 降る-CVB jat-PRES-3
 「地面が見えなくなってしまった。雨が降っている。」

- (50) Kum uč-ur-gan kara šamal jinden-ip jat-tī. (Čalginčilar)
 砂 飛ぶ-CAUS-PART 黒 風 狂う-CVB jat-PST1
 「砂を飛び散らす黒い風が狂っていた (強い風が吹き狂っていた)。」

そして、次のような場合、現在における自然現象の〈うごきの持続〉という意味が補強される。

まず、lapildata 「次々と (雪の場合に限る)」、kürküröp 「ごうごうと」、möltüldöp 「たらたらと」などのような主体の持続的な動きを描写する副詞相当句が文中に現れる場合である。

- (51) Kün bürkök, lapildat-a suuluu sarī kar jaa-p jat-iptür. (Betme-bet)
 天気 曇り 次々と 水っぽい 黄色い 雪 降る-CVB jat-PST3
 「天気が曇って、次々と水っぽい黄色い雪が降っていたそうだ。」

- (52) ...kürküröp ag-ip jat-kan čoŋ
 ごうごうと 流れる-CVB jat-PART 大きい
 suu-nu közdöy irgīt-a bašta-dī-m...(Üčünčü šar)
 水-ACC 向かって 投げる-CVB 始める-PST1-1SG

「... (私は) ごうごうと流れている大きな水 (川) を目がかけて、投げ始めた。」

- (53) Bet ildiy möltüldö-p ag-ïp jat-kan köz jaš-ïm-din
 顔 下 たらたらと 流れる-CVB jat-PART 目 涙-1SG:POSS-GEN
 kičkil daam-ï ooz-um-a kir-ïp jat-tï. (Astra gülü)
 酸っぱい 味-3:POSS 口-1SG:POSS-DAT 入る-CVB jat-PST1
 「顔からたらたらと流れている涙の酸っぱい味が自分の口に入っていた。」

次に、自然現象の動きの様子を規定する修飾語が使われる場合である。

- (54) Čïnar-dïn dal tïb-ü-nön atïrïl-ïp čïg-ïp
 ポプラ-GEN 丁度 底-3:POSS-ABL 湧く-CVB 出る-CVB
 jat-kan tunuk bulak bar eken. (Altïn kuš)
 jat-PART 透明 泉 ある MOD
 「ポプラのちょうど底から湧いて出ている透明な泉があるそうです。」

- (55) Jana-tan kurga-ba-y ag-ïp jat-kan kol-um-dun
 さっき-ABL 乾く-NEG-CVB 流れる-CVB jat-PART 手-1SG:POSS-GEN
 “ter-i-n” ěmi gana kör-dü-m. (Telegey)
 汗-3:POSS-ACC 今 EMPH 見る-PST1-1SG
 「さっきから乾かないで流れている手の汗を今ようやく、見た。」

以上、V-(i)p jat-形式の場合に現れる《自然現象の動きを表わす動詞》は、基本的に現在における自然現象の〈うごきの持続〉という文法的な意味を表わす。この意味が副詞相当句や修飾語などによって、文中に明瞭に現れる。

《主体の生理的な動きを表わす動詞》

今回の調査で得られた動詞のうち、《主体の生理的な動きを表わす動詞》に次のようなものがある。いずれも日本語に「震える」と訳されるが、キルギス語の場合、人や動物によって使い分けられる。

kaltïra-「震える」、solkulda-「震える」、tïbïra-「震える」、tïbïrčïla-「震える」、tuyla-「震える」、など

これらの動詞の場合も、jat-は主体のある時点における〈うごきの持続〉という文法的な意味を表わす。このタイプの動詞は、それほど頻度が高いわけではないが、他のタイプと種類が異なるので、別に取り上げることにする。

- (56) Baybiče uyal-dī-bī, aytor kol-u kaltıra-p jat-īp,
 おばさん 恥じる-PST1-Q なぜか 手-3:POSS 震える-CVB jat-CVB
 baška uya-ga belgi sal-iptir. (Bataköy çal)
 他 巢-DAT 印 つける-PST3
 「おばさんが恥ずかしかったのか、なぜか彼女の手が震えていて、他の巢に印をつけたそうだ。」
- (57) Čabdar baş-ī-n jer-ge urgula-p, korkura-p, čaa-p
 馬 頭-3:POSS-ACC 地-DAT 叩く-CVB 大声で 走る-CVB
 bar-at-kansı-p, tort ayag-ī tıbıra-p jat-ti. (Ėrte kelgen turnalar)
 行く-jat-ふりをする-CVB 四 足-3:POSS 震える-CVB jat-PST1
 「馬は頭を土に叩き、大声で騒ぎ、まるで走っているように4本の足が震えていた。」

《主体の再帰的な動作を表わす動詞》

ここでいう、《主体の再帰的な動作を表わす動詞》とは、自分の動作が自分自身に働きかけ、自分自身の状態になんらかの変化をもたらす再帰的な意味をもつ動詞のことである。

今回の調査で得られた動詞のうち、《主体の再帰的な動作を表わす動詞》に次のようなものがある。

kiy- 「着る」、kirin- 「洗う」、kiyin- 「着替える」、kurčan- 「ベルトをする」、juun- 「洗う」、など

キルギス語には、再帰的な意味をもつ動詞には2種類存在する。

まず、動詞自体が再帰的な意味を表わすものである。たとえば、kiy- 「着る、履く、かぶる」、juu- 「洗う」などの動詞があげられる。日本語の「再帰動詞」と言われるものに相当する。

- (58) ...ötüg-ü-n kiy-ip jat-īp, Düyšön menin
 靴-3:POSS-ACC 着る-CVB jat-CVB PSN 私:GEN

ürpöy-gön tür-üm-dü kör-üp,...(Birinçi mugalim)

ボサボサ-PART 顔-1SG:POSS-ACC 見る-CVB

「...靴を履いていて、ディションは私のボサボサした顔を見て、...」

次に、動詞に再帰を表わす接尾辞-(i)n-（母音調和により変化する）がつくものである。たとえば、kiyin-「着る」、kurčan-「ベルトをする」、tagin-「(ネクタイを)しめる」などがあげられる。

(59) Men **kiy-in-ip** **jat-kan-da** koşşu-nun kempir-i: (Küünün siri)

私 着る-REFL-CVB jat-PART-LOC 隣人-GEN 奥さん-3:POSS

「私は着替えていた時、隣の奥さんが...」

(60) Al erkekçe **kiy-in-ip,**

彼(女) 男のように 着る-REFL-CVB

bel-i-n **kurča-n-ip** **jat-kan** ėle. (Küünün siri)

腰-3:POSS-ACC 巻く-REFL-CVB jat-PST2 COP

「(その時)彼女は男のような服装をして、腰を(ベルトで)巻いていたんだ。」

(61) Alar kök kaška muzdak suu-ga azala-p — oxolo-p,

彼ら 真っ青 冷たい 水-DAT アーと オーと

čumku-p **kir-in-ip** **jat-ti.** (Čalginčilar)

潜る-CVB 入る-REFL-CVB jat-PST1

「彼らは凍てつくような冷たい水にアー、オーと言いながら、潜って(自分達の体)を洗っていた。」

これらのいずれの場合も、動作主体が発話時において、動作を行っていることを表わす。つまり、jat-は、ある時点における〈動作の持続〉の意味を表わす。

《主体の移動動作を表わす動詞》

V-(i)p jat-形式の場合に現れた《主体の移動動作を表わす動詞》をさらに詳しくみる。移動動詞を①移動の出発、②移動の様態、③移動そのものを表わす動詞に分けた。V-(i)p jat-形式の場合に現れる、それぞれの用例の内訳を次の表で示す。

表 11 主体の移動動作を表わす動詞-(i)p jat-の用例数

主動詞の意味的なタイプ	用例数
① 移動の出発を表わす動詞	6
② 移動の様態を表わす動詞	15
③ 移動そのものを表わす動詞	35
合計	56

① 移動の出発を表わす動詞

V-(i)p jat-形式の場合にみられた移動の出発を表わす動詞は、次のとおりである。

jönö- 「発つ」、atta- 「出発する」、čik- 「出る」

- (62) Malik, Nazira, men ček ara-ni korg-oo-go jönö-p jat-a-m. (Čalginčilar)
 PSN PSN 私 国境-ACC 守る-VN-DAT 出発する-CVB jat-PRES-1SG

「マリク、ナジラ！私は国境を守りに出発するところだ。」

- (63) Birok men biyak-ka jönö-p jat-kan-dik-tan,
 しかし 私 こちら-DAT 出発する-CVB jat-PART-dik-ABL
 kat menen kabarl-oo-nu tuura tap-ti okšoyt. (Ėkinči ömür)
 手紙 で 知らせる-VN-ACC 正しい 判断する-PST1 MOD

「しかし、私がこちらに**出発する**ところだったから、手紙で知らせることを正しいと判断したかもしれない。」

- (64) ...front-ko attan-öp jat-kan ulan-dar-din
 軍隊-DAT 出発する-CVB jat-PART 男性-PL-GEN
 sapar-i-n tile-p, alar-din šiktan-dir-gan. (Kaada-salt...)
 旅-3:POSS-ACC 祈る-CVB 彼ら-GEN 励む-CAUS-PST2

「...軍隊に**出発しようとする**少年達の旅（の無事）を祈り、彼らを励ました。」

- (65) Ošol čet ölkö-gö **čig-ïp jat-kan** ėmgek migrant-tar-ï-na
 その 外 国-DAT 出る-CVB jat-PART 労働 移民-PL-3:POSS-DAT
 ėskertme je joldomo kagaz tarat-uu... (Zamandaš・№4)
 注意点 或いは 案内 紙 配る-VN

「その外国に出かけようとする労働移民らに注意点或いは案内書を配ることだ。」

これらの用例の場合、主動詞は「出発の動作」に重点をおいて、目的地へはまだ着いていない。この場合、jat-は、主体の〈動作の開始〉という文法的な意味を表わす。

② 移動の様態を表わす動詞

V-(ï)p jat-形式の場合にみられた移動の様態を表わす動詞は、次のとおりである。

aylan- 「回る」、jür- 「(自動車)が走る」、öt- 「通る」

V-(ï)p jat-形式の移動の様態を表わす動詞の場合、基本的に物・事主語に限る。今回の言語資料からは、人主語の用例はみられなかった。

まず、物主語の用例としては次のようなものが出た。この場合、jat-は、主体の〈動作のくりかえし〉という文法的な意味を表わす。

- (66) Al jol-dor-do **jür-üp jat-kan** avtomašina-lar-dïn
 あの 道-PL-LOC 走る-CVB jat-PART 自動車-PL-GEN
 tüz-dön-tüz tieše-si bar. (Zamandaš・№4)
 直-ABL 直 関係-3:POSS ある

「あの道で走っている自動車(達)は直接関係している。」

- (67) Bul küz-dö ėšelon-dor bir-i-nin art-ï-nan
 この 秋-LOC 電車-PL 一-3:POSS-GEN 後-3:POSS-ABL
 bir-i batış-ti közdöy tün-ba-y **öt-üp jat-ti.** (Betme-bet)
 一-3:POSS 西-ACC 向かって 止まる-NEG-CVB 通る-CVB jat-PST1

「この秋に、(軍隊用の)電車が次から次へと西に向かって、途絶えることなく通っていた。」

このようにjür- 「(自動車)が走る」、öt- 「通る」の動詞が現れた。この他に、次のaylan- 「回る」という動詞が出た。

- (68) Biz planeta-lar-dī Kün-dün tegereg-i-nde öz-ü aylan-üp
私達 惑星-PL-ACC 太陽-GEN 回り-3:POSS-LOC 自分-3:POSS 回る-CVB
jat-kan-dig-i-n Jer-den tur-up bayka-y-biz. (Astronomiya)
jat-PART-dik-3:POSS-ACC 地球-ABL tur-CVB 監視する-PRES-1PL
「私たちは惑星たちが太陽の周りを回っていることを地球から、観察します。」

次に、事主語の用例として *öt*-「過ぎる」動詞の例があげられる。物主語の場合と異なつて、主体の具体的な移動動作を表わすというよりも、時間の経過を表わす。

- (69) Ubakit **öt-üp** **jat-ti.** (Astra gülü)
時 過ぎる-CVB jat-PST1
「時が過ぎていた (過ぎつつあった)。」

- (70) Kün art-i-nan ay-lar, jil-dar **öt-üp** **jat-ti.** (Čalgınçılar)
日 後-3:POSS-ABL 月-PL 年-PL 過ぎる-CVB jat-PST1
「日が過ぎ、月が過ぎ、年が過ぎていた (過ぎつつあった)。」

以上、*V-(i)p jat*-形式の移動の様態を表わす動詞の用例をみてきた。これらの用例の特徴としては、いずれも複数主体によるものである。このような場合、主体の動作がくりかえし行われることを表している。

③ 移動そのものを表わす動詞

V-(i)p jat-形式の場合にみられた移動そのものを表わす動詞は、次のとおりである。

ket-「行く」、kel-「来る」、bar-「行く」、kir-「入る」、kayt-「戻る」、jet-「着く」

V-(i)p jat-形式の場合、最も多く現れたのは、移動そのものを表わす動詞である。全部で35例現れたが、これらを次の2つのグループに分けることができる。

- ・〔移動動詞-(i)p jat-〕形式で現れる場合
- ・〔*V-(i)p* 移動動詞-(i)p jat-〕形式で現れる場合

以下、それぞれについて用例をあげながら、述べる。

A. 〔移動動詞-(i)p jat-〕形式で現れる場合

移動動詞が本動詞として現れる場合、主体の具体的な移動動作と抽象的な移動動作を表わす用例がみられた。

まず、主体の具体的な移動動作を表わす場合、次のような用例が現れた。これらの用例の場合、いずれも複数主体による移動動作である。この場合、jat-は、〈動作のくりかえし〉という文法的な意味を表わす。

- (71) Azirınča akürindik menen abiturient-ter
 今の所 少しずつ と 受験生-PL
kel-ip jat-ış-a-t. (Kutbilim·№26)
 来る-CVB jat-RECIP-PRES-3
 「今のところ少しずつ受験生が来ている。」
- (72) Temir jol vokzal-ı asker-den **kayt-ıp jat-ış-kan**
 鉄 道 駅-3:POSS 軍隊-ABL 帰る-CVB jat-RECIP-PART
 солдат-tar menen uzatuuçu-lar-ga jik tol-gon. (Čalgınçılar)
 軍人-PL と 見送る人-PL-DAT いっぱい あふれる-PST2
 「鉄道駅は、軍隊から帰ってくる軍人と、見送る人々であふれた。」

また、移動動詞自体が反復して現れる用例がみられた。この場合も、動作が繰り返して行われていることから、〈動作のくりかえし〉の意味を表わす。このような場合、以下のよう同一主体によるものと、別々の主体によるものがみられる。

同一主体によるもの（単数の主体）：

- (73) Jumalı **kel-ip — ket-ip jat-tı.** (Kıçan)
 PSN 来る-CVB 行く-CVB jat-PST1
 「ジュマルは、来たり行ったりしていた。」

別々の主体によるもの（複数の主体）：

- (74) Adattagıday ėle maga ućuraş-uu-ga
 いつも通り EMPH 私:DAT 挨拶する-VN-DAT
kel-ip — ket-ip jat-kan koşuna—koloñ... (Astra gülü)
 来る-CVB 行く-CVB jat-PART 隣人 隣人
 「いつも通り、私への挨拶に来たり行ったりしていた隣人たちは、...」

次に、主体の抽象的な移動動作を表わす場合、次のような用例が現れた。

この類の場合、文中に *kadamga* 「道に」、*bütümgö* 「結論に」、*pensiyaga* 「年金に」などのように抽象名詞の与格をとるのが特徴的である。これらの場合に現れる移動動詞は具体的な移動そのものを表わすというより、抽象的な移動動作を表わすといえる。そして、いずれの用例の場合、複数主体によるものである。この場合の *jat-* は、主体の〈動作のくりかえし〉という文法的な意味を表わす。

- (75) *Baldar-din munday kadam-ga*
 子供達-GEN このような 一歩-DAT
bar-ip jat-iš-i-nin dagi bir sebeb-i –…(Kutbilim・№5)
 行く-CVB *jat-VN-3:POSS-GEN* もう 一 原因-3:POSS
 「子供達のこのような道に向かっていることのもう一つの原因は…。」
- (76) *Bardik jer-de uşunday bütüm-gö kel-ip jat-iš-a-t. (Čalgıncılar)*
 全て 場所-LOC このような 結論-DAT 来る-CVB *jat-RECIP-PRES-3*
 「全てのところでこのような結論にきている。」
- (77) *Öt-kön kilim-din jetimiş-inçi jil-dar-i*
 過ぎる-PART 世紀-GEN 七十-序数 年-PL-3:POSS
JOJ³⁹-dor-du büt-kön mugalim-der-din jaš-i jet-ip,
 大学-PL-ACC 卒業する-PART 教師-PL-GEN 年齢-3:POSS 着く-CVB
pensiya-ga ket-ip jat-iš-a-t. (Kırgız Tuusu・№58)
 年金-DAT 行く-CVB *jat-RECIP-PRES-3*
 「前世紀の70年代に大学を卒業した教師の定年がきて、年金(受給)に至っている。」

次に、物主語の用例であるが、この場合も、*jat-* は、〈動作のくりかえし〉の意味を表わす。

- (78) *Al ėmi Kıtay mamleket-i-nen kel-ip jat-kan*
 そして 今 PLN 政府-3:POSS-ABL 来る-CVB *jat-PART*
jük-tör tokto-bo-gon-u menen
 荷物-PL 絶える-NEG-PART-3:POSS と
ötö ėle az kölöm-dö bol-gon. (Kırgız Tuusu・№57)
 とても EMPH 少ない 量-LOC なる-PST2
 「そして、今、中国政府からきている荷物は絶えないが、量はとても少なかった。」

³⁹ JOJ : Jogorku Okuu Jayları 「最高学府(大学)」の頭字語である。

B. [V-(i)p 移動動詞-(i)p jat-] 形式で現れる場合

この類は、A 類と異なって、[V-(i)p 移動動詞-(i)p jat-] 形式で現れている場合である。この類の場合も、複数主体による用例がほとんどである。これらの用例でも、jat-は、主体の〈動作のくりかえし〉の意味を表わす。

- (79) Dagī bir masele, azīr Kīrgīzstan-da-gī jaštar-dīn
 もう 一 問題 今 PLN-LOC-kī 若者-GEN
 köpčülüg-ü mektep-ti büt-ör-ü menen
 多く-3:POSS 学校-ACC 卒業する-AOR-3:POSS と
 čet ölkö-lör-gö čīg-īp ket-ip jat-īš-a-t. (Zamandaš・№4)
 外 国-PL-DAT 出る-CVB 行く-CVB jat-RECIP-PRES-3
 「もう一つの問題は、今、キルギスタンの若者の多くが学校を卒業すると同時に、外国へ出ていっていることだ。」

- (80) Front-ton kayt-īp kel-ip jat-īš-kan jigit-ter
 戦場-ABL 帰る-CVB 来る-CVB jat-RECIP-PART 男性-PL
 mīnday imiš-ti kulak-tar-ī čal-īp,... (Čalgīnčīlar)
 このような 噂-ACC 耳-PL-3:POSS 聞く-CVB
 「戦場から帰ってきている男性たちは、このような噂を耳にして、...」

- (81) Al ėmi Rossiya-dan kuruluš material-ī katarī
 そして EMPH PLN-ABL 建築 材料-3:POSS 代わりに
 taš-īl-īp kel-ip jat-kan jīgač-tar... (Kīrgīz Tuusu・№52)
 運ぶ-PASS-CVB 来る-CVB jat-PART 木材-PL
 「そして、ロシアから建築材料のために運ばれてきている木材は、...」

上で V-(i)p jat-形式の場合に現れた移動そのものを表わす動詞の用例をみてきた。この場合、複数主体による移動動作であることが特徴的である。このような場合、jat-は、〈動作のくりかえし〉という文法的な意味を表わす。

9.1.2. 「変化動詞」

V-(i)p jat-形式に現れる「変化動詞」の場合、次のような意味的なタイプが取り出された。以下、それぞれについてみる。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》	öl- 「死ぬ」、tokto- 「止まる」、tol- 「あふれる」、tünör- 「暗くなる」、ëri- 「溶ける」、ura- 「倒れる」、など
《人の社会的な変化を表わす動詞》	baš koš- 「結婚する」、ajıraš- 「離婚する」
《主体の漸進的な変化を表わす動詞》	kötörül- 「上がる」、küçö- 「増える」、ös- 「伸びる」、ulant- 「続ける」、など

《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》

《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》の場合、基本的に主体の《変化の結果の状態》の意味を表わす。つまり、動作が終わった後、主体の変化した状態が持続することになる。主語は、人だけではなく、物事もとる。

まず、人主語の用例をみてみよう。

- (82) Ėmne bol-gon-u-n kör-bö-y tur-a-sız-bi! –
 何 なる-VN-3:POSS-ACC 見る-NEG-CVB tur-PRES-2SG-Q
 de-p Nazira **öl-üp jat-kan** soldat-tar-dī kōrsöt-tü. (Čalginčilar)
 言う-CVB PSN 死ぬ-CVB jat-PART 軍人-PL-ACC 見せる-PST1
 「何が起こったか分からないのか！とナジラは死んでいる軍人たちを見せた。」

- (83) Bekturgan **öl-üp jat-kan** ayal-ga jet-ip bar-ïp,
 PSN 死ぬ-CVB jat-PART 女性-DAT 着く-CVB 行く-CVB
 üñül-üp kara-p al-dī da,
 下を確かめる-CVB 見る-CVB 取る-PTS1 EMPH
 ëñkey-ip kol-u-nan tart-ti. (Jaralangan jürök)
 うつむく-CVB 手-3:POSS-ABL 引く-PST1
 「ベクテルガンは死んでいる女性に近づいて行って、確かめるように見つめてから、うつむいて手から引っ張った。」

これらの文では、軍人や女性が「死ぬ」途中（或いは「死にかけている」）のではなく、もうすでに「死んだ」後の変化した結果の状態を表わしている。このように主体の〈**変化の結果の状態**〉の意味を表わす場合、補助動詞 jat- が使われるのが特徴的である。他の補助動詞 (tur-, otur-, jür-) を使うことができない。これは jat- の語彙的な意味に深くかかわっている。jat- は第8章で述べたように、本動詞として「体を横にする」、或いは「横たわる」という意味を表わす。「死ぬ」という動詞も、最終的に「横になった状態」を指すので、jat- が使われる。

jat- は本動詞として使われる場合、物主語をとることができる（第8章を参照）。jat- は補助動詞として使われる場合も、物主語をとることができる用例がみられた。この場合は、物事の〈**変化の結果の状態**〉の意味を表わす。

- (84) Stol-dun üst-ü-ndö top — top
 机-GEN 上-3:POSS-LOC いっぱい いっぱい
bol-up jat-kan kitep, jurnal-dar. (Ėkinči ömür)
 なる-CVB jat-PART 本 雑誌-PL
 「机の上で山ずみになっているのは本や雑誌である。」

- (85) Köçö-dö bak de-gen **tol-up jat-a-t**,... (Birinči mugalim)
 外-LOC 木 言う-PART あふれる-CVB jat-PRES-3
 「外には木というものがあふれている。」

上の用例は、[場所-LOC 物 V-(i)p jat-] の構造で現われており、「ある場所に物が（横になって）存在している」という意味を表わす。つまり、これらの用例において、jat- は本来の語彙的な意味が関係している。したがって、これらの用例の場合の jat- を補助動詞 tur-, otur-, jür- と置き換えようとしても、置き換えることはできない。

しかし、次の用例のように必ずしも jat- の語彙的な意味とかかわっているとはいえないものもある。

- (86) Keleček jönündö söz **bol-up jat-a-t**. (Tarix ёsteligi)
 未来 について 話 なる-CVB jat-PRES-3
 「未来について話題になっている。」

- (87) Oy, sen ün-ba-y-siñ, makala,
 INTJ 君 休む-NEG-PRES-2SG 記事
 kitep-ter-iñ **çig-ip jat-a-t**. (Kaada-salt...)
 本-PL-2SG:POSS 出る-CVB jat-PRES-3

「一体君は休まないね。君の記事や本などが**出ている**。」

- (88) Mugalim-der baldar-ga tarbiya ber-gen-din ord-u-na
 教師-PL 子供達-DAT 教育 与える-PART-GEN 席-3:POSS-DAT
 alar-dī **buz-up** **jat-kan-ī** ökünüçt-üü. (Kutbilim・№8)
 彼ら-ACC 破壊する-CVB jat-PART-3:POSS 悲しむ-VN

「教師達は、子供たちに教育を与える代わりに、彼らを**破壊している**のが残念なことである。」

- (89) Alar-dīn kīl-gan šermendelik-ter-i **tol-up** **jat-a-t**. (Kanibek)
 彼ら-GEN やる-PART 劣等さ-PL-3:POSS あふれる-CVB jat-PRES-3

「彼らのやった劣等さが**あふれている**。」

これらの場合、jat-の本来の語彙的な意味、つまり、「横たわる」という意味を表わしていると考えられない。このような場合、jat-は、主体の〈**変化の結果の状態**〉の意味を表わしているといえる。

なお、《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》の場合、必ずしも主体の〈**変化の結果の状態**〉の意味を表わすとはかぎらない。

まず、次の用例では、ura-「倒れる」、kīyra-「割れる、壊れる」、kulan-「落ちる」などの動詞は、《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》のタイプにはいるが、kürs—tars **ët-**「ばたばたと」、karsa—kurs **ët-**「ガチャガチャと」、möltürögön「ポロポロと」などといった変化をもたらす動きを規定する副詞相当句が文中に現れることによって、文法的な意味は**ある時点における〈動作の持続〉**の意味へ移行する。つまり、これらの用例では、主体の動きが行われている最中である。

- (90) Kürs—tars **ët-ip** üy **ura-p** **jat-a-bī**. (Teñir menen süylöšüü)
 ばたばたと 家 倒れる-CVB jat-PRES-Q

「ばたばたと家が**倒れている**のか？」

- (91) Karsa—kurs **ët-ip** idiš—ayak **kīyra-p** **jat-a-bī?** (Teñir menen süylöšüü)
 ガチャガチャと 食器 食器 割れる-CVB jat-PRES-Q

「ガチャガチャと食器が**割れている**の？」

- (92) Birok anin kök ala sakal-ï-nan möltürögön
 しかし 彼:GEN 青い 灰 ひげ-3:POSS-ABL ポロポロと
 tamči-lar kulan-ïp jat-ti. (Jaralangan jürök)
 滴-PL 落ちる-CVB jat-PST1
 「しかし、彼の青白のひげからポロポロと滴が落ちていた。」

上の用例を kürs-tars ët-「ばたばたと」、karsa-kurs ët-「ガチャガチャと」のような擬声語・擬態語副詞相当句なしの場合、次のように言い換えられる。

- ・ üy ura-p jat-a-t. (作例)
 家 倒れる-CVB jat-PRES-3
 「家が倒れている。」
- ・ idiš — ayak kÿra-p jat-a-t. (作例)
 食器 茶碗 割れる-CVB jat-PRES-3
 「食器が割れている。」

これらの例文の場合、「家が倒れた」、「食器が割れた」後の変化した状態が持続している。このような場合、jat-は、主体の〈**変化の結果の状態**〉の意味を表わす。

次に、動詞 küy-「燃える」は、この《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》のタイプにはいる。しかし、これらの動詞に jat-が後接する場合、〈**変化の結果の状態**〉の意味ではなく、**ある時点における〈動作の持続〉**や**〈動作のくりかえし〉**の意味を表わす。

- (93) Az-dan soŋ Adil-din üy-ü
 少し-ABL 後 PSN-GEN 家-3:POSS
 jalbirtta-p kÿy-üp jat-ti. (Čalgınçılar)
 ぼうぼうと 燃える-CVB jat-PST1
 「それからアディルの家がぼうぼうと燃えていた (燃えつつあった)。」

- (94) A Sapar-din kat-ï-n bol-so
 そして PSN-GEN 手紙-3:POSS-ACC なる-COND
 orto-su-nan teŋ böl-üp tur-up balbilda-p
 真ん中-3:POSS-ABL 均等 破る-CVB tur-CVB 赤々と
 kÿy-üp jat-kan peč-ti közdöy irgüt-ti-m. (Astra gülü)
 燃える-CVB jat-PART ペチカ-ACC 向かって 捨てる-PST1-1SG

「そして、(私は) サパルの手紙を真ん中から半分に破ってから、赤々と燃えていた
(燃えつつあった) ペチカに向かって捨てた。」

これらの用例では、jalbirttap「ぼうぼうと」、balbildap「赤々と」などのような動きを規定する修飾語が使われ、ある時点における〈動作の持続〉の意味が補強される。しかし、文中にこれらの修飾語が現れなくても、jat-が使われることによって、ある時点における〈動作の持続〉という意味が読み取れる。つまり、ここでは、これらの修飾語は必須条件ではないことがいえる。

また、tokto-「止まる」、ooru-「痛む」などの動詞は、この《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》のタイプにはいる。しかし、次のような複数主体による動作の場合、〈動作のくりかえし〉の意味を表わす。

- (95) Reys-ke čig-uu-ču jenil taksi mašina-lar-ī menen avtobus-tar
定期航路-DAT 出る-VN-NMLZ 軽い タクシー 車-PL-3:POSS と バス-PL
bir-i-nin art-ī-nan bir-i tokto-p jat-tī. (Astra gülü)
一-3:POSS-GEN 後-3:POSS-ABL 一-3:POSS 止まる-CVB jat-PST1
「定期航路に出る軽い自動車タクシーとバスは次から次へと止まっていた。」

- (96) Kiyin-ki ubak-ta jaštar-ibiz-din 50 payiz-ī
後-kī 時期-LOC 若者-1PL:POSS-GEN 50 パーセント-3:POSS
kantamir ooruu-su menen köp ooruu-p jat-iš-a-t. (Šookum·№7)
血管 病気-3:POSS で 多い 痛む-CVB jat-RECIP-PRES-3
「最近、若者の 50 パーセントの層は血管の病気で多く悩んでいる。」

動詞 küy-「燃える」、tokto-「止まる」が主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わすのは、次のように、tur-が後接する場合である。

- (97) Öč-pös ot dayima küy-üp tur-a-t. (作例)
消える-NEG:AOR 火 いつも 燃える tur-PRES-3s
「聖火はずっと燃えている。」
- (98) Tigil jak-ta mašina tokto-p tur-a-t. (作例)
あそこ 方-LOC 車 止まる-CVB tur-PRES-3
「あそこで車が止まっている。」

・ **jürüp jat-の場合**

V-(i)p jat-形式の場合、jürüp jat-の用例が数多く出てきた。これらの用例を2種類に分けられる。

まず、「(事が) 行われる」という意味を表わす場合である。この場合は、主体の〈動作の持続〉の意味を表わす。

- (99) AblaeV soguš katuu **jür-üp** **jatkan**
 PSN 戦争 激しい 行われる-CVB jat-PART
 armiya-da kizmat ötöp-jür-dü. (Čalgınçılar)
 軍隊-LOC 役割 果たす-CVB jür-PST1
 「アブラエフは、戦争が激しく行われている軍隊で役割を果たしていた。」
- (100) Kuruluš **jür-üp** **jat-kan** jer-ler-ge gitlerçi-ler ar kün sayın
 建設 行われる-CVB jat-PART 場所-PL-DAT ヒトラー支持者-PL 毎日 ごと
 bir neče jol-u aba-dan čabuul koy-up, bomba-lar-dī tašta-š-kan. (Čalgınçılar)
 一 数 回-3:POSS 空-ABL 空爆 置く-CVB 爆弾-PL-ACC 落とす-RECIP-PST2
 「建設が行われている所にヒトラーの支持者たちは、毎日、何度も空から爆弾を落としたんだ。」
- (101) Aytmakčī, bul sözdük-kö jaz-ıl-uu
 そういえば この 辞典-DAT 書く-PASS-VN
jür-üp **jat-a-t.** (Kutbilim・№4)
 行われる-CVB jat-PRES-3
 「そういえば、この辞典に登録が行われている。」

次に「(事が) 動く、続く」などのように動作を表わす場合である。

- (102) Bul process dağī ële **jür-üp** **jat-a-t.** (Fizikalik geografiya)
 この プロセス 未だ EMPH 動く-CVB jat-PRES-3
 「このプロセスは、いまだ続いている。」
- (103) Bul kiymil azır da **jür-üp** **jat-a-t.** (Fizikalik geografiya)
 この 動作 今 EMPH 動く-CVB jat-PRES-3
 「この動作が今も続いている。」

- (104) Jer kirtış-ı-nın kıymil-dar-ı
地球-3:POSS-GEN 動作-PL-3:POSS
azir da jür-üp jat-a-t. (Fizikalik geografiya)
今 EMPH 動く-CVB jat-PRES-3
「地球の動きが今も続いている。」

ここでも、jat-は、〈動作の持続〉の意味を表わす。そして、dagı ėle 「いまだ」、azir da 「今も」などのような副詞相当句によって、**現在における〈動作の持続〉**の意味が補われている。また、これらの用例において、process 「過程」、kıymil 「動作」或いは、主動詞である jür-自体も動作性のある語であることから、**現在における〈動作の持続〉**の意味が明瞭に現れている。

・ uktap jat-の場合

動詞 ukta-「眠る」は、ここでみてきた動詞と性質が異なる。というのは、動詞 ukta-に jat-が後接して現れる場合、jat-は本動詞であるか、補助動詞であるかは、はっきり区別しにくい。

- (105) Ėne-m-din ast-ı-nda ukta-p
母-1SG:POSS-GEN 前-3:POSS-LOC 眠る-CVB
jat-kan Jildızbek-ke umtul-du. (Astra gülü)
jat-PART PSN-DAT 向かう-PST1
「(彼は) 母の前で眠っていたジュルデズベクに向かった。」
- (106) Al jay gana dem čıgar-ıp,
彼 静か だけ 息 出す-CVB
biliner—bilinbes jılmay-a ukta-p jat-a-t. (Ėne mečirimi)
ほんの少し ニコニコする-CVB 眠る-CVB jat-PRES-3
「彼は静かに息をして、ほんの少しニコニコして眠っている。」
- (107) Kerim ali ukta-p jat-a-t. (Čalgınčılar)
PSN まだ 眠る-CVB jat-PRES-3
「ケリムはまだ寝ている。」

まず、最初の用例では、文中に場所を表わす位格が現れている。この場合、主体がある場所で横たわった状態で眠っていると読み取ることができる。

次の用例では、「眠る」様子を描写する *biliner—bilinbes jılmaya* 「ほんの少しニコニコして」という副詞相当句が現れている。このことによって、主体の「眠る」という動作が持続しているといえる。

最後の用例では、*ali* 「まだ」という副詞相当句が使用されていて、横たわった状態で「眠る」という動作がまだ持続していることを意味する。

つまり、最初の用例では、*jat-*は本動詞、後の2つの用例では、補助動詞として使用されているのではないかと思われる。但し、動詞 *ukta-*と *jat-*は、語彙的な意味が近いので、*jat-*は本動詞である、補助動詞であるということをはっきりと規定するのは難しい。

*V-(i)p jat-*形式の場合に現れた《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》は次のようなものである⁴⁰。

aksa- 「(教育問題が) 不足する」、*aldir-* 「取られる」、*alsizdik kil-* 「弱る」、*art-* 「超える」、*aşa çap-* 「いきすぎる」、*aylan-* 「四捨五入する」、*bagitta-* 「方向づける」、*balki-* 「楽しむ」、*baylan-* 「縛られる」、*bikši-* 「腐る」、*biş-* 「熟す」、*bol-* 「なる、起こる」、*büçürlön-* 「実る」、*bürkü-* 「出る」、*butaktan-* 「実る」、*buulan-* 「活発化する」、*çaralar körün-* 「対策が練られる」、*çik-* 「出る (出現)」、*çik-* 「(年齢に) なる」、*çiyrik-* 「冷える」、*deportaciyalan-* 「追放される」、*ëri-* 「溶ける」、*güldö-* 「咲く」、*jañil-* 「間違える」、*jañiliş-* 「間違える」、*jaril-* 「爆発される」、*jürgüzül-* 「行われる」、*kaktan-* 「暖まる」、*kal-* 「残る」、*kayna-* 「湧く」、*keçik-* 「(事が) 遅れる」、*kisil-* 「挟まれる」、*kıyra-* 「崩れる」、*kol üz-* 「縁を切る」、*kübü-* 「落ちる」、*kumarga bat-* 「誘惑される」、*küy-* 「焼ける」、*niksıra-* 「お腹がいっぱいになる」、*öl-* 「死ぬ」、*ön-* 「実る」、*öñdön-* 「似る」、*ooru-* 「病む」、*orguşta-* 「湧き出る」、*örttön-* 「燃える」、*öt-* 「行われる」、*sür-* 「出す」、*taarin-* 「(自然が) ふてくされる」、*taasir tiygiz-* 「影響を与える」、*taşı-* 「あふれでる」、*tokto-* 「止まる」、*tol-* 「あふれる」、*tünör-* 「暗くなる」、*tüş-* 「下りる、落ちる」、*tütö-* 「煙る」、*uçura-* 「壊れる」、*ura-* 「倒れる」、など

⁴⁰ 各動詞の日本語訳は筆者によるものである。場合によっては、意識を用いる。ただし、グロスでは、逐語訳も付す。

《人の社会的な変化を表わす動詞》

《人の社会的な変化を表わす動詞》のタイプには、baš koš-「結婚する」、ajıraš-「離婚する」などの動詞があげられる。

まず、baš koš-「結婚する」の用例をみると、複数主体による動作である。この場合、jat-は、主体の〈動作のくりかえし〉の意味を表わす。

- (108) Köp ěle kiši-ler ušint-ip
 多い EMPH 人-PL こうして
baš koš-up jat-iš-pa-y-bī?! (Ėkinči ömür)
 結婚する-CVB jat-RECIP-NEG-PRES-Q
 「多くの人は、こうやって結婚しているじゃないか。」

次に、ajıraš-「離婚する」の用例である。ここでは、複数主体によるものではあるが、〈動作のくりかえし〉を表わしているとは言いにくい。この場合は、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わしている。

- (109) Birok amal-sīz ajıraš-ip jat-a-bīz. (Kanibek)
 しかし 仕方-NEG 離婚する-CVB jat-PRES-1PL
 「しかし、仕方なく離婚している。」

なお、これらの用例に現れる jat-を他の補助動詞 (tur-, otur-, jür-) に置き換えることはできない。

《主体の漸進的な変化を表わす動詞》

《主体の漸進的な変化を表わす動詞》とは、物事の漸進的な変化を表わす動詞のことをいう。

V-(i)p jat-形式の場合に現れた《主体の漸進的な変化を表わす動詞》は次のようなものである。

bayit-「増やす、濃縮する」、čojoy-「成長する」、kiskart-「減らす」、kötörül-「上がる」、küčö-「増える」、önük-「発展する」、örkündö-「繁栄する」、ös-「伸びる」、ulant-「続ける」、など

このような動詞の場合、jat-は、主体の〈**変化の進展**〉という文法的な意味を表わす。〈**変化の進展**〉とは、主体（物事）の変化が一定の方向に進展することを表わす。このタイプの場合、基本的に物事主語に限る。

- (110) Tegeran bol-so uran-dī tūnčtik maksat-ī-nda paydalan-uu
 PLN なる-COND ウラン-ACC 平和 目的-3:POSS-LOC 利用する-VN
 üčün bayıt-īp jat-kan-ī-n ayt-īp jür-ö-t. (Kırgız Tuusu・№57)
 為 濃縮する-CVB jat-VN-3:POSS-ACC 言う-CVB jür-PRES-3
 「テヘランなら、ウランを平和目的で利用する為、**濃縮している**と言っている。」

また、次のように jıldan—jılga 「年ごとに」、ıldamdık menen 「速度で」といった徐々の変化を表わす副詞相当句と組み合わせることによって、物事の〈**変化の進展**〉の意味が補強される。

- (111) Antkeni migraciya tolkun-u kışkar-mak tursun,
 というのは 移民 波-3:POSS 減る-VN どころか
 jıl-dan— jıl-ga küçö-p jat-pa-y-bi. (Kutbilim・№4)
 年-ABL 年-DAT 増える jat-NEG-PRES-Q
 「「**年ごとに**、**増えている**じゃないか。」というのでは、移民の波が減るどころか、年ごとに、増えているじゃないか。」
- (112) İsik-Köl öröön-ü-nün čigış bölüg-ü jıl-ī-na 2.5 mm ge
 PLN 地方-3:POSS-GEN 東 方面-3:POSS 年-3:POSS-DAT 2.5 ミリ DAT
 jakın ıldamdık menen tömön tüš-üp jat-a-t. (Fizikalik geografıya)
 近い 速度 で 下 下がる-CVB jat-PRES-3
 「イシククル地方の東の方面が毎年 2.5 ミリに近い**速度で**（水面が）**下がっている**（**下降している**）。」

9.1.3. 「状態動詞」

V-(i)p jat-形式に現れる「状態動詞」の場合、《主体の空間的な関係を表わす動詞》のタイプがみられた。

《主体の空間的な関係を表わす動詞》

《主体の空間的な関係を表わす動詞》とは、「湖」、「海」、「山」などのように動きがない地形的な主体と、他の地形的なものとの空間的な位置関係が形象的に表現される動詞のことをいう。

今回の調査で得られた動詞のうち、《主体の空間的な関係を表わす動詞》に次のようなものがある。

sozul-「伸びる」、keril-「伸びる」、ěěle-「占める」、memire-「穏やかになる」、baylaništür-「結びつけ合わせる」、kamti-「含む」、など

《主体の空間的な関係を表わす動詞》のタイプは、V-(i)p tur-の場合に現れるのが特徴的ではあるが(10.1.3.を参照)、今回のデータからは、V-(i)p jat-の場合にも現れた。但し、V-(i)p tur-の場合に現れる動詞群(kurča-「囲む」やkapta-「覆う」、ěěle-「占める」、bölün-「別れる」、など)と異なり、V-(i)p jat-形式の場合、sozul-「伸びる」、keril-「伸びる」、ěěle-「占める」、memire-「穏やかになる」、baylaništür-「結びつけ合わせる」、などのような動詞が現れた。このような場合、jat-は、基本的に〈変化を起こさず、前から同じ状態の中にあること〉を表わす。なお、《主体の空間的な関係を表わす動詞》の場合、jat-は、[V-(i)p jatat]の形で現る用例がほとんどである。

- (113) Kün-dün kara diska-si-nin tegereg-i-nde
 太陽-GEN 黒い 円盤-3:POSS-GEN 回り-3:POSS-LOC
 Kün taajī-si de-p ata-l-gan kizgilt kooz
 太陽 王冠-3:POSS 言う-CVB 名づける-PASS-PART 赤っぽく 綺麗な
 nur-u **sozul-up jat-a-t.** (Astronomiya)
 光-3:POSS 伸びる-CVB jat-PRES-3
 「太陽の黒い円盤の周りで太陽の王冠と名付けられた赤っぽくて綺麗な光が**伸びて**いる。」

また、sozul-「伸びる」の場合、次のように 15min km-ge 「1万5千キロメートルに」、

3000km ge čeyin 「3 千キロメートルまで」などのように何キロメートルに進んでいることを表わす程度名詞がくることが多かった。

- (114) Atlantika okean-ī Arktika-dan Antarktida-ga čeyin děrlik
 大西洋-3:POSS 北極海-ABL 南極海-DAT まで およそ
15 miñ km-ge sozul-up jat-a-t. (Fizikalik geografiya)
 15 千 km-DAT 伸びる-CVB jat-PRES-3

「大西洋は北極海から南極海までおよそ 1万5千キロメートルに伸びている。」

もっとも多く現れたのは sozul-「伸びる (14 例)」だが、他に次のような例文もみられた。

- (115) Këč bir böksö too-lor taypak too-lor-dun
 ある 一 低い 山-PL 山麓-PL-GEN
 ič-ki bölük-tör-ü-n **ěle-p jat-a-t.** (Fizikalik geografiya)
 中-ki 部分-PL-3:POSS-ACC 占める CVB jat-PRES-3
 「ある低い山々は山麓の中のある部分をしめている。」

- (116) Keñ Čüy-dün keril-gen talaa-sī
 広々 PLN-GEN 広がる-PART 畑-3:POSS
 jaz mēēr-i-ne **memire-p jat-a-t.** (Telegey)
 春 優しさ-3:POSS-DAT 穏やかになる-CVB jat-PRES-3
 「広々としたチュイの畑が春の優しさに、**穏やか**になっている。」

なお、これらの《主体の空間的な関係を表わす動詞》は、文学作品にあまり出てこず、Fizikalik geografiya 「物理的な地理学」、Biologiya 「生物学」、Fizika 「物理学」、Astronomiya 「天文学」といった教科書から多く現れたのが特徴的である。

9.1.4. 「内的感情動詞」

「内的感情動詞」の動詞は基本的に人主語に限られる。V-(i)p jat-形式に現れる「内的感情動詞」の場合、次のような意味的なタイプが取り出された。以下、それぞれについてみる。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の思考活動動作を表わす動詞》	oylo-「考える」、bil-「知る」、išen-「信じる」、など
《主体の感情を表わす動詞》	kork-「怖がる」、kuban-「喜ぶ」、keyi-「悩む」、など
《主体の評価的な態度を表わす動詞》	siymiktan-「誇りに思う」、čarča-「疲れる」、süy-「愛する」、tirmiš-「頑張る」、など

《主体の思考活動動作を表わす動詞》

《主体の思考活動動作を表わす動詞》とは、主体の思考や想起や意向などのように主体の動作を表わす動詞のことをいう。

V-(i)p jat-形式の場合に現れた《主体の思考活動動作を表わす動詞》は次のようなものである。

bil-「知る」、čalki-「妄想する」、ėlestet-「想像する」、ėš tutumuna tūy-「記憶にとどめる」、ėške tūš-「思い出す」、ėsker-「思い出す」、kaala-「望む、願う」、(tūšümö) kir-「夢想する(夢に出る)」、nietten-「期待する」、oylo-「考える」、oylon-「考える」、sanaaga batır-「心配させる、考えさせる」、sez-「感じる」、taanı-「分かる、知る」、など

これらの動詞の場合、jat-は、ある時点における〈思考動作の持続〉という文法的な意味を表わす。

(117) Tūšün-üp at-a-m, men anı!.. Birok!. (Kanat m-n Zarina)

分かる-CVB jat-PRES-1SG 私 彼:ACC しかし

「分かっているよ。私は彼を！しかし！」

(118) Siz-di ėmi gana taanı-p jat-a-m. (Akılmandın k.t.)

あなた-ACC 今 ようやく 判る-CVB jat-PRES-1SG

「あなたをようやく今、分かっている。」

また、一人称の文だけではなく、次のように三人称の場合にも使われる。

- (119) Moskva olimpiada-sï-n bardïk
 PLN オリンピック-3:POSS-ACC 全て
 jer-de **ěsker-ip** **jat-iř-a-t.** (Ėrkin Too・№66)
 場所-LOC 思い出す-CVB jat-RECIP-PRES-3
 「モスクワオリンピックを至る所で（皆が）思い出している。」

《主体の感情を表わす動詞》

《主体の感情を表わす動詞》とは、主体の内発的な心の動きや外界の刺激によって引き起こされる心の動きを表わす動詞のことをいう。

V-(ï)p jat-形式の場合に現れた《主体の感情を表わす動詞》は次のようなものである。

ačuulan-「怒る」、apkaarï-「怖がる」、aya-「惜しむ、気の毒に思う」、azap ček-「苦
 勞する」、azaptan-「苦勞する」、büjürö-「怖がる」、čočula-「怖がる」、ęşsesi kur-「困
 る」、janïña bat-「困る」、kaygïr-「悲しむ」、keyi-「悩む」、kïjïn-「怒る」、kïmïnda-
 「喜ぶ」、kïyna-「苦しめる」、kïynal-「苦しむ」、kork-「怖がる」、kuban-「喜ぶ」、
 kuura-「困る」、öyü-「（心が）痛む」、sapïr-「（心を）かきみだす、痛ませる」、sïzdat-
 「痛ませる」、tañ kal-「驚く」、tïnėsïzdandïr-「心配する」、tolkundan-「感動する」、
 tünjül-「あきらめる」、ubaralan-「困る、困惑する」、ürkü-「（馬が）びっくりする」、
 など

これらの動詞の場合、jat-は、ある時点における〈心理的な状態〉という文法的な意味を表わす。

- (120) Radiotar-lor-dun suu-su kayna-p,
 ラジエーター-PL-GEN 水-3:POSS 沸騰する-CVB
 aydooču-lar **kïjïn-ïp** **jat-tï.** (Čalgïnčïlar)
 運転手-PL 怒る-CVB jat-PST1
 「ラジエーター（冷却器）の水が沸騰して、運転手たちは怒っていた。」
- (121) Men ořol üčün tolkundan-ïp, **kuban-ïp** **jat-pa-y-mïn-bï.** (Ėkinči ömür)
 私 その 為 興奮する-CVB 喜ぶ-CVB jat-NEG-PRES-1SG-Q
 「私はその為、興奮して、喜んでいるじゃないか。」

《主体の評価的な態度を表わす動詞》

《主体の評価的な態度を表わす動詞》とは、主体の判断や感情、或いは評価といったなんらかの態度を含む動詞のことをいう。

V-(i)p jat-形式の場合に現れた《主体の評価的な態度を表わす動詞》は次のようなものである。

araket jasa-「努力をする」、čida-「我慢する」、ič küy-「嫉妬する」、jak-「気に入る」、jan talaš-「でしゃばる」、maktan-「自慢する」、ökün-「後悔する」、talpîn-「前に進む、頑張る」、türmiş-「一生懸命に頑張る」、uyal-「恥ずかしがる」、など

これらの動詞に jat- が後接する場合、ある時点における〈心理的な状態〉という文法的な意味を表わす。

- (122) ...nebere-si-nen beri mülk kamda-p koy-uš-kan-ï-n
 孫-3:POSS-ABL から 財産 準備する-CVB 置く-RECIP-VN-3:POSS-ACC
 ayt-ïp, **maktan-ïp jat-iš-tï.** (Akilmandïn k.t.)
 言う-CVB 自慢する-CVB jat-RECIP-PST1
 「... (彼らは) 孫の分から財産を準備しておいたと、自慢していた。」
- (123) Ayt-uu-dan **uyal-ïp jat-kan-dïr.** (Kanïbek)
 言う-VN-ABL 恥じる-CVB jat-PST2-MOD
 「言うことに**恥ずかしが**っているかもしれません。」
- (124) ...meni ayaš-ïp beri kel-be-y
 私:ACC かばう-CVB から 来る-NEG-CVB
 koy-uš-kan-ï-na **ökün-ïp jat-iš-tï.** (Turmuštan jaralğan čoku)
 置く-RECIP-PART-3:POSS-DAT 後悔する-CVB jat-RECIP-PST1
 「...私をかばって、こっちに**来**なかったことに後悔していた。」

9.2. V-a/-y jat-形式の場合

この節では、jat-が V-a/-y jat-形式で現れ、補助動詞として用いられている場合の例について考察する。考察対象とする用例は次のとおりである。

V-a/-y jat-	異なり語数	延べ語数
	4 個	181 例

今回の言語資料から次のようなタイプの動詞が現れた。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の移動動作を表わす動詞》	kel-「来る」、bar-「行く」
《主体の活動動作を表わす動詞》	kör-「見る」、al-「連れる」

V-a/-y jat-形式の場合、4つの動詞しか現れなかった。最も多く出現したのは、kel-「来る（123例）」と bar-「行く（53例）」という主体の移動動作を表わす動詞である。その他に、kör-「見る（3例）」、al-「連れる（2例）」であった。

以下、それぞれについて考えていく。

《主体の移動動作を表わす動詞》

今回の言語資料から、V-a/-y jat-形式の場合、《主体の移動動作を表わす動詞》の kel-「来る」と bar-「行く」が現れた。これらの動詞を次のグループに分けることができる。

- ① [移動動詞-a/-y jat-] 形式で現れる場合
- ② [V-(i)p 移動動詞-a/-y jat-] 形式で現れる場合

以下、それぞれについて詳しくみていく。

① [移動動詞-a/-y jat-] 形式で現れる場合

[移動動詞-a/-y jat-] 形式で現れる場合、全部で63例あったが、そのうち、kel-「来る」は（53例）、bar-「行く」は（10例）である。これらの動詞は、更にいくつかのタイプに分

けられる。

人／物 (場所格) 移動動詞-a/-y jat-

このタイプの場合、発話時において、主体の移動動作がちょうど行われている過程を表わす。この場合 jat-は、主体の**現在における〈動作の持続〉**の意味を表わす。

- (125) AzİR da Kİzart tarap-ka
 今 EMPH PLN 方面-DAT
 kayİN-dar-İM-a bar-a jat-a-m. (Kİrgİz Tuusu・№57)
 義理の親戚-PL-1SG:POSS-DAT 行く-CVB jat-PRES-1SG
 「今もクザルト方面に義理の親戚の所に行っている (途中で)。」

- (126) Aydarbek datka-lar joon top policiya menen kel-e jat-a-t! (Kanİbek)
 PSN 王-PL 大勢 警察 と 来る-CVB jat-PRES-3
 「アイダルベク王達は大勢の警察と一緒に来ている (途中で)。」

たとえば、上の bar-「行く」という動詞の場合、発話時において「行く」という動作がちょうど行われている最中であって、まだ目的地に着いていない。つまり、主体の移動動作がまだ進行中であることを表わす。

また、次の用例のように、ある動作を修飾するような修飾語と共起して現れることが多い。このような場合、主体の**現在における〈動作の持続〉**の意味が補強される。これは「～しながら、来ているところだ」と訳される。

- (127) Araba-nİN üst-ü-ndö al-İ — jan-İ kal-ba-y ėne-si-ne
 馬車-GEN 上-3:POSS-LOC 力-3:POSS 心-3:POSS 残る-NEG-CVB 母-3:POSS-DAT
 birdeme-ler-di köñüldüü süylö-p kel-e jat-İptİR. (Astra gülü)
 なにか-PL-ACC 楽しく 話す-CVB 来る-CVB jat-PST3
 「(彼は) 馬車の上でお母さんに一生懸命なにかを楽しく話しながら来ているところだった。」

- (128) Ajar menen Kanİbek kēēde jügür-üp, kēēde bas-İp, anda—sanda
 PSN と PSN 時々 走る-CVB 時々 歩く-CVB 時々
 art jak-tar-İ-n kİlçakta-y kara-p kel-e jat-İŞ-a-t. (Kanİbek)
 後 方-PL-3:POSS-ACC 振返る-CVB 見る-CVB 来る-CVB jat-RECIP-PRES-3
 「アジャールとカヌベクは時々走り、時々歩き、たまに後ろを振り返りながら来ていると

ころだ。」

(129) Bu saat-ta ěne-si ěmne oylo-p

この 時間-LOC 母-3:POSS 何 考える-CVB

bar-a **jat-kan-ĭ-n** bala bil-be-di. (Atadan kalgan tuyak)

行く-CVB jat-VN-3:POSS-ACC 子 知る-NEG-PST1

「この時に、お母さんが何を考えながら歩いて行っていたかを子供は知らなかった。」

V-(ĭ)p jat-形式の場合にみてきた《主体の移動を表わす動詞》とは異なり、V-a/-y jat-の場合に現れるこれらの動詞は、主体の具体的な移動動作を表わす。

なお、次のように主体は「人」のみではなく、「物」の場合もみられる。この場合も、主体である物（乗り物）の現在におけるくうごきの持続を表わす。つまり、ここでは、「車がこちらに向かって走ってくる」ことを表わしている。

(130) **Mašina** **kel-e** **jat-a-t** tigi-nde. (Kutbilim・№11)

車 来る-CVB jat-PRES-3 あそこ-LOC

「**車**が来ているところだ。あそこで。」

また、次のような karači「見てください」、čon ildamdik menen「早い速度で」などのような副詞相当句などによって、現在におけるくうごきの持続の意味が明確に現れる。

(131) Kara-či **tanka-lar** **kel-e** **jat-a-t**. Tanka-lar!?”—

見る-IMP 戦車-PL 来る-CVB jat-PRES-3 戦車-PL

de-p ata-sĭ-n šaš-tĭr-ĭp, sŭrö-p jat-tĭ. (Atadan kalgan tuyak)

言う-CVB 父-3:POSS-ACC 急ぐ-CAUS-CVB 叫ぶ-CVB jat-PST1

「見てください。**戦車**が来ているところだ。戦車だ！」とお父さんを急がせ、叫んでいた。」

(132) ...**samolyot** öz-ü Jer-ge karata

飛行機 自分-3:POSS 地球-DAT 向かって

čon ildamdik menen **bar-a** **jat-kan** **bol-o-t**. (Fizika)

大きい 速度 で 行く-CVB jat-PART なる-PRES-3

「...飛行機自体は地球に向かって早い速度で行くところだった。」

事 (時 ABL) kel-e jat-

V-a/-y jat-形式の場合、[事 (時 ABL) kel-e jat-] という構造で現れる用例が特徴的である。そして、移動動詞の kel- 「来る (27 例)」に限って使われることが分かった。

- (133) Bul, bir-inči-den, ilger-ten beri
 これ 一-序数-ABL 昔-ABL から
kel-e jat-kan išenim-din küč-ü. (Kaada-salt...)
 来る-CVB jat-PART 信頼-GEN 力-3:POSS
 「これは、最初に、昔からきている (続けている) 信頼の力だ。」
- (134) Bul – abal-tan kel-e **jat-kan** salt, adat. (Kaada-salt...)
 これ 先祖-ABL 来る-CVB jat-PART 伝統 習慣
 「これは、先祖からきている (続けている) 伝統、習慣である。」
- (135) Bul – ata-baba-dan kel-e **jat-kan** jakši jörölgö. (Kaada-salt...)
 これ 先祖-ABL 来る-CVB jat-PART 良い 迷信
 「これは、先祖からきている (続けている) 良い迷信である。」

これらの用例の場合、jat-は、**現在における〈動作の持続〉**の意味を表わすとは考えにくく、主体の**〈変化の結果の状態〉**という文法的な意味を表わす。この場合、次のような時間の起点を表わす副詞相当句が現れるのが、特徴的である。なお、[V-a/-y jat-kan N] のように連体修飾語で現われる用例がほとんどであった。

今回の調査で現れた時間の起点を表わす副詞相当句は次のとおりである。

〔～ABL〕の場合
ata-babadan 「先祖から」
babalardan 「先祖たちから」
baba-bubalardan 「先祖たちから」
jerinen 「遠い昔から」
abaltan 「大昔から」
ëzelten 「大昔から」
ëzelteden 「大昔から」
ilgerten 「昔から」
bayırtadan 「古代から」
ëbaktan 「先から」

〔～ABL beri〕の場合
ata – babasından beri 「祖先から」
babalardan beri 「祖先から」
ilgerten beri 「昔から」
jeti atadan beri 「七代目から」

② 〔V-(i)p 移動動詞-a/-y jat-〕形式で現れる場合

〔V-(i)p 移動動詞-a/-y jat-〕形式で現れる場合、更にいくつかのタイプを取り出すことができる。以下、それぞれの特徴について考える。

〔主体の移動の様態を表わす動詞-(i)p 移動動詞-a/-y jat-〕

この類には、〔主体の移動の様態を表わす動詞-(i)p 移動動詞-a/-y jat-〕という形式で現れるものがある。

〔主体の移動の様態を表わす動詞-(i)p 移動動詞-a/-y jat-〕形式の場合に現れた《移動の様態を表わす動詞》は次のようなものである。

öt- 「通る」、uč- 「飛ぶ」、čik- 「出る」、ket- 「行く」、jil- 「動く」、arala- 「歩き回る」、bastır- 「歩かせる」、ayda- 「運転する」、jür- 「動く」、süyrö- 「引く」、tüš- 「下りる」、jilmiš- 「動く」、jügür- 「走る」、čurka- 「走る」、siz- 「ダッシュする」、ur- 「走る」、čap- 「走らせる」、kač- 「逃げる」、など
--

これらの場合、主体の**現在における〈動作の持続〉**という文法的な意味を表わす。

- (136) Jalgız gana karmal-ba-gan aba-nın iç-i-nde
 一人 だけ 掴める-NEG-PART 空気-GEN 中-3:POSS-LOC
 šar menen men **uč-up bar-a jat-kansı-y-m.** (Üčünčü šar)
 風船 と 私 飛ぶ-CVB 行く-CVB jat-ふりをする-PRES-1SG
 「たった一人で掴めない空気の中で風船と私が**飛んで**行っている気がします。」

- (137) Ušint-ip **jügür-üp bar-a jat-ıp,**
 こうして 走る-CVB 行く-CVB jat-CVB
 bir ubakıt-ta eş-im-e kel-e tüš-tü-m da,
 一 時-DAT 記憶-1SG:POSS-DAT 来る-CVB 落ちる-PST1-1SG EMPH

jer-den tezek izde-y bašta-dī-m. (Birinči mugalim)

土-ABL 薪 探す-CVB 始める-PST1-1SG

「こうして、走り続けていて、ある時に記憶によみがえって、周りから薪を探しはじめた。」

(138) Čolponbay čurka-p bar-a jat-īp

PSN 走る-CVB 行く-CVB jat-CVB

köz irme-gen-če tokto-y kal-īp,... (Čolponbay)

目 瞬きする-NEG-če 止まる-CVB 残る-CVB

「 Cholponbay は走って行きながら、瞬きする間もなくすぐに止まってしまって、...」

(139) Uču—kīyirsiz tasma-day sozul-up jat-kan

無限 フィルムのように 伸びる-CVB jat-PART

šosse jol-do jeñil mašina sız-īp bar-a jat-tī. (Astra gülü)

道路 道-LOC 軽い 車 走る-CVB 行く-CVB jat-PST1

「無限のフィルムのように伸びている道路で軽自動車が走り続けた。」

〔主体の長期的な活動動作を表わす動詞-(ī)p 移動動詞-a/-y jat-〕

この類には、〔主体の長期的な活動動作を表わす-(ī)p 移動動詞-a/-y jat-〕という形式で現れるものがある。

〔主体の長期的な活動動作を表わす-(ī)p 移動動詞-a/-y jat-〕形式の場合に現れた《長期的な活動動作を表わす動詞》は次のようなものである。

jaša-「生活する、暮らす」、ište-「働く」、saktal-「守られる」、joldoš bol-「友になる」、など

これらの動詞の場合、主体の長期にわたる〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。これらの場合、時間の長さを表わす時間副詞相当句と共に現れるのが特徴的である。

(140) “Zamandaš” asociaciya-sī 7 jil-dan beri

PSN 組合-3:POSS 七年-ABL から

ište-p kel-e jat-a-t. (Zamandaš・№4)

働く-CVB 来る-CVB jat-PRES-3

「ザマンダシュ組合は7年前から働いてきている。」

- (141) “Jaŋi jıldız-dar” de-gen at bayır-kī ubakıt-tan beri
 新しい 星-PL 言う-PART 名前 古代-kī 時-ABL から
sakta-l-öp kel-e jat-a-t... (Astronomiya)
 守る-PASS-CVB 来る-CVB jat-PRES-3
 「新しい星」という名前は、古い時代から守られてきている...

- (142) Mına, bala-m, bul muŋkan-gan küü
 ほら 子-1SG:POSS これ 悲しむ-PART 曲
oşon-don beri joldoš bol-up kel-e jat-a-t. (Küünün siri)
 その-ABL から 友 なる-CVB 来る-CVB jat-PRES-3
 「ほら、息子。この悲しい曲はその時から友になってきている。」

今回の調査で現れた時間の起点と終点を明示して表わす副詞相当句は次のとおりである。

〔～ABL〕の場合
ata-babalardan 「先祖から」

「〔～ABL beri〕の場合
bayırkī ubakıttan beri 「古い時代から」
milliarddagan jıldardan beri 「何億年前から」
7 jıldan beri 「7年前から」
20 jıldan beri 「20年前から」
1993-jıldan beri 「1993年から」
oşondon beri 「その時から」
ėčaktan beri 「以前から」

〔～DAT čeyin〕など
azırkıga čeyin 「今日まで」
azırkı kezde 「今の時期」

〔主体の漸進的な変化を表わす動詞-(i)p 移動動詞-a/-y jat-〕

この類には、〔主体の漸進的な変化を表わす動詞-(i)p 移動動詞-a/-y jat-〕という形式で現れるものがある。

〔主体の漸進的な変化を表わす動詞-(i)p 移動動詞-a/-y jat-〕形式の場合に現れた《漸

進的な変化を表わす動詞》は次のようなものである。

jogorula-「上がる」、kötörül-「上がる、上る」、ildiyla-「下がる」、jakında-「近づく」、
ös-「伸びる」、önük-「発展する」、čoŋoy-「成長する」、özgör-「変わる」、keč kir-
「暗くなる（夕方になる）」、kürkürö-「激しくなる」、čik-「出る」、ayik-「回復す
る」、ërtele-「早める」、など

これらの動詞の場合、jat-はこれまでみてきた文法的な意味と異なり、主体の〈**変化の進展**〉という文法的な意味を表わす。つまり、主体（物事）の変化が一定の方向に進展することを表わす。

- (143) Tigi-ne kün **kötörül-üp** **kel-e** **jat-a-t.** (Jaralangan jürök)
あそこ-DAT 太陽 上る-CVB 来る-CVB jat-PRES-3
「あそこで、太陽が昇りきている。」
- (144) Ėpte-p öl-bö-y **ayig-ip** **kel-e** **jat-a-m.** (Kanibek)
なんとかする-CVB 死ぬ-NEG-CVB 回復する-CVB 来る-CVB jat-PRES-3
「(私は) なんとかして死なないで回復しつつある。」
- (145) ...**keč** **kir-ip** **bar-a** **jat-kan** kez-de,
夕方 入る-CVB 行く-CVB jat-PART 時-LOC
bir ütüröy-gön boz üy-gö burul-du-m. (Boorondun künü)
一 ぼろい-PART ボズウイ-DAT 曲がる-PST1-1SG
「暗くなっていった時、あるボロそうなボズウイ（テント）に寄った。」
- (146) Tereze-den kol-um-du čig-ar-ip, **ildiyla-p**
窓-ABL 手-1SG:POSS-ACC 出す-CAUS-CVB 下る-CVB
ket-ip **bar-a** **jat-kan** šar-dī karma-y kal-dī-m. (Üčünčü šar)
行く-CVB 行く-CVB jat-PART 風船-ACC つかむ-CVB 残る-PST1-1SG
「窓から手を出して、おりていっている風船をつかんだ。」

これらの用例から分かるとおり、漸進的な変化が〈**持続**〉するということは、その物事の変化が一定の方向に進展することだと考えられる。すなわち、このような場合の jat-は主体の〈**変化の進展**〉の意味を表わすようになる。

特に、主体の漸進的な変化を表わす動詞のうち、《主体の数量の現象を表わす動詞》が現れるのも特徴的である。たとえば、次のようなものである。

az kal- 「減る」、azay- 「減る」、jogol- 「消える、なくなる」、kīril- 「絶滅される、殺される」、jok bol- 「なくなる」、kuušurul- 「縮まる、減る」、unutul- 「忘れられる」、など

- (147) Kanattuu-lar-dīn at-il-ip **jok bol-up**
 鳥類-PL-GEN 打つ-PASS-CVB 無 なる-CVB
bar-a jat-kan-ī-na išen-di. (Kutbilim・№5)
 行く-CVB jat-PART-3:POSS-DAT 信じる-PST1
 「鳥類は撃たれて、いなくなっていっことを信じた。」
- (148) Kanattuu-lar **kīr-il-ip bar-a**
 鳥類-PL 殺す-PASS-CVB 行く-CVB
jat-kan-ī-n oylon-uš-a-t. (Kutbilim・№5)
 jat-VN-3:POSS-ACC 考える-RECIP-PRES-3
 「(彼らは) 鳥類が殺されていくことを考える。」
- (149) Iš-čara-nīn negizgi salt-ī **unut-ul-up bar-a jat-kan**
 仕事-GEN 主旨 伝統-3:POSS 忘れる-PASS-CVB 行く-CVB jat-PART
 salt-tar-dī kayra-dan ište-p čīg-uu
 伝統-PL-ACC 再び-ABL 働く-CVB 出る-VN
bol-up ěseptel-e-t. (Kutbilim・№4)
 なる-CVB みなす-PRES-3
 「仕事の主旨は、忘れられつつある伝統を再び検証することだとみなされている。」
- (150) Mīnday jasalga jaš jetkinček-ter-ge kīzīg-uu-nu **jarat-ip,**
 このような 飾り 若者-PL-DAT 興味を持つ-VN-ACC もたらず-CVB
jogol-up bar-a jat-kan janībar-lar-ga ayar
 消える-CVB 行く-CVB jat-PART 動物-PL-DAT 配慮
 mamile kīl-uu-ga ündö-y-t. (Kutbilim・№6)
 態度 する-VN-DAT 呼ぶ-PRES-3
 「このような飾りは、若者に興味をもたらし、消えつつある動物達に対して配慮する態度をよびおこす。」

《主体の活動動作を表わす動詞》

V-a/-y jat-形式の場合、上でみてきた《主体の移動動作を表わす動詞》の kel-「来る」と bar-「行く」以外に、kör-「見る（3例）」と al-「連れる（2例）」が出た。

まず、kör-「見る」の場合、次のように körö jatarbiz という形でしか現れなかった。

(151) Anī azir kör-ö jat-ar-biz! (Birinči mugalim)

彼:ACC 今 見る-CVB jat-AOR-1PL

「彼を今、みてみましょう。」

(152) İšte-p tur-uñuz kiyinče-rëk ilayig-ï-na

働く-CVB tur-2SG:IMP 後程-COMP 様子-3:POSS-DAT

kara-p, dagi kör-ö jat-ar-biz. (Ëne määrimi)

見る-CVB また 見る-CVB jat-AOR-1PL

「働いていてください。しばらく様子を見て、またみてみましょう。」

この文で現れる -ar 接尾辞については、Davletov & Kudaybergenov(1980)では、次のように記述されている。

Келер чактын бул түрү кыймыл-аракеттин болор, болбосун арсар көрсөтөт. Арсар келер чактын морфологиялык көрсөткүчү болуп -ar// -ep мүчөсү эсептелет. (pp.172-173)「未来形のこの形は、動作が行われるか、行われぬか未定のことを表わす。未定未来形の形態論的なマーカーとして -ar// -er 接尾辞で示される。」

このようなことから、körö jatarbiz は、kör-「見る」という動作が未来において《動作の持続》の意味を表わすと位置付けておく。今回は、kör-「見る」という動詞しか現れなかったが、他にどのような動詞と組み合わせるか、或いは、他の動詞とは組み合わせられないのか、が興味深く、今後、用例数を増やし調査する必要がある。

次に、al-「連れる」は2例だったが、これらも ala jat という決まったという形で現れた。

(153) Al-ij jet-se al-a jat! (Astra gülü)

力-2SG:POSS 着く-COND 取る-CVB jat

「できるなら、連れて行って！」

(154) Kagılayın boor-um, **al-a** **jat!** (Jaralangan jürök)

愛する 肝臓-1SG:POSS 取る-CVB jat

「愛する兄弟、連れて行って！」

上の文で出てくる **ala jat** は、固定化された表現である。キルギスでは、親しい人が亡くなって、そのお葬式の際に、悲しみを表現する場合に、使われる。「(私を) あの世に連れて行け、一緒に死にたいほど、悲しい」という意味を表わし、お葬式の時にのみ使われる。つまり、上の用例では、**ala jat** という文の主体は、「死んだ人」である。このことから、これらの用例の場合、**jat-**「横たわる」が使われており、**jat-**の本来の語彙的な意味が影響しているのではないかと思われる。したがって、これらの用例の **jat-**を他の補助動詞と置き換えることはできない。

9.3. まとめ

本章では、V-(i)p jat-形式と V-(i)p jat-形式の場合に現れる主動詞の意味的なタイプとそれらが表わす文法的な意味について述べた。

V-(i)p jat-形式に現れる「動作動詞」の場合、《主体の活動動作を表わす動詞-ある時点における〈動作の持続〉⁴¹》、《主体の長期的な活動動作を表わす動詞-長期にわたる〈動作の持続〉》、《自然現象の動きを表わす動詞-現在における自然現象の〈うごきの持続〉》、《主体の生理的な動きを表わす動詞-ある時点における〈うごきの持続〉》、《主体の再帰的な動作を表わす動詞-ある時点における〈動作の持続〉》、《主体の移動動作を表わす動詞-①〈動作の開始〉、②〈動作のくりかえし〉、③〈動作のくりかえし〉》のタイプが取り出された。これらの場合、jat-は、基本的に主体の〈動作の持続〉という文法的な意味を表わすが、主動詞の意味的なタイプや文中での言語的な条件によって、〈動作のくりかえし〉や〈変化の結果の状態〉などの意味へ移行することがある。

V-(i)p jat-形式に現れる「変化動詞」の場合、《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞-〈変化の結果の状態〉》、《人の社会的な変化を表わす動詞-〈動作のくりかえし〉、〈変化の結果の状態〉》、《主体の漸進的な変化を表わす動詞-〈変化の進展〉》のタイプが取り出された。ただし、「動作動詞」の場合と異なって、「変化動詞」の場合、jat-は本来の語彙的な意味「横たわる」の意味が影響している用例もみられた。特に、動詞 öI-「死ぬ」、ukta-「眠る」の場合、jat-の語彙的な意味がある程度残っている。

V-(i)p jat-形式に現れる「状態動詞」の場合、《主体の空間的な関係を表わす動詞》のタイプがみられた。このような場合、jat-は、〈変化を起こさず、前から同じ状態の中にあること〉を表わす。

V-(i)p jat-形式に現れる「内的感情動詞」の場合、《主体の思考活動動作を表わす動詞-ある時点における〈思考動作の持続〉》、《主体の感情を表わす動詞-ある時点における〈心理状態〉》、《主体の評価的な態度を表わす動詞-ある時点における〈心理状態〉》のタイプが取り出された。これらの場合、基本的に人主語に限られる。

V-a-y jat-形式の場合、《主体の移動動作を表わす動詞》と《主体の活動動作を表わす動詞》のタイプが取り出された。このうち、《主体の移動動作を表わす動詞》は圧倒的に多いことが分かった。《主体の移動動作を表わす動詞》の考察の際、[移動動詞-a-y jat-]と[V-(i)p 移動動詞-a-y jat-]形式で現れる場合に分けてみた。[移動動詞-a-y jat-]形式で現れる場合、主体の具体的な移動動作がちょうど行われており、現在における〈動作の持続〉、現在における〈うごきの持続〉、そして事主語の場合〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。これに対して、[V-(i)p 移動動詞-a-y jat-]形式で現れる場合、V-(i)p の V にくる動詞のタイプによって、jat-の文法的な意味が変わる。現在における〈動作の持続〉、長期にわたる〈動作の持続〉、〈変化の進展〉といった文法的な意味を表わすことが確認できた。

⁴¹ 当該のタイプの場合に現れる文法的な意味を示しておく。

第10章 補助動詞 tur-

この章では、補助動詞 tur-の考察を行う。今回の言語資料から補助動詞 tur-の場合、次のようなデータが得られた。

表 12 補助動詞 tur-の全用例数

補助動詞形式	異なり語数	延べ語数
V-(i)p tur-	496	1248 例
V-a/-y tur-	159	310 例
合計	655	1558 例

次の章から、V-(i)p tur-形式、V-a/-y tur-形式の順に、それぞれの文法的な意味について考える。

10.1. V-(i)p tur-形式の場合

ここでは、V-(i)p tur-形式の場合に生じる tur-の文法的な意味について考察する。今回は、次のような動詞の種類が現れた。

表 13 V-(i)p tur-形式の場合に現れる動詞の大分類

動詞の種類	用例数
「動作動詞」	633
「変化動詞」	430
「状態動詞」	52
「内的感情動詞」	131
その他（補助動詞として現れる動詞の場合）	2
合計	1248

V-(i)p tur-形式の場合、全ての動詞の種類が現れた。V-(i)p tur-形式の場合、「動作動詞」は多いが、他の補助動詞形式とは異なり、「変化動詞」の数も圧倒的に多く現れた。

以下、上の順にそれぞれの動詞の場合に現れる主動詞の意味的なタイプの種類と文法的な意味について考える。

10.1.1. 「動作動詞」

V-(i)p tur-形式の場合、「動作動詞」が多く現れる。「動作動詞」に tur-が後接すると、基本的に〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。しかし、V-(i)p tur-形式の場合に現れる「動作動詞」をしてみると、主動詞の意味的なタイプによって、偏っている。以下、V-(i)p tur-形式の場合に現れる主動詞の意味的なタイプとそれらの場合に現れる文法的な意味、そしてその他の特徴について考える。

V-(i)p tur-形式に現れる「動作動詞」の場合、次のような意味的なタイプが取り出された。以下、それぞれについてみる。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の活動動作を表わす動詞》	oku-「読む」、oyno-「遊ぶ」、jaz-「書く」、など
《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》	jaša-「生活する、暮らす」、jaz-「書く」、など
《主体の視覚・聴覚活動を表わす動詞》	kara-「見る」、kör-「見る」、uk-「聞く」、など
《自然現象の動きを表わす動詞》	jaa-「降る」、kuy-「降る」、jür-「吹く」、など
《主体の生理的な動きを表わす動詞》	kaltıra-「震える」、titire-「震える」、など
《主体の移動動作を表わす動詞》	bas-「歩く」、öt-「通る」、kel-「来る」、など

《主体の活動動作を表わす動詞》

V-(i)p tur-形式の場合に現れる《主体の活動動作を表わす動詞》は、ある一定の時間における〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。

まず、主体の立って行うことができる活動動作を表わす動詞が多く現れる。

- (15) Ęne süt-ü-nün kubat-i kančalik,
 母 乳-3:POSS-GEN カ-3:POSS どんなに
 kečkisin türp ęt-pe-y jīgil-gan baldar
 夕方 動く-NEG-CVB 倒れる-PART 子供達
 ęrteņ menen tak sekir-ip oyno-p tur-du. (Bugu ęne)
 朝 真直ぐ ジャンプする-CVB 遊ぶ-CVB tur-PST1
 「母乳の力はどんなによい。夕方は動きもしないで倒れた子供達が朝、飛び上がって遊んでいた。」

- (16) Ęšmat menen süylö-š-üp tur-a-t
 PSN と 話す-RECIP-CVB tur-PRES-3

de-p biröö maga ayt-ti. (Tarix eşteligi)

言う-CVB 一人 私:DAT 言う-PST1

「(誰かが) エシュマトと話し合っているとある人が私に言った。」

次のように、文中に動作が行われている場所を示す位格がついている場合、主体が立って動作を行っていることが明瞭に現れる。

(157) Men çay-dī ičeyin de-p jat-sa-m Anarxan

私 茶-ACC 飲む-1SG:VOL 言う-CVB jat-COND-1SG PSN

jaŋda-p tereze-de iyla-p tur-gan éken. (Kaniĭbek)

身ぶりする 窓-LOC 泣く-CVB tur-PST2 MOD

「私はお茶を飲もうとしていたら、アナルハンは身ぶりして窓で泣いていたそうだ。」

(158) Mukanbet çoŋ ata-m-din üy-ü-nün jan-i-nda

PSN 大 父-1SG:POSS-GEN 家-3:POSS-GEN 隣-3:POSS-LOC

köp ėl toptoš-up tur-uš-kan éken. (Turmuštan jaralğan čoku)

沢山 人 集まる-CVB tur-RECIP-PST2 MOD

「ムカヌベトお爺ちゃんの家の上に沢山の人が集まっていたそうです。」

(159) Nemeç-ter aylana-ni jarkirat-ip tündir-ba-y

ドイツ人-PL 回り-ACC ピカピカにする-CVB 止める-NEG-CVB

raketa at-ip tur-uš-tu. (Čalginčilar)

ロケット 打つ-CVB tur-RECIP-PST1

「ドイツ人は回りをピカピカさせて止めずに、ロケットを打っていた。」

また、以下の用例の場合、主体は but「足」であるから tur-が使われている。ここでの tur-を他の補助動詞と置き換えることはできない。

(160) Ošent-ip baš-iŋ ište-be-se da,

そうして 頭-2SG:POSS 働く-NEG-COND EMPH

~~but-un~~ ište-p tur-sun, — de-ptir. (Kaada-salt...)

足-2SG:POSS 働く-CVB tur-3:IMP 言う-PST3

「そうして頭が働かなければ、足が働きつづけるようにと言ったそうだ。」

上でみてきた用例では、tur-は語彙的な意味をある程度残しつつ、ある一定の時間における〈動作の持続〉という文法的な意味を果たしている。

V-(i)p tur-形式の場合、基本的にある一定の時間における〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。これは、V-(i)p jat-形式の場合に現れる、〈動作の持続〉という文法的な意味とは異なるものである。V-(i)p jat-形式の場合、発話時において主体の動作が持続している過程を表わすが、V-(i)p tur-形式の場合、必ずしも発話時において動作が持続しているとは限らない。

たとえば、動詞 ič-「飲む」を例に jat-と tur-の文法的な意味について考えてみよう。

- (161) Ušu tamak ič-ip at-kan-da
 この 食事 飲む-CVB jat-PART-LOC
 jürög-üm aylan-a-t timele! (Telegey)
 心-1SG:POSS 吐き気する-PRES-3 こんなに
 「いつも食事を**食べている**時に、吐き気がするんだよね。」
- (162) Anğiča mīna bul azık-ti ič-ip tur. (Kanibek)
 それまで この この 食べ物-ACC 飲む-CVB tur
 「それまでこの食べ物を**飲んで**いなさい。」

上の ičip at-の場合、発話時において主体の「飲む」という動作がちょうど行なわれていて、〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。一方、ičip tur-の場合、発話時の「現在」ではなく、ある一定の時間における〈動作の持続〉の意味を表わしている。tur-の場合、上の用例では Anğiča「それまで」という副詞相当句によって、「ある一定の時間」ということが明瞭に現れている。

また、動作の頻度を表わす副詞相当句などによって、ある一定の時間における〈動作の持続〉の意味が、〈動作のくりかえし〉の意味へと移行することがある。次の用例の場合、「100ソムをあげる」という動作が毎日、繰り返して行われることを表わす。

- (163) “Bul jak-ta irda-p tur-ba-y-siñ-bi,
 ここ 方-LOC 歌う-CVB tur-NEG-PRES-2SG-Q
 kününö jüz som-don ber-ip tur-a-biz”. (Zamandaš・№4)
 毎日 百 ソム-ABL 与える-CVB tur-PRES-1PL
 「ここで**歌っていないか**。毎日 100ソムずつ (から) **あげます**。」

また、ar juma sayin「毎週」、ay sayin「毎月」或いは tez-tez「しょっちゅう」などのように動作の頻度を表わす副詞相当句が使われることによって、〈動作のくりかえし〉の意味が現れる。

- (164) Ar juma sayın ar kimi-si kezek menen
 各 週 ごと 各 誰-3:POSS 順番 に
čakır-ıp tur-uş-a-t. (Turmuştan jaralğan čoku.)
 招待する-CVB tur-RECIP-PRES-3
 「毎週、皆が順番に招待しあっている。」

- (165) Uşint-ip boor-uŋ-du dayıma
 こうして 肝臓-2SG:POSS-ACC いつも
ěz-ip ber-ip tur-a-m. (Aşimbaev)
 つぶす-CVB 与える-CVB tur-PRES-1SG
 「このようにしていつも、(肝臓をつぶす) 笑わせてあげるよ。」

次の用例では、経験や習慣を表わす接尾辞-čuがつくことによって、過去における〈動作のくりかえし〉の意味が現れている。

- (166) Oşol uçur-da ay sayın 300 rubl-den
 その 時-LOC 月 ごと 300 ルーブル-ABL
 stipendiya **al-ıp tur-ču-mun.** (Ėrkin Too)
 奨学金 取る-CVB tur-PST4-1SG
 「その時、毎月300ルーブル奨学金を受け取っていた。」

- (167) Tez-tez kuran **oku-p tur-ču-buz.** (Selsayak)
 早 早 コーラン 読む-CVB tur-PST4-1PL
 「(私達は) しょっちゅう コーランを読んでいた。」

《主体の活動動作を表わす動詞》であっても必ずしもある一定の時間における〈動作の持続〉の意味を表わすとはいえない。たとえば、jaz-「書く」、iyla-「泣く」はこのタイプではあるが、以下の用例では物主語の場合に使われており、この場合は、tur-は、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

- (168) Termograf aba-nın temperatura-si-n
 サーモグラフィー 空気-GEN 温度-3:POSS-ACC
 tünim-siz **jaz-ıp tur-uu-ču** aspap. (Fizikalik geografiya)
 休み-NEG 書く-CVB tur-VN-NMLZ 機械
 「サーモグラフィーは空気の温度を連続で書いている機械だ。」

- (169) Bardik buuday orok tile-p **ïyla-p** **tur-a-t**. (Tarix ёsteligi)
 全て 麦 鎌 願う-CVB 泣く-CVB tur-PRES-3
 「すべての麦は、鎌を願って、泣いている。」

上の用例では、「麦」は伸びてしまって、切って欲しい時、比喩的に使われている文である。

なお、V-(i)p tur-形式の場合、tur-の語彙的な意味が読み取れない用例も存在する。たとえば、次の jaz-「書く」、juu-「洗う」、dayarda-「準備する」などの動詞の場合、必ずしも立って行っている動作とはいえない。しかし、これらの動詞の場合、tur-は、主体の〈動作の準備〉の意味を表わす。

- (170) Mïndan arï öz-üm jönündö bol-gon
 これ:ABL から 自分-1SG:POSS について なる-PART
 jañilik-tar-dï bil-dir-ip kat **jaz-ïp** **tur-a-m**. (Astra gülü)
 ニュース-PL-ACC 知る-CAUS-CVB 手紙 書く-CVB tur-PRES-1SG
 「これから自分について起きたニュースを知らせる手紙を書くようにします。」

- (171) Kara samïn-dï, taşteki, suu-nu **dayarda-p** **tur-a-m**. (Jaralanbagan jar.)
 黒い 石鹼-ACC 水桶-ACC 水-ACC 準備する-CVB tur-PRES-1SG
 「黒い石鹼、水桶を準備しておきます。」

- (172) Tiş-iñ-di ar dayïm **juu-p** **tur**. (Meken taanuu)
 歯-2SG:POSS-ACC いつも 洗う-CVB tur
 「(あなたは) 歯をいつも磨き続けなさい。」

・ küt-「待つ」の場合

動詞 küt-「待つ」は、全ての補助動詞の場合に現れる。特に tur-の場合、圧倒的に多く現れる。

küt-üp jat-	4 例
küt-üp tur-	26 例
küt-üp otur-	9 例
küt-üp jür-	9 例

tur-の場合、人主語に限らず、物主語や事主語の場合にも現れる。

まず、人主語の場合、**現在における〈動作の持続〉**の意味を表わす。

- (173) Joldoš-tor-um tigil jak-ta meni **küt-üp** **tur-uş-a-t.** (Ėkinči ömür)
 友-PL-1SG:POSS あそこ 方-LOC 私:ACC 待つ-CVB tur-RECIP-PRES-3
 「友達があそこで私を**待っている**んだ。」

次に、mašina kütüp turuptur「車が待っているようだ」のように、主語に「車」、つまり、移動物がくる。この場合は、**〈動作の持続〉**の意味を表わすとは考えられなく、主体の**〈変化の結果の状態〉**の意味を表わすといえる。

- (174) Sulayman biz-di jetkir-üü üčün atayın čakır-t-kan-bi, aytor,
 PSN 私達-ACC 送る-VN 為 わざわざ 呼ぶ-CAUS-PST2-Q とにかく
 oorukana-nın ald-ı-nda mašina **küt-üp** **tur-uptur.** (Astra gülü)
 病院-GEN 前-3:POSS-LOC 車 待つ-CVB tur-PST3
 「スライマンが私達を送る為に、わざわざ呼ばせたか分からないが、とにかく、病院の前で車が**待っていた**ようだ。」

次の用例では、ěmneler「何」、kedeylik – kembagaldık「貧困」などのように抽象的な事が主語にくる場合である。これらの場合も、主体の**〈変化の結果の状態〉**の意味を表わすといえる。

- (175) Dagı ald-ı-da biz-di ėmne-ler
 また 未来-3:POSS-LOC 私達-ACC 何-PL
küt-üp **tur-gan-ı-n** kim bil-sin. (Astra gülü)
 待つ-CVB tur-VN-3:POSS-ACC 誰 知る-3:IMP
 「また未来に、私達を何が**待っているか**を誰が知るか。」

- (176) “Kayda bar-sa-ŋ jokčuluk, kedeylik – kembagaldık
 どこ 行く-COND-2SG 金欠 貧困 貧困
 seni **küt-üp** **tur-a-t**”. (Kaada-salt...)
 君:ACC 待つ-CVB tur-PRES-3
 「どこにいても、金欠、貧困が君を**待っている**。」

なお、本論文の1.2.「本研究の対象」のところであげた例文は、動詞 küt-「待つ」の例である。各補助動詞の形式に現れる場合、いったいどのような違いがあるのかと論文執筆開始の時、疑問に思っていたことである。まず、今回のデータから出てきた動詞 küt-「待つ」

の実際の用例をみてみよう。

- (177) Bil-e-siz-bi, tigi-nde biz-di
 知る-PRES-2SG-Q あそこ-LOC 私達-ACC
 kanča kiši **küt-üp jat-a-t?** (Astra gülü)
 何人 人 待つ-CVB jat-PRES-3
 「知っていますか。あそこで私達を何人が**待っているか。**」
- (178) Joldoš-tor-um tigi jak-ta meni **küt-üp tur-uš-a-t.** (Ėkinči ömür)
 友-PL-1SG:POSS あそこ 方-LOC 私:ACC 待つ-CVB tur-RECIP-PRES-3
 「友達**は**あそこで私を**待っているんだ。**」
- (179) Seni, Karasart ěköö-ŋ-dü **küt-üp otur-a-biz.** (Jaralangan jürök)
 君:ACC PSN 二人-2SG:POSS-ACC 待つ-CVB otur-PRES-1PL
 「君とカラサルトの二人を**待っている。**」
- (180) A ěne-si čač-i agar-ïp tokson-don aš-kan-ča
 一方 母-3:POSS 髪-3:POSS 白くなる-CVB 九十-ABL 超える-PART-まで
 uul-um kel-e-t de-p **küt-üp jür-ö-t.** (On üçünčü tolkun)
 息子-1SG:POSS 来る-PRES-3 言う-CVB 待つ-CVB jür-PRES-3
 「一方、お母さんは白髪になって 90 歳を超えても、息子が帰ってくると**待っている。**」

これらの用例からいえることは、次のことである。

まず、動詞 küt-「待つ」は、確かにすべての補助動詞と組み合わせることができる。

次に、動詞 küt-「待つ」に各補助動詞が後接する場合、主体の〈動作の持続〉の意味を表わすことが確認できる。そして、上の 4 つの用例の場合に限っていえば、いずれも**ある時点における〈動作の持続〉**の意味を表わしている。以下、それぞれの違いを考えてみる。

まず、kütüp jat-の場合、文中に位格が現れている。これは、9.1.1.で述べたが、「文中に動作が行われている場所を示す位格と属格がついている場合」であり、**現在における〈動作の持続〉**という意味が補強される。また、kütüp jat-の場合、主体はどのような姿勢で待っているのかが重要ではなく、「発話時において待っている」ことが重要である。つまり、kütüp jat-を「横になって待っている」という意味で解釈できない。

次に、kütüp tur-の場合であるが、この場合も文中に位格が現れている。つまり、**現在における〈動作の持続〉**という意味を表わすといえる。しかし、jat-と異なって、tur-の場合、主体が立った状態で待っているという意味が読み取れる。

そして、kütüp otur-の場合である。otur-の場合、基本的に座って行うことができる主体の活動動作を表わす動詞でなければならない(11.1.1.で後述)。したがって、上の用例において、主体は「座った状態で待っている」という意味で解釈できる。

最後に、kütüp jür-の場合、他の補助動詞(jat-, tur-, otur-)と異なって、主体の**長期にわたる〈動作の持続〉**の意味を表わす。ここでは、長い時間待っている状態が「現在」も持続していることを表わす。そして、上の用例では、A ěnesi čači agarip toksondon aškanča「そして、お母さんは白髪になって90歳を超えても、」という長い期間を表わす修飾語がつくことによって、主体の**長期にわたる〈動作の持続〉**の意味が明瞭に現れる。

上のようなことから、動詞küt-「待つ」に後接する各補助動詞の文法的な意味は、文中に現れる語彙的・文法的な条件によって、実現されるといえる。

《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》

V-(i)p tur-形式の場合に《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》が現われた。この場合、主体の**長期にわたる〈動作の持続〉**の意味を表わす。なお、V-(i)p jat-形式の場合に比べると、動詞の出現数は圧倒的に少ない。

- (181) Menin bul jer-de jaša-p
私:GEN この 場所-LOC 住む-CVB
tur-uš-um-a üč ay-dan aš-ti. (Üčünčü šar)
tur-VN-1SG:POSS-DAT 三 月-ABL 超える-PST1
「私がここに**住んでいる**ことに3ヶ月を超えた。」

- (182) Ar uruu ěl jaša-p tur-a-t
様々 族 人々 住む-CVB tur-PRES-3
anda ěnesay-din boy-u-nda. (Bugu ěne)
そこ:LOC PLN-GEN 浴-3:POSS-LOC
「様々な民族が**暮らしている**あのエニサイの浴で。」

これらの用例では、立った状態で住むということはありませんので、tur-の語彙的な意味が殆ど残っていないといえる。

なお、V-(i)p jat-形式の場合に現れたjaz-「書く」やište-「働く」などのような動詞は、V-(i)p tur-の場合にほとんどでてこない。次のような用例はあるが、この場合、**ある一定の時間における〈動作の持続〉**の意味を表わす。

- (183) Adres-im-di jiber-e-m, kat
 住所-1SG:POSS-ACC 送る-PRES-1SG 手紙
jaz-ïp tur-gula, -de-p öö-p koštoš-tu. (Čalgınçılar)
 書く-CVB tur-2:IMP 言う-CVB キスする-CVB 別れる-PST1
 「住所を送る。手紙を書いてください。と言ってキスして別れた。」

《主体の視覚・視聴活動動作を表わす動詞》

V-(i)p tur-形式の場合、《主体の視覚・視聴活動動作を表わす動詞》のタイプが現れるのは特徴的である。

今回の調査で得られた動詞のうち、《主体の視覚・視聴活動動作を表わす動詞》に次のようなものがある。

kara- 「見る」、kör- 「見る」、körün- 「見える」、tikte- 「見つめる」、baykal- 「見える」、karat- 「見させる」、körgönsü- 「見るふりをする」、köz jügürt- 「見渡す」、şıkaala- 「こっそり見る」、tikteš- 「見つめあう」、tüstön- 「見える」、uk- 「聞く」、tınjša- 「立ち聞きする」、ugul- 「聞こえる」、kulak sal- 「耳を傾ける」、など

これらの動詞の場合、ある一定の時間における〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。

まず、kara- 「見る」、kör- 「見る」という動詞が圧倒的に多く現れた。これらは、両方とも日本語に「見る」と訳される。kara-は、視線を対象の方へ向ける行為のことを表わすが、kör-は、視覚上の認知を意味して、対象が「自然に見える」ことを表わす。どちらの場合にも tur-が使われる。

- (184) Ayal-dar ulak-tın tamaša-sı-n
 女性-PL 山羊-GEN ゲーム-3:POSS-ACC
 alıs-tan **kara-p tur-uš-a-t. (Kanıbek)**
 遠い-ABL 見る-CVB tur-RECIP-PRES-3
 「女性達は山羊の奪い合いゲームを遠くから**見ている**。」
- (185) Bir az-ga köz toktot-up, **kara-p tur-du-m. (Telegey)**
 一 少し-DAT 目 止める-CVB 見る-CVB tur-PST1-1SG

「ちょっと目をとめて、(私は) 見ていた。」

- (186) Dürbü-süz ěle **kör-üp** **tur-a-m**,
 双眼鏡-NEG EMPH 見る-CVB tur-PRES-1SG
 ěč karaan jok, — de-di Zuura. (Čalgınçılar)
 誰も 無 言う-PST1 PSN

「双眼鏡なしでも**見ているよ**。誰もいない。と言ったズーラ。」

- (187) Beg-im, **kör-üp** **tur-du-ŋ** go? (Kanıbek)
 主人-1SG:POSS 見る-CVB tur-PST1-2SG MOD
 「ご主人様、**見ていた**じゃないか。」

これらの用例を jat- と置き換えることはできるが、以下のような jat- の用例を逆に tur- と置き換えることはできない。

- (188) Nazira kökürög-ü-n tıŋša-p **kör-üp** **jat-ti**. (Čalgınçılar)
 PSN 胸-3:POSS-ACC 聞く-CVB 診る-CVB jat-PST1
 「ナジラは、胸に耳を当てて、**診ていた**。」

この場合の動詞 kör- は、目によって物事の存在や動きを認識する、つまり、「見る」というよりも、医者が病人を診察する場合の「診る」の意味を表わす。

次に、主体の《主体の視覚・視聴活動動作を表わす動詞》には uk- 「聞く」、tıŋša- 「立ち聞きする」などの用例がみられた。

- (189) Burul jašırın-ıp kir-ip, **tıŋša-p** **tur-a-t**. (Atanin tagdiri)
 PSN 隠れる-CVB 入る-CVB 立聞きする-CVB tur-PRES-3
 「ブルルは、隠れて入って、**立聞き**している。」

- (190) **Ug-up** **tur**, ayt-kan-dar-ım saga sabak. (Ėkinči ömür)
 聞く-CVB tur 言う-PART-PL-1SG:POSS 君:DAT 勉強
 「**聞いていなさい**。私が言ったことは君には、勉強だ。」

《主体の視覚・視聴活動動作を表わす動詞》に tur- が後接する場合、基本的に**ある一定の時間における〈動作の持続〉**の意味を表わすが、次のような場合、tur- は、主体の**〈変化の結果の状態〉**の意味へ移行する。

まず、文が物・事主語から成り立つと、kara-「見る」という動詞が主体の無意志的な状態を表わし、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

- (191) Bölmö ösümdük-tör-ü-n kara-p kör-sö-m,
 部屋 植物-PL-3:POSS-ACC 見る-CVB 見る-COND-1SG
 jalbīrak-tar-ī jarīk-tī **kara-p tur-a-t.** (Meken taanuu)
 葉-PL-3:POSS 光-ACC 見る-CVB tur-PRES-3
 「部屋の植物をみると、葉っぱが光を見ている。」

- (192) Öz og-u-nda aylan-uu menen Ay-dīn ar türdüü jak-tar-ī
 自分 軸-3:POSS-LOC 回る-VN で 月-GEN 様々な 方-PL-3:POSS
 kezek kezeg-i menen Kün-dü **kara-p tur-a-t.** (Astronomiya)
 順 順-3:POSS に 太陽-ACC 見る-CVB tur-PRES-3
 「自分の軸で回ることによって、月の様々な個所が順番に太陽を見ている。」

また、次のような自動詞として使われる動詞も《主体の視覚・視聴活動動作を表わす動詞》のタイプに入れて考えた。これらの場合、tur-は、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

- (193) Azīr biz-ge al karagay daana **körün-üp tur-du.** (Turmuştan j. č.)
 今 私達-DAT その 木 はっきりと 見える-CVB tur-PRES-3
 「今、私たちにその木は、はっきりと見えていた。」

- (194) Oyno-gon baldar-dīn čīñilda-gan
 遊ぶ-PART 子供達-GEN 騒ぐ-PART
 ün-dör-ü **ugul-up tur-du.** (Küünün sīrī)
 声-PL-3:POSS 聞こえる-CVB tur-PST1
 「遊んだ子供たちの騒いでいる声が聞こえていた。」

- (195) Brigada-ñiz miktī ište-gen-i **körün-üp tur-a-t.** (Čalgīnčīlar)
 グループ-2SG:POSS 最高 働く-PART-3:POSS 見える-CVB tur-PRES-3
 「あなたのグループは、素晴らしい仕事をしたことが見えている。」

- (196) Kantse da paydal-uu jag-ī köp
 なんとと言っても 役に立つ-VN 方-3:POSS 多い

ėken-i **baykal-ïp** **tur-a-t.** (Kïrgïz Tuusu・№56)

MOD-3:POSS 観察される-CVB tur-PRES-3

「なんと言っても、役に立つことが多そうなのは、**見えている。**」

ここで取り上げた kara-「見つめる」、kör-「見る」、tikte-「じっと見つめる」などのような《主体の視覚・視聴活動動作を表わす動詞》は、tur-の結びつきが強いことから、一つの組み合わせ（複合動詞）として考える研究もある(Yuldašev1977:119)。

《自然現象の動きを表わす動詞》

V-(ï)p tur-形式の場合、《主体の自然現象の動きを表わす動詞》のタイプも取り出された。

V-(ï)p tur-形式の場合に現れた《自然現象の動きを表わす動詞》に次のようなものがある。

ak-「流れる」、aloolo-「燃える」、aňilda-「(風が) 悲鳴をあげる」、jaa-「降る」、jaan kuy-「雨が降る」、jarkïra-「光る」、jür-「(風が) そよぐ」、kubaŋda-「曇る」、küüldö-「(風が) 悲鳴をあげる」、šïngïr-「鳴る」、tök-「(雨が激しく) 降る」、ur-「(風が) 吹きつける」、など

これらの動詞の場合、**自然現象の〈うごきの持続〉**という文法的な意味を表わす。

(197) Bul tilke-de jïl boyu jaan **jaa-p** tur-a-t. (Fizikalik geografiya)

この 地域-LOC 年 中 雨 降る-CVB tur-PRES-3

「この地域で一年中雨が**降っている。**」

(198) Biz bil-gen-dey, suu kün iši-gan-da gana ėmes,

私達 知る-PST2-MOD 水 日 暖まる-PART-LOC だけ NEG

šamal **jür-ïp** tur-gan-da da buulan-a-t. (Šookum・№7)

風 吹く-CVB tur-PART-LOC EMPH 蒸発する-PRES-3

「私達が知っている限り、水は**天気**が晴れた時だけではなく、**風が吹いている時**も蒸発するのだ。」

また、次のような šïbiratïp「シトシトと(雨が静かに小止みなく降る時に使われる)」、duuldap「ヒューヒューと(風が強く吹き続ける時に使われる)」などのような主体の動きを描写する擬声語・擬態語の副詞相当句によって、**現在における自然現象の〈うごきの持続〉**という意味が補強される。

- (199) Kün kürkürö-p, čagilgan čagil-ïp,
 日 とどろく-CVB 雷 光る-CVB
 šibirat-ïp jaan kuy-up tur-a-t. (Kanïbek)
 シトシトと 雨 降る-CVB tur-PRES-3
 「空がとどろき、雷が光り、シトシトと雨が降っている。」
- (200) Sirt-ta taaniš kapčigay-da adattagiday tün-kü šamal
 外-LOC 見慣れた 谷-LOC いつも通り 夜中-kï 風
 duulda-p ur-up tur-gan ěken. (Betme-bet)
 ヒューヒューと 吹く-CVB tur-PST2 MOD
 「外で見慣れた谷でいつも通りの夜中の風がヒューヒューと吹いていたそうです。」

また、次のように一つの文に tur-と jat-両方が現れるものが存在する。

- (201) Buu kötörül-gön at sooru-lar-ï-na kar tün-ba-y
 湯気 上がる-PART 馬 腰-PL-3:POSS-DAT 雪 止まる-NEG-CVB
 jaa-p tur-du, ěri-p jat-tï. (Ĕrte kelgen turnalar)
 降る-CVB tur-PST1 溶ける-CVB jat-PST1
 「湯気が上がっている馬の腰の部分に雪が止まらずに降っていた、溶けていた。」

上の文では、2つの動きが tur-、jat-という2種類の補助動詞で描かれることが分かる。文を分解してみると、次のようになる。

- kar jaa-p tur-du
 雪 降る-CVB tur-PST1
 「雪が降っていた。」

- kar ěri-p jat-tï
 雪 溶ける-CVB jat-PST1
 「雪が溶けていた。」

ここでは、jaa-「降る」の場合は、補助動詞 tur-が付加されていて、ěri-「溶ける」の場合は、補助動詞 jat-が付加されていて、どちらもその現象の動きが持続していることを表している。この文では、なぜ jaa-「降る」の場合に tur-が用いられ、ěri-「溶ける」の場合に jat-が用いられているのかが興味深い現象である。おそらく、jaa-「降る」という動きが上から落ちてくる動きであるので、tur-が使われ、ěri-「溶ける」が横になって広がっていくという動きを含むので、jat-が使われているのではないかと考える。つまり、この用例においては、

補助動詞 tur-と補助動詞 jat-の本動詞としての語彙的な意味が殆どないと思われるのが妥当であるが、実際には語彙的な意味がなんらかの形で影響しているのではないかと考える。

なお、tiy-「(太陽が光を) 照らす」場合もこのタイプに分類されるが、この場合は、**自然現象の〈うごきの持続〉**を表わすというより、主体の**〈変化の結果の状態〉**の意味を表わす。

(202) Bügün kün da sonun bol-up **tiy-ip** **tur-a-t.** (Mamake biy)

今日 太陽 も 素敵 なる-CVB 照らす-CVB tur-PRES-3

「今日は、太陽もとてもよく**照らしている**。」

(203) Čayıttay açık **tiy-ip** **tur-gan** kün bir zamatta bürköl-üp,

とても 晴れ 照らす-CVB tur-PART 太陽 一 早く 曇る-CVB

ulup-uñšu-gan boroon jür-ö başta-dī. (Aksıdagı...)

暴れる-PART 吹雪 動く-CVB 始まる-PST1

「とても晴れて**照らしている**太陽があつという間に曇って、暴れた吹雪が始まった。」

《主体の生理的な動きを表わす動詞》

V-(i)p tur-形式の場合、《主体の生理的な動きを表わす》動詞のタイプが現れた。これらの場合、ある時点における**〈うごきの持続〉**を表わす。

(204) ...koro-nun čet-i-nde tört but-tar-ï-n biriktir-ip

柵-GEN 外-3:POSS-LOC 四 足-PL-3:POSS-ACC 揃える-CVB

kalčilda-p, **titire-p** **tur-uš-tu.** (Turmuştan jaralğan čoku)

ぶるぶるする-CVB 震える-CVB tur-RECIP-PST1

「...柵の外で四本の足を揃えて、ぶるぶるして、(彼らが) **震えていた**。」

(205) Tayak karma-gan kol-u kalčilda-p,

杖 持つ-PART 手-3:POSS 震える-CVB

but-tar-ï **titire-p** **tur-du.** (Astra gülü)

足-PL-3:POSS 震える-CVB tur-PST1

「杖をもった手が震え、足も**震えていた**。」

- (206) **Kalčilda-p tur-gan ata-m-din tayag-i-nan jilbiš-ip,**
 震える-CVB tur-PART 父-1SG:POSS-GEN 杖-3:POSS-ABL 滑る-CVB
öz-ü jığıl-ıp bar-at-ti. (Telegey)
 自身-3:POSS 倒れる-CVB 行く-jat-PST1
 「(父は) 震えていた自身の杖から滑り、倒れつつあった。」

次の文では、物主語ではあるが、ここでは、生き物として扱われている。したがって、ここでも、主体の生理的な動きが持続していると考えてよいだろう。

- (207) **Anin kol-u-nda-gi kagaz, kagaz baş-i menen**
 彼:GEN 手-3:POSS-LOC-ki 紙 紙 頭-3:POSS で
dirilde-p tur-du, budu biz-dey bol-up... (Telegey)
 震える-CVB tur-PST1 まさに 私達-MOD なる-CVB
 「彼の手にあった紙が紙なのに震えていた。まさに私達のようになって...」

《主体の移動動作を表わす動詞》

今回のデータから、tur-が移動動詞に後接する用例は数少ないが出現した。以下、V-(i)p tur-形式の場合に現れた《主体の移動動作を表わす動詞》をさらに詳しくみる。移動動詞を①移動の様態、②移動そのものを表わす動詞に分けた。それぞれの用例の内訳を次の表で示す。

表 14 移動動詞-(i)p tur-の用例数

主動詞の意味的なタイプ	用例数
① 移動の様態を表わす動詞	4
② 移動そのものを表わす動詞	35
合計	39

① 移動の様態を表わす動詞

V-(i)p tur-形式の移動の様態を表わす動詞の場合、人主語、物主語、両方にも使える。移動の様態を表わす動詞、bas-「歩く」、öt-「通る」である。これらの場合、ある一定の時間における〈動作の持続〉の意味を表わす。

- (208) Tış-ta birpas **bas-ïp** **turdu** da, kaçan ěne-si biröö-gö
 外-LOC 少し 歩く-CVB tur-PST1 EMPH いつ 母-3:POSS 一人-DAT
 süylö-gön ün-ü ugul-gan-da üst-ü-nö kir-dı. (Darga suu)
 話す-PART 声-3:POSS 聞こえる-PART-LOC 上-3:POSS-DAT 入る-PST1
 「(彼は) 外で少し歩いていた。そして、お母さんの誰かに話しかけた声が聞こえた時、
 中に入った。」

また、次のように arkı-terki 「うろうろ (歩く、動く)」、arı-beri 「あちこち (歩く、動く)」などのような副詞相当句と共起することによって、〈動作の持続〉の意味が補強される。

- (209) Biz kir-gen-de Sapar üy-dö
 私達 入る-PART-LOC PSN 家-LOC
arkı-terki **bas-ïp** **tur-uptur.** (Astra gülü)
 あちこち 歩く-CVB tur-PST3
 「私たちが入った時、サパルは家でうろうろ歩いていたそうです。」

- (210) ...trolleybus-tar ünimsiz arı-beri **öt-üp** **tur-uş-u-n**
 トロリーバス-PL 止まらず あちこち 通る-CVB tur-VN-3:POSS-ACC
 baar-ïbiz kör-üp, bil-ip jür-ö-büz. (Kutbilim・№11)
 全員-1PL:POSS 見る-CVB 知る-CVB jür-PRES-1PL
 「トロリーバスは止まらず、あちこち通っている様子を皆が見て、知っている。」

② 移動そのものを表わす動詞

移動そのものを表わす動詞の場合、tur-は、主体の〈動作のくりかえし〉の意味を表わす。tur-の場合、kel- 「来る」、bar- 「行く」、ket- 「行く」、çik- 「出る」、kayt- 「戻る」の動詞が現れた。

- (211) Biz-ge **kel-ip** **tur-gula,** bol-gon
 私達-DAT 来る-CVB tur-2PL:IMP なる-PART
 jardam-dar-ïbiz-dı ber-e-biz. (Zamandaş・№4)
 手伝い-PL-1PL:POSS-ACC 与える-PRES-1PL
 「私たちの方に来るようにしてください。できる限り、手伝いをしてあげます。」

- (212) Ramatilik Bakit-tin stoyanka-si-na azir
 故人 PSN-GEN 駐車所-3:POSS-DAT 今
 da **bar-ip tur-a-m.** (Selsayak)
 EMPH 行く-CVB tur-PRES-1SG
 「故人のバクトの駐車所に今も**行っています。**」

これらの用例では、kel-「来る」、bar-「行く」という動作が繰り返し行われていることを表わす。

次のように文中に tez-tez「頻繁に」などのように動作の頻度を表わす副詞相当句や経験や習慣を表わす接尾辞-ču などが共起して使われることによって、〈動作のくりかえし〉の意味が明瞭に現れる。

- (213) Degi tez-tez **kel-ip tur-sa-ŋ,**
 とにかく 早 早 来る-CVB tur-COND-2SG
 sagin-a-t ěke-m. (Ėkinči ömür)
 退屈する-PRES-3 MOD-1SG
 「とにかく、君が頻繁に来ていればね。私は退屈するみたい。」

- (214) Alar-dan kat üzül-bö-y **kel-ip tur-uu-ču.** (Ėne měčrimi)
 彼ら-ABL 手紙 やむ-NEG-CVB 来る-CVB tur-VN-PST4
 「彼らから手紙がやむことなく、**来ていた。**」

また、主動詞が並列的に現われる場合に、〈動作のくりかえし〉の意味が生じる。

- (215) Al kiši biz menen čoguu tur-ba-sa da
 その 人 私達 と 一緒に 住む-NEG-COND EMPH
 anda-sanda **kel-ip, ket-ip tur-ču.** (Turmuştan jaralgan čoku)
 時々 来る-CVB 行く-CVB tur-PST4
 「彼は私達と一緒に居なくても、時々来たり、行ったり、していた。」

- (216) Anin ěmne-si bar ěken, ěköö-büz mektep-ke čoguu
 それ:GEN 何-3:POSS ある MOD 二人-2PL 学校-DAT 一緒に
bar-ip, čoguu kel-ip tur-a-biz. (Aksıdagı...)
 行く-CVB 一緒に 来る-CVB tur-PRES-1PL
 「そのの何がある（悪い）の。二人は学校と一緒に**行き、一緒に来ている。**」

なお、今回の言語資料からは、次のように決まった表現として使われるものもあった。
 barip turgan は「非常に、とても」という意味を更に強調して言う場合に使われる。öñünön
 ketip turgan は「顔色が悪い」場合に、使われる決まった言い方である。したがって、これ
 らの用例において動詞 bar-、ket-は移動の意味を表わさない。

(217) Bul **bar-ïp** **tur-gan** kaygıluu azap. (Akılmandın k.t.)

これ 行く-CVB tur-PART 悲しい 悲劇
 「これはもっとも大変な悲しみである。」

(218) Ooba, al **öñ-ü-nön** **ket-ip** **tur-gan.** (Ėne mëërimi)

はい 彼 顔色-3:POSS-ABL 行く-CVB tur-PST2
 「はい。彼は顔色が悪かったです。」

10.1.2. 「変化動詞」

ここには、基本的に主体の変化を表わす「変化動詞」がはいる。ただし、V-(i)p tur-形式の場合、主動詞に現われる「変化動詞」の意味的なタイプによって偏っている。V-(i)p tur-形式に現れる「変化動詞」の場合、次のような意味的なタイプが取り出された。また、主動詞の意味的なタイプではなく、形式による特徴ではあるが、[V-ki+所有接尾辞 kel-形式で現れる場合] について述べる。以下、それぞれについてみる。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》	bol-「なる」、çik-「出る」、tüş-「落ちる」、özgörü- 「変わる」、tokto-「止まる」、など
《主体の表示を表わす動詞》	bilin-「表わす」、ayırmalan-「異なる」、など
《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》	kirk-「切る」、bas-「押す」、kuy-「入れる」、など
《主体の再帰的な動作を表わす動詞》	tagın-「つける」、kara kiy-「(喪に服)着る」
《主体の漸進的な変化を表わす動詞》	arbı-「増える」、kiçirey-「小さくなる」、など
[V-ki+所有接尾辞 kel-形式で現れる場合]	例) Uyku-m kel-ip tur-a-t. 眠-1SG:POSS 来る-CVB tur-PRES-3 「私は眠いです(眠さがきている)。」

《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》

《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》のタイプが V-(i)p tur-形式に現れる場合、主体の動作が終わった後、その主体の状態が持続することを表わす。たとえば、次のような用例である。

- (219) Keč-ki injir-de bölmö-dö-gü üstöl-dö šaytan
 夜-kī 夕-LOC 部屋-LOC-kī 机-LOC 鬼
 čirak ülpüldö-p küy-üp tur-gan. (Čalgınçılar)
 ろうそく 微かに 燃える-CVB tur-PST2
 「夕方、部屋にある机の上で鬼ろうそくが微かにともっていた。」
- (220) Al kol-u-n apa-sī-nīn mañday-ī-na bas-īp kör-dü, —
 彼 手-3:POSS-ACC 母-3:POSS-GEN 額-3:POSS-DAT 押す-CVB 見る-PST1
 čeke-ŋ iši-p tur-a-t, —de-di. (Čalgınçılar)
 額-2SG:POSS 熱くなる-CVB tur-PRES-3 言う-PST1
 「彼は手をお母さんの額においてみた。(君の) 額が熱くなっていると言った。」

ここでは、「ろうそくがともった」、或いは「額が熱くなった」という変化の結果が持続するので、主体の〈変化の結果の状態〉という文法的な意味を表わす。

今回のデータからは、《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》の中で最も多く現れたのは、bol-「なる (77例)」動詞である。

動詞 bol-は、時間名詞、現象名詞、形容詞などに続いて現れることが多かった。これらのいずれの場合も、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

まず、時間名詞や現象名詞と共起して現れる用例は、次のようである。

- (221) Dayıma kiš bol-up tur-gan ölkö-lör,
 いつも 冬 なる-CVB tur-PART 国-PL
 eş nerse ös-pö-gön isik čöl-dör bar. (Meken taanuu)
 何も 育つ-NEG-PART 熱い 砂漠-PL ある
 「いつも冬になっている国々や何も育たない熱い砂漠もある。」
- (222) Misali, biz-de kiš mezigil-i-nin kündüz-gü uçur-u bol-up tur-gan-da
 例えば 我-LOC 冬 季節-3:POSS-GEN 昼間-kī 時-3:POSS なる-CVB tur-PART-LOC

Tüštük Amerika-da jay-kī tün bol-o-t jana teskerisinče. (Astronomiya)

南 PLN-LOC 夏-kī 夜 なる-PRES-3 そして 逆

「たとえば、こっちでは、冬の昼ごろになっていたら、南アメリカでは夏の夜中になる。そして、逆に。」

(223) Kanday kubuluš-tar **bol-up tur-a-t?** (Fizikalik geografiya)

どんな 現象-PL なる-CVB tur-PRES-3

「どんな現象になっている (起こっている)。」

(224) Jer šar-ï-nda jil-ï-na jüz miñ-degen

地球-3:POSS-LOC 年-3:POSS-DAT 百 千-COMP

jer titiröö-lör **bol-up tur-a-t.** (Fizikalik geografiya)

地震-PL なる-CVB tur-PRES-3

「地球には毎年、10万以上の地震になっている (起きている)。」

次に、形容詞と共に現れる用例が多かった。この場合も、〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

(225) Tuman ötö ële **koyuu bol-up tur-a-t.** (Akilmandin k.t.)

霧 とても EMPH 濃い なる-CVB tur-PRES-3

「霧がとても濃くなっている。」

(226) Too-do **suuk zirkaar bol-up tur-gan** ëken. (Akilmandin k.t.)

山-LOC 寒い 寒冷的な なる-CVB tur-PST2 MOD

「山では寒さがより寒くなっていたそうだ。」

(227) Al uçur-da anin “Seni gana”

その 時-LOC 彼:GEN 君:ACC だけ

ir-ï xit **bol-up tur-gan.** (Jildizdin sirdana turmušunan)

歌-3:POSS ヒット なる-CVB tur-PST2

「その時、彼の「君だけ」という歌がヒットになっていた (していた)。」

(228) Jarik **bol-up tur-gan-da** jakši

明るい なる-CVB tur-PART-LOC 良い

ukta-y al-ba-y-m de-čü ëmes bele. (Astra gülü)

寝る-CVB 取る-NEG-CVB-1SG 言う-PST4 NEG COP

「明るくなっていた時、よく眠れないと言っていたじゃないか。」

これらの他に、次のように形容詞的な名詞に続いて現れるものもあった。

(229) ...baarı tüşünük-tüü **bol-up tur-a-t.** (Aksıdagı...)

全部 理解-ある なる-CVB tur-PRES-3

「...全部、理解したことになっている。」

次に多く現れたのは、**çik-**「出る」である。この場合も、〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

(230) Kör-dü-ñör-bü, mor-u da

見る-PST1-2PL-Q 煙突-3:POSS EMPH

üst-ü-nö **çig-ıp tur-a-t.** (Birinçi mugalim)

上-3:POSS-DAT 出る-CVB tur-PRES-3

「あなた達、見ましたか？（ペチカの）煙突も上に出ている。」

(231) Sogonçog-u-n, sogonçog-u-n

かかと-3:POSS-ACC かかと-3:POSS-ACC

kara-sa-ñ **çig-ıp tur-a-t!** (Telegey)

見る-COND-2SG 出る-CVB tur-PRES-3

「(彼の) かかと、かかとを見たら。(彼のかかところが) 出ているよ！」

(232) Mınday köl-dör-gö akma köl-dör, b.a.⁴²

このような 湖-PL-DAT 流れ 湖-PL 言い換えれば

suu ag-ıp **çig-ıp tur-gan** köl-dör kir-e-t. (Fizikalik geografiya)

水 流れる-CVB 出る-CVB tur-PART 湖-PL 入る-PRES-3

「このような湖には「流れ湖」、つまり、水が流れ出ている湖がはいる（含まれる）。」

(233) Dem al-uu uçur-u-nda, başkaça ayt-kan-da, kiçkiltek organizm-ge

呼吸する-VN 時-3:POSS-LOC 他に 言う-PART-LOC 酸素 生物体-DAT

siñ-gen-de jıluuluk bölün-üp **çig-ıp tur-a-t.** (Biologiya)

染み込む-PART-LOC 熱 分解する-CVB 出る-CVB tur-PRES-3

「呼吸の時、言い換えれば、酸素が体に染み込んだ時、熱が分解して出ている。」

その他に、**aš-**「余る」、**tüş-**「落ちる」、**almaš-**「入れ替わる」などの動詞がこのタイプに

⁴² başkaça aytkanda の略である。

はいる。

- (234) Jet-mek tügöl aš-ïp tur-a-t. (Ėkinči ömür)
 足りる-CVB どころか 余る-CVB tur-PRES-3
 「足りるどころか、余っている。」
- (235) Ay-dïn faza-lar-ï-nïn almaš-ïp tur-uš-u-n
 月-GEN 位相-PL-3:POSS-GEN 入れかわる-CVB tur-VN-3:POSS-ACC
 tüšündür-üü-čü sxema 20—süröt-tö körsöt-ül-gön. (Astronomiya)
 説明する-VN-NMLZ 図 20 写真-LOC 示す-PASS-PST2
 「月の位相の**入れかわっている**ことを説明している図は、20の写真に示された。」
- (236) Ay-dïn bet-i-ne tez tüš-üp tur-gan meteorit-ter,
 月-GEN 表面-3:POSS-DAT よく 落ちる-CVB tur-PART 隕石-PL
 alar-dï mayda sïnïk-tar-ga jana çañ-dar-ga aylan-dïr-a-t. (Astronomiya)
 それら-ACC 細かい 破片-PL-DAT そして 埃-PL-DAT 変わる-CAUS-PRES-3
 「月の表面によく**落ちている**隕石が、それらを細かい破片や埃に変えるんだ。」
- (237) Mïna, ooz-u-nan maxorka jïttan-ïp tur-ba-y-bï. (Betme-bet)
 INTJ 口-3:POSS-ABL マホルカ 匂う-CVB tur-NEG-PRES-Q
 「ほら、彼の口からマホルカ（タバコの種類）が**臭っている**じゃないか。」
- (238) Ėski menen jañï-nïn orto-su-nda adaš-ïp tur-gan kez. (Mezgil)
 古い と 新しい-GEN 間-3:POSS-LOC 迷う-CVB tur-PART 時期
 「古いものと新しいもの間で**迷っている**時期だ。」
- (239) Bala-m-dï kïrsïk bas-ïp,
 子-1SG:POSS-ACC 苦難 踏む-CVB
 iš-i kïyïnda-p tur-a-t. (Akïlmandïn k.t.)
 仕事-3:POSS 難航する-CVB tur-PRES-3
 「子供が苦難な状況にあり、仕事は**難航**している。」

また、このタイプには、次の jet-「着く」、kel-「来る」動詞もはいる。これらの場合の動詞を移動動詞として扱っていない。

- (240) Anïn üst-ü-nö ay-ïñ jet-ïp tur-a-t. (Ėne mëçrimi)
 その:GEN 上-3:POSS-DAT 臨月-2SG:POSS 着く-CVB tur-PRES-3

「その上に、もう臨月がきている。」

- (241) *Sizgür-gan may-din jüt-i kel-ip tur-a-t.* (Jaralangan jürök)
 炒める-PART バター-GEN 匂い-3:POSS 来る-CVB tur-PRES-3
 「炒めたバターの匂いがきている。」

これまで物主語の場合の用例をみてきた。しかし、動詞 *ooru*-「病気になる (痛む)」の場合、人の身体部位が主語になって、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わすものもある。

- (242) *Zarinočka, bir jer-ij oor-u-p tur-a-bi?* (Kanat m-n Zarina)
 PSN 一 場所-2SG:POSS 痛む-CVB tur-PRES-Q
 「ザリノチカ、どこかが痛んでいる (痛い) の？」

- (243) *I-ii... janagi-lar tēč-p iyiš-ken okšoyt,*
 INTJ さっき-PL 蹴る-CVB しまう-PST2 MOD
mobu jer-im oor-u-p tur-a-t... (Atanin tagdiri)
 この 場所-1SG:POSS 痛む-CVB tur-PRES-Q
 「イタイ！さっきの (人達) が蹴ってしまったようだ。私はここが痛んでいる (痛い) んだ...」

また、次の用例では、人主語だが、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わしている。

- (244) *Güldö-p tur-gan kez-i-nde jok bol-up ket-ti.* (Astra gülü)
 咲く-CVB tur-PART 時-3:POSS-LOC 無 なる-CVB 行く-PST1
 「(彼女は) 輝いている時に、居なくなってしまった。」

V-(i)p tur-形式の場合、《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》の場合、基本的に〈変化の結果の状態〉の意味を表わすのだが、次のような場合、他の文法的な意味へと移行してしまう。

まず、文中に *ar dayim* 「いつも」、*dayima* 「いつも」という副詞相当句が現れる場合に、ある一定の時間における〈動作の持続〉の意味へ移行する。

- (245) *Ar dayim kün menen tün alma-š-ip tur-a-t.* (Meken taanuu)
 いつも 昼 と 夜 交代する-RECIP-CVB tur-PRES-3
 「いつも昼と夜が交代している。」

- (246) Troposfera dayıma kıymıl—araket-te bol-up tur-a-t. (Fizikalik geografiya)
 対流圏 いつも 動作-DAT なる-CVB tur-PRES-3
 「対流圏はいつも動いている。」

- (247) Jer kürtiŝ-i-nda-gi bir özgöçölük – anın
 土 階層-3:POSS-LOC-kı 一 特徴 それ:GEN
dayıma kıymıl—araket-te bol-up tur-uŝ-u. (Fizikalik geografiya)
 いつも 動作-DAT なる-CVB tur-VN-3:POSS
 「地球の一つの特徴は、それがいつも動きにあることだ。」

上の文では、文中に kıymıl—araket 「動作」という語彙的な意味に動作性の意味が含まれているので、〈動作の持続〉の意味が出てくる。

次に、文中に tünimsiz 「休まず」、üzgültüksüz 「連続的に」などのようにに動きの様子を規定する修飾語がつくことによって、ある一定の時間における〈動作の持続〉の意味が現れる。

- (248) Buulan-uu tünim-siz jür-üp tur-a-t. (Biologiya)
 蒸気する-VN 休み-NEG 動く-CVB tur-PRES-3
 「蒸気は止まらず動いている。」

- (249) Kün-dö-gü tak-tar-din san-i jana forma-si
 太陽-LOC-kı 斑点-PL-GEN 数-3:POSS そして 形-3:POSS
üzgültüksüz özgör-üp tur-a-t. (Astronomiya)
 連続的 変わる-CVB tur-PRES-3
 「太陽の斑点の数や形は連続的に変わっている。」

- (250) Alar-din kletka-lar-i akirindik menen
 それら-GEN 細胞-PL-3:POSS 徐々に
siyril-ip tüş-üp tur-a-t. (Biologiya)
 はがれる-CVB 落ちる-CVB tur-PRES-3
 「それらの細胞が徐々に剥がれ、落ちていく。」

次の用例では、sutka boyu 「一日中」、kündüz da, tün içinde da 「昼も、夜中も」などのような副詞相当句がつくことによって、ある一定の時間における〈動作の持続〉の意味が明瞭に現れる。

- (251) Fotosintez jarik-ta gana jür-ö-t, al ěmi dem al-uu
 光合成 光-LOC だけ jür-PRES-3 そして 呼吸する-VN
sutka boyu ünim-siz bol-up tur-uu-ču process. (Biologiya)
 一日 中 休憩-NEG なる-CVB tur-VN-NMLZ プロセス
 「光合成は明るい時だけいる。しかし、呼吸は、一日ずっと休みなく動いている（起
 きる）プロセスだ。」

- (252) Dem al-uu kündüz da, tün iç-i-nde da
 呼吸する-VN 昼 EMPH 夜 中-3:POSS-LOC EMPH
ünim-siz jür-üp tur-a-t. (Biologiya)
 休憩-NEG 動く-CVB tur-PRES-3
 「呼吸することは、昼も夜中も止まらずに動いているんだ。」

また、mezgil—mezgili menen 「時々」、bat—bat 「よく、しょっちゅう」などのような副詞相当句がつくことによって、〈動作のくりかえし〉の意味へと移行する。

- (253) Araket-te-gi janar too-lor dayıma je
 活火山-LOC-kı 火山-PL いつも 或は
mezgil—mezgl-i menen atıl-ıp tur-a-t. (Fizikalik geografiya)
 時期 時期-3:POSS と 噴火する-CVB tur-PRES-3
 「活火山での噴火山はいつも或は時々噴火している。」

- (254) Ata, degi bat—bat güldö-p tur-gan
 父 一体 早 早 咲く-CVB tur-PART
 ösümdük bol-o-bu? — de-ptir. (Akılmandın k.t.)
 植物 なる-PRES-Q 言う-PST3
 「お父さん、いったい何回も咲き続ける植物があるの？と聞いたそうだ。」

そして、jür- 「行われる」という動詞が多く現れる。この場合、jür- 自体が動作性の意味をもつ動詞なので、ある一定の時間における〈動作の持続〉の意味が現れる。

- (255) Oşent-ip organism menen aylana—çöyrö-nün
 そうして 生体 と 自然-GEN
 orto-su-nda zat almaş-uu jana ěnergiya-nın
 間-3:POSS-LOC 物質 交換する-VN そして エネルギー-GEN

almaš-uu **jür-üp** **tur-a-t.** (Biologiya)

交換する-VN 行われる-CVB tur-PRES-3

「そして、生体と自然の間に物質交換とエネルギーの交換が行われている。」

(256) Ošent-ip, tañ kalarlık taktik menen tabigat-tin

そして 驚くほど 正確 で 自然-GEN

teñ salmaktuuluk zakon-u **jür-üp** **tur-a-t.** (Ösümdüktördün özgöçö sırları)

同 均一 法則-3:POSS 行われる-CVB tur-PRES-3

「そして、驚くほどの正確さで自然の均一法則が行われている。」

(257) Darak-tar-da, badal-dar-da da tiriçilik **jür-üp** **tur-a-t,**

木-PL-LOC 森-PL-LOC EMPH 生命活動 行われる-CVB tur-PRES-3

birok ötö jay jür-ö-t. (Biologiya)

しかし 非常に ゆっくり 行われる-PRES-3

「林や森でも、生命活動が行われている。ただし、それが非常にゆっくり行われる。」

なお、次の用例のように、[V-(i)p tura ber-] という形式で現われる用例がみられる。この場合は、《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》であるので、tur-は主体の《**変化の結果の状態**》の意味を表わすのだが、ここでは、V-(i)p tur-に ber-という持続を表わす補助動詞が後接している。したがって、この場合、主体の《**動作の持続**》という意味を表わす。

(258) Jaz-ba-gan soñ, **toñ-up** **tur-a** **ber.** (Jaralanbagan jar.)

書く-NEG-PST2 後で 冷える-CVB tur-CVB ber

「書かなかったなら、(ここで) 冷えていなさい。」

(259) Ėger ěč nerse taasir ět-pe-se bul ěnergiya

もし 何も 影響 与える-NEG-COND この エネルギー

ošo boyunča **saktal-ïp** **tur-a** **ber-e-t.** (Biologiya)

そのまま 保存する-CVB tur-CVB ber-PRES-3

「もし何も影響しなかったら、このエネルギーはそのまま保存されつづける。」

今回の調査で得られた動詞のうち、《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》に次のようなものがある。

bol- 「なる」、ADJ+bol- 「～になる」、jür- 「行われる」、čik- 「出る (出現)」、ooru- 「病気になる」、tüš- 「落ちる」、güldö- 「咲く」、özgör- 「変わる」、saktal- 「保存される」、sezil- 「感じられる」、baylan- 「縛られる」、ilin- 「かかる」、almaš- 「交代する」、aş- 「超える」、jašar- 「若返る」、jet- 「足りる」、kayna- 「湧く」、küy- 「燃える」、kel- 「(物が) 来る」、koldon kel- 「実行できる」、özgörül- 「変わる」、tigil- 「作られる」、tokto- 「止まる」、iši- 「熱くなる」、など

《主体の表示を表わす動詞》

ここでいう、《主体の表示を表わす動詞》とは、ある物がなにかをさししめす、或いは表わすなどのような表示の意味を表わす動詞のことである。

今回の調査で得られた動詞のうち、《主体の表示を表わす動詞》に次のようなものがある。

anikta- 「確かめる」、artiktal- 「目立つ」、ayginele- 「表わす」、ayirmala- 「区別する」、ayirmalan- 「目立つ」、bildir- 「表わす」、bilin- 「知られる」、čap- 「(事が) 伝わる」、dalilde- 「証明する」、körsöt- 「指し示す (指す)」、közdö- 「表わす」、okšo- 「似る」、öngdön- 「似る」、tastikta- 「証明する」、tüz- 「成立する」、ündöš- 「関係する」、など

V-(i)p tur-形式の場合、このような《主体の表示を表わす動詞》が多く現れるのが特徴的である。このような動詞の場合、tur-は、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。このタイプの動詞は、それほど頻度が高いわけではないが、他の補助動詞の場合に出てこないで、別に取り上げることにする。

- (260) Jaš kez-de ayabay suluu
 若い 頃-LOC とても 美しい
 bol-gon-u bil-in-ip tur-du. (Selsayak)
 なる-PART-3:POSS 知る-PASS-CVB tur-PST1
 「若い頃、とても綺麗だったことが表われていた (知られていた)。」
- (261) Suu kötör-üü-dö da kiz-dar-din
 水 汲む-VN-LOC EMPH 女-PL-GEN
 adeptüülüg-ü bil-in-ip tur-gan. (Kaada-salt...)
 礼儀正しき-3:POSS 知る-PASS-CVB tur-PST2
 「水を汲む時も女たちの礼儀正しさが表われていた。」

- (262) Birok alar-din ara-si-nda kee bir osümdük başka osümdük-tör-dün
 しかし それら-GEN 中-3:POSS-LOC ある 一 植物 他 植物-PL-GEN
 iç-i-nen ötö **ayırmala-n-ıp tur-a-t.** (Biologiya)
 中-3:POSS-ABL 非常に 異なる-PASS-CVB tur-PRES-3
 「しかし、それらの中のある植物は、他の植物の中から非常に**異なっている。**」

- (263) Mina bul belgi-ler alar-di tamir-dan **ayırmala-p tur-a-t.** (Biologiya)
 ほら この 印-PL それら-ACC 根-ABL 区別する-CVB tur-PRES-3
 「ほら、これらの印がそれらを根から**区別している。**」

- (264) Kompas-tin jebe-si dayıma tündük menen
 コンパス-GEN 針-3:POSS いつも 北 と
 tüşük-tü **körsöt-üp tur-a-t.** (Fizikalik geografiya)
 南-ACC 見せる-CVB tur-PRES-3
 「コンパスの針がいつも北と南を**指している。**」

- (265) Čindik anı **anıhta-p tur-a-t.** (Ömür tamiri)
 真実 それ:ACC 証明する-CVB tur-PRES-3
 「真実がそれを**証明している。**」

- (266) Makal-din maani-jay-i uşul
 諺-GEN 意味 主旨-3:POSS この
 jagday-di **közdö-p tur-a-t.** (Kaada-salt...)
 状況-ACC 指し示す-CVB tur-PRES-3
 「諺の意味はこの状況を**指し示している。**」

《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》

V-(i)p tur-形式の場合、《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》が現れた。このよ
 うな動詞群の場合、tur-は、主体の《**変化の結果の状態**》の意味を表わす。

- (267) Töbö-sü-nön **bas-ıp tur-gan,** öödö kara-t-pa-y! (Tarix eşteligi)
 頭頂-3:POSS-ABL 押す-CVB tur-PST2 上 見る-CAUS-NEG-CVB
 「頭頂から**押していた、上を見させないように!**」

- (268) Nepa-da, ayal-din jaman joruk-josun-u bil-in-ip kal-sa,
 PLN-LOC 女-GEN 悪い 態度(癖)-3:POSS 知る-PASS-CVB 残る-COND
 čač-i-n **kirk-ïp tur-up**,... (Akilmandin k.t.)
 髪-3:POSS-ACC 切る-CVB tur-CVB
 「ネパで女の悪い癖が知られてしまったら、彼女の髪の毛を切って、...」

- (269) Sen čaka menen suu **suz-up ber-ip tur**,
 君 バケツ で 水 汲む-CVB 与える-CVB tur
 men flyagi-ge **kuy-up tur-ayin**, — de-di. (Turmuştan jaralğan čoku.)
 私 筒-DAT そそぐ-CVB tur-1SG:VOL 言う-PST1
 「君はバケツで水を汲んでいてくれ、私は筒に入れていようと言った。」

- (270) Aralik-ti takay ölcö-p,
 距離-ACC いつも 計る-CVB
 planšet-ke **tüşür-üp tur-uu** kerek. (Fizikalik geografiya)
 測量図-DAT 記入する-CVB tur-VN 必要
 「距離をいつも計って、測量図に記入していくことが必要だ。」

《主体の再帰的な動作を表わす動詞》

ここには、自分の動作が自分自身に働きかけ、自分自身の状態になんらかの変化をもたらす再帰的な意味をもつ動詞がはいる。今回の言語資料から次のような用例が抽出された。

- (271) Biz, satuuču-lar, jumuš ord-ubuz-da birdey uniforma
 私達 店員-PL 仕事 席-1PL:POSS-LOC 同じ ユニフォーム
 menen at-ïbiz jaz-ïl-gan beydjik
 と 名前-1PL:POSS 書く-PASS-PART 名札
tag-ïn-ïp tur-uš-ubuz šart. (Zamandaš №4)
 つける-REFL-CVB tur-VN- 1PL:POSS 条件
 「私達店員は、仕事についている時、同じユニフォームと名前が書かれた名札をつけていることが条件だ。」
- (272) Böyrök-tü tayan-ïp, kaza jut-up, **kara kiy-ip tur-gan-da**,
 腰-ACC 手を当てる-CVB 悲しむ-CVB 黒い 着る-CVB tur-PART-LOC

anday-lar-ga kayrat ayt-uu, ... (Kaada-salt...)

そいつ-PL-DAT お悔み 言う-VN

「腰に手を当てて（悲しんで）黒い服を着ている（喪に服している）時、そいつらにお悔みを言うのは、...」

ここでは、beydjik tagin-「名札をつける」、kara kiy-「(喪に服) 着る」という動作が変化して、その変化した結果の状態が保たれることを表わす。つまり、V-(i)p jat-形式の場合と異なり、V-(i)p tur-形式の場合、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

《主体の漸進的な変化を表わす動詞》

《主体の漸進的な変化を表わす動詞》とは、物事の漸進的な変化を表わす動詞のことである。

V-(i)p tur-形式の場合に現れた《主体の漸進的な変化を表わす動詞》は次のようなものである。

arbī-「増える」、čojoy-「成長する」、jakında-「近づく」、kičirey-「小さくなる」、kičireyt-「小さくする」、kīyında-「難航する」、küč al-「勢いよくなる」、önük-「発展する」、ös-「伸びる」、ula-「続ける」、ulan-「続く」、ulantil-「続く」、など

これらの動詞の場合、tur-は、主体の〈変化の進展〉という文法的な意味を表わす。

(273) Kletka bölün-üp köböy-üp jana anin
細胞 分解する-CVB 増加する-CVB そして それ:GEN

ar bir-i čojoy-up tur-a-t. (Biologiya)

各 一-3:POSS 成長する-CVB tur-PRES-3

「細胞が分解され、増加し、そして、それぞれが成長しつづける（していく）。」

(274) Anda jalgiz karagay ös-üp tur-a-t, (Turmuştan jaralğan čoku)

あそこ:LOC 唯一 木 育つ-CVB tur-PRES-3

「あそこに唯一一本の木が育っている。」

(275) Darak, baldar gül-ü-n tašta-p, mömösü biş-ip

木 子供達 花-3:POSS-ACC 投げる-CVB 実-3:POSS 熟す-CVB

tüş-kön-dön kiyin dele ös-üp tur-a ber-e-t. (Biologiya)

落ちる-PART-ABL 後 EMPH 育つ-CVB tur-CVB ber-PRES-3

「木が花を咲かせた後、実が出来上がった後でも、育っている。」

また、次のように *ulam* 「徐々に」、*birde* 「とくには」といった物事の徐々の変化を表わす副詞相当句と組み合わせることによって、物事の〈**変化の進展**〉の意味が補強される。

(276) Oşonduktan ulam jogoru kötörül-gön sayın şar-din
だから 徐々に 上 上がる-PART 度 風船-GEN

massa-si-n **kiçireyt-ip** tur-uu kerek bol-o-t. (Fizika)

大量-3:POSS-ACC 減らす-CVB tur-VN 必要 なる-PRES-3

「だから、徐々に上に上がると共に、風船の大量を減らしていくことが必要になる。」

(277) Özgörmö-lüü kiymil-da ildamdik birde çoşoy-up,
変化-ある 動作-LOC 速度 とくには 増える-CVB

birde **kiçirey-ip** tur-a-t. (Fizika)

とくには 減る-CVB tur-PRES-3

「変化する動作では、速度はとくには増え、とくには減りつづける (していく)。」

(278) Kün-dö-gü tak-tar-din san-i jana forma-si
太陽-LOC-ki 黒点-PL-GEN 数-3:POSS そして 形-3:POSS

üzgültüksüz **özgör-üp** tur-a-t. (Astronomiya)

間断なく 変化する-CVB tur-PRES-3

「太陽黒点の数と形が間断なく変化しつづける。」

また、*karata* 「によって」、*sayın* 「と共に」などの変化の条件を表わす後置詞句を伴うことがみられる。これら場合も、物事の〈**変化の進展**〉の意味を表わす。

(279) “Muras – janı şart-ka karata
伝統 新しい 条件-DAT よって

özgörül-üp, **önüg-üp** tur-a-t’. (Kaada-salt...)

変化する-CVB 発展する-CVB tur-PRES-3

「伝統は新しい状況によって変化し、発展しつづける (していく)。」

〔V-ki+所有接尾辞 kel-形式で現れる場合〕

この類は、これまでみてきた「主動詞の意味的なタイプ」とは異なり、V-(i)p tur-の場合に現れる形式的な特徴である。キルギス語では、〔V-ki+所有接尾辞 kel-〕形式を用いて、〈人の欲求や希望〉の意味を表わすことができる。否定の意味を表わす場合に、kel-に否定接尾辞の-ba がつくことによって成立される。これらは、一人称以外にも用いられる。ある時点における主体の意欲を表わす動詞、〔V-ki+所有接尾辞 kel-〕に tur-が後接する。また、過去における場合も使われる。その場合、補助動詞自体が過去の形をとる。

- (280) ...men siz-di kučakta-p öp-kü-m
私 あなた-ACC 抱く-CVB キスする-ki-1SG

kel-ip tur-a-t! (Birinči mugalim)

来る-CVB tur-PRES-3

「...私はあなたを抱いてキスしたいです！」

- (281) ...ata-m da kīmīz ič-ki-si
父-1SG:POSS EMPH 馬乳酒 飲む-ki-3:POSS

kel-ip tur-gan okšoyt; (Turmuštan jaralğan čoku)

来る-CVB tur-PST2 MOD

「...お父さんも馬乳酒を飲みたがっているようだ。」

- (282) Baška-lar-dan ayırmalan-a jür-gü-sü **kel-ip tur-a-t.** (Kaada-salt...)
他-PL-ABL 異なる-CVB jür-ki-3:POSS 来る-CVB tur-PRES-3

「彼は他人より目立ちたがっている。」

これらの他に、今回の言語資料では出てこなかったが、次のような使い方も存在する。このよう例文もこのタイプにはいる。

- (283) Uyku-m **kel-ip tur-a-t.** (作例)

眠-1SG:POSS 来る-CVB tur-PRES-3

「私は眠いです (眠さがきている)。」

また、V-(i)p jat-形式の場合にも、〔V-ki+所有接尾辞 kel-〕の形式で現れる用例は1例あった。

- (284) Tek gana öz oy-um-du ayt-kī-m **kel-ip** **jat-a-t.** (Ěne měřimi)
 単なる 自分 意見-1SG:POSS-ACC 言う -kī-1SG 来る-CVB jat-PRES-3
 「単なる自分の意見を言いたい。」

今回の言語資料からは、他の V-(i)p otur-形式や V-(i)p jür-形式の場合、〔V-kī+所有接尾辞 kel-〕の形式で現れる用例は出なかった。

10.1.3. 「状態動詞」

V-(i)p tur-形式に現れる「状態動詞」の場合、次のような意味的なタイプが取り出された。以下、それぞれについてみる。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の空間的な関係を表わす動詞》	kurča-「囲む」、kapta-「覆う」、ěčle-「占める」、など
《主体の擬態的な様態を表わす動詞》	düküy-「猫背の様子だ」、seley-「驚く様子だ」、など

《主体の空間的な関係を表わす動詞》

V-(i)p tur-の場合に、《主体の空間的な関係を表わす動詞》のタイプが現れるのが特徴的である。《主体の空間的な関係を表わす動詞》とは、「湖」、「海」、「山」などのように動きがない地形的な主体と、他の地形的なものとの空間的な位置関係が形象的に表現される動詞のことをいう。

V-(i)p tur-の場合に現れた《主体の空間的な関係を表わす動詞》に次のようなものがある。

baylaništir-「結び付け合わせる」、biriktir-「結び付ける」、böl-「分ける」、bölün-「かけ離れる」、ěčle-「占める」、kamti-「含む」、kapta-「覆う」、karmal-「保たれる」、kötörül-「上がる（地上に突き出る）」、kurča-「囲む」、など

これらの動詞の場合、tur-は、基本的に〈変化を起こさず、前から同じ状態の中にあること〉という文法的な意味を表わす。

- (285) Köl-dü Küngöy jana Teskey Alatoo-lor-u kurča-p tur-a-t. (Meken taanuu)
 湖-ACC PLN と PLN 天山-PL-3:POSS 囲む-CVB tur-PRES-3
 「湖をクンゴイとテスケイ天山山脈が囲んでいる。」

- (286) Bayırki grek-ter-din Jer-din forma-si dömpök disk (tegerék),
 古代 ギリシャ-PL-GEN 地球-GEN 形-3:POSS 起伏がある ディスク(丸い)
 anı bardık jag-ı-nan Okean darıya-sı
 それ:ACC 全て 方-3:POSS-ABL 大洋 川-3:POSS
 kurča-p tur-a-t de-ş-ken. (Fizikalik geografiya)
 囲む-CVB tur-PRES-3 言う-RECIP-PST2
 「古代ギリシャ人達は、地球の形は起伏があるディスク（円形）であり、それを全て

の方向から大洋や川が**囲んでいる**と言っていた。」

- (287) Biz-di tuş tarab-ibiz-dan kapitalisttik
私達-ACC 色々 方向-1PL:POSS-ABL 資本主義
mamleket-ter **kurča-p tur-a-t.** (Akımandın k.t.)
国-PL 囲む-CVB tur-PRES-3
「我々を色々な方向から資本主義の国々が**囲んでいる**。」
- (288) Okean-dar, deñiz-der kantip **karma-l-üp tur-uş-a-t?** (Fizika)
大洋-PL 海-PL どうやって 持つ-PASS-CVB tur-RECIP-PRES-3
「大洋や海などがどうやって**持たれているの?**」
- (289) Čökmö too tekter-i kontinent-ter-din 75%-ke
山岳地帯-3:POSS 大陸-PL-GEN 75%-DAT
jakın bet-i-n **kapta-p tur-a-t.** (Fizikalik geografiya)
近い 面-3:POSS-ACC 覆う-CVB tur-PRES-3
「山岳地帯が大陸の約 75 パーセントに近い表面を**覆っている**。」
- (290) Bular — negiz-i-nen keñiri tüzdük-tör-dön
これら 基本的-3:POSS-ABL 広い 平ら-PL-ABL
kötörül-üp tur-gan japız je döñsöölüü too-lor. (Fizikalik geografiya)
上がる-CVB tur-PART 低い 或は 凸凹な 山-PL
「これらは、基本的に平らな所から**上がっている**低い、か凸凹の山々だ。」
- (291) Deñiz — okean-dın materik-ter jana aral-dar
海 大洋-GEN 大陸-PL そして 島-PL
menen **bölün-üp tur-gan** bölüg-ü. (Fizikalik geografiya)
と 別れる-CVB tur-PART 部分-3:POSS
「海は、大洋が大陸や島によって**別れている**部分である。」
- (292) Kıtay menen Kırğızstan-dın aymak-tar-ı-n dariya-lar menen
PLN と PLN-GEN 国境-PL-3:POSS-ACC 川-PL と
too-lor **baylanıştır-üp tur-a-t.** (Erkin Too·№62)
山-PL 結ぶ-CVB tur-PRES-3
「中国とキルギスタンの国境を川と山が**結んでいる**。」

- (293) Galaktik-ter-din 10%-ke čeyin-ki massa-sī-n
 大星群-PL-GEN 10%-DAT まで-ki 量-3:POSS-ACC
 neytralđik suutek **ěěle-p** **tur-a-t.** (Astronomiya)
 中性 水素 占める-CVB tur-PRES-3
 「大星群の10パーセントに近いまでの量を中性水素が占めている。」

ěěle-「占める」は、地理的なものだけではなく、次のように人の地位にも使われて、その時は日本語に「占める」と訳される。

- (294) Al bul taktī-ga otur-a ěleg-i-nde tōmōn-kū Saksoniya-da
 彼 この 位-DAT 座る-CVB COP-3:POSS-LOC 下-ki PLN-DAT
 prem'er—ministr-lik kīzmat-tī **ěěle-p** **tur-gan.** (Ėrkin Too·№59)
 総理大臣-として 仕事-ACC 占める-CVB tur-PST2
 「彼はこの位にいる前に低地ザクセンでは、総理大臣の席を占めていた。」

なお、V-(i)p tur-の場合に、《主体の空間的な関係を表わす動詞》のタイプも、文学作品にあまり出てこなく、Fizikalik geografiya「物理的な地理学」、Biologiya「生物学」、Fizika「物理学」、Astronomiya「天文学」といった教科書から多く現れたのが特徴的である。

《主体の擬態的な様態を表わす動詞》

V-(i)p tur-形式の場合、dompoy-「とがっている様子だ」、düküy-「猫背の様子だ」、などのように主体の様態を表わす動詞が多く現れた。このような動詞のことをKudaybergenov(1981)は ělestüü ětišter「表象的な動詞(擬声語・擬態語)」と名付けているが、ここでは、《主体の擬態的な様態を表わす動詞》と呼んでおく。これらの動詞は、補助動詞 tur-と otur-の場合に現れるのが特徴的である。

V-(i)p tur-形式の場合に現れた《主体の擬態的な様態を表わす動詞》に次のようなものがある。

čiytīy-「悲しむ様子だ」、dompoy-「とがっている様子だ」、düküy-「猫背の様子だ」、jīlmay-「にこにこする」、oņuray-「穴が開いている様子だ」、seksey-「バサバサする様子だ」、seldey-「呆然とする様子だ」、seley-「驚く様子だ」、tomsor-「驚く様子だ」、など

この類の動詞の場合、副動詞の表わす動きが tur-にとって付帯状況的である。これらの場

合、主体の〈恒常的な状態〉の意味を表わす。

まず、人主語の場合、次のようなものがある。

- (295) Ošentse da miskıldangan-day **jılmay-üp** **tur-gan.** (Ėne mēërimi)
 それでも バカにする-MOD にここにこする-CVB tur-PST2
 「それでも、バカにしたようにここにこしていた。」

- (296) Kanıbek menen Alım köpkö čeyin **seldey-ip** **tur-uš-tu.** (Kanıbek)
 PSN と PSN 長く まで 呆然とする-CVB tur-RECIP-PST1
 「カヌベクとアルムは長時間にわたって呆然としていた。」

次に、物主語の場合にも現れる。

- (297) Al joop ber-gen-din ord-u-na, bergel,
 彼 返事 与える-PART-GEN 席-3:POSS-DAT こっち来い
mınogu jer dompoy-up tur-a-t,
 この 土 凸凹になる-CVB tur-PRES-3
 ušu jer-de bol-uš kerek, kaz de-di. (Selsayak)
 この 場所-LOC なる-VN 必要 掘る 言う-PST1
 「彼は返事する代わりに、「こっち来い。この場所が凸凹になっている。ここにあるに
 ちがいない。掘れ。」と言った。」

- (298) ...biyik dubal-day **düküy-üp** **tur-gan**
 高い 壁-MOD 際立つ-CVB tur-PART
 tokoy-du karay jügür-üp jönö-š-tü. (Čalgınčılar)
 森-ACC 方面 走る-CVB 出発する-RECIP-PST1
 「...高い壁のように**際立っている**森の方をめざして、走り始めた。」

10.1.4. 「内的感情動詞」

V-(i)p tur-形式に現れる「内的感情動詞」の場合、次のような意味的なタイプが取り出された。以下、それぞれについてみる。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の思考活動動作を表わす動詞》	oylo-「考える」、bil-「知る」、išen-「信じる」、など
《主体の感情を表わす動詞》	kork-「怖がる」、kuban-「喜ぶ」、keyi-「悩む」、など
《主体の評価的な態度を表わす動詞》	siymiktan-「誇りに思う」、čarča-「疲れる」、など

《主体の思考活動動作を表わす動詞》

V-(i)p tur-形式の場合に現れた《主体の思考活動動作を表わす動詞》は次のようなものである。

bil-「知る」、oylon-「考える」、tüšün-「分かる」、sez-「感じる」、baamda-「評価する」、bayka-「観察する」、kaala-「望む」、oygo bat-「考え込む」、šekši-「推測する」、tuy-「分かる」、aŋda-「理解する」、beril-「夢中になる」、bildir-「知らせる」、čulgan-「夢中になる」、ėške tüš-「思い出す」、išen-「信じる」、išenim art-「希望をもたらず」、közüm jet-「理解する」、muun-「詰まる」、oylo-「考える」、sezil-「伝わる」、tüšüngönsü-「分かる」、tuyguz-「理解する」、など

V-(i)p tur-形式の場合、《主体の思考活動動作を表わす動詞》のタイプは比較的多く現れた。これらの場合、基本的にある一定の時間における〈思考動作の持続〉を表わす。

(299) Kanıbek köpkö čeyin **oylo-n-up** **tur-du.** (Kanıbek)

PSN 長く まで 考える-REFL-CVB tur-PST1

「カヌベクは、長い時間考えていた。」

(300) Telefon-do Gulkan-dın öz-ü menen süylö-š-tü-k

電話-LOC PSN-GEN 自分-3:POSS と 話す-RECIP-PST1-1PL

de-p **išen-ip** **tur-a-sıñar-bi.** (Astra gülü)

言う-CVB 信じる-CVB tur-PRES-2PL-Q

「電話でグルカン自身と話し合ったと信じているんですか。」

(301) İši kılıp Sulayman menen köb-üröök

ともかく PSN と 多い-COMP

birge bol-uu-nu kaala-p tur-du-m. (Astra gülü)

一緒に なる-VN-ACC 願う-CVB tur-PST1-1SG

「ともかく、スライマンと少しでも長くいることを願っていた。」

(302) Bil-ip tur-a-m azır-kī oy-uŋ-du. (Ėne mēřimi)

知る-CVB tur-PRES-1SG 今-kī 考え-2SG:POSS-ACC

「知っているよ、今のあなたの考えを。」

(303) Men anī tüšün-üp tur-a-m, Fedor Ivanovič. (Ėkinči ömür)

私 彼:ACC 分かる-CVB tur-PRES-1SG PSN PSN

「私は彼を分かっていますよ。フョドル イワノヴィチ。」

《主体の感情を表わす動詞》

《主体の感情を表わす動詞》とは、主体の内発的な心の動きや外界の刺激によって引き起こされる心の動きを表わす動詞のことをいう。

V-(i)p tur-形式の場合に現れた《主体の感情を表わす動詞》は次のようなものである。

aylalarī kur-「困る」ayraŋ kal-「驚く」、buydalan-「困惑する」、čočula-「怖がる」、jalında-「興奮する」、janī ači-「(心が)痛む」、jötkür-「悲しむ」、kaza jut-「悲しむ」、keyi-「悩む」、kīsīl-「苦しむ」、kīyna-「苦しめる」、kīynal-「苦しむ」、kork-「怖がる」、kuban-「喜ぶ」、kuurul-「悲しむ」、muun-「(悲しみに)詰まる」、opkolju-「ドキドキする」、sagīn-「なつかしむ」、sagīniš-「慕う」、sanaarka-「落ち込む」、šekten-「怖がる」、sızda-「悲しむ」、sızdat-「痛ませる、苦しませる」、sok-「(心が)打つ、ドキドキする」、suz tar-「悲しむ」、taŋ kal-「驚く」、tīnčsızdan-「心配する」、mēřim tök-「優しさをそそぐ」、tolku-「わくわくする」、など

これらの動詞の場合、tur-は、主体の〈心理的な状態〉という文法的な意味を表わす。

(304) ...köz-ü-n kibıŋdat-ıp,

目-3:POSS-ACC ぱちぱちする-CVB

men-den kork-up tur-gan ėle. (Telegey)

私-ABL 怖がる-CVB tur-PST2 COP

「...目をぱちぱちして、私を怖がっていた。」

(305) Japar sen **kïynal-ïp** **tur-a-t** okšoy-suŋ. (Jaralanbagan jar.)

PSN 君 苦しむ-CVB tur-PRES-3 MOD-2SG

「ジャパル、君が苦しんでいるような気がする。」

(306) Men **kuban-ïp** **tur-a-m.** (Ėne męřimi)

私 喜ぶ-CVB tur-PRES-1SG

「私は喜んでいる。」

(307) Tış-ï-nda ošent-ken menen,

外面-3:POSS-LOC そうする-PART と

ič-ï-nde **sızda-p** **tur-du.** (Tarix eşteligi)

内-3:POSS-LOC 悲しむ-CVB tur-PST1

「外面ではそうしたが、内面では悲しんでいた。」

《主体の評価的な態度を表わす動詞》

《主体の評価的な態度を表わす動詞》とは、主体の判断や感情、或いは評価といったなんらかの態度を含む動詞のことをいう。

V-(ï)p tur-形式の場合に現れた《主体の評価的な態度を表わす動詞》は次のようなものである。

čarča-「疲れる」、čïda-「我慢する」、čïmïrkan-「耐える」、ič küy-「嫉妬する」、jak-「気に入る」、jakši kör-「好きになる」、jaktïr-「好む」、kïzik-「あこがれる」、kõñüldön-「欲しがる」、kõp-「高ぶる」、sïyla-「尊敬する」、suktan-「感心する」、tokton-「我慢する」、urmatta-「尊敬する」、uyalıŋkïra-「遠慮する」、zarkan-「嫌がる」、など

これらの動詞に tur-が後接する場合、tur-は、〈心理的な状態〉という文法的な意味を表わす。

(308) Jumaš teŋsel-ïp unčuk-pa-y **čïda-p** **tur-du.** (Čalgınčïlar)

PSN 呆然と 話し出す-NEG-CVB 我慢する-CVB tur-PST1

「ジュマシは呆然と話し出さず我慢していた。」

(309) Men dele es al-gan-dï **jakši kör-ïp** **tur-a-m.** (Kekiremaysa)

私 EMPH 休む-PART-ACC 好む-CVB tur-PRES-1SG

「私も休むことを好んでいるよ。」

- (310) Ęl ar kaday ulut-ta bol-so da
 人々 様々な 民族-LOC なる-COND EMPH
 biri-bir-i-n siyla-p tur-a-t. (Meken taanuu)
 お互い-3:POSS-ACC 尊敬する-CVB tur-PRES-3
 「人々は様々な民族からなってもお互いを尊敬している。」

10.2. V-a/-y tur-形式の場合

この節では、tur-が V-a/-y tur-形式で現れ、補助動詞として用いられている場合の例について考察する。考察対象とする用例は次のとおりである。

V-a/-y tur- 310 例

今回の言語資料の結果、補助動詞 tur-が副動詞接尾辞-a/-y と組み合わせあった場合は、かなり限られた条件のもとであることが分かった。今回のデータから、[V-a/-y tur-gan] という固定した形式、或いは [V-a/-y tur-IMP] というふうに命令形で現れる用例がほとんどである。

Davletov & Kudaybergenov(1980)は、“Эгерде жардамчы этиш **tur**,-a//e//й формасындагы чакчылдар менен айкашып, өзү белгисиз өткөн чак формасында турса, анда кыймыл-аракеттин адаттанган сыяктуу дайыма боло тургандыгын билдирет: (p.147)” 「もし補助動詞 tur が-a//e//й 形の副動詞接尾辞と組み合わせあって、更に不明過去の形をしていると、動作が習慣のようにいつも行われることを表わす」と述べている。

今回のデータから、V-a/-y tur-形式の場合に現れる固定した形式は次のとおりである。以下、それぞれについてみる。

形式	例文
[V-a/-y tur-gan]	Alar biliše tur-gan . 「彼らは知っていたんだ。」
[V-a/-y tur-gan N]	Bara tur-gan jerim jok. 「(私は) 行く場所がない。」
[V-a/-y tur-gan bol-]	Alar kele tur-gan boluštu . 「彼らは来ることになった。」
[V-a/-y tur-IMP]	Kütö tur . 「待っていなさい。」

[V-a/-y tur-gan⁴³]

言語資料から得られた 310 例のうち、253 例は [V-a/-y tur-gan] という形で文末に用いられた用例である。そもそも-gan は、過去形の一つで、belgisiz ötkön čak 「不明過去」と言われるものである。動詞の語幹に-gan という接尾辞が付加される場合、終了時期を明確にさせる必要のない一般的な動作の完了、完了した結果の状態、あるいは過去の経験などを表わす Davletov & Kudaybergenov(1980:174-175)。

⁴³ この節のグロスでは、tur-gan をそのまま表記する。

[V-a/-y tur-gan] の場合、次のような用例が現れた。

- (311) Düyşön-dün munu-su-n şildinġa-p
 PSN-GEN これ-3:POSS-ACC からかう-CVB
kül-üş-ö tur-gan. (Birinġi mugalim)
 笑う-RECIP-CVB tur-PST2
 「ディションのことをからかって、笑ったものだ。」
- (312) “Jür ket-ti-k Düyşön-dün mekteb-i-ne,
 INTJ 行く-PST1-1PL PSN-GEN 学校-3:POSS-DAT
 terek-ke ċig-a-biz” — **de-y tur-gan-biz.** (Birinġi mugalim)
 木-DAT 登る-PRES-1PL 言う-CVB tur-PST2-1PL
 「「さあ、ディションの学校に行こう、木に登ろう」と言ったものだ。」
- (313) Anġ kün sistema-sġ-nan arkġ planeta-lar-dġn
 それ:ACC 太陽 系-3:POSS-ABL 向こう 惑星-PL-GEN
ġl-der-i da bil-iş-e tur-gan. (On üçünġü tolkun)
 人-PL-3:POSS EMPH 知る-RECIP-CVB tur-PST2
 「それを太陽系から向こうの惑星の人々も知ったものだ。」

これら用例は、かつて経験したこと、或いは、過去に起こった出来事、それに関係する人が振り返って思い起こす時に用いられている。つまり、[V-a/-y tur-gan] 形は、主体の〈過去の回想〉の意味を表わす。今回のデータからは、[V-a/-y tur-gan] の場合、《人の活動動作を表わす動詞》がくることが殆どである。

[V-a/-y tur-gan N]

[V-a/-y tur-gan N]の形が 310 例のうち 150 例だった。これらの場合に出てくる-gan は、上の類と異なり、形動詞として使われ、名詞を修飾する役割をもつものである。この場合、Nに来るのは、「人」や「物」や「場所」などのように幅広く使われる。これらの場合に現れる tur-は、未来における〈動作の持続〉の意味を表わす。

- (314) Anday-lar-dġn otun — suu-lar-i-n
 そいつ-PL-GEN 薪 水-PL-3:POSS-ACC

al-a tur-gan malay-lar-ï bol-gon. (Kaada-salt...)

持つ-CVB tur-gan 奴隷-PL-3:POSS なる-PST2

「そんな人々の薪や水を持ってくる奴隷達がいた。」

(315) **Baška-lar-dan ayırmalan-a tur-gan kiyim kiy-giz-e-t.** (Kaada-salt...)

他-PL-ABL 異なる-CVB tur-gan 服 着る-CAUS-PRES-3

「他の人々と異なる服を着せる。」

(316) **Bar-a tur-gan jer-im kal-ba-dï.** (Selsayak)

行く-CVB tur-gan 場所-1SG:POSS 残る-NEG-PST1

「私が行く場所が残らなかった。」

【V-a/-y tur-gan bol-】

また、次のように【V-a/-y tur-gan bol-】という形で現れる用例がみられる。日本語に訳すと、「～することになる」に相当する。

(317) **Reys jarım saat-ka keçig-ip kel-e tur-gan bol-uptur.** (Ėkinçi ömür)

便 半 時間-DAT 遅れる-CVB 来る-CVB tur-gan なる-PST4

「この便は三十分遅れてくることになったそうだ。」

(318) **Ayaz öz-ü Telefon çal-dï. Samolyot kon-or menen tüz**

PSN 自分-3:POSS 電話 かける-PST1 飛行機 着陸する-AOR と 直ぐ

ële mında kel-e tur-gan bol-uş-tu. (Ėkinçi ömür)

EMPH ここ 来る-CVB tur-gan なる-RECIP-PST1

「アヤズは自分で電話をくれた。飛行機が着陸し次第、(自分達は)すぐここに来ることになった。」

【V-a/-y tur-IMP】

今回の収集した用例の中から 57 例は、【V-tur-IMP】の形、つまり、命令の形で現れる用例がみられた。

この形について、Davletov & Kudaybergenov(1980)では、次のように記述されている。

“Эгерде чакчылдардын ушул эле формасы менен айкашып, бирок өзү буйрук ыңгай формасында турса, анда кыймыл-аракеттин убактысынча, кыска мөөнөткө иштелишин билдирет: (p.146)” 「もし副詞接尾辞のこの形式と組み合わせさせていて、命令の形をとっていたら、動作が一時的に、短い時間の間で行われることを表わす。」

- (319) Samoor öč-üp kal-ba-sın, ot-tu **kara-y** **tur.** (Ėkinči ömür)
 サモワール 消える-CVB 残る-NEG-3:IMP 火-ACC 見る-CVB tur
 「サモワール (の火) が消えてしまわないように、火を見ていなさい。」

- (320) **Küt-ö** **tur-uğuz!** (Ėkinči ömür)
 待つ-CVB tur-2SG:IMP
 「待っていてください！」

- (321) **Koy-o** **tur-ču,** Kadırbek aba! (Astra gülü)
 待つ-CVB tur-REQ PSN 叔父
 「ちょっと待ってよ、カデルベクおじさん。」

上の用例では、「しばらく見ていなさい」、「しばらく待っていてください」などのように、Davletov & Kudaybergenov(1980)が指摘したとおり、主体の動作にあまり時間がかからないこと、少しの間で行われることを表わす。このような使い方は、だれかに何かを依頼する時に使われることが多い。これらの場合に現れる、tur-は、主体の〈一時的な動作の持続〉という文法的な意味を表わす。

この〈一時的な動作の持続〉という意味は、bir az 「少し」、bir aptača 「一週間」、bir kün bolso da 「一日でも」などのような時間の短さを規定するような副詞相当句がつくことによって、より明瞭に現れる。

- (322) Ber-či tameki-den, čeg-ip bir az **otur-a** **tur-alı?** (Čalgınčılar)
 与える-REQ タバコ-ABL 吸う-CVB 一 少し 座る-CVB tur-1PL:VOL
 「一服、くれますか。吸って少し座っていきましょう。」

- (323) Da bir apta-ča **ěs al-a** **tur-uğuzdar.** (Jaralanbagan jar.)
 はい 一 週-ぐらい 休む-CVB tur-2PL:IMP
 「はい、(あなた方は) 一週間ぐらい休んでいてください。」

- (324) Meyli, bir kün bol-so da jaša-y tur-sun. (Astra gülü)
 了解 一日 なる-COND EMPH 生きる-CVB tur-3:IMP
 「分かった。一日であっても生きていさせよ。」

なお、今回、収集した用例の中には、-a/-y 副動詞接尾辞ではなく、-(i)p 副動詞接尾辞と組み合わせられて現れる文がみられた。

- (325) Jer-ge tüš-kün da, sen meni küt-üp tur. (Altın kuş)
 土-DAT 降りる-2:IMP EMPH 君 私:ACC 待つ-CVB tur
 「君は下に降りなさい、そして、私を待っていないなさい。」

ここでは、-a/-y 副動詞接尾辞、-(i)p 副動詞接尾辞の場合の違いを考えてみよう。

- sen meni küt-ö tur
 君 私:ACC 待つ-CVB tur
 「君は私を（ちょっと）待っていないなさい」
- sen meni küt-üp tur
 君 私:ACC 待つ-CVB tur
 「君は私を待っていないなさい（待ちつづけなさい）」

前者の場合、「少しの時間の間、待っていないなさい」という意味が含まれており、主体の〈**時的な動作の持続**〉を表わす。後者の場合、時間の長さに関係なく、「待っていないなさい（待ちつづけなさい）」という意味で使用される。ここでは、主体の**ある時点における〈動作の持続〉**の意味を表わす。このように tur-が-a/-y、-(i)p 両方の副動詞接尾辞の場合に表わす文法的な意味が異なる。

この他、否定副動詞形で表われる文もみられた。この場合、**ある時点における〈動作の持続〉**の意味を表わす。

- (326) Ket-pe-y tur, söz bar men kayra kel-e-m. (Ėkinči ömür)
 帰る-NEG-CVB tur 話 ある 私 再び 来る-PRES-1SG
 「帰らないでいなさい。話がある。私はまた来る。」

10.3. まとめ

本章では、V-(i)p tur-形式と V-a/-y tur-形式の場合に現れる主動詞の意味的なタイプとそれらが表わす文法的な意味について述べた。

V-(i)p tur-形式に現れる「動作動詞」の場合、《主体の活動動作を表わす動詞-ある一定の時間における〈動作の持続〉》、《主体の長期的な活動動作を表わす動詞-長期にわたる〈動作の持続〉》、《主体の視覚・聴覚活動を表わす動詞-ある一定の時間における〈動作の持続〉》、《自然現象の動きを表わす動詞-自然現象の〈うごきの持続〉》、《主体の生理的な動きを表わす動詞-ある時点における〈うごきの持続〉》、《主体の移動動作を表わす動詞-①ある一定の時間における〈動作の持続〉、②〈動作のくりかえし〉》のタイプが取り出された。これらの場合、基本的に〈動作の持続〉という文法的な意味を表わすが、文中での語彙的・文法的な条件により、主体の〈動作のくりかえし〉や〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

V-(i)p tur-形式に現れる「変化動詞」の場合、《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞-〈変化の結果の状態〉》、《主体の表示を表わす動詞-〈変化の結果の状態〉》、《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞-〈変化の結果の状態〉》、《主体の再帰的な動作を表わす動詞-〈変化の結果の状態〉》、《主体の漸進的な変化を表わす動詞-〈変化の進展〉》のタイプが取り出された。V-(i)p tur-形式の場合に他の補助動詞に現れない《主体の表示を表わす動詞》、《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》のタイプが現れたのが特徴的である。V-(i)p tur-形式に現れる「変化動詞」の場合、tur-は、基本的に主体の〈変化の結果の状態〉という文法的な意味を表わすが、主動詞の意味的なタイプや文中での言語的な条件によって、〈動作のくりかえし〉や〈動作の準備〉を表わす場合がみられた。また、主動詞の意味的なタイプではなく、形式による特徴ではあるが、[V-ki+所有接尾辞 kel-形式で現れる場合-〈人の欲求や希望〉]についても述べた。この形式も V-(i)p tur-形式ならではのものである。

V-(i)p tur-形式に現れる「状態動詞」の場合、《主体の空間的な関係を表わす動詞-〈変化を起こさず、前から同じ状態の中にあること〉》、《主体の擬態的な動作を表わす動詞-〈恒常的な状態〉》のタイプが現れたのが特徴的である。

V-(i)p tur-形式の場合に現れる「内的感情動詞」を《主体の思考活動動作を表わす動詞-ある一定の時間における〈思考動作の持続〉》、《主体の感情を表わす動詞-〈心理状態〉》、《主体の評価的な態度を表わす動詞-〈心理状態〉》のタイプがみられた。

V-a/-y tur-形式の場合、形式的な特徴 ([V-a/-y tur-gan]、[V-a/-y tur-gan N]、[V-a/-y tur-gan bol-]、[V-a/-y tur-IMP]) を取り出して、考察を行った。V-a/-y tur-形式は、V-(i)p tur-形式と異なり、かなり限られた語彙的・文法的な条件のもとで成り立っていることが分かった。特に [V-a/-y tur-gan-〈過去の回想〉、未来における〈動作の持続〉] という固定した形式と、[V-a/-y tur-IMP-〈一時的な動作の持続〉] の命令形で現れる用例が圧倒的に多かった。なお、V-a/-y tur-形式の場合、《人の活動動作を表わす動詞》のタイプがほとんどである。

第 11 章 補助動詞 otur-

この章では、補助動詞 otur-の考察を行う。今回の言語資料から補助動詞 otur-の場合、次のようなデータが得られた。

表 15 補助動詞 otur-の全用例数

補助動詞形式	異なり語数	延べ語数
V-(i)p otur-	257	480 例
V-a/-y otur-	0	0 例
合計	257	480 例

今回の言語資料からは V-(i)p otur-形式の用例のみ出てきた。V-a/-y otur-形式の用例は 1 例も出なかった。Davletov & Kudaybergenov(1980:185)では、V-a/-y otur-形式の次のような例文はあがっているが、このような用例は今回のデータからは得られなかった。実際に、V-a/-y otur-形式は日常生活の中でもほとんど使われない。

- (32) **süylö-y otur-gan** kariya (Davletov & Kudaybergenov1980:185)
 話す-CVB otur-PART 老人
 「話しつづけている老人」

次の章から、V-(i)p otur-形式の文法的な意味について考える。

11.1. V-(i)p otur-形式の場合

ここでは、V-(i)p otur-形式の場合に生じる otur-の文法的な意味について考察する。今回は、V-(i)p otur-形式の場合、次のようなデータが得られた。

表 16 V-(i)p otur-形式の場合に現れる動詞の大分類

動詞の種類	用例数
「動作動詞」	342
「変化動詞」	78
「状態動詞」	20
「内的感情動詞」	40
合計	480

V-(i)p otur-形式の場合、「動作動詞」は圧倒的に多く現れたが、他の動詞の種類も少なからず出現した。以下、それぞれについて考える。

11.1.1. 「動作動詞」

ここには、基本的に主体の動作や動きを表わす「動作動詞」がはいる。今回の収集した言語資料から、V-(i)p otur-形式の場合、「動作動詞」が圧倒的に多く現れた。しかし、V-(i)p otur-形式の場合に現れる「動作動詞」の意味的なタイプによって偏っている。以下、それぞれについて考察する。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の活動動作を表わす動詞》	oku-「読む」、oyno-「遊ぶ」、juu-「洗う」、など
《自然現象の動きを表わす動詞》	jaa-「降る」、jür-「(風が)吹く」、など
《主体の生理的な動きを表わす動詞》	kaltira-「震える」、titire-「震える」、など
《主体の再帰的な動作を表わす動詞》	kiy-「着る、履く、かぶる」、čečin-「脱ぐ」、など
《主体の移動動作を表わす動詞》	jür-「歩く」、kel-「来る」、bar-「行く」、など

《主体の活動動作を表わす動詞》

V-(i)p otur-形式の場合、《主体の活動動作を表わす動詞》が多く現れた。これらの動詞に otur-が後接する場合、その otur-は主体のある時点における〈動作の持続〉の意味を表わす。これが成立するためには、一定の語彙的・文法的な条件が必要となる。

まず、座って行うことができる主体の活動動作を表わす動詞でなければならない。

- (328) Üy-gö kir-ip çay iç-ip otur-gan-ım eş-im-de,
 家-DAT 入る-CVB 茶 飲む-CVB otur-PART-1SG 記憶-1SG:POSS-LOC
 bir ubak-ta ukta-p kal-iptir-mın,.. (Turmuştan jaralğan čoku)
 一 時-LOC 寝る-CVB 残る-PST3-1SG
 「家に入ってお茶を飲んでいることが記憶に残っているが、ある時、寝てしまったみたいです。」
- (329) Kızalak de-gen kariya menen Ėsekem “toguz kumalak” oyno-p
 PSN 言う-PART 老人 と PSN ゲーム名 遊ぶ-CVB
 otur-uş-kan, — de-y-t Abdıbek uul-u Sıdık. (Kaada-salt...)
 otur-RECIP-PART 言う-PRES-3 PSN 息子-3:POSS PSN
 「クザラクという老人とエセケムは「トグズ クマラク」をして遊んでいたと言っているアブデベクの息子であるステク。」
- (330) Men gezit oku-p otur-gam,
 私 新聞 読む-CVB otur-PST2:1SG
 al unčuk-pa-y jan-ım-an orun al-dı. (Dubal)
 彼 話し出す-NEG-CVB 隣-1SG:POSS-ABL 席 取る-PST1
 「私は新聞を読んでいたが、彼は話し出さないで隣から席を取った。」
- (331) Döŋ-dö-gü Tülkübek-ter dale kız-uu süylö-ş-üp otur-uş-a-t. (Kanıbek)
 丘-LOC-kı PSN-PL まだ 盛り上がる-VN 話す-RECIP-CVB otur-RECIP-PRES-3
 「丘にいるチュルクベク達はまだ盛り上がって話し合っている。」
- (332) Bektur mektep-ten kel-se, çoŋ ėne-si
 PSN 学校-ABL 来る-COND 大きい 母-3:POSS
 sınałgı kör-üp otur-uptur. (Kün kizarıp batkanda)
 テレビ 見る-CVB otur-PST3
 「ベクツルが学校から来たら、お祖母さんがテレビを見ていたようです。」
- (333) Akun ėköö-nün süylö-ş-kön-ü-n
 PSN 二人-GEN 話す-RECIP-VN-3:POSS-ACC
 kuban-ıp ug-up otur-du. (Dubal)
 喜ぶ-CVB 聞く-CVB otur-PST1
 「アクンは二人の話していることを喜んで聞いていた。」

そして、次のように動作が行われている場所を示す位格がついている**ある時点における〈動作の持続〉**の意味がより明瞭に現れる。なお、位格が現れる場合、主体が座って動作を行っていることが読み取れる。

- (334) Boz üy-dün eşik ald-ï-nda seksey-gen
 ボズウイ-GEN ドア 前-3:POSS-LOC ボサボサ-PART
 men kir **juu-p otur-a-m.** (Telegey)
 私 洗濯物 洗う-CVB otur-PRES-1SG
 「ボズウイのドアの前でボサボサ髪の私が洗濯物を**洗っている。**」

- (335) Oçok-tun boy-u-nda bürüş-üp,
 火-GEN そば-3:POSS-LOC 身をすくめる-CVB
 dabış çigar-ba-y **ïyla-p otur-du-m.** (Birinçi mugalim)
 声 出す-NEG-CVB 泣く-CVB otur-PST1-1SG
 「(私は) 火のそばで身をすくめて、声を出さないで、**泣いていた。**」

- (336) Klass-ta-gï baldar-dïn köpçülüg-ü
 クラス-LOC-kï 子供達-GEN 多く-3:POSS
jötöl-üp otur-a-t. (Ërte kelgen turnalar)
 咳をする-CVB otur-PRES-3
 「クラスでの生徒達の多くは**咳をしている。**」

しかし、V-(ï)p otur-形式の場合、本動詞としての otur-の語彙的な意味（「座る」）が読み取れない用例も存在する。たとえば、tabala-「責める」、jasa-「作る」、などの動詞の場合、必ずしも座って行っている動作とはいえない。

- (337) Je meni **tabala-p otur-a-sïñar-bï?** (Kanïbek)
 或は 私:ACC 責める-CVB otur-PRES-2PL-Q
 「(君らは) 或いは私を**責めているのか。**」

- (338) Siler munu atayïn **jasa-p otur-a-sïñar.** (Ëkinçi ömür)
 あなた達 これ わざと 作る-CVB otur-PRES-2PL
 「あなた達はこれをわざと**やっている。**」

また、以下の用例のように、文中に üç jıldan beri「三年前から」、eki saatça「二時間ぐらい」、bir az「少し」、köpkö「長く」などのように時間の起点と終点を明示して表わす

副詞相当句や期間の幅を表わす副詞相当句と共起して現れる場合、ある時点における〈動作の持続〉の意味が補強される。

- (339) Üç jil-dan beri jalgız sen **de-p** otur-a-m. (Kanibek)
 三 年-ABL から 一人 君 言う-CVB otur-PRES-1SG
 「三年前から君のことだけ考えている。」
- (340) Ėki saat-ča **jalın-ıp** otur-up
 二 時間-約 懇願する-CVB otur-CVB
 Ėrke-ayım-din ės-i ket-ti. (Kanibek)
 PSN-夫人-GEN 体力-3:POSS 行く-PST1
 「二時間ぐらい懇願しつづけて、エルケ夫人は疲れた。」
- (341) Namaz-dĭ uzak-ka čeyin **oku-p** otur-up al-dĭ-m. (Selsayak)
 礼拝-ACC 長い-DAT まで 読む-CVB otur-CVB 取る-PST1-1SG
 「礼拝（ナマーズ）を長時間にわたって読み続けていた（行い続けた）。」
- (342) Ėköö bir kĭyla-ga čeyin **ĭyla-p** oltur-uš-tu. (Aksıdagı...)
 二人 一 時間-DAT まで 泣く-CVB otur-RECIP-PST1
 「二人は長時間にわたって泣いていた。」

また、次のように *kayra—kayra* 「何回」、*ulam* 「何度も、次々に」などのように回数を表わす副詞相当句の場合、ある動作が時間的に連続して行われることを表わし、つまり、〈動作のくりかえし〉の意味へ移行する。

- (343) ...ošo-nun baarı-n kayra—kayra **tarazala-p** otur-up
 それ-GEN 全て-ACC 再び 再び 検討する-CVB otur-CVB
 biz-ge baškar-uu-nun parlamenttik ĭngay-ĭ tuura
 私達-DAT 指導-VN-GEN 議会制 方式-3:POSS 正確
 kel-ėėr-i-ne köz-übüz jet-ti. (Ėrkin Too・№2)
 来る-AOR-3:POSS-DAT 目-1PL:POSS 着く-PST1
 「...それらをすべて何回も検討しつづけて、私達は議会制が正しいことに気づきました。」

- (344) Saara, Saara, – de-p ulam kÿkÿr-ïp otur-up
 PSN PSN 言う-CVB 何度 叫ぶ-CVB otur-CVB
 kelinčeg-i-nin arka-sï-nan araŋ kuu-p jet-ip: (Tagdïr)
 妻-3:POSS-GEN 背中-3:POSS-ABL なんとか 追いつく-CVB 着く-CVB
 「サーラ、サーラと何度も叫びながら、妻の背中側からやっとな追いついて...」

今回の調査で得られた動詞のうち、《主体の活動動作を表わす動詞》には次のようなものがある。

akmala-「看視する」、al-「取る」、ališ-「生活する」、analizde-「分析する」、atayin jasa-「わざとする」、ayt-「言う」、baškar-「指導する」、bayka-「観察する」、ber-「与える」、bozdo-「号泣する」、čan-「(人を)ふる」、čayna-「嘔む」、čiy-「描く」、čuku-「ひっかきまわす」、dayardan-「準備する」、ělekte-「錬る」、ěrerke-「甘える」、ěs al-「休憩する」、ič-「飲む」、irěčnjit-「気持ち悪くする」、iš kïl-「仕事をする」、ište-「働く」、ïyla-「泣く」、izde-「探す」、jak-「火を焼く」、jalaa kïl-「誰かのせいにする」、jaz-「書く」、jiber-「送る」、juu-「洗う」、karma-「持つ」、kat-「隠す」、katïš-「参加する」、kayrïl-「依頼する」、kïl-「する」、közdö-「目指す」、küt-「待つ」、maydala-「細かくする」、mijik-「もむ」、ökčö-「遊ぶ」、oku-「読む」、ölčö-「図る」、oyno-「遊ぶ」、sïypala-「探す」、tameki tart-「タバコを吸う」、tanda-「選ぶ」、tart-「(絵を)描く」、türmala-「掻く」、tüt-「つむぐ」、tök-「泣く」、ulutun-「ため息をはく」、ur-「たたく」、ušala-「もむ」、üy-「積む」、など

《自然現象の動きを表わす動詞》

ターライベク キズ(2007)は、otur-は活動性の強い動詞や自然現象を表す動詞に付加されないとしているが、今回の言語資料から、V-(i)p otur-形式の場合、《自然現象の動きを表わす動詞》が2例現れた。出現頻度はごくわずかではあるが、別のタイプとして取り上げることにする。

- (345) Jür-üp otur-gan jel tün-dï. (Čolponbay)
 吹く-CVB otur-PART 風 止む-PST1
 「吹いていた風が止んだ。」
- (346) Ęrte-den beri jamgïr jaa-p otur-up balčik bol-up kal-gan
 早-ABL から 雨 降る-CVB otur-CVB 泥 なる-CVB 残る-PART

jer-den at ulam taygala-n-ïp bar-ïp tur-up jat-ti. (Tagdir)
 土-ABL 馬 何度 滑る-REFL-CVB 行く-CVB 立つ-CVB jat-PST1

「先からずっと雨が降り続けていて、泥になってしまった土に馬が何回も滑りそうになって立ち上がっていた。」

これらの文では、otur-は、**現在における自然現象の〈うごきの持続〉**を表わしている。特に、上の文では、Ėrteden beri「先からずっと」という副詞相当句によって、**現在における自然現象の〈うごきの持続〉**の意味が明瞭に現れている。

《主体の生理的な動きを表わす動詞》

また、次のように《主体の生理的な動きを表わす動詞》に otur-が後接する場合がみられる。これらの場合、主体の「震える」という様子が持続していることを表わしていることから、otur-は、**ある時点における〈うごきの持続〉**を表わす。

- (347) Ćoro kol-dor-u kaltıra-p otur-up
 汚い 手-PL-3:POSS 震える-CVB otur-CVB
 ĥirak-ti araŋ küy-güz-dü,... (Dubal)
 ろうそく-ACC なんとか 燃える-CAUS-PST1
 「汚い手が**震え**続けて、ろうそくをなんとか燃えさせた...」

- (348) Bayagï-dan beter öŋ-alaket-ten kal-ïp,
 この前-ABL より悪い 顔色-ABL 残る-CVB
 ėrd-i — baš-ï titire-p otur-a-t. (Telegey)
 口-3:POSS 頭-3:POSS 震える-CVB otur-PRES-3
 「今度、顔色が悪くなってしまって、口も頭も（体全体が）**震**えていた。」

《主体の再帰的な動作を表わす動詞》

V-(ï)p otur-形式の場合も、自分の動作が自分自身に働きかけ、自分自身の状態になんらかの変化をもたらす《主体の再帰的な動作を表わす動詞》が2例現れた。用例数は少ないが、一つのタイプとして取り上げる。

以下の用例では、主体の**〈変化の結果の状態〉**の意味を表わしている。つまり、ここで

は、kiy-「着る」という動作がすでに行われて、「着た」後の変化の結果の状態を指している。

- (349) ... ošol jer-de ministr taajī-sī-n **kiy-ip** **otur-gan** adam-dīn
 そこ 場所-LOC 大臣 冠-3:POSS-ACC かぶる-CVB otur-PART 人-GEN
 ar-namīs-ī-n kozgo-p koy-gon-go da jara-ba-gan. (Šookum)
 名誉-3:POSS-ACC 触れる-CVB 置く-PART-DAT EMPH 役に立つ-NEG-PST2
 「...そこで大臣の冠をかぶっている人の名誉に触れてしまっても役に立たなかった。」

しかし、次の用例では、otur-が、čečinip oturup「脱ぎ続けて」つまり、「どんどん服を脱ぐ」というふうに、動作がくりかえして行われること、つまり、主体の〈動作のくりかえし〉の意味を表わしているように思われる。

- (350) ...īs-īp terde-gen-de **čeč-in-ip** **otur-up**
 温まる-CVB 汗をかく-PART-LOC 脱ぐ-REFL-CVB otur-CVB
 bel-ibiz-den öydö dirday jīlaṇaç kal-dī-k. (Turmuštan jaralğan čoku)
 腰-3PL:POSS-ABL 上 真 裸 残る-PST1-1PL
 「(私達は)暑くなって、汗をかいた時に、(服を) **どんどん脱いでいて**、上半身は裸になってしまった。」

しかし、この用例を čečinip **oturat** のように述語文に変えると、「脱いでいる」のように主体の〈変化の結果の状態〉の意味が生じる。つまり、上の文では、čečinip **oturup** の形で現れているからこそ、主体の〈動作のくりかえし〉のように思われるにすぎない。

《主体の移動動作を表わす動詞》

V-(ī)p otur-形式の場合に現れた《主体の移動動作を表わす動詞》をさらに詳しくみる。移動動詞を①移動の様態、②移動そのものを表わす場合に分けた。それぞれの用例の内訳を次の表で示す。

表 17 移動動詞-(ī)p otur-の用例数

主動詞の意味的なタイプ	用例数
① 移動の様態を表わす動詞	43
② 移動そのものを表わす動詞	17
合計	60

① 移動の様態を表わす動詞

V-(i)p otur-形式の場合にみられた移動の様態を表わす動詞は、次のとおりである。

jür-「動く」、bas-「歩く」、aylan-「歩きまわる」、jügür-「走る」、kîdir-「歩き回る」、kîrda-「歩く、沿う」、uç-「飛ぶ」、îldîyla-「下る、行く」、ördö-「(動物) 食べ回る」、など

主体の移動の様態を表わす動詞に otur-が後接する場合、otur-は〈動作の持続〉の意味を表わす。しかし、単なるある時点における〈動作の持続〉ではない。otur-の場合は、動作自体が終わりがなく、ずっと持続していくことを表わす。今回のデータからは、動詞 jür-「歩く」は33例で最も多く現れた。

- (351) Bala **jür-üp** **oltur-a-t**, **jür-üp** **oltur-a-t**,
 少年 歩く-CVB otur-PRES-3 歩く-CVB otur-PRES-3
 kün art-î-nan kün öt-ö-t, ay art-î-nan ay öt-ö-t. (Altîn kuş)
 日 後-3:POSS-ABL 日 過ぎる-PRES-3 月 後-3:POSS-ABL 月 過ぎる-PRES-3
 「少年は歩き続け、歩き続け、日が過ぎ、月が過ぎる。」

- (352) Art-î-nan **jür-üp** **oltur-up**, alar-dîn
 後-3:POSS-ABL 歩く-CVB otur-CVB 彼ら-GEN
 eşig-i-nin ald-î-nan burul-gam. (Astra gülü)
 ドア-3:POSS-GEN 前-3:POSS-ABL 曲がる-PST2:1SG
 「(彼らの) 後を歩いていて、彼らの家の前で曲がった。」

その他に、bas-「歩く」、jügür-「走る」、aylan-「歩きまわる」、îldîyla-「下る、行く」などの動詞が現れた。

- (353) Aytör, joldoš-tör-um meni tašta-p
 とにかく 友人-PL-1SG:POSS 私:ACC 残す-CVB
 ket-ken-den kiyin, men kayra **jügür-üp** **otur-up**,
 行く-PART-ABL 後 私 再び 走る-CVB otur-CVB
 Düşön-dün mekteb-i-ne kel-di-m da,.. (Birinçi mugalim)
 PSN-GEN 学校-3:POSS-DAT 来る-PST1-1SG EMPH
 「とにかく、友達が私を残して行ってから、私は再び走り続けて、デイションの学校に来たが…」

- (354) Urkuya ėl arala-p **bas-ĭp otur-up**
 PSN 民 回る-CVB 歩く-CVB otur-CVB
 Baybolot-tun jan-ĭ-na jet-ti. (Tarĭx ėsteligi)
 PSN-GEN 側-3:POSS-DAT 着く-PST1
 「ウルクヤは、庶民を回り、**歩き続け**、バイボロトの所にたどり着いた。」
- (355) Bayka-sa-m **aylan-ĭp otur-up** kayta
 見る-COND-1SG 回る-CVB otur-CVB 再び
 Urkuya-nĭn ast-ĭ-na kel-ip tokto-du. (Tarĭx ėsteligi)
 PSN-GEN 前-3:POSS-DAT 来る-CVB 止まる-PST1
 「見ていたら、**回り続けて**（回りながら）、再びウルクヤの前に来て、止まった。」
- (356) Biz **ĭldĭyla-p otur-up**, koku-nun kĭr-ĭ-na
 私達 下る-CVB otur-CVB 谷間-GEN 境-3:POSS-DAT
 kel-ip jar-lar-ga takal-dĭ-k. (Turmuřtan jaralġan ġoku)
 来る-CVB 崖-PL-DAT ぶつかる-PST1-1PL
 「我々が**下り続けて**、谷間の底に来て、崖にぶつかった。」

これらの用例では、主動詞が主体の移動を表わしているわけだから、**otur-**が本来の語彙的な意味としての「座る」を表わしているとは考えにくく、もっぱら文法的な意味を果たしている。

② 移動そのものを表わす動詞

V-(ĭ)p otur-形式の場合にみられた移動そのものを表わす動詞は、次のとおりである。

kel- 「来る」、bar- 「行く」、jet- 「着く」、kabĭl- 「遭遇する」、など

主体の移動を表わす動詞に kel- 「来る」、ket- 「行く」という otur-が後接することが先行研究でも指摘されている。今回の言語資料からは、ket- 「行く」の用例は抽出されなかったが、kel- 「来る」、bar- 「行く」、jet- 「着く」の用例は出た。

- (357) Mĭndan bġlġk korgo-l-or jer-im jok
 これ:ABL 以外 守る-PASS-PART 場所-1SG:POSS 無
 bol-gon-duk-tan **kel-ip otur-a-m.** (Boorondun kĭnĭ)
 なる-PART-duk-ABL 来る-CVB otur-PRES-1SG

「ここ以外に身を守る場所がないため、来ている。」

- (358) Ošonduktan kíz-ïñiz Batma-ga baš koš-tur-up
 その為 娘-2SG:POSS PSN-DAT 頭 組む-CAUS-CVB
 koy-uu üčün **kel-ip otur-a-m.** (Čalgınçılar)
 置く-VN 為 来る-CVB otur-PRES-1SG
 「だから、娘さんのバトマに結婚させるために、(ここに)来ている。」

- (359) Aš-kan mītaam bol-gon-duk-tan, ėl-i-ne
 超える-PART ずるい なる-PART-duk-ABL 国民-3:POSS-DAT
 bat-pa-y mīnda **kač-ïp kel-ip otur-a-t.** (Kanībek)
 入る-NEG-CVB ここ 逃げる-CVB 来る-CVB otur-PRES-1SG
 「非常にずるいため、自分の国に入れず、ここに逃げてきている。」

これらの用例では、動詞 *kel*-「来る」は、主体の移動を表わす動詞ではあるが、〈動作の持続〉という意味を読みとることはできない。これらの文において、「来る」という動作がすでに行われ、*otur*-は、その〈変化の結果の状態〉の意味が表わされている。

また、次のように物主語で現れる場合もある。この場合も、*otur*-は、主体の〈変化の結果の状態〉を表わす。

- (360) ... (biz-din ėpos-ubuz...) jañıla-n-ïp, tolukta-l-ïp,
 私達-GEN 叙事詩-1PL:POSS 改訂する-PASS-CVB 加える-PASS-CVB
 kemel-i-ne kel-ip biz-din
 形-3:POSS-DAT 来る-CVB 私達-GEN
 kün-gö **jet-ip otur-a-t.** (Ėrkin Too・№66)
 日-DAT 至る-CVB otur-PRES-3
 「... (母国の叙事詩は...) 改訂されたり、書き加えられたりして、いい形になって、今日に至っている。」

- (361) Maksat-ï jok kün-gö ėmi men **kabīl-ïp otur-a-m.** (Tagdīr)
 目標-3:POSS 無 日-DAT 今 私 遭遇する-CVB otur-PRES-1SG
 「目標のない日に今、私は遭遇している。」

11.1.2. 「変化動詞」

ここには、基本的に主体の変化を表わす「変化動詞」がはいる。ただし、V-(i)p otur-形式の場合、主動詞に現われる「変化動詞」の意味的なタイプによって偏っている。以下のよ
うな意味的なタイプが取り出された。以下、それぞれについてみる。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》	ačıl-「開く」、bol-「なる、起きる」、jigil-「倒れる」、tüš-「落ちる」、čik-「出る」、など
《主体の漸進的な変化を表わす動詞》	azay-「減る」、köböy-「増える」、ula-「進める」、tezde-「早まる」、isī-「暖まる」、など

《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》

V-(i)p otur-形式の場合に現れた《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》に次のよ
うなものがある。

ačıl-「開く」、aylan-「変わる」、beril-「与えられる」、bol-「なる、起きる」、čap-「(事
が)伝わる」、čaynal-「噛まれる」、čik-「出る(出現)」、iyil-「下がる」、jetiš-「成功
する」、jetkir-「導く」、jigil-「倒れる」、kakša-「冷える」、kolgo tüš-「逮捕される」、kömül-
「溺れる」、košul-「加わる」、kuušur-「こだわる」、muzda-「冷える」、tüš-「落ちる」、
tüyül-「しびれる」、jötöl-「セキをする」、など

《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》のタイプが V-(i)p otur-形式に現れる場合、
otur-は、新たな状態の〈発生〉を表わすことになる。

《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》の中で最も多く現れたのは、bol-「なる」動
詞である。V-(i)p otur-形式の場合、[人/動物/物 N/ADJ bolup otur-]という構文で
出ている。

- (362) Öz-ün čoŋ_____ata bol-up oltur-a-siŋ. (Küyümdüü jurök)
自身-2SG:POSS 大きい 父 なる-CVB otur-PRES-2SG
「あなた自身がおじいさんになっている。」

- (363) Bul kün-dör-ü Baškortostan
この 日-PL-3:POSS PLN

janī.....prezident-tüü **bol-up** **oltur-a-t.** (Ėrkin Too・№65)

新しい 大統領-ある なる-CVB otur-PRES-3

「このごろ、バシユコルトスタンは、新しい大統領をもつことができた。」

(364) Mında makal-din maani-si topukčuluk

ここ 記事-GEN 主旨-3:POSS 飽食

tuuraluu **bol-up** **otur-a-t.** (Kaada-salt...)

について なる-CVB otur-PRES-3

「この記事の主旨は、飽食についてになっている。」

この他に、*čik*-「出る（出版される）」、*bildir*-「表わす」などの動詞に *otur*-が後接する場合がみられる。これらは、いわば「新たな状態が生じること」を表わすとみなせる動詞でもある。これらに後接する *otur*-は、その状態の〈発生〉を表わしている。そして、これらの場合、人主語ではなく、物・事主語をとることが特徴的である。

(365) Sagımbay-din 182miñ sap-tan tur-gan “Manas-ı”⁴⁴ bir-inči jol-u toluk,

PSN-GEN 182 千 行-ABL 立つ-PART PSN-3:POSS 一-序数 回-3:POSS 全部

tüpnuska-sı burmala-n-ba-y **čig-ıp** **otur-a-t.** (Ėrkin Too・№2)

全巻-3:POSS 変更する-PASS-NEG-CVB 出る-CVB otur-PRES-3

「サグンバイの 18 万 2 千行の「マナス」が、初めて全巻が変更されないで、出ている。」

(366) Mında ošondoy dušman-dı dada-m bal

ここ そのような 敵-ACC 爺-1SG:POSS 蜂蜜

til-i menen ėpke kel-tir-e-t de-gen

言葉-3:POSS と 解決 来る-CAUS-PRES-3 言う-PART

tereñ oy-du **bildir-ıp** **otur-a-t.** (Kaada-salt...)

深い 考え-ACC 表わす CVB otur-PRES-3

「ここでは、爺がそのような敵に甘い話をして、解決するという深い考えを表わしている。」

これらの《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》のタイプでは、*otur*-が本来の語彙的

⁴⁴ *Manas* 「マナス」は、キルギスに伝わる叙事詩である。主人公であるマナスはキルギス人にとって英雄的な存在である。文字を持たなかったキルギス人が自らの伝統や歴史を口承で伝えてきたものと言われ、その誕生は、七世紀とか十五世紀とか諸説がある。

な意味としての「座る」を表わしているとは考えにくいといえる。

《主体の漸進的な変化を表わす動詞》

《主体の漸進的な変化を表わす動詞》とは、物事の漸進的な変化を表わす動詞のことである。

V-(i)p otur-形式の場合に現れた《主体の漸進的な変化を表わす動詞》は次のようなものである。

azay- 「減る」、basaŋda- 「減る」、seyrekte- 「減る」、kiçireyt- 「減らす」、köböy- 「増える」、çoŋoy- 「拡大する」、küçö- 「拡大する」、öydölöt- 「上に動かす」、kötörül- 「進行する (あがる)」、sozul- 「進む (伸びる)」、ula- 「進める」、ulan- 「進む」、uzart- 「伸ばす」、ön- 「成功する」、ös- 「伸びる」、özgör- 「変わる」、özgört- 「変える」、tezde- 「早まる」、isî- 「暖まる」、jilit- 「温める」、muzda- 「冷える」、kakša- 「冷える」、など

このような動詞の場合、otur-は、主体の〈**変化の進展**〉という文法的な意味を表わす。基本的に、物・事主語に限る。

- (367) Termel-üü bol-up jat-kan çöyrö-dö dayıma bol-gon-duk-tan
 振動する-VN なる-CVB jat-PART 地域-LOC いつも なる-PART-duk-ABL
 al akürindik menen basaŋda-p otur-up öç-ö-t. (Fizika)
 それ 少しずつ 和らぐ-CVB otur-CVB 消える-PRES-3
 「振動が起こっている地域ではいつもそうなので、少しずつ和らいでいって、消える。」

- (368) Bara-bara ulantıl-a jür-üp otur-a-t. (Kaada-salt...)
 順々に 続く-CVB jür-CVB otur-PRES-3
 「(習慣は) 順々に続いていく。」

これまでみられた otur-の〈**動作の持続**〉の意味との関係を考えてみると、このタイプの動詞においては、漸進的な変化が「持続」ということは、その事物の変化が一定の方向に進展することだと考えられる。つまり、物事の〈**変化の進展**〉を表わす。上の用例でわかるように、akürindik menen 「少しずつ」、bara-bara 「次第に」といった物事の徐々の変化を表わす副詞相当句と組み合わせることによって、物事の〈**変化の進展**〉の意味が補強される。

そして、次の用例のように、漸進的な変化を表わす動詞 (küçö-「拡大する」、ulantil-「続く」) に直接 otur-が後接するのではなく、まず補助動詞 jür-がつき、それにさらに otur-が後接して、[V-(i)p jür-üp otur-] の形で現れるのが特徴的である。この場合、V に漸進的な変化を表わす動詞がくる。

- (369) Ustat-tan šakirt üyrön-üp, ulam kiyin-ki muun-dun
 恩師-ABL 弟子 教わる-CVB 次第に 後-kī 世代-GEN
 ökül-dör-ü bayıt-üp jür-üp otur-gan. (Šookum・№7)
 代表-PL-3:POSS 増やす-CVB jür-CVB otur-PST2

「恩師から弟子が学んで、徐々に次の世代の代表がそれを**発展**させていった。」

- (370) Okuya ulam dramalaš-üp,
 出来事 徐々に ドラマティックになる-CVB
 küçö-p jür-üp otur-a-t. (Kīrgīz Tuusu・№56)
 拡大する-CVB jür-CVB otur-PRES-3

「出来事は徐々にドラマティックになって、**拡大**していく。」

上の用例では、漸進的な変化を表わす動詞が-(i)p 副動詞接尾辞につく場合もあれば、次の用例のように、-a/-y 副動詞接尾辞につく場合もある。

- (371) Bara—bara ulantil-a jür-üp otur-a-t. (Kaada-salt...)
 次第に 継続する-CVB jür-üp otur-PRES-3

「(習慣は) 次第に**継続**していく。」

また、文中に jaraša「と伴って」、karay「によって」、sayın「と共に」などの変化の条件を表わす後置詞句を伴う用例が多くみられる。これらの用例においては、漸進的な変化が進展し続けることを表わす。

- (372) Demek, jip-tin uzarış-i-na jaraša
 従って 糸-GEN 伸び-3:POSS-DAT 伴って
 termel-üü mezigil-i čoŋoy-up otur-a-t. (Fizika)
 振動する-VN 時間-3:POSS 増える-CVB otur-PRES-3

「したがって、糸の伸びと伴って、振動の時間が**増えて**いく。」

- (373) Temperatura-nin özgörüş-ü-nö karay
 気温-GEN 変化-3:POSS-DAT よって

ösümdüktüü-lük da **özgör-üp** **otur-a-t.** (Biologiya)

植生的-NMLZ EMPH 変化する-CVB otur-PRES-3

「気温の変化によって、植生の成長も変化していく。」

(374) Birok, aralık çonoy-gon sayın

しかし 距離 増える-PART 共に

tart-ıl-uu küç-ü **azay-ıp** **otur-a-t.** (Fizika)

引く-PASS-VN 力-3:POSS 減る-CVB otur-PRES-3

「しかし、距離が増えるとともに、引力が弱まっていく。」

このように、変化の条件を表わす後置詞句などと組み合わせることによって、物事の〈**変化の進展**〉の意味が補強される。また、これらの後置詞句は、主に主体の漸進的な変化を表わす動詞の場合に現れるのが特徴的である。

上のいずれの用例においても、otur-が、本来の語彙的な意味としての「座る」を表わさず、もっぱら物事の〈**変化の進展**〉という文法的な意味を表わす。なお、日本語では、このような物事の変化の進展は「V-ていく」で表現される。

11.1.3. 「状態動詞」

V-(i)p otur-形式の場合に、上でみてきた補助動詞のところで述べた《主体の空間的な関係を表わす動詞》のタイプの動詞が出てこない。V-(i)p otur-形式の場合に現れるのは、次のようなタイプである。以下、それぞれについてみる。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の擬態的な様態を表わす動詞》	balpay-「堂々とする様子だ」、šalday-「へとへとだ」、šilkıy-「しょんぼりする様子だ」、など
《主体の付帯的な動作を表わす動詞》	kuçakta-「抱く」、taya-「腰に手を置く」、tizele-「床にひざを置く」、tišten-「歯を食いしばる」、など

《主体の擬態的な様態を表わす動詞》

《主体の擬態的な様態を表わす動詞》とは、主体の様態を表わす動詞のことである。このような動詞類は、補助動詞 tur-と otur-の場合に現れるのが特徴的である。

V-(i)p otur-形式の場合に現れた《主体の擬態的な様態を表わす動詞》に次のようなものがある。

balpay-「堂々とする様子だ」、büjürö-「わだかまる」、čepey-「驚く様子だ」、oştön-「嫌がらせする様子だ」、šalday-「へとへとだ」、šilkıy-「しょんぼりする様子だ」、soldoy-「あきれる様子だ」、telmir-「呆然とする様子だ」、tomsor-「驚く様子だ」、など

この類の動詞の場合、副動詞の表わす動きが otur-にとって付帯状況的である。これらの場合、otur-は、主体の〈恒常的な状態〉を表わす。

- (375) Alıs-ti tikte-p, köz-ü-nön jaš jilji-p,
 遠い-ACC 見つめる-CVB 目-3:POSS-ABL 涙 こぼれる-CVB
tomsor-up otur-du, bir kiyla-ga. (Aksıdagı...)
 呆然とする-CVB otur-PST1 一時-DAT
 「遠くを見つめて、目から涙がこぼれ、呆然としていた。一時。」

- (376) Uzak-ka çeyin **telmir-ip otur-up** kal-dī. (Aksıdagı...)
 長い-DAT まで 呆然とする-CVB otur-CVB 残る-PST1

「長時間にわたって、呆然としてしまっていた。」

このような動詞の場合に現る otur-を補助動詞として扱うかどうかという点で議論が分かれるかもしれないが、今回の言語資料から用例が出たので、別のタイプとして位置付けておく。

《主体の付帯的な動作を表わす動詞》

《主体の付帯的な動作を表わす動詞》のタイプの動詞には、次のようなものがある。

kučakta-「抱く」、kučaktaš-「抱きあう」、taya-「腰に手を置く」、tizele-「床にひざを置く」、tišten-「歯を食いしばる」、jölön-「寄りかかる」、iyil-「下がる」、など

これらは、副詞的な動詞であり、これらの動きが otur-にとって付帯状況的である。この類の動詞の場合、otur-は、主体の〈付帯的な状態〉を表わす。

- (377) Ėki nebere-si ěki tize-si-ne janaša čoŋ ata-si-n
 二 孫-3:POSS 二 ひざ-3:POSS-DAT 寄 大 父-3:POSS-ACC
 tuura-p tizele-p oltur-uš-tu. (Küyümdüü jurök)
 まねる-CVB 膝付く-CVB otur-RECIP-PST1
 「二人の孫は二つのひざの近くでお爺さんをまねてひざついて座った。」

- (378) Biz-di köz-ü-nö il-be-y Kanıbek-ke jalın-ıp,
 私達-ACC 目-3:POSS-DAT する-NEG-CVB PSN-DAT 懇願する-CVB
 bet-i-nen öö-p kučakta-p otur-du. (Kanıbek)
 頬-3:POSS-ABL キスする-CVB 抱く-CVB otur-PST1
 「私達をものともせず、カヌバクに懇願し、彼の頬にキスして、抱いて座った。」

上の用例では、膝をついた状態のまま、次の用例では、抱いた状態のままで「座る」動作を行ったことを表わす。つまり、otur-にとって付帯的な状況である。

これらの用例では、otur-は本動詞である、あるいは補助動詞であることが明確に規定できない。同じようなことが他の補助動詞の場合もいえる。今回の言語資料からこのようなタイプの動詞も出たので、ここに位置付けておく。

11.1.4. 「内的感情動詞」

V-(i)p otur-形式に現れる「内的感情動詞」の場合、次のようなタイプが取り出された。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の思考活動動作を表わす動詞》	oylo-「考える」、bil-「知る」、išen-「信じる」、など
《主体の感情を表わす動詞》	kork-「怖がる」、kuban-「喜ぶ」、keyi-「悩む」、など

《主体の思考活動動作を表わす動詞》

V-(i)p otur-形式の場合に現れた《主体の思考活動動作を表わす動詞》は次のようなものである。

bil-「知る」、boljo-「予想する」、ėlestet-「想像する」、oylo-「考える」、oylon-「考える」、tüšün-「分かる」、など

この類の動詞の場合、otur-は、主体の〈思考動作の持続〉の意味を表わす。

(379) Baarī jok-tu **bil-ip** otur-uš-a-t. (Kanibek)

全て 無-ACC 知る-CVB otur-RECIP-PRES-3

「(彼らは) 残らずすべてを知っている。」

(380) Al köpkö unčuk-pa-y **oylo-n-up** otur-du. (Dubal)

彼 長く 話し出す-NEG-CVB 考える-REFL-CVB otur-PST1

「彼は長い時間話し出さずに考えていた。」

(381) Aa, kurgur, bu da baldar-ī-nīn ayla-sī-n

INTJ 可哀そう 彼 EMPH 子供達-3:POSS-GEN 事-3:POSS-ACC

oylo-p otur-gan go, ušu tap-ta? (Telegey)

考える-CVB otur-PST2 MOD この 時期-LOC

「ああ、可哀そうだ。彼も自分の子供達のことを考えていたんだろう。この時に。」

《主体の感情を表わす動詞》

V-(i)p otur-形式の場合に現れた《主体の感情を表わす動詞》は次のようなものである。

ačiš- 「(心が) 痛む」、bürköl- 「(気分が) 曇る、悲しむ」、esir- 「困る」、jokto- 「寂しがる」、karga- 「睨む」、kaygır- 「悲しむ」、kaza jut- 「悲しむ」、kokuyla- 「困る」、kork- 「怖がる」、sabil- 「強く疲れる」、sesten- 「怖がる」、sızda- 「悲しむ」、tunjura- 「悲しむ」、感情 N+bol-、čida- 「我慢する」、öjrlön- 「頑張る」、tirmiş- 「頑張る」、kögör- 「頑固する」、など

これらの動詞に otur- が後接する場合、主体の〈心理的な状態〉の意味を表わす。

(382) Ün-ü kardig-ıp, kaltıra-p kork-up oltur-a-t. (“Kişi-kiyikke”a.)

声-3:POSS かれる-CVB 震える-CVB 怖がる-CVB otur-PES-3

「(彼は) 声がかれて、震えて、怖がって (座って) いる。」

(383) Siler ėmne-ge kapa bol-up otur-a-sıgar? (Kanıbek)

君達 何-DAT 悲しむ-CVB otur-PRES-2PL

「君達、どうして悲しんで (座って) いるのですか。」

11.2. まとめ

本章では、V-(i)p otur-形式の場合に現れる主動詞の意味的なタイプとそれらが表わす文法的な意味について述べた。

V-(i)p otur-形式に現れる「動作動詞」の場合、《主体の活動動作を表わす動詞-ある時点における〈動作の持続〉》、《自然現象の動きを表わす動詞-現在における自然現象の〈うごきの持続〉》、《主体の生理的な動きを表わす動詞-ある時点における〈うごきの持続〉》、《主体の再帰的な動作を表わす動詞-〈変化の結果の状態〉、〈動作のくりかえし〉》、《主体の移動動作を表わす動詞-①〈動作の持続〉、②〈変化の結果の状態〉》のタイプが取り出された。これらの場合、基本的に〈動作の持続〉という文法的な意味を表わすが、文中での語彙的・文法的な条件により、主体の〈動作のくりかえし〉や〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

V-(i)p otur-形式に現れる「変化動詞」の場合、《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞-〈発生〉》、《主体の漸進的な変化を表わす動詞-〈変化の進展〉》のタイプが取り出された。《主体の漸進的な変化を表わす動詞-〈変化の進展〉》の場合、基本的に物・事主語に限る。そして、日本語に訳すときに、「V-ていく」とするほうが自然である。

V-(i)p otur-形式に現れる「状態動詞」の場合、《主体の擬態的な様態を表わす動詞-〈恒常的な状態〉》、《主体の付帯的な動作を表わす動詞-〈付帯的な状態〉》のタイプが取り出された。

V-(i)p otur-形式に現れる「内的感情動詞」の場合、《主体の思考活動動作を表わす動詞-〈思考動作の持続〉》と《主体の感情を表わす動詞-〈心理的な状態〉》のタイプが取り出された。他の補助動詞形式の場合にみられる《主体の評価的な態度を表わす動詞》のタイプは、V-(i)p otur-形式の場合にはみられなかった。

第12章 補助動詞 jür-

この章では、補助動詞 jür-の考察を行う。今回の言語資料から補助動詞 jür-の場合、次のようなデータが得られた。

表 18 補助動詞 jür-の全用例数

補助動詞形式	異なり語数	延べ語数
V-(i)p jür-	347	851 例
V-a/-y jür-	26	33 例
合計	373	884 例

次の章から、V-(i)p jür-形式、V-a/-y jür-形式の順に、それぞれの文法的な意味について考える。

12.1. V-(i)p jür-形式の場合

ここでは、V-(i)p jür-形式の場合に生じる jür-の文法的な意味について考察する。今回は、次のような動詞の種類が現れた。

表 19 V-(i)p jür-形式の場合に現れる動詞の大分類

動詞の種類	用例数
「動作動詞」	639
「変化動詞」	94
「状態動詞」	8
「内的感情動詞」	98
その他（補助動詞として現れる動詞の場合）	13
合計	851

V-(i)p jür-形式の場合、全ての動詞の種類が現れた。V-(i)p tur-形式の場合、「動作動詞」は圧倒的に多く現れたが、他の種類の動詞も少なからず出ている。

以下、上の順にそれぞれの動詞の場合に現れる主動詞の意味的なタイプの種類と文法的な意味について考える。

12.1.1. 「動作動詞」

ここには、基本的に主体の動きや動作を表わす「動作動詞」がはいる。今回の収集した言語資料から、V-(i)p jür-形式の場合、「動作動詞」が圧倒的に多く現れた。しかし、V-(i)p jür-形式の場合に現れる「動作動詞」の意味的なタイプによって偏っている。以下では、どのような主動詞の意味的なタイプが表われ、それらのタイプによって生じる jür-の文法的な意味について考えてみる。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の活動動作を表わす動詞》	oyno-「遊ぶ」、izde-「探す」、šaš-「急ぐ」、など
《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》	jaša-「暮らす」、süylöš-「付き合う」、soguš-「戦う」、tarbiyala-「教育する」、karma-「営む」、など
《主体の移動動作を表わす動詞》	bas-「歩く」、kel-「来る」、ket-「行く」、など

《主体の活動動作を表わす動詞》

V-(i)p jür-形式の場合、「動作動詞」の中でも、《主体の活動動作を表わす動詞》が圧倒的に多く現れている。これらの場合、主体の〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。これが成立するためには、一定の語彙的・文法的な条件が必要となる。

まず、主体（人や動物）の活動動作を表わす動詞でなければならない。しかし、これまでみてきた補助動詞と異なって、V-(i)p jür-形式の場合、oyno-「遊ぶ」、izde-「探す」、kıl-「する」、šaš-「急ぐ」、ter-「集める」、などのように移動を伴う持続的な動作動詞が多く現れるのが特徴的である。これらの場合、**現在における〈動作の持続〉**という文法的な意味を表わす。

- (384) Čatır-dī kara-sa-m aga-m karındaš-tar-īm
 テント-ACC 見る-COND-1SG 兄-1SG:POSS 妹-PL-1SG:POSS
 menen **oyno-p** **jür-ö-t.** (Turmuštan jaralgan čoku)
 と 遊ぶ-CVB jür-PRES-3
 「私がテントを見たら、兄が妹達と遊んでいる。」

- (385) Kim-din üy-ü-n **izde-p** **jür-ö-süz?** (Akilmandın k.t.)
 誰-GEN 家-3:POSS-ACC 探す-CVB jür-PRES-2SG

「(あなたは) 誰の家を探しまわっていますか。」

上の用例では、*oyno*-の場合、「動いて遊んでいる」、*izde*-の場合、「うろうろして探している」というニュアンスが含まれており、主体の動作が動いて行われることを意味する。以下の用例の場合も同様のことがいえる。

- (386) Tetigi topto-š-kon adam-dar ěmne
あそこ 集まる-RECIP-PART 人-PL 何
kil-ip jür-ö-t bol-du ěken. (Kanibek)
する-CVB jür-PRES-3 なる-PST1 MOD
「あそこで集まっている人々は、何をしているんだだろうか。」

- (387) Alar kiyma čiyne jügür-üp,
彼ら 非常に 走る-CVB
ar dayim **šaš-ip jür-üş-ö-t.** (Meken taanuu)
いつも 急ぐ-CVB jür-RECIP-PRES-3
「彼はあちこちへ走って、いつでも急いでいる。」

- (388) “Kelin-im, otun **al-ip jür-üp-sün,**
嫁-1SG:POSS 薪 採る-CVB jür-PST3-2SG
ata-ŋ ěmne kil-ip jat-a-t?” (Akil karačač)
父-2SG:POSS 何 やる-CVB jat-PRES-3
「嫁よ、薪を集めていたようですが、お父さんは、何をやっているの？」

また、次のように、一定の長さのある期間を表わす副詞相当句の場合、長期にわたる〈動作の持続〉の意味を表わすことになる。

- (389) Sana-p otur-sa, jumuš köp, ošon üčün
数える-CVB otur-COND 仕事 多い その 為
dayima šaš-ip jür-üş-sö kerek. (Meken taanuu)
いつも 急ぐ-CVB jür-RECIP-COND 必要
「数えようとすると、仕事が多い。だから、彼らはいつも急いでいるのかもしれない。」

- (390) Algač “Manas-ti” köp **ayt-ip jür-dü-m.** (Zamandaš·№4)
最初 マナス-ACC 多い 言う-CVB jür-PST1-1SG
「最初の頃は、『マナス』をよく歌っていた。」

V-(i)p jür-形式の場合に現れた一定の長さのある期間を表わす副詞相当句は次のとおりである。

ar dayim 「いつも」、dayima 「いつも」、dayim 「いつも」、kündö érteṅ menen 「毎朝」、künügö 「毎日」、takay 「毎回、いつも」、künü-tünü 「昼も夜も」、köpkö 「長く」、köp 「よく、たくさん」、köp ěle 「たくさん」、köbünčö 「多くの場合」、kečke 「ずっと」、dalay 「よく」、kiyinki kündörü 「最近」、kereldi künü kečke 「一日ずっと」、など

jür-は、次のような maal-maal 「時々」、anča-mińča 「小数」、kiyin-kiyin 「後々から」などのような動作の頻度を表わす副詞相当句と共に起る場合、〈動作のくりかえし〉の意味を表わす。

- (391) Anan al maal-maal birde küügüm-dö, birde ěl jat-aar-da,
 そして 彼 時々 ある時 夕方-LOC ある時 人 jat-AOR-LOC
 birde taṅ at-aar-da mürzö-gö **kel-ip jür-dü.** (Arbak bolgondo)
 ある時 朝日 昇る-AOR-LOC 墓-DAT 来る-CVB jür-PST1
 「そして彼は時々、ある時は夕方、ある時は皆が寝る時、ある時は、朝日が昇る時、お墓に来ていた。」

- (392) ...kiz kez-i-nde šaar-ga ket-ip, kiyin okumuštuu
 女 時期-3:POSS-LOC 都会-DAT 行く-CVB 後 学者
 bol-gon-u-n anča-mińča **ug-up jür-göm.** (Birinči mugalim)
 なる-VN-3:POSS-ACC 何回か 聞く-CVB jür-PST2:1SG
 「...少女時代に都会に行き、その後学者になったことを何回か聞いていた。」

- (393) Men anı kiyin-kiyin bar-ıp **bil-ip jür-bö-y-m-bü.** (Ėne mēerimi)
 私 彼:ACC 後 後 行く-CVB 知る-CVB jür-NEG-PRES-1SG-Q
 「私はそれを後々になって知っていたんだよ。」

今回の言語資料では、動作の頻度を表わす副詞相当句が次のとおりである。

kez-kezi menen 「時々」、anda-sanda 「時々」、nečen iret 「何回も」、kayta-kayta 「何度も」、anča-mińča 「少々(ちょっと)」、bat-battan 「しょっちゅう」、birde 「ある時、とくには」、など

また、Davletov & Kudaybergenov (1980)でも指摘されているが、次のように二つの動詞が並列的に現れる場合、jür-は〈動作のくりかえし〉の意味を表わす。

- (394) Čimīn **uč-up** — **kon-up** **jür-bö-gön** jer jok. (Meken taanuu)
 はえ 飛ぶ CVB とまる-CVB jür-NEG-PART 場所 無
 「はえが飛んだり止まったりしていない場所がない（どこにでも飛んでいる）。」
- (395) Kiyik öl-gön-čö **kač-ip** — **boz-up** **jür-ö-t.** (Kaada-salt...)
 鹿 死ぬ-PART-まで 逃げる-CVB 逃亡する-CVB jür-PRES-3
 「鹿は死ぬまで逃げたり、逃げたりしている。」
- (396) Kīrgīz-dar **köč-üp** — **kon-up** **jür-gön** jurt. (Kaada-salt...)
 キルギス-PL 移住する-CVB とまる-CVB jür-PART 国民
 「キルギス人は移住したり、とまったりしている国民だ。」

これらの場合、同一主体による動作が多く、次のように動詞自体が対立的な関係をなすものがほとんどである。

učup 「飛ぶ」 — konup 「とまる」 učup 「飛ぶ」 — küyüp 「燃える」 kačip 「逃げる」 — bozup 「逃亡する」 köčüp 「引っ越す」 — konup 「とまる」
--

今回の調査で得られた動詞のうち、《主体の活動動作を表わす動詞》には次のようなものがある。多くの動詞はこのタイプに属する。

oyun- 「遊ぶ」、izde- 「探す」、küt- 「待つ」、kıl- 「する」、kač- 「逃げる」、sakta- 「守る」、min- 「乗る」、al- 「取る」、ter- 「集める」、šaš- 「急ぐ」、koldo- 「応援する」、iyla- 「泣く」、ič- 「飲む」、alda- 「だます」、al- 「持つ」、tünö- 「泊まる」、seyilde- 「散歩する」、sat- 「売る」、sal- 「入れる」、kuu- 「追う」、kül- 「笑う」、kötör- 「持つ」、koldon- 「利用する」、kat- 「隠す」、karma- 「持つ」、ayda- 「運転する」、ur- 「たたく」、til- 「切る」、tenti- 「うろうろする」、tap- 「見つける」、talaš- 「争う」、košto- 「伴う」、keč- 「水を渡る」、kayrıl- 「依頼する」、je- 「食べる」、iyle- 「練る」、ěčrci- 「追いかける」、darıla- 「治療する」、čapkıla- 「(馬を) 走らせる」、čap- 「(馬を) 走らせる」、bozdo- 「号泣する」、boylo- 「散歩する」、bata ber- 「祝福する」、akmala- 「看視する」、など

《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》

V-(i)p jür-形式の場合に《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》のタイプが圧倒的に多く現れた。このような《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》に jür-が後接する場合、主体の長期にわたる〈動作の持続〉の意味を表わす。

《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》にはいくつかのタイプの動詞がみられる。まず、次のように動詞自体が長い期間を表わす動詞がはいる。

jaša-「暮らす」、süylöš-「付き合う」、bak-「育てる」、ötkör-「過ごす」、salgılaş-「戦う」、soguš-「戦う」、tarbiyala-「教育する」、izilde-「研究する」、jitta-「育てる」、karma-「営む」、temteñde-「過ごす」、tirmalañda-「生活をする」、など

- (397) ...ëköö-nön baška-si-nan baarı ar kaysi
 二人-ABL 他-3:POSS-ABL 皆 色々な
 ölkö-lör-dö **jaša-p jür-üş-ö-t.** (Ėrkin Too)
 国-PL-LOC 住む-CVB jür-RECIP-PRES-3
 「... (彼ら) 二人以外の他の皆は色々な国に住んでいる。」
- (398) Kaniša-nin ata-si Sadir datka-nin
 王女-GEN 父-3:POSS PSN 王-GEN
 jilkı-si-n **bag-ıp jür-ö ber-e-t.** (Kanibek)
 馬-3:POSS-ACC 育つ-CVB jür-CVB ber-PRES-3
 「王女の父親はサディル殿の馬を育て続けていく。」
- (399) Ėköö-ñör-dün ata-ñar soguš-ta kurman bol-du,
 二人-2PL:POSS-GEN 父-2PL:POSS 戦争-LOC 死亡 なる-PST1
 üçöö-ñör-dün ata-ñar **soguš-up jür-üş-ö-t.** (Ėrte kelgen turnalar)
 三人-2PL:POSS-GEN 父-2PL:POSS 戦う-CVB jür-RECIP-PRES-3
 「二人のお父さんは戦争で死亡した。三人のお父さんは戦っている。」
- (400) A balkim, baška jak-ta **süylöš-üp**
 もしかして 他 方-LOC 付き合う-CVB
jür-gön kiz-i bar-dır. (Astra gülü)
 jür-PART 女-3:POSS ある-MOD
 「もしかしたら、他の所で付き合っている女性がいるかもしれません。」

次に、〔職業や役割を指し示す名詞〕 + 〔果たす、する〕という組み合わせによって形成される複合動詞 (5.2.1.を参照) が現れるのが特徴的である。これらの場合、基本的に長期間にわたる主体の欲求や社会的な関係に基づいて、ある動作が日常的に繰り返されることを表わし、そして、その主体の生活の一側面を特徴づけるものが多い。

kizmat kil- 「勤務をする」、ookat kil- 「家事をする」、emgek et- 「仕事をする」、
kizmat otö- 「義務を果たす」、kizmat atkar- 「業務を果たす」、など

- (401) Ablaev soguš katuu jür-üp jat-kan
PSN 戦争 激しい 行われる-CVB jat-PART
armiya-da **kizmat otö-p jür-dü.** (Čalgınçılar)
軍隊-LOC 義務 果たす-CVB jür-PST1
「アブラエフは戦争が激しくなっていた軍隊で**義務を果たしていた。**」

- (402) Atabek-tin eşig-i-nde **kizmat kil-ip jür-gön.** (Kanibek)
PSN-GEN 外-3:POSS-LOC 仕事 する-CVB jür-PST2
「アタベクの家で**仕事をしていた。**」

- (403) Janibek ubada kil-gan kün-ü-nö čeyin
PSN 約束 する-PART 日-3:POSS-DAT まで
Akil Karačač **okat-i-n kil-ip jür-ö ber-di.** (Akil karačač)
PSN PSN 家事-3:POSS-ACC する-CVB jür-CVB 与える-PST1
「ジャニベクが約束した日までアクルカラチャチは**家事をし続けた。**」

次に、短い期間にも、長い期間にも使える主体の活動動作を表わす動詞がはいる。

ište- 「働く」、oku- 「勉強する」、jaz- 「書く、執筆する」、okut- 「教える」、üyrön- 「勉強する」、es al- 「休憩する」、išteš- 「働く」、dayarda- 「準備する」、kamın- 「準備する」、dayardik kör- 「準備を整える」、jaylan- 「居座る」、sabah ber- 「教える」、など

- (404) Oor atletika-ni önük-tür-üü
重量挙げ-ACC 発展する-CAUS-VN
borbor-u-nda **ište-p jür-ö-m.** (Kanibek)
センター-3:POSS-LOC 務める-CVB jür-PRES-1SG
「私は重量挙げ発展センターで**務めている。**」

- (405) Institut-ta **oku-p** **jür-gön-dö** biz-din
 大学-LOC 勉強する-CVB jür-PART-LOC 私達-GEN
 oorukana-da praktika-da köp bol-gon. (Astra gülü)
 病院-LOC 実習-LOC 多い なる-PST2
 「(彼は) 大学で**勉強**していた時、私達の病院でよく実習を行っていた。」
- (406) Mından tüškari, köp jil-dar-dan beri **jaz-ïp** **jür-gön** ir-lar-ïm-di
 これ:ABL 他 多 年-PL-ABL から 書く-CVB jür-PART 詩-PL-1SG:POSS-ACC
 topto-p jïynak čïgar-sa-m-bï de-p tur-a-m. (Šookum・№7)
 集める-CVB 詩集 出す-COND-1SG-Q 言う-CVB tur-PRES-1SG
 「これらの他に、長い歳月をかけて**書いていた**詩を集めて、詩集を出せたらなと思っ
 ている。」

また、主体の言語や認知活動動作を表わす動詞も数多く現れた。

ayt-「言う」、irda-「歌う」、sura-「尋ねる」、čakir-「呼ぶ」、tekšer-「調べる」、arızdan-
 「クレームを言う」、bakir-「叫ぶ」、kïykir-「叫ぶ」、ėjekele-「姉という」、söz kıl-
 「話をする」、süylö-「話す」、など

- (407) Jalpï tüšünük-tö turmuštan-a ělek kiz-dar-di
 一般 概念-LOC 結婚する-CVB 無 女性-PL-ACC
 “biykeč” de-gen at-ta **ayt-ïp** **jür-ö-büz.** (Kaada-salt...)
 PSN 言う-PART 名-LOC 言う-CVB jür-PRES-1PL
 「一般的に未婚者の女を「ビイケチ」という名づけで**言っています**。」
- (408) Men jönündö kim-der **ayt-ïp** **jür-ö-t** ošo-nu. (Astra gülü)
 私 について 誰-PL 言う-CVB jür-PRES-3 それ-ACC
 「私についてだれが**言っている**そんなこと。」
- (409) ...ėne til-i-nde ěl- jer-i-n
 母 語-3:POSS-LOC 民 地-3:POSS-ACC
 daŋazala-p **irda-p** **jür-sün.** (Bugu ěne)
 自慢する-CVB 歌う-CVB jür-3:IMP
 「...母語で母国を誇りに思って、**歌**いつづけるように。」
- (410) Birok, bar-gan — kel-gen-der-den
 しかし 行く-PART 来る-PART-PL-ABL

al jak-ta-gī jañilik-tar-dī ug-up jür-ö-t. (Ėne mėërimi)
 その 方-LOC-kī 情報-PL-ACC 聞く-CVB jür-PRES-3

「だが、行ったり来たりしている人々からそっちの情報を聞いている。」

- (411) Al üy-dön üy-gö öt-üp ar kim-diki-nen
 彼 家-ABL 家-DAT 渡る-CVB 各 誰-diki-ABL
 ketmen-i-n sura-p jür-dü, akırında ěč jer-den
 鋏-3:POSS-ACC 尋ねる-CVB jür-PST1 最終的に どこも-ABL
 tap-pa-y üy-ü-nö kayt-íp kel-di. (Dubal)
 見つかる-NEG-CVB 家-3:POSS-DAT 戻る-CVB 来る-PST1

「彼は家から家に行って皆のところから鋏を訪ねていた。最後にどこからも見つからず、家に帰った。」

その他、zarla-「懇願する」、jalın-「懇願する」、tile-「祈る」、jor-「占う、推測する」の動詞の場合も、主体の長期的な動作を表わす場合がみられる。

- (412) Art-ıñ-da tuyak kal-sa ěken
 後-2SG:POSS-LOC 子孫 残る-COND MOD
 de-p zarla-p jür-üp,... (Küyümdüü jurök)
 言う-CVB 懇願する-CVB jür-CVB

「あなたの後ろから子孫が残るようにと懇願し続けて、...。」

- (413) Men saga ar dayım baktı—taalay tile-p jür-bö-y-üm-bü! (Astra gülü)
 私 君:DAT いつも 幸 幸 祈る-CVB jür-NEG-PRES-1SG-Q

「私はあなたにいつも幸福を祈っているじゃないか！」

以上でみてきた《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》に jür-が後接する場合、主体の長期にわたる〈動作の持続〉の意味を表わす。これらの場合、〈動作の持続〉の意味が現れない。

なお、V-(i)p jür-形式の場合に特徴的なのは、まず、動作の開始を表わす副詞相当句と共起して現れることだ。時間の起点と終点を明示して表わす副詞相当句 beri 「～から」、čeyin 「～まで」が使用されることがある。今回の資料からは次のようなものが出た。

bayatan beri 「先から」、bayırkı zamandan beri 「古代から」、on beş jaşımdan beri 「十五歳から」、köptön beri 「長時間ずっと」、uşuga čeyin 「今までずっと」、köpkö čeyin 「長い間」、など

これらの副詞相当句が jür-と共起する場合、主体の長期にわたる〈動作の持続〉の意味が補強される。

- (414) Ėki jül-dan beri meni **alda-p** **jür-gön** ėken da, akmak... (Dubal)
 二 年-ABL から 私:ACC だます-CVB jür-PST2 MOD EMPH 愚か者
 「(彼は) 二年前から私をだましていたのね、馬鹿...」

- (415) Köp-tön beri **oylo-p** **jür-gön** oy-um bar ėle: (Dubal)
 多い-ABL から 考える-CVB jür-PART 考え-1SG:POSS ある COP
 「(私は) ずっと前から考えている考えがあるのですが。」

- (416) ...kör-sö, menin baya-tan beri suu bol-up
 見る-COND 私:GEN 先-ABL から 水 なる-CVB
izde-p **jür-gön** uy-um uşul jer-de tur-ba-y-bi! (Dubal)
 探す-CVB jür-PART 牛-1SG:POSS この 場所-LOC tur-NEG-PRES-Q
 「...そうか、私は先からずっと水まみれになって探していた牛がここにいたんだ！」

- (417) Men saga köp-tön beri bir suroo
 私 君:DAT 多い-ABL から 一 質問
ber-eyin **de-p** **jür-göm.** (Kanat m-n Zarina)
 与える-1SG:VOL 言う-CVB jür-PST2:1SG
 「私は君にずっと前から一つ質問をしたいと思っていた。」

- (418) Mıندان tışkarı, köp jül-dar-dan beri **jaz-ıp** **jür-gön** ır-lar-ım-dı
 これ:ABL 他 多 年-PL-ABL から 書く-CVB jür-PART 詩-PL-1SG:POSS-ACC
topto-p **jıynak** **čıgar-sa-m-bi** **de-p** tur-a-m. (Şookum・№7)
 集める-CVB 詩集 出す-COND-1SG-Q 言う-CVB tur-PRES-1SG
 「これらの他に、長い歳月をかけて書いていた詩を集めて、詩集を出せたらなと思っ
 ている。」

- (419) Nege meni uşu-ga **čeyin** **alda-p** **jür-dü-ŋ?** (Dubal)
 なぜ 私:ACC ここ-DAT まで だます-CVB jür-PST1-2SG
 「どうして私をこれまでだましていたの？」

また、V-(i)p jür-形式の場合に次のように動作の期間を表わす副詞相当句と共起して現れるのが特徴的である。これらの場合も、主体の長期にわたる〈動作の持続〉の意味が補強

される。

kečëë kečke「昨日一日中」、kerëëli—kečke「朝から晩まで」、tün boyu「夜中ずっと」、
bir juma boyu「一週間ずっと」、ömür boyu「一生」、など

- (420) Ėköö baldar-ga koşul-up, Üsön tak sekir-ip,
二人 子供達-DAT 加わる-CVB PSN はっきりと ジャンプする-CVB
küçük til-i-n salañda-t-íp, alar
子犬 舌-3:POSS-ACC 出る-CAUS-CVB 彼ら
kerëëli—kečke oyno-p jür-čü. (Dubal)
朝から晩まで 遊ぶ-CVB jür-PST4
「二人は子供達に加わって、ウソンはジャンプしたり、犬はベロを出したりして、彼らは朝から晩まで遊んでいた。」

- (421) Ėşimkul oşol kün-ü kečke kelinčeg-i-n **alaksit-íp jür-dü.** (Tagdír)
PSN その日-3:POSS ずっと 奥さん-3:POSS-ACC 励ます-CVB jür-PST1
「エシムクルは、その日、一日ずっと奥さんを励ましていた。」

- (422) ...men şoruu ömür boyu seni **küt-üp jür-üp,**
私 可哀そう 人生 ずっと 君:ACC 待つ-CVB jür-CVB
arman-da ket-er beken-min. (Tagdír)
後悔-LOC 行く-AOR MOD-1SG
「...可哀そうな私は一生君を待ち続け、後悔したまま死ぬのかな。」

また、動作主体の動作自体が継続して〈習慣化（主体の動作の特徴・性質を表わす）〉された時にも用いられる。たとえば、次の例では、「お酒を飲むこと」自体が長引き、習慣化されていることを表わしている。このような意味を文脈から読み取ることが多い。

- (423) Arak iç-íp jür-üp, köz-üm kör-bö-y kal-gan-da
酒 飲む-CVB jür-CVB 目-1SG:POSS 見る-NEG-CVB 残る-PART-LOC
Aynaş ėjeke-m moldo-go al-íp bar-dü. (Selsayak)
PSN 姉-1SG:POSS 坊-DAT 連れる-CVB 行く-PST1
「お酒を飲んでいて、眼が見えなくなった時、アイナシュ姉が坊さんに連れていった。」

- (424) Kişi saktan-íp kiyim-čen ukta-p **jür-dü.** (Ömür tamiri)
人 用心する-CVB 服のまま 寝る-CVB jür-PST1

「あの人は、用心して服を着たまま寝るようにしていた。」

- (425) A ěne-si čač-ī agar-īp tokson-don aš-kan-ča
 一方 母-3:POSS 髪-3:POSS 白くなる-CVB 九十-ABL 超える-PART-まで
 uul-um kel-e-t de-p **küt-üp jür-ö-t.** (On üčünčü tolkun)
 息子-1SG:POSS 来る-PRES-3 言う-CVB 待つ-CVB jür-PRES-3
 「一方、お母さんは白髪になって90歳を超えても、息子が帰ってくると待っている。」

- (426) Sen čoŋoy-gon-do ayt-ayīn **de-p jür-dü-m** ěle,
 君 大きくなる-PART-LOC 言う-1SG:VOL 言う-CVB jür-PST1-1SG COP
ěmi ayt-sa ayt-ayīn. (Selsayak)
 今 言う-COND 言う-1SG:VOL
 「君が大人になったら、言おうとしていたが、今、言ったら、言おう。」

- (427) Murd-u-nun uč-u-na köz aynek il-ip,
 鼻-3:POSS-GEN 先-3:POSS-DAT 眼鏡 掛ける-CVB
mersedes ayda-p jür-üş-ö-t. (Küyümdüü jurök)
 メルセデス 運転する-CVB jür-RECIP-PRES-3
 「(彼らは) 鼻の先に眼鏡をかけて、メルセデスを運転している。」

・ [V-(ī)p jürö ber-]

以下の用例の場合、補助動詞 jür-がつき、それに更に補助動詞 ber-⁴⁵が後接して現れる [V-(ī)p jürö ber-] の形がみられる。このような場合、**未来における〈動作の持続〉**の意味を表わす。しかし、ここでは、ber-自体がどのような文法的な意味をもつかについて更なる考察が必要であり、今後の課題と残る。

- (428) Al ěmi tīyīn čičkan bak-tan — bak-a
 そして リス 木-ABL 木-DAT
sekir-ip oyno-p jür-ö ber-e-t. (Meken taanuu)
 ジャンプする-CVB 遊ぶ-CVB jür-CVB ber-PRES-3
 「そして、リスは木から木へジャンプし、**遊び続けていく。**」

⁴⁵ これは本動詞としては「与える」という意味を表わすが、ここでは、補助動詞として働き、動作が持続していることを表わす。

- (429) Tülkü, kariškır-lar kış-ı-nda jel-ip -jort-up
 狐 狼-PL 冬-3:POSS-LOC あちこち (探し回ること)
 azik izde-p jür-ö ber-iş-e-t. (Meken taanuu)
 食べ物 探す-CVB jür-CVB ber-RECIP-PRES-3
 「狐や狼は冬には、あちこちで食べ物を探し回っているんだ。」

- (430) Kaniša-nın ata-sı Sadır datka-nın
 王女-GEN 父-3:POSS PSN 王-GEN
 jilkı-sı-n bag-ıp jür-ö ber-e-t. (Kanıbek)
 馬-3:POSS-ACC 育つ-CVB jür-CVB ber-PRES-3
 「王女の父親はサディル殿の馬を育て続けていく。」

上のように、日本語に訳すと、「V-ていく」になることが特徴的である。

V-(i)p jat-, V-(i)p jür-, V-(i)p otur-, V-(i)p tur-のそれぞれの場合に現れる《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》を比較してみると、V-(i)p jür-形式の場合、最も多く、主動詞の種類も数多く現れる。

《主体の移動動作を表わす動詞》

V-(i)p jür-形式の場合に現れた《主体の移動動作を表わす動詞》をさらに詳しくみる。移動動詞を①移動の様態、②移動そのものを表わす動詞に分けた。それぞれの用例の内訳を次の表で示す。

表 20 移動動詞-(i)p jür-の用例数

主動詞の意味的なタイプ	用例数
① 移動の様態を表わす動詞	71
② 移動そのものを表わす動詞	12
合計	83

① 移動の様態を表わす動詞

V-(i)p jür-形式の場合にみられた移動の様態を表わす動詞は、次のとおりである。

bas-「歩く」、uč-「飛ぶ」、ket-「行く」、arala-「歩きまわる」、otto-「(動物が) 食べ回る」、kel-「来る」、jügür-「走る」、süz-「泳ぐ」、soylo-「這う」、bastır-「(馬を) 歩かせる」、kīdir-「歩きまわる」、jörgölö-「這う」、čurka-「走る」、tegeren-「飛び回る」、tart「戻る」、öt-「通る、過ぎる」、kes-「歩く」、bulku-「(動物が) 走る」、など

これらの動詞類に jür- が後接して現われる場合、主体の長期にわたる〈動作の持続〉の意味を表わすようになる。その場合、いくつかの構文的な特徴がみられる。

まず、bas-「歩く」、kes-「歩く」、arala-「歩き回る」、kīdir-「歩き回る」等のような移動動詞が主体の移り動く場所を示す対格をとる場合に現れる。

- (431) Šašti-sī ket-ken Sīdik tün ič-i-nde ayıl-dī
 忙しさ-3:POSS 行く-PART PSN 夜 中-3:POSS-LOC 田舎-ACC
arala-p jür-üp, ěpte-p bir at taa-p,... (Tagdīr)
 回る-CVB jür-CVB 何とかして 一 馬 見つける-CVB
 「慌てたステクは夜中に村を歩き回っていて、なんとかして一頭の馬を見つけ、...」

- (432) Bir nerse-ler-di ěle süylö-n-üp
 一 物-PL-ACC EMPH 話す-REFL-CVB
 ogorod-du kīdir-īp jür-gön. (Selsayak)
 畑-ACC 歩き回る-CVB jür-PST2
 「(彼は) ぶつぶつ独り言を言いながら、庭を歩き回っていた。」

次に、bas-「歩く」、süz-「泳ぐ」、otto-「(動物) 食べ回る」、uč-「飛ぶ」等の動詞が主体の動きが行われる場所を示す位格をとる場合に現れる。

- (433) Saara jalt kara-y koy-so moyun-dar-ī koykoygon
 PSN ふと 見る-CVB 置く-COND 首-PL-3:POSS 綺麗な
 bir ukmuštay ěki kuš köl-dö süz-üp jür-üptür. (Tagdīr)
 一 ととも ニ 鳥 湖-LOC 泳ぐ-CVB jür-PST3
 「サーラがふと、振り返ってみると、首が長くて、とても美しい二羽の鳥が湖で泳いでいたそうです。」

- (434) At-tar kečěě-ki jer-de otto-p jür-üş-kön ěken. (Turmuštan j. č.)
 馬-PL 昨日-kī 場所-LOC 食べまわる-CVB jür-RECIP-PST2 MOD

「馬（達）は昨日の場所で食べまわっていた（食べあるいていた）そうです。」

また、arī-beri「あちこち」、öydö-ildiy「上下に」、öydö-tömön「上下に」のような主体の移動動作の（無）方向を指す副詞相当句が共起して現れる場合が特徴的である。arī-beri「あちこち」、narī-beri「あちこち」は語彙的な意味として移動が一方向ではないことを積極的に表わす副詞相当句である。これらは、一方向性を表わす移動動詞 kel-「くる」、ket-「行く」などとは共起して出てこない。

- (435) Činikan kel-gen-de Toktosun tur-up,
PSN 来る-PART-LOC PSN 立つ-CVB

arī-beri bas-ip jür-gön. (Küyümdüü jurök)

あちこち 歩く-CVB jür-PST2

「ティニカンが来た時、トクトスンは立って、あちこち歩いていた。」

- (436) Bala-m-a kiyim izde-p arī-beri jügür-üp jür-üp,
息子-1SG:POSS-DAT 服 探す-CVB あちこち 走る-CVB jür-CVB
tüš-üm-ön čoču-p oygön-up da ket-ti-m. (Tagdır)

夢-1SG:POSS-ABL 驚く-CVB 目が覚める-CVB EMPH 行く-PST1-1SG

「(私は) 息子に服を探しあちこち走り回っていたが、夢だと気づき驚いて起きてしまった。」

- (437) ...tuptunuk köpkök asman-da-gī arī-beri öydö-ildiy uç-up jür-gön
透明 真青 空-LOC-kī あちこち 上 下 飛ぶ-CVB jür-PART

čimčik-tar jana sargič tart-kan küz-gü čöp-tör,... (Tagdır)

鳥-PL そして 黄色ぼい なる-PART 秋-kī 草-PL

「...透明で真青な空であちこち、上下に飛んでいる鳥と黄色ぼくなった秋の草、...」

そして、最後に、tınbay「休まずに」、kötörüp「持ち」などのように変化をもたらす動きを規定する副詞相当句や修飾語などが文中に共起して現われる場合がみられる。

- (438) Tın-ba-y uç-up jür-üş-üp, ač bol-uš-a-t. (Kekiremaysa)
休む-NEG-CVB 飛ぶ-CVB jür-RECIP-CVB 空 なる-RECIP-PRES-3

「(鳥は) 休まないで飛び続けていて、お腹がすく。」

- (439) ...Düyšön alar-dī bir-i-n jon-u-na mingiz-ip,
PSN 彼ら-ACC 一人-3:POSS-ACC 背中-3:POSS-DAT 乗せる-CVB

bir-i-n kol-u-na kötör-üp **öt-üp** **jür-dü.** (Birinči mugalim)
 一人-3:POSS-ACC 手-3:POSS-DAT 持つ-CVB 渡る-CVB jür-PST1
 「ディションは彼らを、一人を背中におんぶし、一人を手にかかえ、渡っていた。」

② 移動そのものを表わす動詞

移動そのものを表わす動詞のうち、次の4つの移動動詞に jür- が後接する用例がみられた。

kel- 「来る」、ket- 「行く」、tart- 「戻る」、kir- 「入る」

今回の言語資料から抽出された12例は、ほとんど〈動作のくりかえし〉の意味を表わす文である。つまり、移動そのものを表わす動詞に jür- が後接する場合、主体の〈動作のくりかえし〉の意味を表わす。

移動そのものを表わす動詞に jür- が後接して現われる場合属格をとるのが基本的な用法である。その他に、〈動作のくりかえし〉の意味が実現されるいくつかの構文的な条件の下で実現される。

まず、kün sayin 「毎日」、kündö 「毎日」、maal—maal 「時々」、birde 「時には」、nečen ired 「何度も」、ulam 「よく (何度も)」 などのような動作の頻度を表わす副詞相当句と共起して現れる。

(440) ...kün sayin uşuyak-ka **kel-ip** **jür-ö-süz-bü?** (Aksıdagı...)

日 ごと こちら-DAT 来る-CVB jür-PRES-2SG:Q

「...毎日、こちらに来ているんですか。」

(441) Anan al maal-maal birde küügüm-dö, birde ël jat-aar-da,

そして 彼 時々 時々 夕方-LOC 時々 人 寝る-AOR-LOC

birde tañ at-aar-da **mürzö-gö** **kel-ip** **jür-dü.** (Arbak bolgondo)

時々 朝 昇る-AOR-LOC 墓-DAT 来る-CVB jür-PST1

「そして彼は、しばしば、ある時は夕方に、ある時は皆が寝る時、ある時は太陽が昇る時、お墓に来ていた。」

(442) Nečen ired al tuuraluu Şabanov-go kir-eyin

何回も 彼 について PSN-DAT 入る-1SG:VOL

de-p bar-at-ıp, kayra üy-gö **tart-ıp** **jür-dü.** (Ėne mēçrimi)

言う-CVB 行く-jat-CVB 再び 家-DAT 戻る-CVB jür-PST1

「(彼は) その件で何度もシャバノフ氏の所に入ろうとして行っていて、でもまた家に

戻っていた。」

次に、移動そのものを表わす動詞が並列的に現われることが多い。ここでは、二つの主動詞が並列的に現われることによって、〈動作のくりかえし〉の意味が現れる。

- (443) Jok de-gen-de jakši joldoš katarında
 無 言う-PART-LOC 良い 友人 として
kel-iš-ip — **ket-iš-ip** **jür-ölü.** (Astra gülü)
 来る-RECIP-CVB 行く-RECIP-CVB jür-1PL:VOL
 「せめて良い友人として行ったり来たりしましょう。」
- (444) Mından arı **kel-ip** — **ket-ip** **jür,** kiz-ım. (Astra gülü)
 これ:ABL から 来る-CVB — 行く-CVB jür 娘-1SG:POSS
 「これから来たり行ったりしなさい、娘よ。」
- (445) Kiyin-ki jıl-dar-da ayıl-ga şašıl-ıp **kel-ip,**
 後-ki 年-PL-DAT 田舎-DAT 急ぐ-CVB 来る-CVB
şašıl-ıp **ket-ip** **jür-dü.** (Astra gülü)
 急ぐ-CVB 帰る-CVB jür-PST1
 「(彼は) 最近、田舎に急いで来て、急いで帰っていた。」
- (446) ...nöşörlö-gön jamgür-dī sez-be-y eşik-te
 土砂降る-PART 雨-ACC 感じる-NEG-CVB ドア-LOC
ulam **çig-ıp,** **kir-ip** **jür-üş-tü.** (Tagdär)
 何度 出る-CVB 入る-CVB jür-RECIP-PST1
 「... (彼らは) 土砂降りの雨にも関わらず、外で何度も出たり、入ったりしていた。」

これらの場合、同一主体による動作が多く、次のように動詞自体が対立的な関係をなすものがほとんどである。

kelišip 「来る」 — ketišip 「行く」 kelip 「来る」 — ketip 「行く」 çigıp 「出る」 — kirip 「入る」

なお、jür-が移動動詞に後接する場合、主体が人や動物に限られることも一つの特徴である。

12.1.2. 「変化動詞」

V-(i)p jür-形式の場合に現れる「動作動詞」についてみてきた。しかし、V-(i)p jür-形式の場合、「動作動詞」は圧倒的に多いが、「変化動詞」も少なからず現れる。このような場合、基本的に主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。これらの場合、jür-が本来の語彙的な意味としての「動く」を表わしているとは考えにくく、もっぱら文法的な意味を果たしている。「変化動詞」が jür-に後接する場合も、動詞の種類が偏っていることが今回の言語資料から明らかになった。以下、V-(i)p jür-形式の場合に現れる意味的なタイプについて考える。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》	aralaš-「混ざる」、bol-「なる」、jittan-「臭う」、semir-「太る」、terde-「汗をかく」、など
《主体の漸進的な変化を表わす動詞》	alista-「遠ざかる」、kötörül-「上がる」、köböy-「増える」、küçö-「増える」、など
《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》	sal-「入れる」、kat-「隠す」、jaz-「ほどく」、など
《主体の再帰的な動作を表わす動詞》	kiy-「着る」、tartın-「つける」、など

《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》

V-(i)p jür-形式の場合に現れた《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》に次のようなものがある。

aralaš-「混ざる」、bikilda-「あふれる」、bol-「なる」、ADJ bol-「～になる」、ëri-「溶ける」、jabış-「くつつく」、jayıl-「(動物が) 休む」、jayna-「あふれる」、jittan-「臭う」、jogol-「なくなる」、kaktal-「日焼けする」、kalki-「浮く」、koşul-「加わる」、öñdön-「似る」、ooru-「病む」、semir-「太る」、terde-「汗をかく」、tuurul-「乾く」、zirkira-「冷える」、など

これらの動詞類が V-(i)p jür-形式に現れる場合、主体の動作が終わった後、その主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。V-(i)p jür-形式の場合、これまでの補助動詞とは異なり、人主語で現れる文が圧倒的に多い。

まず、最も多く現れた動詞は bol-である。bol-は、他の補助動詞の場合にも現れていたが、

V-(i)p jür-形式の場合、[人/動物 N/ADJ bolup jür-] という構文で出ることがほとんどである。

- (447) Bir kez-de mugalim **bol-up** **jür-gön**
 一 時期-LOC 教師 なる-CVB jür-PART
 ata-biz-ga kitep kötör-üp bar-sa-k:... (Akilmandin k.t.)
 父-1PL:POSS-DAT 本 持つ-CVB 行く-COND-1PL
 「ある時期、教師になっていた(だった)父親に本を持っていったら...」
- (448) Birok oku-u-ga öt-pö-y,
 しかし 読む-VN-DAT 通る-NEG-CVB
 ëmi mint-ip ësepçi **bol-up** **jür-ö-t.** (Dubal)
 今 こうして 会計係 なる-CVB jür-PRES-3
 「ただ、入学できず、今こうやって会計係になっている。」
- (449) Kantse da Mukaš bayke-m-di kör-üü-gö
 それにしても PSN 兄-1SG:POSS-ACC 見る-VN-DAT
ıntızar bol-up jür-dü-m. (Kırgız Tuusu №57)
 待ち遠しい なる-CVB jür-PST1-1SG
 「それにしても、ムカシ兄を見るのに待ち遠しくなっていた。」
- 次に、多く現れたのは、動詞 ooru-「痛む、病気になる」である。
- (450) Mama-m jol kirsig-i-na uçura-p,
 ママ-1SG:POSS 交通事故-3:POSS-DAT 遭う-CVB
 kol-u **ooru-p jür-çü.** (Selsayak)
 手-3:POSS 痛む-CVB jür-PST4
 「ママは交通事故にあってしまい、手が痛んでいた。」
- (451) Küşüldö-p bişilda-y başta-dı.
 息苦しむ-CVB 息をする-CVB 始める-PST1
 Körsö ošo-ndo ële **ooru-p jür-gön** okşoyt. (Turmuştan jaralğan çoku)
 たぶん あの時-LOC EMPH 痛む-CVB jür-PST2 MOD
 「苦しく息をしはじめた。たぶん、あの時には病気になっていたのかもしれない。」

- (452) Sokur içegi menen köp ěle kiři
 盲腸 で 多い EMPH 人
ooru-p jür-bö-y-bü, bala-m. (Astra gülü)
 病む-CVB jür-NEG-CVB-Q 子-1SG:POSS
 「盲腸で多くの人が病気になるているじゃないか、息子よ。」

これらの他に、semir-「太る」、terde-「汗をかく」、kalki-「浮く」などのような動詞が現れた。

- (453) ...küpsör-döy **semir-ip jür-ö-t.** (Boy tumar)
 膨らませた皮袋-MOD 太る-CVB jür-PRES-3
 「... (彼は) 膨らませた皮袋みたいに太っている。」

- (454) Kış-tın kīraan çilde-si-nde borguldan-ıp **terde-p jür-gön.** (Kaada-salt...)
 冬-GEN 真冬-3:POSS-LOC 噴き出る-CVB 汗をかく-CVB jür-PST2
 「真冬の中でも噴き出るように汗をかいていた。」

V-(i)p jür-形式で現れる文のほとんどは、人や動物が主語にくるのが圧倒的に多いが、物主語の用例も少なからず存在する。

まず、次のように、主体である物の状態を表わす文である。

- (455) Oşol turmuş-ta keregi tiy-be-gen
 その 生活-LOC 役に立つ-NEG-PART
oku-u material-dar jayna-p jür-ö-t. (Kutbilim・№26)
 読む-VN 材料-PL あふれる-CVB jür-PRES-3
 「その生活に役に立たない教材はあふれている。」

次に、動詞 al-と共起して現れる文であるが、この場合、あるものの性質や特徴を表わしている。

- (456) Sebeb-i, organizm-di tüz-üü-čü kletka-lar
 原因-3:POSS 生体-ACC 作る-VN-NMLZ 細胞-PL
 tukum belgi-ler-i-n **al-ıp jür-ö-t.** (Biologiya)
 卵子 特徴-PL-3:POSS-ACC 持つ-CVB jür-PRES-3
 「原因は、生体を作る卵細胞の特徴を持っている。」

- (457) Ošondoy ěle Kızıl-Ay ayıl-ı-nın bir
 そして EMPH PLN 村-3:POSS-GEN 一
 köçö-sü anın isim-i-n al-ıp jür-mök-çü. (Ėrkin Too・№67)
 道路-3:POSS 彼:GEN 名-3:POSS-ACC 持つ-CVB jür-FUT-PST4
 「そして、クズル-アイ村の一つの道は彼の名前を受けついでいるでしょう。」

また、次のような用例も出てきたが、いずれも [V-(i)p jürbösun] という形で出ており、ここではモーダルな意味を表わしている (第15章を参照)。

- (458) Anday-lar-dı at-a ber-se-k,
 あんな-PL-ACC 打つ-CVB 与える-COND-1PL
 bul aalam ölük jıttan-ıp jür-bö-sün. (Bataköy çal)
 この世 死体 臭う-CVB jür-NEG-3:IMP
 「あんなのを打ちつづけたら、この世は死体、臭ってしまわないか。」

- (459) Bul tam-ga oşol ěski meçit-tin
 この家-DAT その古いモスク-GEN
 topurag-ı aralaş-ıp jür-bö-sün. (Küyümdüü jurök)
 土-3:POSS 混ざる-CVB jür-NEG-3:IMP
 「この家にその古いモスクの土が混ざっていないか。」

《主体の漸進的な変化を表わす動詞》

V-(i)p jür-形式の場合に、《主体の漸進的な変化を表わす動詞》のタイプは現れるが、必ず補助動詞 otur-が後接して、[V-(i)p jürüp otur-] の形で現れるのが特徴的である。

V-(i)p jür-形式の場合に現れた《主体の漸進的な変化を表わす動詞》は次のとおりである。

alista- 「遠ざかる」、bayıt- 「増やす」、kötörül- 「上がる」、köböy- 「増える」、küçö- 「増える」、ulantıla- 「続く」、など

これらの動詞はいずれも [V-(i)p jürüp otur-] の形で現れるものである。このように jür- と otur- が後接することによって、その事物の《変化の進展》を表わす (11.1.2.を参照)。また、この場合、物事の徐々の変化を表わす ulam 「徐々に」、bara-bara 「次第に」といった副詞相当句が共起することが多い。なお、物主語文に限られる。そして、日本語に訳したときに、「V-つづける」、「V-ていく」とするほうが自然である。

- (460) ...Kīrgīzstan-da ayıl—kīštak kalk-ī-nīn
 PLN-LOC 村 田舎 人口-3:POSS-GEN
 san-ī **köböy-üp jür-üp otur-gan.** (Šookum·№7)
 数-3:POSS 増える-CVB jür-CVB otur-PST2
 「...キルギスタンでは村や田舎などの人口の数が増え続けていた。」

- (461) Okuya ulam dramalaš-īp,
 出来事 徐々に ドラマティックになる-CVB
küčö-p jür-üp otur-a-t. (Kīrgīz Tuusu·№56)
 拡大する-CVB jür-CVB otur-PRES-3
 「出来事は徐々にドラマティックになって、拡大していく。」

- (462) Bara—bara ulantīl-a **jür-üp otur-a-t.** (Kaada-salt...)
 次第に 続く-CVB jür-CVB otur-PRES-3
 「(習慣は) 次第に続いていく。」

《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》

《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》とは、主体の動きを表わすが、同時に客体に変化（様態や位置）を引き起こす動詞でもある。

V-(ī)p jür-形式の場合に現れた《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》は次のとおりである。

bayla-「縛る」、bekit-「隠す」、čaptır-「(馬を)走らせる」、čīgar-「出す」、čogult-「集める」、iyle-「練る」、jaz-「(髪を)解く」、kalkit-「浮かばせる」、kaltır-「残す」、kīs-「入れる」、küldür-「笑わせる」、küygüz-「(タバコに火を)つける」、oturguz-「座らせる」、sal-「入れる」、sürt-「拭く」、toku-「編む」、uulandır-「毒をさせる」、など

これらの動詞の場合に、jür-は、主体の《変化の結果の状態》という文法的な意味を表わす。

- (463) Sen minege mašīne-ge koy **sal-īp jür-ö-sün?** (Dubal)
 君 どうして 車-DAT 羊 入れる-CVB jür-PRES-2SG
 「君はなんで車に羊を入れているの?」

- (464) Ėl baş-ī-na kün tüš-kön bir mezigil-de
 国民 頭-3:POSS-DAT 日 落ちる-PART 一 時期-LOC
 akılman jaktır-gan uluu uul-u-na **kat-ıp jür-gön**
 賢人 気に入る-PART 長男-3:POSS-DAT 隠す-CVB jür-PART
 kauxar taš-ī-n ber-ip jat-ıp: (Akılmandın k.t.)
 宝石-3:POSS-ACC 与える-CVB jat-CVB
 「国民が困っているある時期に、賢人は好きな長男に隠していた宝石を渡して…」

- (465) Čač-ī-n **jaz-ıp jür-gön**
 髪-3:POSS-ACC ほどく-CVB jür-PART
 japaačilik belgi-si ėmes-pi? (Akılmandın k.t.)
 不誠実な行為 印-3:POSS NEG-Q
 「髪の毛をほどいているなんて不誠実な行為の象徴じゃないか。」

《主体の再帰的な動作を表わす動詞》

V-(i)p jür-形式の場合も、自分の動作が自分自身に働きかけ、自分自身の状態になんらかの変化をもたらす《主体の再帰的な動作を表わす動詞》が現れた。

V-(i)p jür-形式の場合に現れた《主体の再帰的な動作を表わす動詞》は次のとおりである。

kiy-「着る」、kiyin-「着替える」、tagin-「(ネクタイを)つける」、tartin-「(ベルトを)つける」、čalin-「つまづく」、など

このような動詞類の場合、jür-は、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

- (466) Kičan Beyšeke-nin üy-gö kal-tır-ıp ket-ken
 PSN PSN-GEN 家-DAT 残る-CAUS-CVB 行く-PART
 ėski kepka-sī-n **kiy-ıp jür-gön.** (Kičan)
 古い 帽子-3:POSS-ACC 着る-CVB jür-PST2
 「クチャンはベイシェケが家に残していった古い帽子をかぶっていた。」

この場合、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わすが、もう少し説明を加えれば、長時間にわたり、「古い帽子をずっとかぶっていた」という意味を表わす。

また、動詞に再帰を表わす接尾辞-(i)n-がつくものの場合、次のような用例が抽出された。

- (467) Sözsüz jakši at min-ip, jakši kiyim **kiy-in-ip** **jür-ö-t.** (Kanibek)
必ず 良い 馬 乗る-CVB 良い 服 着る-REFL-CVB jür-PRES-3
「彼は必ず良い馬に乗って、良い服を着ている。」

- (468) Alamanov ak köynök kiy-ip,
PSN 白い シャツ 着る-CVB
kara galstuk **tag-in-ïp** **jür-üü-čü.** (Küyümdüü jurök)
黒い ネクタイ つける-REFL-CVB jür-VN-PST4
「アラマノフは白いシャツを着て、黒いネクタイをしめていたそうだ。」

これらの用例では、動作主体が「良い服を着る」、「黒いネクタイをしめる」ことを常に行っていることを表わす。つまり、長い時間において、習慣化していることを意味する。

12.1.3. 「状態動詞」

V-(i)p jür-形式の場合に、上でみてきた補助動詞のところでは述べた《主体の空間的な関係を表わす動詞》、《主体の擬態的な様態を表わす動詞》のタイプの動詞が出てこない。しかし、V-(i)p jür-形式に特有の《主体の状態的な性質を表わす動詞》のタイプを取り出すことができる。

《主体の状態的な性質を表わす動詞》

ここには、[人 ADJ alip jüröt] という形式で現れる文がはいる。これらの用例では、主動詞の語彙的なレベルで性質を表して、その性質の持ち主が恒常的に存在する場合である。つまり、主体の《状態的な性質》を表わす。これは、V-(i)p jür-形式の場合にのみ現れる。

- (469) Mında okuuču öz-ü-n — öz-ü talaptagiday adeptüü,
 ここ 生徒 自分-3:POSS-ACC 自分-3:POSS 期待通り 礼儀正しい
 sīlik—sīpaa, **taza al-īp jür-ō-t.** (Kaada-salt...)
 丁寧 丁寧 綺麗 振舞う-CVB jür-PRES-3
 「ここで生徒は、自分自身を期待通りに礼儀正しく、丁寧にきれいにふるまっている。」
- (470) Sebeb-i, adam-ga kuunak maanay tartuula-p,
 原因-3:POSS 人-DAT 楽しい 気分 する-CVB
 köñül-dü dayīm **kötörüñkü al-īp jür-ō-t.** (Zamandaš)
 気分-ACC いつも 高く 振舞う-CVB jür-PRES-3
 「その原因は、人に楽しい気分を起し、(彼は) 気分をいつも高くふるまっている。」
- (471) Sapar adam-dī ušunčalik **jeñil al-īp jür-ō-t**
 PSN 人-ACC こんなに 軽い 振舞う-CVB jür-PRES-3
 ěken de-y-siz, tim ěle ukmuš. (Astra gülü)
 MOD 言う-PRES-2SG まったく EMPH すごい
 「サパルという人は、こんなに軽く振舞っているらしく、全くすごいよ。」

12.1.4. 「内的感情動詞」

V-(i)p jür-形式に現れる「内的感情動詞」の場合、次のようなタイプが取り出された。

主動詞の意味的なタイプ	動詞の例
《主体の思考活動動作を表わす動詞》	oylo-「考える」、bil-「知る」、išen-「信じる」、など
《主体の感情を表わす動詞》	kork-「怖がる」、kuban-「喜ぶ」、keyi-「悩む」、など
《主体の評価的な態度を表わす動詞》	siymiktan-「誇りに思う」、čarča-「疲れる」、süy-「愛する」、tirmiš-「頑張る」、など

《主体の思考活動動作を表わす動詞》

V-(i)p jür-形式の場合に現れた《主体の思考活動動作を表わす動詞》は次のようなものである。

bil-「知る」、čabitta-「思い出す」、ėlestet-「想像する」、ėsker-「思い出す」、ėste-「思い出す」、jor-「推測する」、kiyaldan-「妄想する」、oylo-「考える」、oylon-「考える」、sez-「感じる」、taani-「分かる」、tuy-「覚える」、など

これらの動詞の場合、jür-は、主体の長期にわたる〈思考動作の持続〉を表わす。

- (472) Biz-di baardig-ı jaša-p at-iš-a-t de-p
 私達-ACC 皆-3:POSS 住む-CVB jat-RECIP-PRES-3 言う-CVB
oylo-p jür-üş-ö-t, biz-di ěrdi katın de-p ěsepte-š-e-t. (Selsayak)
 思う-CVB jür-RECIP-PRES-3 私達-ACC 夫 婦 言う-CVB みなす-RECIP-PRES-3
 「私達を皆、同居していると思っ**ている**。私達を夫婦だと考えているんだ。」

- (473) ...alar-dın asman-da kötörül-üp uç-up jür-gön-düg-ü-nün
 彼ら-GEN 空-LOC 昇る-CVB 飛ぶ-CVB jür-PART-dük-3:POSS-GEN
 sebep-ter-i-n tab-a al-ba-y,
 理由-PL-3:POSS-ACC 見つける-CVB 取る-NEG-CVB
köpkö oylon-up jür-dü-m. (Üčünčü šar)
 長く 考える-REFL-CVB jür-PST1-1SG
 「彼らの空に昇って飛んでいる理由を見つけれなく、**ずっと考えていた**。」

- (474) Men Sulayman-dî kaday eşte-se-m al da men-den
 私 スライマン-ACC どんな 思い出す-COND-1SG 彼 EMPH 私-ABL
 artık eşte-p jür-üptür, unut-pa-ptür. (Astra gülü)
 以上 思い出す jür-CVB-PST3 忘れる-NEG-PST3
 「私はスライマンをどのように思い出していたら、彼は、私よりも多く思い出していた
 ようです。忘れていなかったそうです。」

《主体の感情を表わす動詞》

V-(i)p jür-形式の場合に現れた《主体の感情を表わす動詞》は次のようなものである。jür-
 の場合に現れた感情動詞をみると、嬉しい感情というよりも、悲しい感情を表わす動詞が圧
 倒的に多い。

azap çek-「苦勞する」、azap tart-「苦勞する」、çoçu-「驚く」、çök-「悲しむ」、kapalan-
 「悲しむ」、kara bas-「困る」、kısıl-「苦しむ」、kïyna-「苦しめる」、kïynal-「苦
 しむ」、kork-「怖がる」、kuban-「喜ぶ」、küülön-「怒る」、kuura-「困る」、küy-
 「悲しむ」、küyütün tart-「悲しむ」、ökün-「後悔する」、sagïn-「なつかしむ」、sanaa
 tart-「悩む」、sanaarka-「落ち込む」、tünçsizdan-「心配する」、zapkî kör-「苦勞す
 る」、zarla-「懇願する」、感情 bol-、など

これらの動詞に jür-が後接する場合、jür-は主体の心理的な一側面を特徴づけているもの
 で、主体の長期にわたる〈心理的な状態〉を表わす。

- (475) Mama-ŋ unut-a al-ba-y kïynal-ïp jür-ö-t. (Selsayak)
 ママ-2SG:POSS 忘れる-CVB 取る-NEG-CVB 苦しむ-CVB jür-PRES-3
 「君のママは、忘れられなくて、苦しんでいる。」
- (476) Je turmuş-ubuz-dun naçarlıg-ï-na
 或いは 生活-1PL:POSS-GEN 貧乏さ-3:POSS-DAT
kapalan-ïp jür-ö-süŋ-bü? (Ëkinçi ömür)
 悲しむ-CVB jür-PRES-2SG-Q
 「或いは、私たちの生活の貧しさに、悲しんでいるの？」
- (477) ...bir orun-ga tur-a al-ba-y kuban-ïp jür-dü-m. (Turmuştan j.ç.)
 一 席-DAT 立つ-CVB 取る-NEG-CVB 喜ぶ-CVB jür-PST1-1SG
 「...一つの場所にじっといられないほど、喜んでいた。」

《主体の評価的な態度を表わす動詞》

V-(i)p jür-形式の場合に現れた《主体の評価的な態度を表わす動詞》は次のようなものである。

čida-「我慢する」、čimirkan-「耐える」、dañazala-「誇りに思う」、jaksī kör-「好きになる」、jaktür-「好む」、jaman kör-「嫌になる」、jek körün-「嫌がられる、kaşikta-「頑張る」、kögör-「頑固する」、köp-「高ぶる」、siyla-「尊敬する」、siymiktan-「誇りに思う」、süy-「愛する」、süyüp-küy-「愛する、恋する」、talpın-「前に進む、頑張る」、tırmış-「一生懸命に頑張る」、tište-「歯を食いしばる」、maktan-「自慢する」、など

これらの動詞に jür-が後接する場合、jür-は主体の長期にわたる〈心理的な状態〉を表わす。

- (478) Sıdǵalı, işen-se-ŋ, men seni sırt-ıñ-dan kör-üp,
 PSN 信じる-COND-2SG 私 君:ACC 外-2SG:POSS-ABL 見る-CVB
 men on tört, on beş jaş-ım-dan beri ěle **jaktür-ıp jür-göm.** (Tagdır)
 私 十 四 十 五 歳-1SG:POSS-ABL から EMPH 好む-CVB jür-PST2:1SG
 「スデガル、信じたら、私は君を外から見て、私が14歳、15歳の時から、好きになっていたよ。」

- (479) Men aga, tuğan bol-up kal-gan-dig-ım
 私 君:DAT 親戚 なる-CVB 残る-PART-dik-1SG
 üčün gana **siymiktan-ıp jür-ö-m.** (Astra gülü)
 為 だけ 誇りに思う-CVB jür-PRES-1SG
 「私は彼に親戚になってしまったためだけで、誇りに思っている。」

- (480) Oşon-do-gu korduk-tu kantip unut-tu, Kümüş-tün
 その-LOC-kı 苦勞-ACC どうやって 忘れる-PST1 PSN-GEN
 kordug-u-na kantip **čida-p jür-ö-t?** (Kanıbek)
 苦勞-3:POSS-DAT どうやって 我慢する-CVB jür-PRES-3
 「その時の苦勞をどうやって忘れたか。クムシュの苦勞にどうやって我慢しているの？」

12.2. V-a/-y jür-形式の場合

この節では、jür-が V-a/-y jür-形式で現れ、補助動詞として用いられている場合の例について考察する。考察対象とする用例は次のとおりである。

V-a/-y jür-	異なり語数	延べ語数
	26 個	33 例

収集した言語資料によると、V-a/-y jür-は延べ語数33例で、V-(i)p jür- (851例) と比べると圧倒的に少ない。このように33例という数少ない用例からV-a/-y jür-形式の文法的な意味を一般化することは説得力にかけると思われるが、これらの用例からできる限り特徴をみだし、今後の論述に備えるものになりたい。

まず、今回の言語資料により抽出された V-a/-y jür-形式の用例をみると、「動作動詞」に限って現れる。殆どの用例の場合、jür-が命令で現われるのが特徴的である。

主動詞の意味的なタイプ	例
《主体の連帯的な動作を表わす動詞》	ěřčít-「連れる」、košo al-「一緒に持つ」
[jür-が常に命令形で現われる]	例) Meni ěstey jür. 「私を覚えていて。」

《主体の連帯的な動作を表わす動詞》

次のように主体の連帯的な動作を表わす動詞に jür-が後接して現われる場合がみられる。ここでは、jür-は、主たる動作に常に共同で連帯して行われる動作を表わし、その長期にわたる〈動作の持続〉の意味を表わす。

(481) Baldar-ım-an **ěřčít-e** **jür-čü** bol-du-m. (Telegey)

子供達-1SG:POSS-ABL 連れる-CVB jür-PST4 なる-PST1-1SG

「子供達の誰かを**連れて行く**ようになった。」

(482) Kündüz boz ingen-im-di min-ip, koy art-i-nan

昼間 灰色 ラクダ-1SG:POSS-ACC 乗る-CVB 羊 後-3:POSS-ABL

ket-ken-de, ěmček-te-gi bala-ni

行く -PART-LOC 授乳-LOC-kı 子-ACC

koš-o **al-a** **jür-čü** bol-du-m. (Telegey)

一緒に-CVB 持つ-CVB jür-PST4 なる-PST-1SG

「昼間、自分の白いラクダに乗って、羊の後を追って行ったら、授乳中の子供と一緒に連れて行くようになった。」

〔jür-が常に命令形で現われる〕

V-a/-y jür-形式で現われた用例をみると、jür-は常に命令や義務を表わす表現で用いられることが特徴的である。このような場合、V-a/-y jür-形式の場合の jür-の文法的な意味は、未来における〈動作の持続〉の意味を表わす。

- (483) ...andan körö bir söz ayt-ayın
 それ より 一 単語 言う-1SG:VOL
 ošo-nu ēšte-p, **ayt-a** **jür**, — de-y-t. (Akılmandın k.t.)
 それ-ACC 覚える-CVB 言う-CVB jür 言う-PRES-3
 「...それより一つの言葉を言いたいが、それを覚えて、**言い続けなさい**と言う。」
- (484) Öz-ün bas-kan iz-iñ-di
 自分-2SG:POSS 歩む-PART 跡-2SG:POSS-ACC

ēšte-y **jür** Kişim. (Teñir menen s...)
 覚える-CVB jür PSN
 「自分が歩んだ跡を**覚えていなさい**、キシム。」
- (485) Uşul ēki jetim-ge köz kır-iñiz-dī **sal-a** **jür-ü-ñüz**. (Astra gülü)
 この 二 孤児-DAT 目 境-2SG:POSS-ACC 入れる-CVB jür-PRES-2SG
 「この二人の孤児に目を配って (**見守って**) いてください。」
- (486) Oo, kečirimdüü jaratkan Alla, menin murun-ku jana
 INTJ 偉大なる (決まった表現) アラー 私:GEN 以前-kī と
 kiyin-ki künöö-lör-üm-dü **kečir-e** **jür**. (Kaada-salt...)
 後-kī 罪-PL-1SG:POSS-ACC 許す-CVB jür
 「偉大なる神様、私の今までと、これからの罪を**許したまえ**。」
- (487) Kırğız-da jeti ata-nī **bil-e** **jür-üü** – parz. (Kaada-salt...)
 キルギス-LOC 七 父-ACC 知る-CVB jür-VN 義務
 「キルギスでは7人の (先祖代々) 父親 (の名前) を**知っている**ことが義務だ。」

なお、V-a/-y jür-形式の場合に現れる主動詞の意味的なタイプについていえば、ほとんど《人の活動動作を表わす動詞》である。

12.3. まとめ

本章では、V-(i)p jür-形式の場合に現れる主動詞の意味的なタイプとそれらが表わす文法的な意味について述べた。

V-(i)p jür-形式に現れる「動作動詞」の場合、《主体の活動動作を表わす動詞-現在における〈動作の持続〉、長期にわたる〈動作の持続〉》、《主体の長期的な活動動作を表わす動詞-長期にわたる〈動作の持続〉》、《主体の移動動作を表わす動詞-①長期にわたる〈動作の持続〉、②〈動作のくりかえし〉》のタイプが見出された。他の補助動詞形式にみられた《自然現象の動きを表わす動詞》、《主体の生理的な動きを表わす動詞》は、V-(i)p jür-形式に現れなかった。

V-(i)p jür-形式に現れる「変化動詞」の場合、《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞-〈変化の結果の状態〉》、《主体の漸進的な変化を表わす動詞-〈変化の進展〉》、《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞-〈変化の結果の状態〉》、《主体の再帰的な動作を表わす動詞-〈変化の結果の状態〉》のタイプが取り出された。《主体の漸進的な変化を表わす動詞-〈変化の進展〉》の場合、[V-(i)p jür-üp otur-]の形で現れ、日本語に「V-ていく」と訳されるのが特徴的である。

V-(i)p jür-形式に現れる「状態動詞」の場合、他の補助動詞のところでも述べた《主体の空間的な関係を表わす動詞》、《主体の擬態的な様態を表わす動詞》のタイプの動詞が出てこなかった。しかし、V-(i)p jür-形式に特有の《主体の状態的な性質を表わす動詞》のタイプが取り出された。この類の動詞の場合、主体の〈状態的な性質〉を表わすと位置付けた。

V-(i)p jür-形式の場合に現れる「内的感情動詞」を《主体の思考活動動作を表わす動詞-長期にわたる〈思考動作の持続〉》、《主体の感情を表わす動詞-長期にわたる〈心理状態〉》、《主体の評価的な態度を表わす動詞-長期にわたる〈心理状態〉》のタイプが現れた。

V-a/-y jür-形式の場合、《主体の連帯的な動作を表わす動詞-長期にわたる〈動作の持続〉》の動詞のタイプと[jür-が常に命令形で現われる-未来における〈動作の持続〉]の形しか現れなかった。そもそも、jür-は、V-a/-y jür-形式で現われる場合、補助動詞としてはたらくか、或いは本動詞としてはたらくかが疑問であり、今後さらなる調査が必要となる。

第Ⅲ部 形式的な条件により生じる意味

以下、「第Ⅲ部」にはいる。ここでは、補助動詞・主動詞が一定の形態をとることによって生じるいくつかの特徴について述べる。

まず、以下の形で現れる各補助動詞の文法的な意味について考える。

- ・ 各補助動詞が文中に [V-(i)p AUXV-(i)p] の形で現れる場合 (第 13 章)
- ・ 主動詞が否定接尾辞を含む [V-NEG-CVB AUXV] の形 (第 14 章)
- ・ 補助動詞が否定接尾辞を含む [V-CVB AUXV-NEG-] の形 (第 15 章)
- ・ 主動詞が受身接尾辞を含む [V-PASS-CVB AUXV] の形 (第 16 章)

最後に、本研究の考察対象である補助動詞が主動詞として現れる場合にみられる特徴 (第 17 章) について考察を行う。

第13章 [V-(i)p AUXV-(i)p] 形の場合

本章では、本研究で扱っている補助動詞 *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*を *V-(i)p jatip*、*V-(i)p turup*、*V-(i)p oturup*、*V-(i)p jürüp*（以下、これらを省略して [V-(i)p AUXV-(i)p] と記す）の形の点から考えることにより、各補助動詞が表わす文法的な意味の解明に近づくと考えている。

現代キルギス語においては、-(i)p⁴⁶副動詞形の用法について記述されているが（詳細は第6章を参照）、[V-(i)p AUXV-(i)p] という形については、個別に取り上げられて、その意味について記述された先行研究はない。そこで、ここでは採集した用例に基づき、[V-(i)p AUXV-(i)p] の形が表わす文法的な意味について考えてみる。

本論文で収集した用例の中に出てきた [V-(i)p AUXV-(i)p] 形は次のとおりである。

表 21 [V-(i)p AUXV-(i)p] 形の実用例数

V-(i)p AUXV-(i)p	本論全体の 実用例数	実用例（割合）	
V-(i)p jatip	1121	45	(4.01%)
V-(i)p turup	1248	120	(9.61%)
V-(i)p oturup	480	109	(22.70%)
V-(i)p jürüp	851	85	(10%)
合計	3700	359	

上の表から分かるとおり、*V-(i)p otur-*の実用例は最も少なく 480 例だったが、そのうち、*V-(i)p oturup* 形は 109 例で全体の 22.70%を示しており、他の [V-(i)p AUXV-(i)p] 形と比べて、圧倒的に多く現れたのが特徴的である。これに対して、*V-(i)p jat-*形式の論文全体の実用例数は多かった（1121 例）にも関わらず、*V-(i)p jatip* の形で現れる実用例は最も少なく 45 例で全体の 4.01%しか現れなかった。

これまで-(i)p 副動詞形の用法については研究がなされており、基本的な用法として 4 つ（副次的な動作（継起）、同時に行われる動作（並行）、動作の方法や様態（付帯的な状況）、そして動作の目的や原因（因果）⁴⁷の用法）があげられる（詳細は第6章を参照）。

⁴⁶ -a/-y 副動詞形について実用例数が少ないため、考察の対象としていないが、今後の課題と残したい。

⁴⁷ () 内は筆者が書き加えたものである。

これらの用法においては、いずれも前件と後件の時間的な関係が重要になっているといえる。

上記の4つの用法のいずれかに V-(i)p jatip、V-(i)p turup、V-(i)p oturup、V-(i)p jürüp の用例を振り分けられるのかというと、それほど簡単ではない。

そこで、この節では、-(i)p 副動詞形の先行研究でみてきたような二つの事柄の時間的な関係の視点を加え、[V-(i)p AUXV-(i)p] 形で接続される二つの事柄間にどのような時間的な関係が現れるのか、そしてどのような文において因果性が読み取れるのかについて考えてい。

なお、用例の考察の際は、用法の特徴をより明らかにするために、次の3点に注目した。

- ・ **主語**：前件と後件の主語が同じ（同主語）か、異なる（異主語）か、そして「人・動物」であるか、「物・事」であるかについて。
- ・ **前件の述語の主動詞**：前件の主動詞の意味的なタイプについて。
- ・ **後件の述語の形**：前件の副動詞形に対して、後件の述語がどのような形態論的な特徴をしているかについて【PRES ; PST1、PST2、PST3、PST4】など。

以下より、V-(i)p jatip、V-(i)p turup、V-(i)p oturup、V-(i)p jürüp の順に具体的な用例をみていく。

13.1. V-(i)p jatip の場合

同主語（人主語）

V-(i)p jatip の場合、手元の用例を見る限りでは、主語は同主語であり、ほとんど「人」や「動物」である。前件は、いずれも〈動作の持続〉の意味を表わしている。そして、前件の主動詞には「動作動詞」がくることが多い。今回、次のようなものが出てきた。

まず、前件の事柄のうちに後件の事柄が発生する場合である。この場合、後件の述語には【PRES ; PST1、PST3】という形態論的な特徴をとることが多い。

- (488) Tört jašar nebere-si oyno-p jat-ïp,
 四 才 孫-3:POSS 遊ぶ-CVB jat-CVB

kömkörö-sü-nön ket-ti. (Akilmandin k.t.)

うつぶせ-3:POSS-ABL 行く-PST1

「(彼の) 4才の孫が遊んでいて、うつぶせになってしまった。」

(489) Nariste karek-ti **sor-up** **jat-ïp**, iut-up.....iy-iptir. (Üç meërim1)

赤ちゃん 瞳-ACC なめる-CVB jat-CVB 飲み込む-CVB しまう-PST3

「赤ちゃんは瞳をなめていて、飲み込んでしまったそうだ⁴⁸。」

(490) Bir neçe ay-dan beri orto-go **kiři sal-ïp** **jat-ïp**,

一 数 月-ABL から 間-DAT 人 入れる-CVB jat-CVB

bir kïz-ga arađ makuldař-tï-m. (Ëkinçi ömür)

一 女-DAT ようやく 承諾を得る-PST1-1SG

「(私は) 数か月前から間に人を入れていて (仲介して)、ようやくある女性の承諾を得た。」

また、今回の用例の中には、次のように日本語に「～しようとしていて、～」と訳される文があった。これらの場合も、前件の事柄のうちに後件の事柄が発生するといえる。

(491) Kükük **talpïn-ïp** **jat-ïp**, uya-dan kula-p tüř-üp,

カッコウ 飛び立つ-CVB jat-CVB 巣-ABL 倒れる-CVB 落ちる-CVB

jer-de-gi jaraka-ga kir-ip.....ket-e-t. (Meken taanuu)

地-LOC-kï 割れ-DAT 入る-CVB 行く-PRES-3

「カッコウが飛び立とうとしていて、巣から落ちてしまって、地面の穴に入っていく。」

(492) Alar akça **tab-a-bïz** **de-p** **jat-ïp** baldar-dïn ič-ki

彼ら 金 見つける-PRES-1PL 言う-CVB jat-CVB 子供達-GEN 内-kï

düynö-sü-ndö ėmne bol-up jat-kan-ï-na, anïn

世界-3:POSS-LOC 何 なる-CVB jat-PART-3:POSS-DAT 彼:GEN

öspürüm kurak-ta-gï abal-ï-na könül böl-bö-y.....jat-iř-a-t. (Kutbilim)

青春 時代-LOC-kï 状態-3:POSS-DAT 気 配る-NEG-CVB jat-RECIP-PRES-3

「彼らはお金(だけ)を見つけようとしていて、子供たちの内面がどうなっているのかや、かれらは思春期にあるとかに、気を配っていない。」

次に、前件と後件は、並行する事柄を表わす場合である。つまり、この場合、主語は 2

⁴⁸ 昔話に出てくる文である。

つの並行する動作をすることができる。後件の述語には【PRES ; PST1、PST2、PST3、PST4】という形態論的な形をとる。

- (493) ...kamir **juur-up jat-ïp** öz-ü-n öz-ü **jootkot-o-t** (Betme-bet)
 生地 練る-CVB jat-CVB 自分-3:POSS-ACC 自分-3:POSS 落ち着かせる-PRES-3
 「... (彼女は) 生地を**練**っていて (**練りながら**)、自分自身を落ち着かせる。」

- (494) ...ötüg-ü-n **kiy-ip jat-ïp**, **Düyşön** menin
 靴-3:POSS-ACC 着る-CVB jat-CVB PSN 私:GEN
 ürpöy-gön tür-üm-dü kör-üp,
 ボサボサ-PART 顔-1SG:POSS-ACC 見る-CVB
 jalooru-p **kül-üp** **koy-du**. (Birinçi mugalim)
 同情する-CVB 笑う-CVB 置く-PST1
 「... (彼は) 靴を**履**いていて (**履きながら**)、ディションは私のボサボサの顔を見て、同情して笑っておいた。」

- (495) Kana, ket-ti-k-pi, — de-di xalat-ï-n **čeč-ip jat-ïp**, —
 INTJ 帰る-PST1-1PL-Q 言う-PST1 ガウン-3:POSS-ACC 脱ぐ-CVB jat-CVB
 siler-di köpkö **küt-tür-üp** **koy-gon** **jok-mun-bu?** (Astra gülü)
 君ら-ACC 長く 待つ-CAUS-CVB 置く-PST2 無-1SG-Q
 「「じゃあ、帰ろうか」とガウンを**脱**いでいて (**脱ぎながら**)、「君達を長く待たせてしまっていないか。」」

また、次のような用例もみられた。この文では、bar-「行く」という移動を表わす動詞が使われている。しかし、ここでは、bar-は動作主の移動ではなく、出来事の進行を表わしている。

- (496) Muštaš-kan-ga čeyin **bar-ïp jat-ïp** arañ **ajıraš-ti-k**. (Ėkinči ömür)
 喧嘩する-PART-DAT まで 行く-CVB jat-CVB なんとか 別れる-PST1-1PL
 「(私たちは) 喧嘩の手前まで**い**って、**な**んとか別れた。」

また、V-(i)p jatip の場合、次のように「内的感情動詞」がくる場合がみられた。

- (497) Birde – ošo-go kuban-ïp, birde – **kork-up jat-ïp**, kayra
 時に それ-DAT 喜ぶ-CVB 時に 怖がる-CVB jat-CVB 再び
 kayrattan-ïp, kīskasī, bul iş ės-im-den **čik-pa-y**,
 力づける-CVB とにかく これ 事 記憶-1SG:POSS-ABL 出る-NEG-CVB

oylon-o.....ber-di-m. (Birinči mugalim)

考える-CVB 与える-PST1-1SG

「時にはそれに喜んで、時には**怖が**っていて、もう一度頑張って、とにかく、このことが頭から離れなくて、考え続けた。」

(498) Al ėmi bol-bo-gon nerse-ge kaygır-ıp, öt-kön iş-ke
そして もう なる-NEG-PART 物-DAT 悲しむ-CVB 過ぎる-PART 事-DAT

ökün-üp jat-ıp, kantip ooruga çaldık-kan-ı-n
後悔する-CVB jat-CVB どうやって 病気-DAT なる-VN-3:POSS-ACC

bil-be-y.....kal-gan pessimisttik maanay-da-gı adam-dar-ı
知る-NEG-CVB 残る-PART 悲観的な 気分-LOC-kı 人-PL

köbünö öz-ü-nün densoolug-u-na kam kör-bö-gön-dör. (Şookum)
主に 自分-3:POSS-GEN 健康-3:POSS-DAT 世話 見る-NEG-PART-PL

「そしてもうどうにもならないことに悲しんで、過ぎたことを**後悔**していて、なぜ病気になるのかも考えずにいる悲観的な人々は、大抵自分の健康に気を付けていない者たちだ。」

以上、V-(i)p jatıp 形の場合をみてきた。今回の言語資料から V-(i)p jatıp 形の用例の出現数は最も少なく 45 例だった。このデータをみる限りは、V-(i)p jatıp 形の場合、「動作動詞」と「内的感情動詞」が使われることが確認できた。

13.2. V-(i)p turup の場合

V-(i)p turup の場合、主語は同主語である。「人主語」の場合が多いが、「物主語」の場合もみられた。以下、それぞれについてみる。

同主語 (人主語)

「人主語」の場合、次のようなものが出てきた。

まず、V-(i)p turup の場合、主に主体動作・客体変化を引き起こす動詞が使われることが特徴的である。この場合は、前件は主体動作による客体の〈**変化の結果の状態**〉であり、後件の述語は動作を表わすものである。また、後件の述語には【PRES; PST1, PST2, PST3, PST4】の形をとる。

(499) Cellofan paket-ti jıttuu zat-tar menen nımda-p tur-up,
セロハン 袋-ACC 匂い 物質-PL と 濡らす-CVB tur-CVB

baş kiyim ord-u-na kiy-**ip** al-gan uçur-lar da kezdeš-e-t. (Šookum)
 頭 服 席-3:POSS-DAT 着る-CVB 取る-PART 時期-PL EMPH 出会う-PRES-3
 「セロハン袋を匂いのある物質で濡らしてから、帽子の代わりにかぶる場合もある。」

- (500) A Sapar-din kat-i-n bol-so orto-su-nan
 そして PSN-GEN 手紙-3:POSS-ACC なる-COND 真ん中-3:POSS-ABL
 teŋ **böl-üp tur-up** balbilda-p küy-üp jat-kan
 均等 破る-CVB tur-CVB 赤々と 燃える-CVB jat-PART
 peč-ti közdöy irgüt-ti-m. (Astra gülü)
 ペチカ-DAT 向かって 捨てる-PST1-1SG
 「そして、(私は) サパルの手紙を真ん中から半分に破ってから、赤々と燃えていたペチカに向かって捨てた。」

- (501) ...ayal-din jaman joruk-jos-u-nu bil-in-ip kal-sa,
 女性-GEN 悪い 態度-3:POSS-ACC 知る-PASS-CVB 残る-COND
čač-i-n kirk-üp tur-up, baytal bēč-ge miŋ-giz-ip,
 髪の毛-3:POSS-ACC 切る-CVB tur-CVB 若い 馬-DAT 乗る-CAUS-CVB
 törkün-ü-nö attan-dir-ip jiber-iš-ken. (Akilmandin k.t.)
 実家-3:POSS-DAT 出発する-CAUS-CVB 送る-RECIP-PST2
 「...女性の悪い行動がばれてしまったら、(その女性は) 髪の毛を切ってから、馬に乗せて、実家に帰らせるのだった。」

なお、上の用例の場合に現れる V-(i)p turup を V-(i)p turat に置き換えてみようとすると、意味が通じなくなるか、或いは、全く違う文法的な意味になってしまう。

- (a) Cellofan paket-ti jittuu zat-tar menen **nimda-p tur-a-t.**
 セロハン 袋-ACC 匂い 物質-PL と 濡らす-CVB tur-PRES-3
 「セロハン袋を匂いのある物質で濡らすようにする (定期的に濡らしている)。」
- (b) ...kat-i-n bol-so orto-su-nan teŋ **böl-üp tur-a-t.**
 手紙-3:POSS-ACC なる-COND 真ん中-3:POSS-ABL 均等 破る-CVB tur-PRES-3
 「...手紙を真ん中から半分に破る (?破っている)。」
- (c) ...ayal-din..., **čač-i-n kirk-üp tur-a-t.**
 女性-GEN 髪の毛-3:POSS-ACC 切る-CVB tur-PRES-3
 「女性の...髪の毛を切るようにする (定期的に髪の毛を切っている)。」

まず、(a)はキルギス語の文としては自然な文ではあるが、文法的な意味が V-(i)p turup の場合とは異なる。V-(i)p turat の場合は、「濡らす」という行為を一度だけではなく、定期的に行うことを表わす。つまり、ここでは、主体の〈動作のくりかえし〉の意味が現れる。

次の(b)は、日本語訳をみるだけでは、自然な文にみえるが、キルギス語の文としては不自然になり、意味が通じなくなってしまう。

最後の(c)の場合、上の「濡らす」の用例と同様で、主体の〈動作のくりかえし〉の意味が現れる。

このように、補助動詞のあとに接続する形によって、文法的な意味が移行してしまうことがある。

また、V-(i)p turup の場合、次のように、前件に「動作動詞」がくることは多いが、その中でも、特に思考活動や視覚聴覚活動を表わす動詞がくることが特徴的である。この場合、前件の動作が終わってから、後件の動作が行われることを表わす。なお、後件の述語には【PRES ; PST1、PST2、PST3、PST4】の形をとることができる。

- (502) Birdeme-ni **tüşün-üp** **tur-up** süylö-nüz! (Atanin tagdiri)
 なにか-ACC わかる-CVB tur-CVB 話す-2:IMP
 「(あなたは) 何かを分かってから、話してください！」
- (503) Baktigül-dü **tikte-p** **tur-up** bışkır-ıp jiber-di. (Aksıdagı...)
 PSN-ACC 見つめる-CVB tur-CVB 嘔き出す-CVB しまう-PST1
 「(彼は) バクティグルを見つめてから、嘔き出してしまった。」
- (504) Anın maga kıl-gan mamile-si-n **kör-üp** **tur-up**
 彼:GEN 私:DAT する-PART 態度-3:POSS-ACC 見る-CVB tur-CVB
 tereñ oy-go ket-e-m. (Astra gülü)
 深い 考え-DAT 行く-PRES-1SG
 「彼の私に対する態度を見ていて (見てから)、(私は) 深い考えに落ちる。」
- (505) **Kör-üp** **tur-up**, kör-mök-sön; **bil-ıp** **tur-up** bil-mek-sen,
 見る-CVB tur-CVB 見る-VN-san 知る-CVB tur-CVB 知る-VN-san
ug-up **tur-up** uk-mak-san bol-gon... (Akımandın k.t.)
 聞く-CVB tur-CVB 聞く-VN-san なる-PST2
 「(彼は) 見てから見ぬふり、知ってから知らないふり、聞いてから聞かないふりして
 いた...」

そして、*karatip turup kalp ayt* という決まった表現が出てきた。これは、日本語の「真っ赤なウソ」という言い方に近い。

- (506) **Jeņe-m-din** **kara-t-ïp** **tur-up** *kalp ayt-kan-ï-na*
 義姉-1SG:POSS-GEN 見る-CAUS-CVB tur-CVB 嘘 言う-PART-3:POSS-DAT
ayran-taņ kal-dï-m. (Astra gülü)
 びっくり 残る-PST1-1SG
 「(私は) 義姉が真っ赤なウソをついていることにあきれた。」

同主語 (物主語)

V-(i)p turup の場合、「物主語」の文が現れ、次のように「変化動詞」が使われている。この場合、前件の主体変化動詞による〈**変化の結果の状態**〉を表わし、それによって後件の事柄が起こることを表わしている。

- (507) Robot-tor öl-üp bar-at-kan-da, Borborduk Baylanış
 ロボット-PL 死ぬ-CVB 行く-jat-PART-LOC 中央 連絡
 tüyün-ü-nün **korrekciyalik lampočka-lar-ï** čičala-day
 通信-3:POSS-GEN 修正 ランプ-PL-3:POSS 木片-MOD
kizar-ïp **tur-up** öç-üp kal-ču... (Robottun tuulgan künü)
 赤くなる-CVB tur-CVB 消える-CVB 残る-PST4
 「ロボットが死にそうになっていた時、中央連絡通信の修正ランプが木片が燃えるように真っ赤になってから、消えてしまったことがあった。」

V-(i)p turup の場合、日本語に「～してから、～」のように訳される。つまり、V-(i)p turup 形の場合、前件の動作が終わってから、後件の動作が行われることを表わすのが特徴的であるといえる。そして、上のように「変化動詞」、「動作動詞」が使われるが、主動詞の意味的なタイプに偏りがみられる。なお、今回のデータからは、V-(i)p turup の場合、移動動詞や感情動詞といったような動詞の種類はほとんど出てこなかった。

13.3. V-(i)p oturup の場合

V-(i)p oturup の場合、上でみてきた2つの補助動詞とは異なり、主語は同主語も、異主語も現れた。また、「人」のみではなく、「物・事」もとることができる。以下、まず同主語の場合をみていく。

同主語 (人主語)

前件と後件の主語は同一であり、なお且つ「人」である。前件は、〈動作の持続〉の意味を表わしているといえる。前件の主動詞に基本的に「動作動詞」がくることが多い。これらの場合、前件の事柄の結果が後件で述べられている。また、後件の述語には【PRES ; PST1】という形態論的な特徴をとる。

まず、主体の動作を表わす動詞が来ることが多い。

- (508) ...īs-īp terde-gen-de **čeč-in-ip** **otur-up**
 暑くなる-CVB 汗をかく-PART-LOC 脱ぐ-REFL-CVB otur-CVB
 bel-ibiz-den öydö dirday jılanač kal-dī-k. (Turm. jaralg.č.)
 腰-1PL:POSS-ABL 上 真 裸 残る-PST1-1PL
 「... (私達は) 暑くなって、汗をかいた時に、(服を) **脱いでいて**、上半身は裸になっ
 てしまった。」

- (509) **Kepler** zakon-dor-u-n **analizde-p** **oltur-up,**
 ケプラー 法則-PL-3:POSS-ACC 分析する-CVB otur-CVB
 бүtkül düynö-lük tart-il-uu zakon-u-n tüz-dü. (Astronomiya)
 全 世界-NMLZ 引く-PASS-VN 法則-3:POSS-ACC 作る-PST1
 「ケプラーの法則を**分析し続けて**、万有引力の法則を編み出した。」

- (510) Oylo-p, **oylo-p** **otur-up,** akiri okuuču baldar,
 考える-CVB 考える-CVB otur-CVB ようやく 生徒 子供達
 siler-den jardam sura-yli de-di-k...(Ėrte kelgen turnalar)
 君ら-ABL 援助 尋ねる-1PL:VOL 言う-PST1-1PL
 「(私達は) 考え、**考え続けて**、ようやく生徒である子供達、君らに援助を求めようと
 決めたんだ。」

- (511) **Bala** **iyla-p** **otur-up** al-i ket-e-t. (Üç ölçüm1)
 少年 泣く-CVB otur-CVB 力-3:POSS 行く-PRES-3
 「少年は泣き続けて、力がなくなる。」

次に、主体の移動の様態を表わす動詞のタイプがみられる。

- (512) **Urkuuya** **əl** **arala-p** **bas-ip** **otur-up**
 PSN 民 回る-CVB 歩く-CVB otur-CVB
 Baybolot-tun jan-ı-na **jet-ti.** (Tarix eşteligi)
 PSN-GEN 隣-3:POSS-DAT たどり着く-PST1
 「ウルクヤは、人々を回り続けていて (かいくぐっていて)、バイボロトの隣にたどり着いた。」

- (513) **Kuday aman koy-so,** **jür-üp** **otur-up**
 神様 元気 置く-COND 行く-CVB otur-CVB
tëh **Bişkek de-gen** **jer-ge** **bar-a-biz.** (Telegey)
 あの PLN 言う-PART 場所-DAT 行く-PRES-1PL
 「神様が元気をくれれば、歩きつづけて、あのビシケクという場所に行きます。」

- (514) **Tün-ü** **menen jetele-p** **otur-up,** **ayıl-ga** al-ip kel-e-t. (Kaada-salt...)
 夜-3:POSS と 連れる otur-CVB 村-DAT 取る-CVB 来る-PRES-3
 「夜中、引っ張っていて、村に連れてくる。」

- (515) **Uşint-ip** **oltur-up** **üy-gö** **çukul kel-ip** **kal-dı-k.** (Astra gülü)
 こうする-CVB otur-CVB 家-DAT 近い 来る-CVB 残る-PST1-1PL
 「このようにしていて、家に近くまで来てしまった。」

同主語 (物主語)

同主語であり、さらに「物」をとる場合、前件の主動詞には漸進的な変化を表わす動詞がくるのが特徴的である。この場合は、物事の〈変化の進展〉を表わす。そして、後件の述語の形についていえば、このような場合、ある物事の特徴を述べているため、述語の形は【PRES】でしか表わせないと考えられる。

- (516) **Suu-nu** **ot-ko** **koy-so** **ıs-ip** **otur-up**
 水-ACC 火-DAT 置く-COND 熱くなる-CVB otur-CVB

kayna-p.....çig-a-t. (Meken taanuu)

湧く-CVB 出る-PRES-3

「お湯を火にかけたら、温かくなって行って、沸騰する。」

(517) Termel-üü bol-up jat-kan çöyrö-dö dayıma bol-gon-duk-tan

振動する-VN なる-CVB jat-PART 地域-LOC いつも なる-PART-duk-ABL

al akırındık menen **basan-da-p** **otur-up** öç-ö-t. (Fizika)

それ 少しずつ 和らぐ-CVB otur-CVB 消える-PRES-3

「振動が起こっている地域ではいつもそうなので、少しずつ和らいで行って、消える。」

(518) Misali, deñiz organizm-der-i-nin skelet-ter-i jana

例えば 海 生物-PL-3:POSS-GEN 骨格-PL-3:POSS-GEN そして

dene-si-nin tişki katmar-lar-i deñiz tüb-ü-nö **toptol-up** **otur-up**,

体-3:POSS-GEN 外 層-PL-3:POSS 海 底-3:POSS-DAT 溜まる-CVB otur-CVB

deñiz bet-i-ne kötörül-üp.....çig-a-t. (Fizikalik geografiya)

海 面-3:POSS-DAT 上がる-CVB 出る-PRES-3

「たとえば、海の生物の骨格や体の外側の層（殻）が海底につもって行って、海面に上がってくる。」

同主語（事主語）

同主語であり、さらに「事主語」をとる場合、前件は主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わしている。後件の述語の形には【PST2】をとる。

(519) Mınyay birgeleştik miñ-degen jıl-dar boyu bir bir-i-ne

こんな 協力 千-序数 年-PL ずっと お互い-3:POSS-DAT

iñgaylaş-ıp **jür-üp** **otur-up** kalıptan-gan. (Biologiya)

融合する-CVB jür-CVB otur-CVB 成立する-PST2

「このような協力は千年前からお互いに融合しつづけて成立したのだ。」

異主語

異主語の文は極めて少なく、V-(i)p oturup の場合のみ現れた。次の文では、前件は動作を表わしているが、後件は変化の結果の状態に注目している。

(520) Dabiş ulam **jakında-p** **otur-up**,

声 徐々に 近づく-CVB otur-CVB

akırında bosogo-do **ata-sı** **körün-dü.** (Dubal)

ようやく 玄関-LOC 父-3:POSS 見える-PST1

「声が徐々に近づいていて、ようやく玄関にお父さんが見えた。」

- (521) Söz-dön **söz** **çığ-ıp** **otur-up,** sura-gan-ı-nan ayıl-da
 単語-ABL 単語 出る-CVB otur-CVB 尋ねる-PART-3:POSS-ABL 田舎-LOC
 süylöş-üp jür-gön kız-ı bar de-p **joop ber-ge-min.** (Astra gülü)
 付き合う-CVB jür-PART 女-3:POSS ある 言う-CVB 返事 与える-PST2-1SG
 「雑談の中から話が出ていて、尋ねた後に「田舎に付き合っている女がいる」と（私は）返事をしたんだ。」

また、次の文では前件は自然現象の〈うごきの持続〉を表わしている。後件は、動物の動作を描写している。

- (522) Ğrte-den beri **jamgır** **jaa-p** **otur-up**
 先-ABL から 雨 降る-CVB otur-CVB
 balçık bol-up kal-gan jer-den **at**
 泥 なる-CVB 残る-PART 地-ABL 馬
 ulam **taygalan-ıp bar-ıp tur-up jat-tı.** (TagdİR)
 何度 滑る-CVB 行く-CVB 立つ-CVB jat-PST1
 「さっきから雨が降り続けて、泥になってしまった場所から（馬は）何度も滑りつつ立ち上がろうとしていた。」

この文の場合の V-(i)p oturup を V-(i)p oturat に置き換えると意味が通じなくなってしまう（前にあげている用例の場合は、このような変化はみられない）。つまり、ここでは、V-(i)p oturup という形だからこそ、自然現象の〈うごきの持続〉という文法的な意味が現れる。たとえば、次の例文をみてみよう。

- (a) Ğrteden beri jamgır **jaap oturat.** ×
 (b) Ğrteden beri jamgır **jaap jatat.** ○
 (c) Ğrteden beri jamgır **jaap turat.** ○
 (d) Ğrteden beri jamgır **jaap jüröt.** ×

「さっきから雨が降っている（降り続けている）。」

このように「さっきから雨が降っている（降り続けている）。」というふうに自然現象の〈うごきの持続〉の意味を表わすためには、jat-と tur-が使われる。otur-の場合は、上の用例

に出てきたように V-(i)p oturup の形の場合のみ、**自然現象の〈うごきの持続〉**の意味がうまれる。jür-は、そもそも《自然現象の動きを表わす動詞》のタイプとは共起しないので、意味が不自然になってしまう。

V-(i)p oturup の場合、「動作動詞」も多いが、主体の移動の様態を表わす動詞や漸進的な動作を表わす動詞が出てくるのが特徴的である。

13.4. V-(i)p jürüp の場合

同主語 (人主語)

V-(i)p jürüp の場合、主語は同主語であり、ほとんど「人」や「動物」である。今回、次のようなタイプが出てきた。

V-(i)p jürüp の場合、基本的に「動作動詞」がくることが多い。特に、oyno-「遊ぶ(動いて遊ぶ場合)」、arala-「回る」、uç-「飛ぶ」などのように主体の移動を表わすような動詞がくることが特徴的である。なお、後件の述語には【PRES ; PST1】の形をとる。

- (523) **Biz** bak arala-p oyno-p jür-üp,
 私達 木 回る-CVB 遊ぶ-CVB jür-CVB
 ar türkün uya-lar-dī kör-ö-büz. (Meken taanuu)
 様々な 巣-PL-ACC 見る-PRES-1PL
 「私たちは森を回って遊んでいて、様々な巣をみます。」
- (524) ...**uul-u** Nurzat seyilde-p jür-üp
 息子-3:POSS PSN 散歩する-CVB jür-CVB
 Perizat-tin ak saray-i-na tuş bol-o-t. (Turmuştan jaralgan çoku)
 PSN-ABL 白い 豪邸-3:POSS-DAT 遭遇する-PRES-3
 「...息子のヌルザトは散歩していて、ペリザトの白い豪邸に遭遇する。」
- (525) Şaştisī ket-ken **Sidik** tün iç-i-nde ayıl-dī arala-p jür-üp,
 急ぐ 行く-PART PSN 夜 中-3:POSS-LOC 村-ACC 回る-CVB jür-CVB
 ẽptep bir at taa-p, Anarkül-dün arka-sī-nan jönö-dü. (Tagdır)
 なんとか 一 馬 見つける-CVB PSN-GEN 後-3:POSS-ABL 出る-PST1
 「急いでいたスデクは夜中に村を回っていて、なんとかして一頭の馬を見つけ、アナ
 ルクルの後ろから追いかけていた。」
- (526) **Aarılar, çimin-çirkey-ler** azık-ti izde-p,
 蜂-PL 蠅 蚊-PL 食べ物-ACC 探す-CVB
 güldö-p jat-kan ösümdük-tör-dü arala-p uç-up jür-üp,
 咲く-CVB jat-PART 植物-PL-ACC 回る-CVB 飛ぶ-CVB jür-CVB
 alar-din gül-dör-ü-n çandaştır-a-t. (Biologiya)
 彼ら-GEN 花-PL-3:POSS-ACC 受粉する-PRES-3
 「蜂や蠅や蚊などが食べ物を探し、咲いている植物を回って飛んでいてそれらの花を

受粉させる。」

このように、V-(i)p jürüp の場合、前件の事柄によって、後件の事柄が発生するのである。ここでの後件の事柄は主体の無意志的な動作によるものが多い。たとえば、上の例でいえば、「巣が見える」、「遭遇する」、「見つける」、「受粉する」のいずれも無意志動詞である。

また、V-(i)p jürüp の場合、次のように長期的な動作の中で発生する後件の事柄を表わす用例が多くみられる。この場合、後件の述語の形には【PRES ; PST1】をとる。

- (527) **Men** Bakit-tin imarat-i-nda **jaša-p jür-üp** da Bakit-ti
私 PSN-GEN 建物-3:POSS-LOC 住む-CVB jür-CVB EMPH PSN-ACC
jakin-dan kör-bö-gön-üm-ö **ökün-dü-m.** (Selsayak)
近く-ABL 見る-NEG-PART-1SG:POSS-DAT 悔しむ-PST1-1SG
「私はバクトの建物に住んでいても、バクトを近くから見なかったことを悔やんだ。」

- (528) Urmat-tuu doktor, **biz** kičine-biz-den beri biri—bir-ibiz-di
尊敬する-VN 医者 私達 小さい時-1PL:POSS-ABL から お互い-1PL:POSS-ACC
jaktir-ip jür-üp üylön-dü-k.....**ële.** (Küyümdüü jurök)
好む-CVB jür-CVB 結婚する-PST1-1PL COP
「尊敬するお医者さん、私たちは小さい時からお互いを好きになって行って、結婚したんだ。」

- (529) Balkim, ušint-ip **ıyla-p jür-üp öl-üp**.....**ket-er-biz.** (Kanibek)
たぶん こうして 泣く-CVB jür-CVB 死ぬ-CVB 行く-AOR-1PL
「たぶん、このように泣きつづけながら、死んでいくかもしれません。」

上の用例の場合の *ıyla-*「泣く」は「泣いて暮らす」、「苦しんで生きる」などのような長期的な動作を意味する。

なお、V-(i)p jürüp の場合、これまでみてきた補助動詞と異なって、「内的感情動詞」の感情動詞が現れる用例が多かった。今回の用例では、いずれも後件の述語の形は【PST1、PST2、PST3、PST4】をとる。

- (530) **Sanaarka-p jür-üp jüdö-p**.....**ket-ti-m.** (Astra gülü)
寂しくなる-CVB jür-CVB だらしなくなる-CVB 行く-PST1-1SG
「寂しくなっていて、だらしなくなってしまった。」

- (531) Uul-u Begimbay ata-si-nin jol-u-n karma-y
 息子-3:POSS PSN 父-3:POSS-GEN 道-3:POSS-ACC 持つ-CVB
 al-ba-y **kıynal-ıp jür-üp** öl-dü. (Kaada-salt...)
 取る-NEG-CVB 苦しむ-CVB jür-CVB 死ぬ-PST1
 「息子のビギムバイはお父さんの後を継げなくて、**苦しみ続けて**死んだ。」

- (532) Ata-m menen ene-m kınj ət-ken bala-nin üy-ü-nö
 父-1SG:POSS と 母-1SG:POSS 声をする-PART 子-GEN 家-3:POSS-DAT
zar bol-up jür-üp, meni kör-üş-üptür. (Astra gülü)
 熱望する-CVB jür-CVB 私:ACC 見る-RECIP-PST3
 「父と母は子供のいる家庭を**願って**いて、私を授かったそうだ。」

V-(i)p jürüp の場合、基本的に「動作動詞」は多かったが、「変化動詞」や「状態動詞」は殆ど出てこなかった。

13.5. まとめ

本章では、本研究で扱っている補助動詞 *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*のうちの特定の形式である *V-(i)p jatip*、*V-(i)p turup*、*V-(i)p oturup*、*V-(i)p jürüp* の形 ([*V-(i)p AUXV-(i)p*]) に限って考察した。その際、主語、前件の述語の主動詞、後件の述語の形に注目した。その結果、各補助動詞に特有の特徴がみられた。以下、簡単に表にまとめておく。

表 22 [V-(i)p AUXV-(i)p] 形のまとめ

	<i>jat-</i>	<i>tur-</i>	<i>otur-</i>	<i>jür-</i>	
主語	同主語 (人主語)				
		同主語 (物主語)	同主語 (物主語)		
					同主語 (事主語)
					異主語
前件の述語 の主動詞	「動作動詞」				
		《《思考活動や視覚聴覚活動を表わす動詞》》 ⁴⁹	《《主体の移動の様態を表わす動詞》》		
	「内的感情動詞」	「変化動詞」	「変化動詞」 (《漸進的な変化を表わす動詞》)	「内的感情動詞」	
後件の述語 の形	PRES				
	PST1、PST2、PST3、PST4		PST1	PST1、PST2、PST3、PST4	

この表から分かるとおり、同主語はすべての補助動詞の場合にでてくるが、異主語は *otur-* の場合のみである。次に、動詞の種類についていえば、「動作動詞」はすべての形の場合に現れるが、「変化動詞」は *V-(i)p turup* と *V-(i)p oturup* の場合にしか現れない。また、「内的感情動詞」は *V-(i)p jatip* と *V-(i)p jürüp* の場合に現れる。一方、「状態動詞」は全く出てこない。

また、後件の述語の形についてみてきたが、*V-(i)p jatip*、*V-(i)p turup*、*V-(i)p jürüp* の場合、【PRES ; PST1、PST2、PST3、PST4】の形で現れ、今回のデータからは、特に目立った特徴はみられなかった。但し、*V-(i)p oturup* 形式にみられる《漸進的な変化を表わす動詞》のタイプの場合、【PRES】という形でしか現れないのが特徴的である。

なお、*V-(i)p turup* と *V-(i)p oturup* の場合、[*V-(i)p AUXV-(i)p*] 形だからこそ現れる文法的な意味について述べた。

⁴⁹ () 内は、特に多く出現している動詞のタイプである。

第 14 章 主動詞が否定接尾辞を含む場合

本章では、主動詞が否定接尾辞を含む〔V-NEG-CVB AUXV〕の形について述べる。

本研究は、各補助動詞を肯定文、否定文と分けずに用例を集めており、否定接尾辞が含まれる用例は圧倒的に少なかった。今回は、現時点で収集している少ない用例をもとに考えることにする。しかし、今後、用例を増やし、再考察する必要がある。

本論文で収集した用例の中に出てきた〔V-NEG-CVB AUXV〕形は次のとおりである。

表 23 〔V-NEG-CVB AUXV〕形の用例数

〔V-NEG-CVB AUXV〕	用例数	
	異なり語数	延べ語数
V-NEG-CVB jat-	24	40 例
V-NEG-CVB tur-	51	83 例
V-NEG-CVB otur-	6	8 例
V-NEG-CVB jür-	40	64 例
合計	121	195 例

以下、〔V-NEG-CVB AUXV〕という形で現れる文について考える。その際、本研究で扱っている補助動詞 jat-、tur-、otur-、jür-は、どのような文法的な意味を表わすのかについて考える。そして、各形式によって、主動詞のタイプに偏りがみられる。ここでは、〔V-NEG-CVB AUXV〕形の V に現れる動詞には具体的にどのようなタイプのものが現れるのかを確認する。

14.1. jat-の場合

まず、jat-が V-NEG-CVB jat-形式で現れる場合、人主語に限らず、物・事主語の例文がみられる。人主語の場合、「動作動詞」が使われ、主体のある時点における〈動作の非遂行の持続〉の意味を表わす。

人主語

- (533) Men seni **tüšün-ö** **al-ba-y** **jat-a-m.** (Ėne mēerimi)
私 君:ACC 理解する-CVB 取る-NEG-CVB jat-PRES-1SG
「私は君を**理解**できないでいる。」
- (534) Kat **jaz-ba-y** **jat-kan-dar-ï-nïn** **sebeb-i**
手紙 書く-NEG-CVB jat-PART-PL-3:POSS-GEN 理由-3:POSS
da ošol bol-so kerek. (Astra gülü)
EMPH それ なる-COND 必要
「(彼らは) 手紙を**書いていない**かった理由はそれだったかもしれない。」
- (535) Juma Kanıbek-ti küt-üp **ukta-ba-y** **jat-a-t.** (Kanıbek)
PSN PSN-ACC 待つ-CVB 寝る-NEG-CVB jat-PRES-3
「ジュマはカヌベクを待って**寝ない**でいる。」
- (536) Svet-ke jeti miñ som-don **čogult-up** **jat-a-biz,**
電気-DAT 七 千 ソム-ABL 集める-CVB jat-PRES-1PL
bir-i ber-e-t, bir-i ber-be-y-t,
一-3:POSS 与える-PRES-3 一-3:POSS 与える-NEG-PRES-3
akča da oñoy menen **čogul-ba-y** **jat-a-t.** (Šookum)
金 EMPH 簡単 と 集まる-NEG-CVB jat-PRES-3
「電気代を7千ずつ**集めて**いる。ある人がくれる、ある人がくれない。お金が簡単に**集まらない**でいる。」

以下の物・事主語の場合、主体の〈**変化の結果の状態**〉の意味を表わす。

物主語

- (537) Kara-či but-u-nan kan **tokto-bo-y** **jat-a-t.** (Kanıbek)
見る-REQ 足-3:POSS-ABL 血 止まる-NEG-CVB jat-PRES-3
「見てください。足から血が**止まらなくな**っている。」

事主語

- (538) ...arxiv material-ï katarï tuura
アーカイブ 資料-3:POSS として ちょうど
84 jil boyu **ač-ïl-ba-y** **jat-tï.** (Ėrkin Too)
84 年 ずっと 開く-PASS-NEG-CVB jat-PST1

「...アーカイブ資料としてちょうど84年間も開かれないでいた。」

- (539) Biz-ge ansız dele jaš kadr-lar **jetiš-pe-y** **jat-kan.** (Čalgınçılar)
 私達-DAT それ以外 EMPH 若い 人事-PL 足りる-NEG-CVB jat-PST2
 「私達にはそれ以外にも若い人事が足りていなかった。」

以上のように、**jat**-の場合、「動作動詞」も、「変化動詞」も用いられることが分かる。そして、人主語に限らず、物・事主語の場合にも使われる。

今回の調査で得られた動詞のうち、V-NEG-CVB **jat**-形式の場合に現れた動詞には次のようなものがある。

<p>・ al- 「可能動詞」⁵⁰、ište- 「働く」、jaz- 「書く」、bar- 「行く」、jet- 「追いつく」、jet- 「届く」、kir- 「入る」、kolgo al- 「管理する」、tün- 「休む」、tokto- 「止まる」、ėske tüš- 「思い出す」、könül böl- 「注目する」</p> <p>・ ačil- 「開く」、beril- 「与えられる」、bol- 「なる」、ber- 「与える」、jetiš- 「足りる」、čečil- 「決まる」、čik- 「出る (出現)」、čogul- 「集まる」、küyüş- 「合致する」、tartıl- 「引かれる」、tol- 「あふれる」、ukta- 「眠る」</p>
--

14.2. tur-の場合

次に、**tur**-が V-NEG-CVB **tur**-形式で現れる場合であるが次のようなものが出てきた。この場合も、人主語に限らず、物・事主語の例文がみられる。

人主語

- (540) Ėmne bol-gon-u-n **kör-bö-y** **tur-a-süz-bi!** –
 何 なる-VN-3:POSS-ACC 見る-NEG-CVB tur-PRES-2SG-Q
 de-p Nazira öl-üp **jat-kan** **soldat-tar-dī** **körsöt-tü.** (Čalgınçılar)
 言う-CVB PSN 死ぬ-CVB jat-PART 軍人-PL-ACC 見せる-PST1
 「何が起こったか見ていないの！とナジラが死んでいる軍人たちを指した。」
- (541) Ėmne de-p ayt-ar-īm-dī **da** **bil-be-y** **tur-a-m.** (Astra gülü)
 何 言う-CVB 言う-AOR-1SG-ACC EMPH 知る-NEG-CVB tur-PRES-1SG
 「何といえればいいのか、分からないでいる。」

⁵⁰ 動詞 **al-**は、「可能」の意味で使われる場合、「可能動詞」として示しておく。

- (542) Uşu tap-ta kombinat öz jumuşçu-lar-ı-na ėmgek
 この 時期-LOC 会社 自分 社員-PL-3:POSS-DAT 労働
 akı-lar-ı-n jana ėlektř ėnergiya üçün akça-sı-n
 賃金-PL-3:POSS-ACC と 電気 エネルギー 為 金-3:POSS-ACC
tölö-y al-ba-y tur-a-t. (Ėrkin Too・№68)
 払う-CVB 取る-NEG-CVB tur-PRES-3
 「この時期、会社は自分の社員たちに労働賃金や電気の為にお金を払えないでいる。」

人主語の場合、「動作動詞」が使われ、主体の〈動作の非遂行の持続〉の意味を表わす。

物主語

- (543) Sırt kiyim-der ilgiç-ke il-in-e-t,
 外 服-PL ハンガー-DAT かける-PASS-PRES-3
 je **bas-pa-y tur-gan** orun-ga koy-ul-a-t. (Kaada-salt...)
 或いは 踏む-NEG-CVB tur-PART 席-DAT 置く-PASS-PRES-3
 「外服はハンガーにかけられる。或いは、踏んでいない場所に置かれる。」
- (544) Ėger çin-ı menen mümkünçülüg-üñüz **bol-bo-y tur-sa,**
 もし 本当-3:POSS と 都合-2SG:POSS なる-NEG-CVB tur-COND
 anda öz-üñüz bil-iñiz. (Ėkinçi ömür)
 そしたら 自分-2SG:POSS 知る-2SG:IMP
 「もし本当に都合がつかなければ、そしたら、ご自分で決めてください。」
- (545) Kara, kulag-ım-dın düngürö-gön-ü ali
 見る 耳-1SG:POSS-GEN 鳴る-PART-3:POSS まだ
basıl-ba-y tur-gan-ı-n. (Ėne męërimi)
 治まる-NEG-CVB tur-VN-3:POSS-ACC
 「見て、耳鳴りがまだ治まっていないことを (見てください)。」

上の物主語の場合、動作が終わった後、その主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

なお、V-NEG-CVB tur-形式の場合、次のように中止の形で現れる文がみられる。

まず、turが V-(ı)p turup という形で現れる場合、前件の動作が終わってから、後件の動作が行われることを表わす(詳細は、第13章を参照)。たとえば、肯定文の場合、次のような文である。

(546) Birdeme-ni **tüşün-üp** **tur-up** süylö-ñüz! (Atanin tagdiri)

なにか-ACC わかる-CVB tur-CVB 話す-2:IMP

「(あなたは) 何かを**分かってから**、話してください！」

今回の言語資料から、否定文の場合 tur-が V-(i)p turup の形で現れることが明らかになった。たとえば、次のようなものである。

(547) Ėč nerse **oylon-bo-y** **tur-up** makul de-di-m. (Selsayak)

なにも 考える-NEG-CVB tur-CVB 承諾 言う-PST1-1SG

「なにも**考えないで**承諾した。」

この文では、「なにも考えることなく、すぐに承諾した」という意味を表わす。前件の動作は行われなくて、後件の動作が行われることを表わす。

この他に、次のような用例もみられる。前件は、〈不満〉の意味を表わす。後件の場合の jür-は〈動作の非遂行の持続〉を表わすといえる。

(548) Čin—bišig-i-n **bil-be-y** **tur-up**

本当-3:POSS-ACC 知る-NEG tur-CVB

ayt-pa-y **jür-čü,** ay kiz. (Aksidagi...)

言う-NEG-CVB jür-PST4 INTJ 女

「本当かどうか**知らないのに**、**言わないで**いてよ、君！」

今回の調査で得られた動詞のうち、V-NEG-CVB tur-形式の場合に現れた動詞には次のようなものがある。

<p>・ al- 「可能動詞」、aya- 「惜しむ、気の毒に思う」、ayt- 「言う」、bas- 「歩く」、bat- 「入る」、bayka- 「観察する」、bilgiz- 「知らせる」、buz- 「壊す」、bil- 「知る」、kör- 「見る」、bilk et- 「動く」、išen- 「信じる」、kel- 「来る」、oylon- 「考える」、unčuk- 「話し出す」、čida- 「我慢する」、jil- 「動く」、juul- 「洗う」、ket- 「行く」、ketir- 「行かす」、kiyligiš- 「中入りする」、kiymilda- 「動く」、kögört- 「上がる」、kork- 「怖がる」、koy- 「やめる」、kozgo- 「取り上げる」、kurgat- 「乾かす」、makuldaš- 「許可する」、orunda- 「実現する」、öt- 「通る、過ぎる」、öt- 「(授業を) 行う」、oygon- 「起きる」、sura- 「尋ねる」、taanī- 「分かる」、tünči- 「落ち着く」、toopto- 「聞かない」、tüš- 「落ちる」、tüšün- 「分かる」、uk- 「聞く」</p> <p>・ alin- 「雇われる」、almaštir- 「変える」、aniktal- 「確認される」、atkar- 「果たす」、aytil- 「言われる」、basil- 「収まる」、burul- 「曲がる」、čik- 「出る(出現)」、jet- 「足りる」、bol- 「なる」、okšo- 「似る」、</p>
--

14.3. otur-の場合

この節では、otur-が V-NEG-CVB otur-形式で現れる場合の例について考察する。今回は最も用例数は少なく8例しかなかった。いずれも人主語の文である。これらの場合、〈動作の非遂行の持続〉を表わす。

(549) İi, ėmne unċuġuř-pa-y oltur-a-siġar? (Astra ġülü)

INTJ なぜ 話し合う-NEG-CVB otur-PRES-2PL

「それで、なぜ話さないでいる (だまっているの) ?」

(550) Baya-tan beri kőz-üġ-dü biröő-gő

先-ABL から 目-2SG:POSS-ACC 一人-DAT

okřoř-tur-up taanı-y al-ba-y otur-a-m. (Kanıbek)

似る-CAUS-CVB 見分ける-CVB 取る-NEG-CVB otur-PRES-1SG

「先からずっと君の目を誰かと勘違いし、見分けることができないでいる。」

(551) A sen ėmne üċün ket-pe-y otur-a-siġ? (Kanıbek)

そして 君 なぜ 為 帰る-NEG-CVB otur-PRES-2SG

「そして、君はなぜ帰らないでいるの?」

また、otur-の場合、次のように動詞öl-「死ぬ」が使われる次のような用例がみられた。

(552) Oy, it, ėger bu-lar-dın takır ėċteme-si jok bol-so,

ほら 犬 もし これ-PL-GEN 全く 何も-3:POSS 無 なる-COND

kantip aċka-dan öl-bő-y otur-uř-a-t? (Kanıbek)

どうやって 空腹-ABL 死ぬ-NEG-CVB otur-RECIP-PRES-3

「ほら、バカ。もし彼らの全く何も無くても、どうやって空腹から死なないでいるの?」

動詞öl-「死ぬ」は、肯定文の場合、jat-としか現れないことをこれまで(第9章を参照)で述べてきた。たとえば、次のような用例である。

(553) Bekturgan öl-üp jat-kan ayal-ga jet-ip bar-ıp,

PSN 死ぬ-CVB jat-PART 女性-DAT 着く-CVB 行く-CVB

ünül-üp kara-p al-dı da,

確かめる-CVB 見る-CVB 取る-PTS1 EMPH

ějkey-ip kol-u-nan tart-ti. (Jaralangan jürök)

うつむく-CVB 手-3:POSS-ABL 引く-PST1

「ベクテルガンは死んでいる女性に近づいて行って、確かめるように見つめてから、うつむいて手から引っ張った。」

この文では、女性が「死ぬ」途中（或いは「死にかけている」）のではなく、もうすでに「死んだ」後の変化した結果の状態を表わしている。このような主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす場合、jat-補助動詞が使われるのは特徴的であることについて述べた。

しかし、今回の言語資料から、動詞 öl-「死ぬ」は否定文の時に、otur-と共起して現れることが分かった。このことから、次のようなことが考えられる。

まず、補助動詞 jat-と otur-の語彙的な意味に深くかかわっている。jat-は本動詞として「体を横にする」こと、つまり、「横たわる」という意味を表わす。「死ぬ」という動作が〈変化の結果の状態〉の意味を表わす場合、「横になった状態で死ぬこと」を指すので、jat-が使われる。したがって、主体が「死んでいない」状態を表わす場合、jat-は使われなくなる。この場合は、今回のデータから分かるように otur-が使われる。

今回の調査で得られた動詞のうち、V-NEG-CVB otur-形式の場合に現れた動詞には次のようなものがある。

- ・ al-「可能動詞」、unčuk-「話し出す」、ošton-「嫌がらせする、わがままをいう」、tüşün-「分かる」
- ・ ket-「行く」、öl-「死ぬ」

14.4. jür-の場合

この節では、jür-が V-NEG-CVB jür-形式で現れ、補助動詞として用いられている場合の例について考察する。全部で 64 例だったが、ほとんど人主語に限る。この場合も、〈動作の非遂行の持続〉を表わす。

(554) Degi ěmi iyla-ba-y jür-čü? (Ěne měřimi)

一体 今 泣く-NEG-CVB jür-PST4

「もうこれから泣かないでいてよ。」

(555) Al Sapar-dī baya-kī-da kör-gön-dön beri, ošon-don šek sana-p,
 彼 PSN-ACC この前-kī-LOC 見る-PART-ABL から それ-ABL 疑問 抱く-CVB

ačig-ï-n bil-e al-ba-y jür-ö-t. (Astra gülü)

正当-3:POSS-ACC 知る-CVB 取る-NEG-CVB jür-PRES-3

「彼はサパルをこの前見て以来、それから疑問を抱き、本当のことを知る**ことができ**ないでいる。」

(556) Apa, ëč jer-iŋ ooru-ba-y jür-dü-ŋ-bü? (Ėne mëërimi)

母 どこも-2SG:POSS 痛む-NEG-CVB jür-PST1-2SG-Q

「お母さん、どこも**病気にならない**でいたんですか？」

上のように V-NEG-CVB jür-形式の場合、「動作動詞」も、「変化動詞」も用いられることが分かる。

今回の調査で得られた動詞のうち、V-NEG-CVB jür-形式の場合に現れた動詞には次のようなものがある。

・ al- 「可能動詞」、ayt- 「言う」、bayka- 「観察する」、bil- 「知る」、tap- 「見つける」、oltur- 「座る」、sura- 「尋ねる」、ün kat- 「音を立てる」、čak- 「噛む」、ič- 「飲む」、ište- 「働く」、ïyla- 「泣く」、kamïra- 「心配する」、kara- 「見る」、kel- 「来る」、kör- 「見る」、közgö il- 「相手にする」、mint- 「こうする」、öçür- 「消す」、sez- 「感じる」、süylö- 「話す」、tëp- 「蹴る」、tile- 「祈る」、tün- 「休む」、tüš- 「下りる」、unčuk- 「話し出す」、unut- 「忘れる」、üz- 「(連絡が) 切れる」

・ aš- 「超える」、bat- 「いっぱいになる」、bol- 「なる」、tap- 「見つける」、tokto- 「止まる」、bilin- 「知られる」、ilin- 「かかる」、jaři- 「充実する」、kursak ač- 「お腹がすく」、ön- 「増える」、ooru- 「病気になる」、taptür- 「見つかる」、toy- 「満足する」

14.5. まとめ

以上、主動詞が否定接尾辞を含む [V-NEG-CVB AUXV] の形の用例をみてきた。今回は、用例数は少なかったにもかかわらず、各補助動詞形式ごとの特徴を見出すことができた。

まず、主動詞が否定接尾辞を含む場合、すべての補助動詞の場合に、「動作動詞」が現れる。そして、各補助動詞は、主体の〈動作の非遂行の持続〉の意味を表わす。この場合、特に人主語が多い。

次に、「変化動詞」もすべての補助動詞の場合に現れ、主体の〈変化の結果の状態〉を表わす。この場合、物事主語になる。

そして、「状態動詞」、「内的感情動詞」についていえば、今回のデータからは殆ど出ていない。

また、特徴的なのは、いずれの補助動詞の場合も、可能の意味を表わす *al-* は多く出てくることである。この場合、「人が V できないでいる」のようになる。

第15章 補助動詞が否定接尾辞を含む場合

この章では、前章と異なって、主動詞ではなく、補助動詞自体が否定接尾辞を含む場合、[V-CVB AUXV-NEG-]の形をみる。このような場合、各補助動詞がアスペク的な意味ではなく、モーダルな意味を表わす。これは、特に *jür*-の場合によくみられる現象である。

このことについて、Davletov & Kudaybergenov(1980)でも触れており、Татаал этиштин составындагы *жүр* ге кээде тангыч *-ба*, мүчөсү жалганып айтылат да, алдын ала эскертүү мааниси билдирилет: (p.146)「複合動詞の形である *jür*-に *-ba* 否定接尾辞がつくと、前もっての警告・懸念の意味が表わされる。」と述べられている。

以下、まず、*jür*-をみてから、次に他の補助動詞の場合を考えてみる。

今回、収集した言語資料から *jür*-が文末に否定接尾辞がつき、[V-(i)p *jürbö*-] という形式で現れる用例が数多くあった。日本語に訳すと、「～じゃない(か)」に相当する。

(557) *Kečig-ip kal-ïp jür-bö.* (Ėne mēërimi)

遅れる-CVB 残る-CVB *jür*-NEG

「(あなたは)遅れてしまうじゃないか。」

(558) *Aldagī at-tar-ga say-ču špric bol-up jür-bö-sün?* (Čalgīnčilar)

その 馬-PL-DAT 注射する-NMLZ 注射器 なる-CVB *jür*-NEG-3:IMP

「それは、馬に注射する注射器じゃないか。」

(559) *Ėrteŋ keč-i-nde ěköö-büz teŋ*

明日 夕方-3:POSS-LOC 二人-PL:POSS EMPH

büyrö-gö čakır-ïp jür-bö-sün. (Tarix ěsteligi)

受付-DAT 呼ぶ-CVB *jür*-NEG-3:IMP

「明日の夕方、私たち二人を受付に呼ぶんじゃないか。」

また、副詞句との共起にも特徴がある。今回の言語資料からは、[V-(i)p *jürbö*-] は、*Mümkün* 「もしかして」、*Balkim* 「たぶん」、*Kokus* 「もしかしたら」という副詞相当句とセットで現れることが多い。これらは、述語の陳述的な意味を補足するものであると考えられる。

- (560) **Mümkün** kuzötçü **bil-ip jür-bö-sün,**
 もしかして 警備員 知る-CVB jür-NEG-3:IMP
 bar-ıp sura-p kel-eyin-çi. (Ėkinçi ömür)
 行く-CVB 聞く-CVB 来る-1SG:VOL-REQ
 「もしかして、警備員が知っているんじゃないか。行って聞いてみようかな。」

- (561) **Balkim,** oşol meres adam-dar-din
 たぶん その 冷たい 人間-PL-GEN
 bir-i men **bol-up jür-bö-yün.** (Astra gülü)
 一-3:POSS 私 なる-CVB jür-NEG-1SG:VOL
 「たぶん、その冷たい人々の一人は私になっているんじゃないか。」

- (562) **Kokus** jañil-ıp **jat-ıp jür-bö?** (Astra gülü)
 もしかして 間違える-CVB jat-CVB jür-NEG
 「もしかしたら、間違えているんじゃない。」

この jür-の固定化された形式は、先述の先行研究でも言われているように〈懸念や警告〉の意味を表わす。これらの形式を他の補助動詞 jat-, tur-, otur-と置き換えることが不可能である。これは、V-(i)p jür-形式の場合にのみみられる特徴である。

しかし、補助動詞 jat-, tur-, otur-に否定接尾辞がつかないわけではない。まず、jat-の場合、次のような用例がみられる。

- (563) Sen öz-üñ-dü öz-üñ
 君 自分-2SG:POSS-ACC 自分-2SG:POSS
kiyna-p jat-pa-y-siñ-bi, Kişi! (Teñir menen süylöşüü)
 苦しめる-CVB jat-NEG-PRES-2SG-Q 人間
 「君は自分自身を苦しませているんじゃないか、人間よ。」

- (564) Men oşol üçün tolkundan-ıp, **kuban-ıp jat-pa-y-miñ-bi.** (Ėkinçi ömür)
 私 その 為 ワクワクする-CVB 喜ぶ-CVB jat-NEG-PRES-1SG-Q
 「私はそのためワクワクして、喜んでいるんじゃないか。」

また、補助動詞 otur-の場合、次のように使われる。

- (565) Aga kara-gan-da kiz-ım ačik ayt-ıp,
 彼:DAT 見る-PART-LOC 娘-1SG:POSS 正直 言う-CVB
 ak süylö-p otur-ba-y-bi? (Kaada-salt...)
 白 話す-CVB otur-NEG-PRES-Q
 「彼に比べたら、娘は正直に話しているじゃないか？」

- (566) Köñül-ü tınči-ba-y, kečëë mında
 気分-3:POSS 落ち着く-NEG-CVB 昨日 ここ
 kayrıl-ıp kel-e ket-ıp oltur-ba-y-bi. (Ėkinči ömür)
 寄る-CVB 来る-CVB 行く-CVB otur-NEG-PRES-Q
 「落ち着かないで、昨日もここに寄ってきたじゃないか。」

jat-と otur-の場合、V-(i)p jürbö-の場合に現れた〈懸念や警告〉の意味が現れず、単なる動作を強調して表現するに過ぎない。

最後に tur-の場合をみてみると、上で見てきた補助動詞とは異なる特徴をもっている。

- (567) Mına, ooz-u-nan maxorka jıttan-ıp tur-ba-y-bi. (Betme-bet)
 ほら 口-3:POSS-ABL タバコ 臭う-CVB tur-NEG-PRES-Q
 「ほら、口からタバコの臭いがしているじゃないか。」

これまでの補助動詞と異なって、ここで使われている turbaybi は動詞だけではなく、名詞や形容詞などのように他の品詞とも共起でき、自由に使われる。

- (568) Al japon tur-ba-y-bi. (作例)
 彼 日本人 tur-NEG-PRES-Q
 「彼は日本人じゃないか。」

- (569) Erteñ kün suuk tur-ba-y-bi. (作例)
 明日 日 寒い tur-NEG-PRES-Q
 「明日は、寒いんじゃないか。」

また、動詞の場合-(i)p 副動詞形の場合だけではなく、次のように動詞の過去形 (-gan) などにもつくことができる。

- (570) Ox-xoo, doktorlug-u Moskva-dan bek-ip
INTJ 博士-3:POSS PLN-ABL 授与する-CVB
kel-gen tur-ba-y-bi?! (Ėkinči ömür)
来る-PST2 tur-NEG-PRES-Q
「おお！博士をモスクワで授与されてきたじゃないか！」

つまり、*turbaybi* は他の補助動詞よりも自由な組み合わせが可能であり、*tur-*から派生した自由な単語として独立していることがいえる。いわば、語彙化されているものである。

以上、補助動詞自体に否定接尾辞が含まれる場合、[V-CVB AUXV-NEG-] の形について考えてきた。その結果、*jür-*は、[V-(i)p jürbö-] という固定化された形式で現れることがほとんどであり、この場合、先行研究でも指摘されているように〈懸念や警告〉の意味を表わすことを再確認した。他の補助動詞 *jat-*、*tur-*、*otur-* も否定接尾辞が含まれる用例が存在するが、これらの場合、単なる動作を強調する表現であると位置づけた。

第 16 章 主動詞が受身接尾辞を含む場合

本節では、主動詞に現れる場合の用例、つまり、[V-PASS-CVB AUXV] という形で現れる文について考える。その際、本研究で扱っている補助動詞 *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-* は、どのような文法的な意味を表わすのか、そして、[V-PASS-CVB AUXV] 形の V に現れる動詞にはどのようなタイプのものが現れるのかに注目して、考える。なお、考察にはいる前に、まず、現代キルギス語における受身接尾辞の種類とその特徴について述べる。

16.0. 受身接尾辞の種類とその特徴について

大崎 (2006:58-59) は、キルギス語の受身接尾辞の種類とその特徴について詳しく説明しており、以下にそれを引用する。

キルギス語の動詞語幹に接続する受動接尾辞は、多くの種類をもつ使役接尾辞と異なり、その種類は非常に少なく、*-(i)l-* という接尾辞だけである。この接尾辞は、母音調和により *-il*、*-il*、*-ul*、*-ül* という異形態をもつ；

e.g.: *ač-il-* 「開けられる」 < *ač-* 「開ける」
čeč-il- 「解かれる」 < *čeč-* 「解く」
tut-ul- 「つかまれる」 < *tut-* 「つかむ」
kör-ül- 「見られる」 < *kör-* 「見る」, etc.

この接尾辞は、接続する動詞語幹が *l* で終わる場合には異化の作用によって *-(i)n-* になる；

e.g.: *al-in-* 「取られる」 < *al-* 「取る」
bil-in- 「知られる」 < *bil-* 「知る」
böl-ün- 「分けられる」 < *böl-* 「分ける」, etc.

接続する動詞語幹が母音終わりでも、語幹に *l* を含む場合は *-n-* になることが多い；

e.g.: *alda-n-* 「騙される」 < *alda-* 「騙す」
süylö-n- 「述べられる」 < *süylö-* 「述べる」, etc.

接続する動詞語幹に *l* が含まれる場合でも、稀に *-l-* のままのこともある；

e.g.: *baylal-* 「縛りつけられる」 < *bayla-* 「縛りつける」

チュルク語は、受動接尾辞とは別に再帰接尾辞-(i)n-を持つが（たとえば、*ač-il-*「開けられる」-*ač-in-*「開く」<*ač-*「開く、開ける」、など）、受動接尾辞が上記の異化作用によって、-(i)n-になる場合は、動詞受動形と動詞再帰形は同形となり、形態上区別がつかなくなる。

大崎（2006:58-59）

以上、大崎（2006）により、キルギス語の受身接尾辞の種類と特徴について紹介した。今回のデータから、大崎（2006）が示した受身接尾辞が付いた動詞の種類が出ており、これらの動詞を受身動詞と考え、考察対象とした。

但し、以下のような動詞を本章の考察対象から外す。

- ・ 大崎（2006）でも指摘されている再帰接尾辞と同様な接尾辞-(i)n-の場合の動詞（たとえば、*juun-*「(自分を)洗う」、*kiyin-*「(自分で)着る」、など）を再帰的な意味を表わす動詞として扱うので、本章の考察対象にならない。
- ・ -(i)l-接尾辞は、受身以外に他動詞を自動詞に変える働きかけもする。たとえば、*ugul-*「聞こえる」、*čogul-*「集まる」、*özgöri-*「変わる」、*tögül-*「あふれ出る」、などの動詞は「自動詞」として働きをする場合、本章の考察対象から外れる。たとえば、*čogul-*の動詞は自動詞としての用法と受身としての用法の場合がある。後者の場合、本章の考察対象になる。

(a) *Mitiŋ-ge tört jüz-gö jakın adam čogul-du.* (作例)

デモ-DAT 四 百-DAT 近く 人 集まる-PST1

「デモに四百人近くの人が集まった。」

(b) *Küyörman-dar tarab-ı-nan bayge-ge*

ファン-PL 方-3:POSS-ABL 賞品-DAT

ėki jüz miŋ som čogu-l-du. (作例)

二 百 千 ソム 集める-PASS-PST1

「ファンによって賞品に 20 万ソムが集められた。」

上のように同じ動詞であっても、文中での使用によって、動詞の機能が異なる場合もある。後者のものは、本章の考察対象となる。

本論文で収集した用例の中に出てきた受身形は次のとおりである。

表 24 主動詞が受身接尾辞を含む文の用例数

V-PASS-CVB	AUXV	用例数 ⁵¹
V-PASS-(i)p	jat-	53
	tur-	27
	otur-	6
	jür-	15
V-PASS-a/-y	tur-	5
合計		101

今回のデータでは、-(i)p 副動詞接尾辞の用例が圧倒的に多い。そして、いずれの補助動詞の場合にもみられる（ただし、数にはばらつきがある）。一方、-a/-y 副動詞接尾辞の用例は少なく、tur-の場合にのみ現れる。以下、それぞれの特徴をみってみる。

16.1. V-PASS-(i)p jat-の場合

V-(i)p jat-形式の場合に主動詞が受身形で現れる文が最も多く 53 例だった。まず、物・事主語の用例をみる。

V-(i)p jat-形式の場合、いくつかのタイプの受身文が現れた。

まず、ある時点における〈動作の持続〉の意味を表わす受身文である。

(571) Mīna bul **kaz-īl-īp** **jat-kan** menin kör-üm! (Jaralangan jürök)

ほら この 掘る-PASS-CVB jat-PART 私:GEN 墓-1SG:POSS

「ほら、この掘られているのは私の墓だ。」

(572) Tamak jasa-p jat-kan Ayaz reproduktor-don **ber-il-īp** **jat-kan**

料理 作る-CVB jat-PART PSN 拡声器-GEN 与える-PASS-CVB jat-PART

«Kīrgīz val's-ī-na» košul-up ırda-y-t. (Ėkinči ömür)

キルギスワルツ-3:POSS-DAT 加わる-CVB 歌う-PRES-3

「料理を作っているアヤズは拡声器から流されている「キルギスワルツ」に加わって

⁵¹ 否定接尾辞が含まれる動詞を本節では扱っていない。

歌う。」

- (573) Kīrgīzstan-da darīkana-lar-da **sat-īl-īp** **jat-kan**
 PLN-LOC 薬局-PL-LOC 売る-PASS-CVB jat-PART
 darī—darmek-ter-din jarīm-ī Kītay-dan jasa-l-ganī... (Šookum・№7)
 薬 薬-PL-GEN 半分-3:POSS PLN-ABL 作る-PASS-CVB
 「キルギスタンの薬局で**売られている**薬の半分は中国から作られたことが...」

また、人主語の場合の用例も数少ないが、現れた。

- (574) Kūbö-lör **sura-l-īp** **jat-tī**. (Ömür tamiri)
 証人-PL 尋ねる-PASS-CVB jat-PST1
 「証人達は**尋ねられていた**。」

次に、主動詞の種類としては、basīl-「作られる」、tartīl-「撮られる」、kurul-「建てられる」、jasal-「作られる」などのように物の作成を表わす動詞が使われる受身文が目立つ。この場合は、ある物の作成が持続されていることを表わし、**ある時点における〈動作の持続〉**という文法的な意味を表わす。

なお、これらの用例は、**物 《作成動詞》-PASS-(ī)p jat-**という構造になっている。

- (575) Ayak-ta paloo **bas-īl-īp** **jat-a-t**. (Tarix ʔsteligi)
 あそこ-LOC ピラフ 作る-PASS-CVB jat-PRES-3
 「あそこでピラフが**作られている**。」
- (576) ...kīrgīz til-i-nde mul'tfil'm **tart-īl-īp** **jat-a-t**...(Kutbilim・№6)
 キルギス 語-3:POSS-LOC アニメ 撮る-PASS-CVB jat-PRES-3
 「...キルギス語でアニメが**作(撮)られている**。」
- (577) Azīr Kambar—Ata—2 GĔS-i **kur-ul-up** **jat-a-t**. (Kīrgīz Tuusu・№57)
 今 PLN 原発-3:POSS 建てる-PASS-CVB jat-PRES-3
 「現在、カムバル・アタ原発が**建てられている**。」

また、ašīrīl-「実行される」、atkarīl-「果たされる」、ištēl-「検討される」、ōtkōrūl-「行われる」、jürgüzūl-「行われる」、kōrūl-「検討される」、plandaštīrīl-「計画される」、čīgarīl-「出される」、čečil-「決められる」などのようになんらかの物事の実行を表わす動詞が使われることが多い。これらの場合、ある場所において何らかの事柄が実行されることを表わし、**ある時点における〈動作の持続〉**という文法的な意味をもつ。

これらの用例は、事 場所-LOC 《実行動詞》-PASS-(i)p jat-という構造になっている。

- (578) Jer jüz-ü-ndö tamak—aş problema-sī
 世界中-3:POSS-LOC 食事 食 問題-3:POSS
 kantip **čeč-il-ip** **jat-a-t?** (Biologiya)
 どうやって 解く-PASS-CVB jat-PRES-3
 「世界中で食糧問題がどうやって**解決されている**のですか。」

なお、jat-の場合に現れる受身文には、次の用例のように azir「今」、bul jili「今年」、azirki kundö「現在、本日」などの時間を表わす副詞相当句が使われることによって、**現在における〈動作の持続〉**という意味が補強されている。

- (579) Mınday kizmat azir köptögön ölkö-lör-dö
 このような 事業 今 沢山 国-PL-LOC
 iş-ke **aşir-il-ip** **jat-a-t.** (Astronomiya)
 仕事-DAT 実行する-PASS-CVB jat-PRES-3
 「このようなプロジェクト（仕事）は今、多くの国々で仕事として**実行されている**。」

- (580) Anin ayt-kan-i boyunča, bul jil-i respublika-da 871
 彼:GEN 言う-PART-3:POSS よる この 年-3:POSS 共和国-LOC 871
 miñ tonn buuday jıyn-oo **plandaştır-il-ip** **jat-a-t.** (Erkin Too・№69)
 千 トン 麦 収穫する-VN 計画する-PASS-CVB jat-PRES-3
 「彼の話によれば、今年、わが共和国では 871 千トンの麦の収穫が**計画されている**。」

- (581) Azirki kün-dö Oş šaar-dik mēriya-sī tarab-ı-nan
 今-kı 日-LOC PLN 市-の 市役所-3:POSS 方-3:POSS-ABL
 dagı ėmne **iş-ter** **atkar-il-ip** **jat-a-t?** (Erkin Too・№63)
 他に 何 事業-PL 果たす-PASS-CVB jat-PRES-3
 「現在、オシュ市役所によって他にどんな事業が**行われていますか**。」

そして、V-PASS-(i)p jat-形式の場合、何らかの外の行為者の働きかけによってある場所にある物が存在することを表わし、**〈変化の結果の状態〉**という文法的な意味を表わす文が現れた。

これらの用例は、物 場所-LOC 《主体動作客体変化動詞》-PASS-(i)p jat-の構造になっている。

(582) Bir kanča teri jïy-ïl-ïp, jer-de töšö-l-ïp jat-a-t. (Kanïbek)
 いくつか 革 積む-PASS-CVB 地-LOC 敷く-PASS-CVB jat-PRES-3
 「いくつかの革が積まれて、地面に敷かれている。」

(583) Kiyinki jïl-dar-da jol boy-lor-u-nda-gï jana
 最近 年-PL-LOC 道 沿-PL-3:POSS-LOC-kï そして
 šaar-kïštak-tar-da-gï bak-darak-tar kïy-ïl-ïp jat-a-t... (Fizikalik geografiya)
 町 村-PL-LOC-kï 木 木-PL 切る-PASS-CVB jat-PRES-3
 「近年、道端のところ、そして町村にある木は切られている。」

jat-の場合に現れた受身接尾辞が含まれる動詞は次のとおりである。

- aytil- 「言われる」、atil- 「撃たれる」、bagıştal- 「贈られる」、kazil- 「掘られる」、körsötül- 「見せられる」、satil- 「販売される」、alin- 「(話題に) 出る」、sural- 「(裁判で) 聞かれる」
- jasal- 「作られる」、kurul- 「建てられる」、tartil- 「撮影される」
- aširil- 「実行される」、atkaril- 「果たされる」、basil- 「作られる」、beril- 「与えられる」、beril- 「放送される」、čečil- 「決められる」、čigaril- 「出される」、ištél- 「検討される」、jürgüzül- 「行われる」、körül- 「検討される」、ötkörül- 「行われる」、plandaštiril- 「計画される」
- kiyil- 「(木が) 切られる」、töšöl- 「敷かれる」、ëñširil- 「あふれ出る」

16.2. V-PASS-(ï)p、-a/-y tur-の場合

今回のデータからは、tur-の場合、-(ï)p、-a/-y 副動詞接尾辞、両方の場合に受身文が出現した。ここでは、V-PASS-(ï)p tur-、V-PASS-a/-y tur-形式の順にみていく。

16.2.1. V-PASS-(ï)p tur-の場合

tur-の場合、場所-LOC 物 V-PASS-(ï)p tur-という構造になっている受身文が多くみられる。これらの場合、何らかの外の行為者の働きかけによってある場所に具体的な物が存在することを表わし、〈変化の結果の状態〉という文法的な意味を表わす。

- (584) Dubal-da Sapar-dĭn, anĭn ěne-si-nin jana
 壁-LOC PSN-GEN 彼:GEN 母-3:POSS-GEN そして
 ayal-ĭ Ayaz-dĭn sŭrĕt-tĕr-ŭ **il-in-ip** **tur-a-t.** (Ĕkinĉi ĕmŭr)
 妻-3:POSS PSN-GEN 写真-PL-3:POSS かける-PASS-CVB tur-PRES-3
 「壁にサパルの、彼のお母さん、そして妻のアヤズの写真が**かけられている**。」

- (585) Boz ũy-dŭn orto ĉen-i-nde ũĉ but-tuu
 ボズウイ-GEN 真中-3:POSS-LOC 三 足-ある
 tulga-da ĉakan kazan **as-il-ip** **tur-a-t.** (Ĉalgĭnĉilar)
 火床-LOC 適当 鍋 置く-PASS-CVB tur-PRES-3
 「ボズウイの真ん中で三足の火床にちょうど良い鍋が**置かれている**。」

- (586) Azĭr muzey-de 100 miŋdey
 今 美術館-LOC 100 千ぐらい
 taberik buyum-dar **sakta-l-ip** **tur-a-t.** (Muzey-muras kenĉi)
 貴重 品-PL 保存する-PASS-CVB tur-PRES-3
 「今、美術館に 10 万ぐらいの貴重品が**保存されている**。」

- (587) Bul ũy-dĕ negiz-i-nen Alĭmbek datka
 この 家-LOC 主に-3:POSS-ABL PSN 王
 koldon-gon buyum-terim-der **sakta-l-ip** **tur-a-t.** (Šookum)
 使用する-PART 品物 品物-PL 保存する-PASS-CVB tur-PRES-3
 「この家に主にアルムベク様が使用した品物が**保存されている**。」

次の用例では、場所-LOC が文中には現れていないが、〈変化の結果の状態〉の意味を表わしている。

- (588) Boz ũy ĉala **tig-il-ip** **tur-a-t.** (Aksĭdagĭ...)
 ボズウイ 不正 建てる-PASS-CVB tur-PRES-3
 「ボズウイは間違っ**て建てられている**。」

また、物主語ではないが、**動物 場所-LOC V-PASS-(i)p tur-**の構造をもつ例もある。この場合も、何らかの外の行為者の働きかけによってある場所に動物が存在することを表わし、〈変化の結果の状態〉という文法的な意味を表わす。

- (589) Kiš küröö-dö tuu-p kal-gan bēē-ler kulun-dar-ī menen
 冬 まっただ中-LOC 生む-CVB 残る-PART 馬-PL 子馬-PL-3:POSS と
 uš-u-nda bag-īl-īp tur-gan. (Birinči mugalim)
 ここ-3:POSS-LOC 育つ-PASS-CVB tur-PST2
 「冬まっただ中で生んでしまった馬たちは子馬と一緒にここで育てられている。」

これらの他に、次のように場所-LOC 事 《実行動詞》 -PASS-(ī)p tur-の構造になっている受身文も現れた。この場合、ある場所において、何らかの事柄が定期的に行われており、ある一定の時間における〈動作の持続〉の意味を表わす。

- (590) Mektep-te korrupciya-ga karši
 学校-LOC 汚職-DAT 対
 iščara-lar ötkör-ül-üp tur-a-t. (Kutbilim·№4)
 対策-PL 行う-PASS-CVB tur-PRES-3
 「学校で不正事件に対して対策が行われている。」

V-PASS-(ī)p tur-の場合、物主語ではなく、次のような人が主語になる受身文も現れた。これらの場合、〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。そして、(人) 物-DAT V-PASS-(ī)p tur-の構造になっている。

- (591) ...ošol jok nerse-ler-ge alda-n-īp —
 その 無 物-PL-DAT 騙す-PASS-CVB
 azgīr-īl-īp tur-gan-īm-dī kör?! (Teñir menen süylöšüü)
 誘惑する-PASS-CVB tur-PART-1SG-ACC 見る
 「...私とその無い事(たいしたこと)に騙され、誘惑されているのを見ろ。」

tur-の場合に現れた受身接尾辞が含まれる動詞は次のとおりである。

- asil- 「(鍋が)置かれる」、saktal- 「保存される」、tigil- 「作られる」、jasal- 「作られる」、jayil- 「干される」、jazil- 「書かれる」、bagil- 「育てられる」、
- aniktal- 「確認される」、aširil- 「実行される」、beril- 「与えられる」、čečil- 「決められる」、čektel- 「限定される」、ačil- 「開かれる」、aytil- 「言われる」、joyul- 「開放される」、kamtil- 「把握される」、karal- 「検討される」、ötkörül- 「行われる」、tartiliš- 「引かれる」
- azgiril- 「誘惑される」

16.2.2. V-PASS-a/-y tur-の場合

V-PASS-a/-y tur-の場合に *aytıl-*「言われる」、*aširil-*「実行される」、*čečil-*「決められる」、*joyul-*「開放される」、*karal-*「検討される」のようになんらかの物事の実行を表わす動詞が現れた。この場合、**未来における〈動作の持続〉**の意味を表わす。

これらのいずれの用例は、事 《実行動詞》-PASS-a/-y tur-gan Nという構造になっている。この場合に、V-a/-y tur-の場合の特徴である V-a/-y tur-gan Nの形が現れているのが特徴的である。

- (592) *Bul ěki-üč jil aralıg-ı-nda iş-ke*
 これ 二 三 年 間-3:POSS-LOC 仕事-DAT
ašir-il-a tur-gan *realduu demilge. (Zamandaš·№4)*
 実行する-PASS-CVB tur-PART 現実 努力
 「これは2-3年の間で**実行される**（**実現されていく**）現実的な努力だ。」
- (593) ...*universitet-i-nin masele-si*
 大学-3:POSS-GEN 問題-3:POSS
čeč-il-e tur-gan-dig-ı-n *bildir-di. (Kırgız Tuusu·№57)*
 決める-PASS-CVB tur-PART-dik-3:POSS-ACC 知らせる-PST1
 「...大学の**問題が**（これから）**決められること**（**決められていく**）を知らせた。」
- (594) **Kara-l-a tur-gan** *masele-ni belgile-p al-alı. (Tarix ěsteligi)*
 見る-PASS-CVB tur-PART 問題-ACC 印をつける-CVB 取る-1PL:VOL
 「（これから）**検討される**（**検討されていく**）問題を箇条書きしましょう。」

V-a/-y tur-の場合に現れた受身接尾辞が含まれる動詞は次のとおりである。

aytıl-「言われる」、*aširil-*「実行される」、*karal-*「検討される」、*čečil-*「決められる」、*joyul-*「開放される」

16.3. V-PASS-(i)p otur-の場合

V-PASS-(i)p otur-の場合、他の補助動詞の場合と異なって、tuul-「生まれる」、açil-「開く、開催される」などの動詞に otur-が後接する。これらの動詞は、いわば《新たな状態が生じることを表わす》とみなせる動詞である。これらに後接する otur-は、その状態の〈発生〉を表わしている。そして、主語は人ではなく、主に物や事の場合にみられる。

これらの用例は、物／事 《新たな状態が生じることを表わす動詞》 -PASS-(i)p otur-という構造になっている。

- (595) Ošonduktan ėki-nċi kezek-te-gi suu tütüg-ü-n kur-uu
 だから 二-序数 順番-LOC-kī 水 管-3:POSS-ACC 作る-VN
 zarılċilig-i **tuu-l-up otur-a-t.** (Kırgız Tuusu・№56)
 必要性-3:POSS 生む-PASS-CVB otur-PRES-3
 「だから、二番目の水の蛇口を作る必要性が生まれている。」

- (596) ...at arkıluu adam-ga ötmö maani-de tüşünük **ber-il-ip otur-a-t.** (Kaada)
 名 通して 人-DAT 間接 意味-LOC 解説 与える-PASS-CVB otur-PRES-3
 「名前を通して人間に間接的な意味で解説が与えられている。」

また、次の用例にみられるように birinċi「初めて」、kayradan「再び」などのような副詞相当句と共起することによって、〈発生〉という文法的な意味が補強されることになる。

- (597) ...biz-din ölkö-nün tarix-i-nda bir-inċi jol-u pedagog
 私達-GEN 国-GEN 歴史-3:POSS-LOC 一-序数 回-3:POSS 教育者
 kesib-i-n aluuċu-lar-dın saltanat-i **aċ-il-ıp oltur-a-t,**
 専門-3:POSS-ACC 受賞者-PL-GEN 式-3:POSS 開く-PASS-CVB otur-PRES-3
 kut bol-sun de-p ayt-a-bız! (Küyümdüü jurök)
 幸 なる-3:IMP 言う-CVB 言う-PRES-1PL
 「我々の国の歴史では初めて教育者の専門家たちの受賞者の式典が開催されている。おめでとうと言いましょう。」

- (598) Ošonduktan organikalik düynö-nün
 その為 有機体 世界-GEN
 sistema-si kayra-dan **kara-l-ıp otur-a-t.** (Biologiya)
 システム-3:POSS 再び-ABL 検討する-PASS-CVB otur-PRES-3

「その為、有機体のシステムが再び検討されている。」

otur-の場合に現れた受身接尾辞が含まれる動詞は次のとおりである。

açil- 「開く」、beril- 「与えられる」、karal- 「検討される」、tüşündürül- 「説明される」、tuul- 「生まれる」

16.4. V-PASS-(i)p jür-の場合

V-(i)p jür-形式の場合に、事 《言語活動動詞》-PASS-(i)p jür という構造になっている文がほとんどである。これらの文の場合、これまでみてきた補助動詞と異なり、動作主体が個人ではなく、不特定多数の一般の人々である。このような場合、**長期にわたる〈動作の持続〉**を表わし、V-(i)p jür-の場合に現れる文法的な意味がいきていると考えられる。

(599) Al jönündö mĩnday legenda ayt-ĩl-ĩp jür-ö-t. (Fizika)

彼 について このような 伝説 言う-PASS-CVB jür-PRES-3

「彼についてこのような伝説が**言われている**。」

(600) Ayrĩm çoŋ köl-dör da deŋiz

たまに 大きい 湖-PL EMPH 海

de-p ata-l-ĩp jür-ö-t. (Fizikalik geografıya)

言う-CVB 呼ぶ-PASS-CVB jür-PRES-3

「たまに大きい湖も海と**呼ばれている**。」

(601) Akĩn-dĩn köptögön ır-lar-ĩ-na obon sal-ĩn-ĩp,

作詞家-GEN 沢山 歌-PL-3:POSS-DAT 曲 入れる-REFL-CVB

bügün-kü kũn-dö irda-l-ĩp jür-ö-t. (Alĩkuldu eşkerüü)

今日-kĩ 日-LOC 歌う-PASS-CVB jür-PRES-3

「作詞家の沢山の詞に曲を入れて (つけられて)、今日には**歌われている**。」

上の用例のように jür-の場合、言語活動の内容に重点をおき、動作主体を問題にしない場合の表現に用いられることが多いのが特徴的である。

jür-の場合に現れた受身接尾辞が含まれる動詞は次のとおりである。

aytĩl- 「言われる」、atal- 「名づけられる」、irdal- 「歌われる」

16.5. まとめ

以上、本章では、主動詞が受身接尾辞を含む用例、つまり、[V-PASS-CVB AUXV] という形で現れる文について考察を行った。その際、各補助動詞がどのような文法的な意味を表わすのか、そして、[V-PASS-CVB AUXV] 形の V に現れる動詞にはどのようなタイプのもものが現れるのかに注目して考えてみた。以下、本節で確認できたことを順にまとめると次のようになる。

・ V-PASS-(i)p jat-の場合

jat-の場合、基本的に〈動作の持続〉という文法的な意味を表わすことが確認できた。また、主動詞の種類に偏りがあり、それによって、受身文の構造にいくつかのパターンを取り出すことができた。

まず、《作成動詞》や《実行動詞》が現れるのが特徴的であり、次のような構造をとり、ある時点における〈動作の持続〉の意味を表わす。

物	《作成動詞》	-PASS-(i)p	jat-
事	場所-LOC	《実行動詞》	-PASS-(i)p jat-

次に、《主体動作客体変化動詞》が現れる場合、以下のような構造をとり、〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

物	場所-LOC	《主体動作客体変化動詞》	-PASS-(i)p	jat-
---	--------	--------------	------------	------

・ V-PASS-(i)p, -a/-y tur-の場合

今回のデータからは、tur-の場合、-(i)p, -a/-y 副動詞接尾辞、両方の場合に受身文がみられた。

まず、-(i)p tur-の場合、以下のような構造パターンが現れたが、いずれの場合も〈変化の結果の状態〉という文法的な意味を表わす。

場所-LOC	物	V-PASS-(i)p	tur-
動物	場所-LOC	V-PASS-(i)p	tur-
場所-LOC	事	《実行動詞》	-PASS-(i)p tur-
(人)	物-DAT	V-PASS-(i)p	tur-

なお、これらの構造の場合に、「場所-LOC」が現れることを示した。《主体動作客体変化動詞》と《実行動詞》の場合に現れる「場所-LOC」は異なる性質をもっている。前者の場合、存在の意味を表わす「場所-LOC」であり、後者の場合、動作性の意味を表わす「場所-LOC」である。

次に、-a/-y tur-の場合であるが、以下のような構造になっている文がほとんどであり、**未来における〈動作の持続〉**という文法的な意味を表わす。

事 《実行動詞》-PASS-a/-y tur-gan N

・ V-PASS-(i)p otur-の場合

otur-の場合、基本的に物事に主語に限られ、**〈発生〉**という文法的な意味を表わす。

物／事 《新たな状態が生じることを表わす動詞》-PASS-(i)p otur-

・ V-PASS-(i)p jür-の場合

jür-の場合、これまでみてきた補助動詞とは異なる性質をもつ。jür-の場合、《言語活動動詞》が使われており、**長期にわたる〈動作の持続〉**の意味を表わす。

事 《言語活動動詞》-PASS-(i)p jür-

また、jür-の場合、内容に重点をおき、動作主体を問題にしないのが特徴的である。たとえば、他の補助動詞 jat-、tur-、otur-の場合、もし動作主体を探そうとすれば、特定できるものではあるが、jür-の場合の動作主体は、特定できない多数のものである。

以上のように、主動詞が受身接尾辞を含む用例、つまり、[V-PASS-CVB AUXV] という形で現れる場合、各補助動詞に特有の特徴が明らかになった。このようなことから、それぞれの補助動詞が表わす文法的な意味が、[V-PASS-CVB AUXV] 形の場合にも現れていると考えられる。

第17章 jat-, tur-, otur-, jür-が主動詞として現れる場合

本章では、本研究の対象である補助動詞 jat-, tur-, otur-, jür-が文中に主動詞として現れる場合について考える。つまり、jat-「横たわる」、tur-「立つ、起きる」、otur-「座る」、jür-「行く、動く」という意味で主動詞になる場合、各補助動詞がどのような文法的な意味を表わすのかをみってみる。

今回の言語資料の中に出てきた用例数は次のとおりである。

表 25 jat-, tur-, otur-, jür-が主動詞として現れる場合の用例数

補助動詞	副動詞 接尾辞	主動詞として 現れる場合	用例数	
jat-	-(i)p	jür-	1	3
		tur-	2	
tur-	-(i)p	jat-	2	34
		tur-	2	
		otur-	3	
	-a/-y	jat-	6	
		tur-	4	
		otur-	4	
		jür-	9	
otur-	-(i)p	jür-	33	34
		otur-	1	
jür-	-(i)p	jat-	1	4
		tur-	1	
	-NEG	otur-	2	
合計			71	

この表から分かるとおり、jat-, tur-, otur-, jür-が文中に主動詞として現れた用例は71例である。tur-の場合は、-(i)p、-a/-y 副動詞接尾辞の両方とも現れている。jür-の場合、否定接尾辞は現れているが、いずれも otur-の場合である。なお、V-(i)p otur-の場合、jür-は最も多く現れており34例であるが、このうち33例は jür-の例で、1例は otur-の例であり、かなり偏っているのが分かる。

以下、jat-, tur-, otur-, jür-が文中に主動詞として現れる場合について考える。

17.1. V-(i)p jat-の場合

V-(i)p jat-の場合、全部で3例あって、tur-「立つ、起きる（2例）」、jür-「走る（1例）」と現れている。

まず、tur-は主動詞として現れる場合、「横たわっていたものが身を起こす」という意味を表わし、jat-が使われることによって、ある時点における〈動作の持続〉の意味を表わしている。

(602) Tur-up jat-a-biz. (Ėne mčerimi)

立つ⁵²-CVB jat-PRES-1PL

「(私たちは) 起きつつある。」

(603) Araba-dan tüş-kön jigit araņ tur-up jat-kan

馬車-ABL 降りる-PART 男性 なんとか 立つ-CVB jat-PART

Metrey-din uul-u menen süylö-š-ö ket-ti da,

PSN-ABL 息子-3:POSS と 話す-RECIP-CVB 行く-PST1 EMPH

čal-ga karay baš-i-n čayka-dī. (Jaralangan jürök)

爺-DAT 向かって 頭-3:POSS-ACC 振る-PST1

「馬車から降りた男性はなんとか立ちつつあるメトレイ氏の息子と話し始めた。そして、お爺さんに頭を振った。」

jür-の場合、次の用例が出てきた。ここではjür-は、「(自動車)が走る」ことを表わし、jat-が使われることによって、ある時点における〈動作の持続〉の意味を表わす。

(604) Al jol-dor-do jür-üp jat-kan avtomāšina-lar-din

あの 道路-PL-LOC 走る-CVB jat-PART 自動車-PL-GEN

tüz-dön-tüz tieše-si bar. (Zamandaš)

直-ABL 直 関連-3:POSS ある

「あの道で走っている自動車(達)は直接関係している。」

⁵² この節では主動詞の場合、語彙的な意味を示すことにする。

17.2. tur-の場合

tur-の場合、全部で32例である。V-(i)p tur-形の場合7例で、V-a/-y tur-形の場合25例あった。

まず、V-(i)p tur-形（7例）の用例をみってみる。

- (605) Sen **jat-ïp** **tur**, a men Bek-tin boz üy-ü-n bayka-yïn. (Çalgınçılar)
 君 寝る-CVB tur EMPH 私 PSN-ABL テント-3:POSS-ACC 見張る-1SG:VOL
 「君は寝ていなさい。私はベクのテントを見張ろう。」

- (606) Ket-ëër-siñer, **oltur-up** **tur-gula**. (Astra gülü)
 行く-AOR-2:PL 座る-CVB tur-2:IMP
 「(あなた達は) いずれ帰るでしょう。座っていなさい(もう少しいなさい)。」

- (607) Too-nun ëteg-i-nde siler-di küt-üp **otur-up** **tur-a-m**. (Tagdîr)
 山-GEN 裾-3:POSS-LOC 君ら-ACC 待つ-CVB 座る-CVB tur-PRES-1SG
 「山の底に君達を待つて座っています。」

上の用例をみると、jat-「横たわる」、otur-「座る」という動作が持続することを表わす。また、これらの用例では、「少しの時間の間」というニュアンスもある。

しかし、上と異なって、tur-「立つ」の場合、〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。

- (608) Ėč kim alik al-ba-gan-da, tegereg-i-n kara-p al-dï
 だれも 挨拶 取る-NEG-PART-LOC 回り-3:POSS-ACC 見る-CVB 取る-PST1
ële **tur-up** **tur-gan** jaš jigit: (Akılmandın k.t.)
 EMPH 立つ-CVB tur-PART 若い 男性
 「誰も挨拶をしなかった時、回りを見た。そして、立っていた若い青年は...」

次に、V-a/-y tur-形（25例）の用例をみってみる。

- (609) Ėmi köp oylon-o ber-be-y, **jat-a** **tur-sa-ñiz** bolo.
 もう 多い 考える-CVB 与える-NEG-CVB 横たわる-CVB tur-COND-2SG なる
 Alar akîrî kel-iş-e-t da mında. (Ėkinçi ömür)
 彼ら 最後 来る-RECIP-PRES-3 EMPH ここ
 「まあ、そんなに考えつづけないで、横になっていてくださいよ。彼らは最後ここに

帰ってくるでしょう。」

- (610) Suur **jat-a** **tur-gan** jer-i-n taza karma-y-t,
 モルモット 横たわる-CVB tur-PART 場所-3:POSS-ACC 綺麗 扱う-PRES-3
 aldī-na jumšakta-p čöp töšö-y-t. (Meken taanuu)
 下-DAT 柔らかくする-CVB 草 敷く-PRES-3
 「モルモットは寝るところをきれいに扱う。下を柔らかくする為、草を敷くんだ。」

V-a/-y tur-形の場合、述語が命令形で終わることが特徴的である。これは、V-a/-y tur-の特徴であることをすでに tur-のところで (第10章を参照) 述べた。

- (611) Tip-tinč **jür-ö** **tur-uğuz.** (Arbak bolgondo)
 シーンと いる-CVB tur-2SG:IMP
 「シーンといてください。」

- (612) Siz **otur-a** **tur-uğuz?** (Kanibek)
 あなた 座る-CVB tur-2SG:IMP
 「あなたは座っててください。」

これらの用例では、「少しの時間の間」というニュアンスもある。特に次の用例では、bir az 「少し」、šašpay 「急がないで」という副詞相当句が使われ、「少しの時間の間」という意味が補われる。

- (613) Ber-či tameki-den, čeg-ip bir az **otur-a** **tur-alı?** (Čalgınčılar)
 与える-REQ タバコ-ABL 吸う-CVB 一 少し 座る-CVB tur-1PL:VOL
 「タバコをください。吸って、少し座っていきましょう。」

- (614) Andan da jakši söz ug-a-siñ,
 あれ:ABL EMPH 良い 単語 聞く-PRES-2SG
 suluu-m, šaš-pa-y **tur-a** **tur.** (Ėkinči ömür)
 美人-1SG:POSS 急ぐ-NEG-CVB いる-CVB tur
 「あれよりも良いことばを聞くよ。美人よ、急がないでいなさい。」

17.3. V-(i)p otur-の場合

V-(i)p otur-34例であるが、このうち33例は jür-の例である。1例は otur-の例である。

- (615) Birok biri—bir-ibiz-ge ün kat-pa-y
 しかし お互い-1PL:POSS-DAT 声 する-NEG-CVB
jür-üp otur-up ayıl-dan čik-ti-k. (Astra gülü)
 動く-CVB otur-CVB 村-ABL 出る-PST1-1PL
 「しかし、お互いに何も話しかけずで歩きつづけて村から出た。」
- (616) Art-ı-nan **jür-üp otur-up,** alar-din
 後-3:POSS-ABL 歩く-CVB otur-CVB 彼ら-GEN
 eşig-i-nin ald-ı-nan burul-gam. (Astra gülü)
 ドア-3:POSS-GEN 前-3:POSS-ABL 曲がる-PST2:1SG
 「(彼らの) 後を歩き続けて、彼らの家の前で曲がった。」
- (617) Ata-sı eken-i-n bil-ip üle narı erke,
 父-3:POSS COP-3:POSS-ACC 知る-CVB EMPH 最も 甘えんぼ
 narı kaygı **otur-up otur-gan** kız-ı bık et-pe-y koy-du. (Kelkel)
 最も 悲しい 座る-CVB otur-PART 女-3:POSS 動く-NEG-CVB 置く-PST1
 「自分の父であることを知って、最も甘えて、最も悲しんで座っていた女性は動きも
 しなかった。」

17.4. V-(i)p jür-の場合

V-(i)p jür-の場合4例あったが、うちjat-は1例、tur-1例、otur-2例あった。otur-の2例とも、否定接尾辞がついている。

- (618) Aytmakčī, Sīdīgalī-nīn arka-sī-nan kal-ba-y köl-gö kel-gen sayīn
 そうですね PSN-GEN 背-3:POSS-ABL 残る-NEG-CVB 湖-DAT 来る-PST2 度
 bayagī jīlan ald-ī-nan čīg-īp, kūnöstö-p košo **jat-īp jür-ö-t.** (Tagdīr)
 あの 蛇 前-3:POSS-ABL 出る-CVB 影-CVB 一緒に 寝る-CVB jür-PRES-3
 「そうですね、ステガルの後から残らないで、湖に来る度に、あの蛇が(彼の)前を出
 て、(彼の隣で)影の所で一緒に寝ている。」

- (619) Apa-ŋ **tur-up jür-ö-t** ěle,
 母-2SG:POSS 起きる-CVB jür-PRES-3 COP
 jakšī bol-up kal-dī-bī?- de-di. (Betme-bet)
 良い なる-CVB 残る-PST1-Q 言う-PST1
 「お母さんは起きていたが、よくなったかと聞いた。」

- (620) Aa, anda oltur-uš-ka bol-o-t, birook jeti-ge
 INTJ そこ:LOC 座する-VN-DAT なる-PRES-3 しかし 七-DAT
 čik-kan-da bul orun-ga **oltur-ba-y jür.** (Akīlmandīn k.t.)
 出る-PART-LOC この 席-DAT 座る-NEG-CVB jür
 「アー。そこに座っていいが、7歳になったら、この席に座っていないでね。」

- (621) Tamak-tan kiyin Sulayman jöö jür-üü adam-ga paydal-uu
 食事-ABL 後 PSN 徒歩 歩く-VN 人-DAT 役立つ-VN
 de-gen-i-nen, ěč kanday mašina-ga
 言う-PART-3:POSS-ABL NEG どんな 車-DAT
oltur-ba-y jür-üp oltur-du-k. (Astra gülü)
 座る-NEG-CVB 歩く-CVB otur-PST1-1PL
 「スライマンは食事した後、歩くことが人に役に立つと言ったから、どんな車にも座
 らないで(乗らないで)歩きづけた。」

17.5. まとめ

以上、jat-, tur-, otur-, jür-が文中に主動詞として現れる場合について考えてきた。その結果、次のような結果が得られた。

表 26 各補助動詞が主動詞として現れる場合の相互関係

		補助動詞			
		jat-	tur-	otur-	jür-
主動詞	jat-	×	○	×	○
	tur-	○	○	×	○
	otur-	×	○	○	○
	jür-	○	○	○	×

まず、補助動詞の jat-は、jat-と otur-と共起する用例はなかった。oturup jat-, jatip jat-という組み合わせで作例を作ろうとしても、例文を作ることはできない。

次に、補助動詞の tur-は、jat-, tur-, otur-, jür-のすべてと共起して現れる。

また、補助動詞の otur-は、jat-と tur-と共起する用例はなかった。jatip otur-, turup otur-という組み合わせで作例を作ろうとしても、例文を作ることができない。

最後に、補助動詞の jür-は jat-, tur-, otur-、と共起できるものの、jür-と共起できない。jürüp jür-という組み合わせで作例を作ろうとしても、例文を作ることができない。

このように、jat-, tur-, otur-, jür-が文中に主動詞として現れる場合、これらの承接の仕方にかかなりの制限があることが確認できる。上の表からは、tur-のみがいずれの動詞とも組み合わせることができ、4つの補助動詞の中で最も文法化されているのではないかと考えられる。しかし、今回は、少ない用例をもとに考えてみたが、今後、用例を増やし再考察する必要がある。今回、分かったことを次の段階につなげていきたい。

第IV部 結論と今後の課題

以下、「第IV部」にはいる。ここでは、これまでの流れを再確認するとともに、それによって明らかになった事実を述べる。そして、最後に、今後に残された課題について整理しておく。

第18章 結論

この章では、ここまで考察してきた補助動詞 *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*の文法的な意味（第II部）、形式的な条件により生じる各補助動詞形式のいくつかの特徴（第III部）についてまとめる。そして、最後に、本動詞としての「語彙的な意味」と補助動詞としての「文法的な意味」の関係について述べる。

18.1. 第II部のまとめ

ここでは、まず、本研究で述べてきた文法的な意味についてまとめる。次に、*V-(i)p* AUXV 形式、*V-a/-y* AUXV 形式の順にまとめをする。

18.1.1. 文法的な意味について

以下、本研究で立ててきた文法的な意味についてまとめる。

まず、基本的に「動作動詞」によって〈動作の持続〉、「変化動詞」によって〈変化の結果の状態〉という文法的な意味が表わされる。以下、それぞれの定義を改めて示しておく。

- ・ 〈動作の持続〉とは、主体の動作が持続することを表わす。
- ・ 〈変化の結果の状態〉とは、主体の動作が終わった後、その主体の変化した状態が持続することを表わす。

しかし、これらの文法的な意味以外に、文中での語彙的・文法的な条件によって、次のよ

うな文法的な意味が生じることを指摘した。

- ・ 〈うごきの持続〉とは、主体（自然現象や生理的な現象）のうごきが持続することを表わす。
- ・ 〈動作のくりかえし〉とは、主体の動作がくりかえして行われることを表わす。
- ・ 〈動作の開始〉とは、主体の動作が始まった段階にあることを表わす。
- ・ 〈動作の準備〉とは、主体の動作が準備段階にあることを表わす。
- ・ 〈発生〉とは、新たな状態が生じることを表わす。
- ・ 〈変化の進展〉とは、主体（物事）の変化が一定の方向に進展することを表わす。
- ・ 〈習慣化〉とは、主体の動作が長引き、習慣化されることを表わす。
- ・ 〈過去の回想〉とは、主体がかつて経験したこと、或いは、過去に起こった出来事をふりかえって思い起こすことを表わす。

なお、「状態動詞」と「内的感情動詞」に各補助動詞が後接する場合、基本的に〈状態〉という文法的な意味を表わす。

- ・ 〈状態〉とは、動きのない現象的な事態のことを表わす。

但し、「状態動詞」と「内的感情動詞」に各補助動詞が後接する場合、主動詞の意味的なタイプや他の語彙的・文法的な条件によって、文法的な意味を更に細かく示している。（〈変化を起こさず、前から同じ状態の中にあること〉、〈恒常的な状態〉、〈付帯的な状態〉、〈状態的な性質〉、〈心理的な状態〉、〈思考動作の持続〉）

以下、それぞれの文法的な意味がどのような場合に現れるか、そして、各補助動詞形式の場合にどのような特徴を表わすのかをまとめる。

18.1.2. V-(i)p AUXV 形式のまとめ

これまで、第9章から第12章までの補助動詞 *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*の文法的な意味について考察してきた。以下、各補助動詞形式の場合に現れる動詞の大分類の用例数を示しておく。

表 27 動詞の大分類ごとの各補助動詞形式の数

動詞の大分類	V-(i)p jat-		V-(i)p tur-		V-(i)p otur-		V-(i)p jür-		合計	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
動作動詞	725	64.7%	633	50.7%	342	71.3%	639	75.1%	2339	63.2%
変化動詞	281	25.1%	430	34.5%	78	16.3%	94	11.0%	883	23.9%
状態動詞	19	1.7%	52	4.2%	20	4.2%	8	0.9%	99	2.7%
内的感情動詞	94	8.4%	131	10.5%	40	8.3%	98	11.5%	363	9.8%
その他	2	0.2%	2	0.2%	0	0.0%	13	1.5%	17	0.5%
合計	1121	100%	1248	100%	480	100%	851	100%	3700	100%

この表から分かるとおり、「動作動詞」は全ての補助動詞形式の場合に現れ、最も多い。これは、いずれの補助動詞も〈持続〉という意味を表わす点で共通しているからであろう。また「動作動詞」は、V-(i)p otur-の場合 342 例 (71.3%)、V-(i)p jür-の場合 639 例 (75.1%) で最も多く現れている。一方、V-(i)p jat-、V-(i)p tur-の場合、期待していた数字より、少ないことが明らかになった。

次に、「変化動詞」は V-(i)p jat-の場合 281 例 (25.1%)、V-(i)p tur-の場合、430 例 (34.5%) で多く現れるが、V-(i)p otur-と V-(i)p jür-の場合、出現数は圧倒的に少ない。「状態動詞」は、jür-の場合に少なく 8 例 (0.9%) しか現われていない。

以下、それぞれの動詞の大分類ごとに取り出された主動詞の意味的なタイプとそれぞれのタイプの場合に現れる文法的な意味についてまとめる。

「動作動詞」

各補助動詞形式における「動作動詞」は、圧倒的に多く 2339 例現れた。これらの「動作動詞」の場合に現れる「主動詞の意味的なタイプ」を取り出して考察を行った。この「主動詞の意味的なタイプ」というのは必ずしもすべての補助動詞形式の場合に現れるとはかぎらない。つまり、ここでの「主動詞の意味的なタイプ」というのは、主動詞の個別的な「意味」を指すというよりも、補助動詞に先行する主動詞に「共通する意味」を取り出し、一般化し

たものである。以下、「動作動詞」の場合に取り出された主動詞の意味的なタイプと各補助動詞形式に現れる文法的な意味についてまとめる。

表 28 「動作動詞」の場合にみられる主動詞の意味的なタイプと文法的な意味

主動詞の意味的な タイプ	V-(i)p AUXV			
	jat-	tur-	otur-	jür-
《主体の活動動作 を表わす動詞》	〈動作の持続〉 ⁵³			
	☆ ⁵⁴ 〈動作のくりかえし〉			
	[該当なし] ⁵⁵	☆ 〈変化の結果の 状態〉		☆ 長期にわたる 〈動作の持続〉
		☆ 〈動作の準備〉		
《主体の長期的な 活動動作を表わす 動詞》	長期にわたる 〈動作の持続〉			長期にわたる 〈動 作の持続〉
	☆ ある時間におけ る 〈動作の持続〉			☆ 〈習慣化〉
				☆ 未来における 〈動作の持続〉
《自然現象の動き を表わす動詞》	現在における自然現象の 〈うごきの持続〉			
		☆ 〈変化の結果の 状態〉		
《主体の再帰的な 動作を表わす動詞》	ある時点における 〈動作の持続〉	〈変化の結果の状態〉		
			☆ 〈動作のくり かえし〉	
《主体の視覚・聴覚 活動を表わす動詞》		ある一定の時間 における 〈動作の持 続〉		
		☆ 〈変化の結果の 状態〉		
《主体の生理的な 動きを表わす動詞》	ある時点における 〈うごきの持続〉			

⁵³ 具体的な文では、時間の軸において異なる。

⁵⁴ 文中での語彙的・文法的な条件によって文法的な意味が移行することを表わす。

⁵⁵ これ以降、該当するものがない場合、空欄にする。

《主体の活動動作を表わす動詞》は、「動作動詞」の中でも最も多く現れており、数多くの動詞はここに属する。このタイプの動詞の場合、各補助動詞は、基本的に〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。

まず、以下では、**jaz-**「書く」という動詞を例に各補助動詞形式の場合に現れる文法的な意味の違いについてまとめる。**jaz-**「書く」は、「動作動詞」であり、なお且つ、《主体の活動動作を表わす動詞》のタイプにはいる。

- (622) Bir az tünim öt-kön-dön kiyin
 一 少し 休み 過ぎる-PART-ABL 後
jaz-ïp jat-kan naçal'nik-ke karay Kičan: (Kičan)
 書く-CVB jat-PART 上司-DAT 向かって PSN
 「少し時間が過ぎてから、**書いている**上司に向かってクチャンは…」
- (623) Mından arı öz-üm jönündö bol-gon jañilik-tar-dı
 これ:ABL から 自分-1SG:POSS について なる-PART ニュース-PL-ACC
bildir-ïp kat jaz-ïp tur-a-m. (Astra gülü)
 知らせる-CVB 手紙 書く-CVB tur-PRES-1SG
 「これから自分について起こったニュースを知らせて手紙を**書きます**。」
- (624) Ayal köpkö bir nerse-ni **jaz-ïp otur-up**
 女性 長く 一 物-ACC 書く-CVB otur-CVB
 anan kalemsab-ı menen körgöz-dü. (Dubal)
 そして ペン-3:POSS で 見せる-PST1
 「女性は長くある物**を書いている**、そして、ペンで見せた。」
- (625) Mından tışkarı, köp jıl-dar-dan beri **jaz-ïp jür-gön** ır-lar-ım-dı
 これ:ABL 他 多 年-PL-ABL から 書く-CVB jür-PART 詩-PL-1SG:POSS-ACC
 topto-p jıynak čıgar-sa-m-bı de-p tur-a-m. (Šookum·№7)
 集める-CVB 詩集 出す-COND-1SG-Q 言う-CVB tur-PRES-1SG
 「これらの他に、長い歳月をかけて**書いていた**詩を集めて、詩集を出せたらなと思っ
 ている。」

このように動詞 **jaz-**「書く」は、すべての補助動詞と組み合わせることができる。上の用例においては、各補助動詞は〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす点で共通している。しかし、この文法的な意味が時間の軸において異なっている。

まず、jazip jat-の場合、ある時点における〈動作の持続〉の意味を表わす。つまり、この場合、発話時において動作主が「書く」という動作を進行中である。

次に、jazip tur-の場合、一定の時間における〈動作の持続〉の意味を表わす。この場合、文中にMündan arı...kat jazip turam「これから...手紙を書く」というふうに、動作主の「書く」という動作が現時点において進行しているのではなく、ある一定の時間において、この文の場合、「書く」という動作を行うことを表わす。

そして、jazip otur-の場合、ある時点における〈動作の持続〉の意味を表わす。この場合、動作主が「書く」という動作自体を長く行っていることを表わす。なお、otur-は、主に「座って行うことができる」動詞に後接することが多くみられる。

最後に、jazip jür-の場合、長期にわたる〈動作の持続〉の意味を表わす。この場合、動作主が時間的な区切りがなく、長い時間において「書く」という動作を行うことを表わす。

上のことをまとめると、各補助動詞形式が《主体の活動動作を表わす動詞》のタイプの場合、次のようなことを表わすと結論付けられる。

- ・ V-(i)p jat-は、ある時点における〈動作の持続〉
- ・ V-(i)p tur-は、ある一定の時間における〈動作の持続〉
- ・ V-(i)p otur-は、ある時点における〈動作の持続〉
- ・ V-(i)p jür-は、長期にわたる〈動作の持続〉

すなわち、4つの補助動詞は〈動作の持続〉という点で共通しているが、時間において異なっているということである。また、この文法的な意味は、各補助動詞形式において「主動詞の意味的なタイプ」或いは「他の語彙的・文法的な条件」により、他の文法的な意味へと移行することがある。他の文法的な意味への移行は、上の表で☆印で示している。

《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》についていえば、このタイプは、jat-、tur-、jür-の場合に現れ、長期にわたる〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。しかし、各補助動詞形式によって、同じく《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》のタイプであっても、主動詞の種類や出現数が異なる。たとえば、jat-の場合、2種類のタイプ（動詞自体が長い期間を表わす動詞（例；jaša-「生活する、暮らす」、čoṇoyt-「(子供を)育てる」、など）と短い期間を表わす動詞（例；jaz-「書く」、ište-「働く」、など））が現れるのに対して、tur-の場合、一つのタイプ（動詞自体が長い期間を表わす動詞）しか現れない。一方、jür-の場合、数多くの種類の動詞（上のタイプの他に、言語や認知活動動作を表わす動詞など）が現れる。

《自然現象の動きを表わす動詞》は、jat-、tur-、otur-の場合に現れ、現在における自然現

象の〈うごきの持続〉という文法的な意味を表わす。今回のデータからは、jür-の場合は現れなかった。この動詞のタイプの場合も、補助動詞によって、動詞の種類や出現数が異なる。たとえば、otur-の場合、2例しか現れていない。

以下では、jaa-「降る」、kuy-「降る」という動詞を例に各補助動詞形式の場合に現れる特徴を再確認する。

- (626) Jer körün-bö-y kal-dä, kün **jaa-p jat-a-t**,... (Üčünčü šar)
 地 見える-NEG-CVB 残る-PST1 日 (雨) 降る-CVB jat-PRES-3

「地面が見えなくなるぐらい、雨が降っている。」

- (627) Kün kürkürö-p, čagilgan čagil-öp,
 日 とどろく-CVB 雷 光る-CVB
 šibiratip jaan **kuy-up tur-a-t**. (Kanibek)

シトシトと 雨 降る-CVB tur-PRES-3

「空がとどろき、雷が光り、シトシトと雨が降っている。」

- (628) Ėrte-den beri **jamgür jaa-p otur-up** balčik bol-up kal-gan
 早-ABL から 雨 降る-CVB otur-CVB 泥 なる-CVB 残る-PART
 地-den at ulam taygala-n-öp bar-öp tur-up jat-ti. (Tagdir)
 土-ABL 馬 何度も 滑る-REFL-CVB 行く-CVB 立つ-CVB jat-PST1

「先からずっと雨が降り続けていて、泥になってしまった土に馬が何回も滑りそうになって立ち上がっていた。」

これらの用例は、いずれも自然現象の〈うごきの持続〉という文法的な意味を表わす点で共通している。しかし、各補助動詞形式によって、文法的な意味のニュアンスが微妙に異なる。まず、最初の2例、jat-と tur-の意味が非常に近く、お互いに置き換えようとしても意味に変化が生じず、「雨が降っている」ということを表わす。一方、otur-の用例の jamgür jaap oturup を jat-と tur-に置き換えることはできない。そして、この otur-の場合の用例を jamgür jaap **oturat** というふうに述語文にしても意味が通じなくなる。ここでは、jaap oturup の形で現れているからこそ、現在における自然現象の〈うごきの持続〉という文法的な意味が成立していると考えられる。つまり、otur-の場合、oturup という形が重要である。

また、「一年中雨が降っている」の場合は、次の用例のように tur-しか使われないのである。

- (629) Bul tilke-de jül boyu jaan jaa-p tur-a-t. (Fizikalik geografiya)
 この 地域-LOC 年 中 雨 降る-CVB tur-PRES-3
 「この地域で一年中雨が降っている。」

なお、上の3つの用例に出ている kün、jaan、jamgür という名詞だが、これらは同意語であり、日本語にいずれも「雨」と訳される。これらの名詞によって補助動詞の文法的な意味が変化するということはない。たまたまいくつかの名詞の種類が出ているのみである。

《主体の再帰的な動作を表わす動詞》は、すべての補助動詞の場合に現れている。以下、動詞 kiy-「着る、かぶる」を例に文法的な意味を再確認する。

- (630) ...ötüg-ü-n kiy-ip jat-ïp, Düyşön menin
 靴-3:POSS-ACC 着る-CVB jat-CVB PSN 私:GEN
 ürpöygön tür-üm-dü kör-üp,...(Birinçi mugalim)
 ボサボサ-PART 顔-1SG:POSS-ACC 見る-CVB
 「...靴を履いていて(履きながら)、ディションは私のボサボサした顔をみて、...」

- (631) Böyrök-tü tayan-ïp, kaza jut-up, kara kiy-ip tur-gan-da,
 腰-ACC 手を当てる-CVB 悲しむ-CVB 黒い 着る-CVB tur-PART-LOC
 anday-lar-ga kayrat ayt-uu, ... (Kaada-salt...)
 そいつ-PL-DAT お悔み 言う-VN
 「腰に手を当てて(悲しんで)黒い服を着ている(喪に服している)時、そいつらにお悔みを言うのは、...」

- (632) ... oşol jer-de ministr taajï-sï-n kiy-ip otur-gan adam-dïn
 そこ 場所-LOC 大臣 冠-3:POSS-ACC かぶる-CVB otur-PART 人-GEN
 ar-namïs-ï-n kozgo-p koy-gon-go da jara-ba-gan. (Şookum)
 名誉-3:POSS-ACC 触れる-CVB 置く-PART-LOC EMPH 役に立つ-NEG-PST2
 「...そこで大臣の冠をかぶっている人の名誉に触れてしまっても役に立たなかった。」

- (633) Kičan Beyşeke-nin üy-gö kal-tür-ïp ket-ken
 PSN PSN-GEN 家-DAT 残る-CAUS-CVB 行く-PART
 êski kepka-sï-n kiy-ip jür-gön. (Kičan)
 古い 帽子-3:POSS-ACC 着る-CVB jür-PST2
 「クチャンはベイシェケが家に残していった古い帽子をかぶっていた。」
 各補助動詞の場合、異なる文法的な意味を表わす。jat-の場合、主体の「着る、かぶる」

という動作が発話時において行なわれていて、ある時点における〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。一方、tur-とotur-の場合、主体の「着る、かぶる」という動作がすでに行われていて、「着終わった状態」のことを指すから、主体の〈変化の結果の状態〉という文法的な意味を表わす。そして、jür-の場合は、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わすが、長時間にわたり、「古い帽子をずっとかぶっていた」という意味を表わす点において、tur-とotur-とは異なる。

また、otur-が、čečinip oturup「脱ぎ続けて」のように、oturupの形で現れる場合、主体の〈動作のくりかえし〉の意味を表わす。つまり、以下の用例では、「どンドン服を脱ぐ」というふうに、主体の動作がくりかえして行われる。

- (634) ...īs-īp terde-gen-de čėč-in-ip otur-up
 温まる-CVB 汗をかく-PART-LOC 脱ぐ-REFL-CVB otur-CVB
 bel-ibiz-den öydö dirday jılañač kal-dī-k. (Turmuştan jaralgan čoku)
 腰-1PL:POSS-ABL 上 真 裸 残る-PST1-1PL
 「... (私達は) 暑くなって、汗をかいた時に、(服を) 脱ぎ続けて (どンドン脱いで)、上半身は裸になってしまった。」

この用例を čėčinip oturat のように述語文に変えると、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。つまり、上の文では、čečinip oturup の形で現れているからこそ、主体の〈動作のくりかえし〉という文法的な意味が現れている。

《主体の視覚・聴覚活動を表わす動詞》は、V-(ī)p tur-形式の場合に圧倒的に多く現れるのが特徴的である。これらの場合、ある一定の時間における〈動作の持続〉という文法的な意味を表わすが、自動詞として現れる場合 (körün-「見える」、ugul-「聞こえる」、など)、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。《主体の視覚・視聴活動動作を表わす動詞》は、tur-との結びつきが強いことから、一つの組み合わせ (複合動詞) として考える研究もある (Yuldašev1977:119) が、本論文では、補助動詞として取り上げている。なお、他の補助動詞形式の場合、このタイプの動詞を取り上げていない。これはこのタイプの動詞が他の補助動詞の場合に現れないというわけではなく、出現数が少ないためである。他の補助動詞に現れる場合、《主体の活動動作を表わす動詞》に含まれる。

《主体の生理的な動きを表わす動詞》は、jat-, tur-, otur-の場合に現れ、ある時点における〈うごきの持続〉という文法的な意味を表わす。今回のデータからは、jür-の場合に現れなかった。このタイプの動詞 (kaltıra-「震える」、titire-「震える」、) は、それほど頻度が高いわけではないが、本論文では、別に取り上げている。なお、《主体の生理的な動きを表わす動詞》のタイプに後接する jat-, tur-, otur-を本論文では、補助動詞として扱ったが、本動

詞というふうにも考えることも可能である。そもそも「補助動詞」と「本動詞」の切り目について、今後、議論していかなければいけない課題である。

《主体の移動動作を表わす動詞》を更に細かく①移動の出発を表わす動詞の場合、②移動の様態を表わす動詞の場合、③移動そのものを表わす動詞の場合に分けて、考察を行った。

以下、《主体の移動動作を表わす動詞》の場合に現れた動詞類とそれらが表わす文法的な意味についてまとめる。

表 29 《主体の移動動作を表わす動詞》の場合にみられる文法的な意味

《主体の移動動作 を表わす動詞》	V-(i)p AUXV			
	jat-	tur-	otur-	jür-
移動の出発を表わす動詞の場合	〈動作の開始〉			
移動の様態を表わす動詞の場合	〈動作のくりかえし〉	ある一定の時間における〈動作の持続〉	〈動作の持続〉	長期にわたる〈動作の持続〉
移動そのものを表わす動詞の場合	〈動作のくりかえし〉		〈変化の結果の状態〉	〈動作のくりかえし〉

V-(i)p jat-の場合に現れる《主体の移動動作を表わす動詞》は、〈動作の持続〉の意味を表わさないのが特徴的である。これに対して、後述する[V-a/-y jat-]は、基本的に現在における〈動作の持続〉の意味を表わす。

①移動の出発を表わす動詞は、V-(i)p jat-形式の場合にのみ現れ、主体の〈動作の開始〉という文法的な意味を表わす。

②移動の様態を表わす動詞は、すべて補助動詞の場合に現れる。まず、V-(i)p jat-形式の物・事主語に限って現れることが特徴的である。この場合、複数主体によるものであり、〈動作のくりかえし〉を表わす。

- (635) Al jol-dor-do jür-üp jat-kan avtomašina-lar-din
 あの 道-PL-LOC 走る-CVB jat-PART 自動車-PL-GEN
 tüz-dön-tüz tieše-si bar. (Zamandaš・№4)
 直-ABL 直 関係-3:POSS ある
 「あの道で走っている自動車(達)は直接関係している。」

次に、V-(i)p tur-形式の移動の様態を表わす場合、人主語、物主語、両方にも使える。移動の様態を表わす場合、bas-「歩く」、öt-「通る」である。これらの場合、ある一定の時間における〈動作の持続〉の意味を表わす。

- (636) Biz kir-gen-de Sapar üy-dö arkı-terki bas-ïp tur-uptur. (Astra gülü)
 私達 入る-PART-LOC PSN 家-LOC あちこち 歩く-CVB tur-PST3
 「私たちが入った時、サパルは家でうろうろ歩いていたそうです。」

そして、V-(i)p otur-形式の場合、主体の〈動作の持続〉という文法的な意味を表わす。しかし、他の補助動詞と異なる。otur-の場合は、主体の移動動作自体が終わりがなく、ずっと持続していくことを表わす。V-(i)p otur-形式の場合、特に jürüp oltur-の組み合わせが多く現れる。

- (637) Bala jür-üp otur-a-t, jür-üp otur-a-t,
 少年 歩く-CVB otur-PRES-3 歩く-CVB otur-PRES-3
 kün art-ï-nan kün öt-ö-t, ay art-ï-nan ay öt-ö-t. (Altın kuş)
 日 後-3:POSS-ABL 日 過ぎる-PRES-3 月 後-3:POSS-ABL 月 過ぎる-PRES-3
 「少年は歩き続け、歩き続け、日が過ぎ、月が過ぎた。」

そして、V-(i)p jür-形式の場合、主体の長期にわたる〈動作の持続〉の意味を表わすようになる。この場合は、他の補助動詞に現れる移動動詞と比べると、動詞の種類も数も圧倒的に多い。V-(i)p jür-形式の特徴としては、arï-beri「あちこち」、öydö-ildiy「上下に」、öydö-tömön「上下に」のような主体の移動動作の（無）方向を指す副詞相当句や、tünbay「休まずに」、kötörüp「持ち」などのように変化をもたらす動きを規定する副詞相当句や修飾語などと共起して現れることである。

- (638) Činikan kel-gen-de Toktosun tur-up,
 PSN 来る-PART-LOC PSN 立つ-CVB
arï-beri bas-ïp jür-gön. (Küyümdüü jurök)
 あちこち 歩く-CVB jür-PST2
 「ティニカンが来た時、トクトスンは立って、あちこち歩いていた。」
- (639) Tın-ba-y uç-up jür-üş-üp, ač bol-uš-a-t. (Kekiremaysa)
 休む-NEG-CVB 飛ぶ-CVB jür-RECIP-CVB 空 なる-RECIP-PRES-3
 「(鳥は) 休まないで飛び続けていて、お腹がすく。」

③移動そのものを表わす動詞の場合は、すべての補助動詞の場合に現れる。

V-(i)p jat-形式、V-(i)p tur-形式、V-(i)p jür-形式のいずれの場合も、主体の〈動作のくりかえし〉の意味を表わす。

V-(i)p jat-形式、V-(i)p tur-形式の場合、複数主体によるものが多くみられた。

(640) Azirınča akürindik menen abiturient-ter

今の所 少しずつ と 受験生-PL

kel-ip jat-ış-a-t. (Kutbilim・№26)

来る-CVB jat-RECIP-PRES-3

「今のところ少しずつ受験生が来ている。」

(641) Biz-ge kel-ip tur-gula, bol-gon

私達-DAT 来る-CVB tur-2PL:IMP なる-PART

jardam-dar-ıbiz-dı ber-e-biz. (Zamandaş・№4)

手伝い-PL-1PL:POSS-ACC 与える-PRES-1PL

「私たちの方に来るようにしてください。できる限り、手伝いをしてあげます。」

V-(i)p jür-形式の場合、次のような用例がみられた。

(642) ...kün sayın uşuyak-ka kel-ip jür-ö-süz-bü? (Aksıdagı...)

日ごと こちら-DAT 来る-CVB jür-PRES-2SG:Q

「...毎日、こちらに来ているんですか。」

一方、V-(i)p otur-形式の場合、主体の〈変化の結果の状態〉という意味を表わす。

(643) Mından bölök korgo-lor jer-im jok

これ:ABL 以外 守る-PART 地-1SG:POSS 無

bol-gon-duk-tan kel-ip otur-a-m. (Boorondun künü)

なる-PART-duk-ABL 来る-CVB otur-PRES-1SG

「ここ以外に身を守る場所がないため、来ている。」

ここでは、主体の「来る」という動作がすでに行われて、その結果が持続していることを意味する。

「変化動詞」

各補助動詞形式における「変化動詞」は、「動作動詞」の次に多く 883 例現れた。これらの「変化動詞」を各補助動詞形式によって、「主動詞の意味的なタイプ」に分けて考察した。その結果、《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》、《人の社会的な変化を表わす動詞》、《主体の漸進的な変化を表わす動詞》、《主体の表示を表わす動詞》、《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》のタイプが現れた。以下、これらのタイプの順に各補助動詞形式に現れる文法的な意味についてまとめる。

表 30 「変化動詞」の場合にみられる主動詞の意味的なタイプと文法的な意味

主動詞の意味的なタイプ	V-(i)p AUXV			
	jat-	tur-	otur-	jür-
《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》	〈変化の結果の状態〉		〈発生〉	〈変化の結果の状態〉
	☆ 〈動作の持続〉	☆ 〈動作の持続〉		
		☆ 〈動作のくりかえし〉		
《人の社会的な変化を表わす動詞》	〈動作のくりかえし〉、〈変化の結果の状態〉			
《主体の漸進的な変化を表わす動詞》	〈変化の進展〉			
《主体の表示を表わす動詞》		〈変化の結果の状態〉		
《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》		〈変化の結果の状態〉		〈変化の結果の状態〉

《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》は、すべての補助動詞の場合に現れている。このタイプの動詞は、最も多く出現しているのは、V-(i)p tur-形式の場合で 430 例である。但し、補助動詞によって、動詞の種類や出現数によって異なる。

V-(i)p jat-形式の場合、動詞 öl-「死ぬ」が現れるが、他の補助動詞の場合には現れない。しかし、bol-「なる」はすべての補助動詞の場合に現れるし、出現頻度も高い。また、主語についていえば、V-(i)p jat-、V-(i)p tur-、V-(i)p otur-形式の場合に人・物・事主語が現れ

るのに対して、V-(i)p jür-形式の場合は人主語が圧倒的に多い。

《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》のタイプの場合、基本的に主体の〈変化の結果の状態〉という文法的な意味を表わす。たとえば、jat-が動詞öl-「死ぬ」に後接する場合、「?死につづけた」或いは「?しばらく死んだ」という意味にならない。ここでは、「死んだ後」の主体の〈変化の結果の状態〉という文法的な意味を表わす。

また、動詞öl-「死ぬ」だけではなく、他の《無意志的な状態変化を表わす動詞》の場合も、主体の〈変化の結果の状態〉の意味を表わす。以下、簡単に例をあげておく。

- (644) Kör-dü-ñör-bü, mor-u da
 見る-PST1-2PL-Q 煙突-3:POSS EMPH
 üst-ü-nö **çig-ip** tur-a-t. (Birinçi mugalim)
 上-3:POSS-DAT 出る-CVB tur-PRES-3
 「あなた達、見ましたか? (ペチカの) 煙突も上に出ている。」

- (645) Mama-m jol kirsig-ï-na uçura-p,
 ママ-1SG:POSS 交通事故-3:POSS-DAT 遭う-CVB
 kol-u **ooru-p jür-çü.** (Selsayak)
 手-3:POSS 痛む-CVB jür-PST4
 「ママは交通事故にあってしまい、手が痛んでいた。」

但し、《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》のタイプが V-(i)p otur-形式に現れる場合、otur-は、新たな状態の〈発生〉を表わす。

- (646) Öz-ün çon ata bol-up **oltur-a-siñ.** (Küyümdüü jurök)
 自身-2SG:POSS 大きい 父 なる-CVB otur-PRES-2SG
 「あなた自身がおじいさんになっている。」

《主体の漸進的な変化を表わす動詞》は、すべての補助動詞形式の場合に現れている。このタイプの場合、主体の〈変化の進展〉という文法的な意味を表わす。つまり、ここでは、動きの過程において、変化が漸進的に進むという意味である。しかし、各補助動詞形式によって、動詞の出現数は異なる。V-(i)p jat-形式や V-(i)p tur-形式の場合にも現れるが、最も多く現れるのは、V-(i)p otur-形式の場合である。また、V-(i)p jür-形式の場合に現れる用例は、必ず補助動詞 otur-が後接して、[V-(i)p jürüp otur-] の形で現れるのが特徴的である。この場合、日本語に訳したときに、「V-つづける」、「V-ていく」とするほうが自然である。

- (647) Okuya **ulam** dramalaš-**ip**,
 出来事 徐々に ドラマティックになる-CVB
küčö-p **jür-üp** **otur-a-t**. (Kırgız Tuusu・№56)
 拡大する-CVB jür-CVB otur-PRES-3
 「出来事は徐々にドラマティックになって、**拡大**していく。」

上の用例を otur-なしで、küčöp **jüröt** と言い換えるとしたら、意味が通じなくなってしまふ。ここでは、[V-(i)p jürüp otur-] の形で現れるからこそ、主体の〈**変化の進展**〉という意味が産まれる。

なお、このタイプの動詞の特徴としては、物事の徐々の変化を表わす **ulam** 「徐々に」、**bara-bara** 「次第に」、**akırındık menen** 「少しずつ」、**bara-bara** 「次第に」といった副詞相当句や文中に **jaraša** 「と伴って」、**karay** 「によって」、**sayın** 「と共に」などの変化の条件を表わす後置詞句を伴う用例が多い。そして、物事主語文に限られる。

《**人の社会的な変化を表わす動詞**》には、**baš koš-** 「結婚する」、**ajıraš-** 「離婚する」などの動詞があげられる。これらの動詞は、複数主体によるものである。**baš koš-** 「結婚する」の場合、〈**動作のくりかえし**〉を表わし、**ajıraš-** 「離婚する」の場合、主体の〈**変化の結果の状態**〉の意味を表わす。

《**主体の表示を表わす動詞**》は、V-(i)p tur-形式の場合に現れるのが特徴的である。このタイプの動詞は、ある物がなにかをさししめす、或いは表わすなどのような表示の意味を表わす。たとえば、**bilin-** 「表わす」、**ayırmalan-** 「異なる」、**ayırmala-** 「区別する」、**körsöt-** 「指し示す (指す)」などのような動詞である。このような動詞の場合も、主体の〈**変化の結果の状態**〉の意味を表わす。このタイプの動詞は、それほど頻度は高いわけではないが、他の補助動詞に出てこないので、別に取り上げた。

《**主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞**》は、主体の動きを表わすが、同時に客体に変化 (様態や位置) を引き起こす動詞でもある。これらの動詞を tur-と jür-の場合にタイプ化して取り上げた。これらの場合、主体の〈**変化の結果の状態**〉を表わす。但し、**jat-**と **otur-**の場合に現れないということではない。たとえば、**jat-**の場合に出てくる次の用例の **juur-** 「練る」は、《**主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞**》のタイプにはいると思われるが、今回の考察では、《**主体の活動動作を表わす動詞**》にいて考えた。これは、**jat-**の場合、《**主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞**》に分けることによって、文法的な意味が異なるわけではないからである。**jat-**の場合、**ある時点における〈動作の持続〉**の意味を表わす。

- (648) ...kamir **juur-up jat-íp** öz-ü-n öz-ü **jootkot-o-t** (Betme-bet)
 生地 練る-CVB jat-CVB 自分-3:POSS-ACC 自分-3:POSS 落ち着かせる-PRES-3
 「... (彼女は) 生地を練っていて (練りながら)、自分自身を落ち着かせる。」

「状態動詞」

「状態動詞」とは、主体の状態を表わす動詞である。このような動詞として取り出したのは、《主体の空間的な関係を表わす動詞》、《主体の擬態的な様態を表わす動詞》、《主体の付帯的な動作を表わす動詞》、《主体の状態的な性質を表わす動詞》である。以下、これらのタイプの特徴をまとめる。

《主体の空間的な関係を表わす動詞》は、V-(i)p jat-形式と V-(i)p tur-形式の場合に現れる。これらの場合に、基本的に〈変化を起こさず、前から同じ状態の中にあること〉という文法的な意味を表わす。そして、各補助動詞形式によって、動詞には偏りがある。V-(i)p tur-の場合に現れる動詞群 (kurča-「囲む」や kapta-「覆う」、čële-「占める」、böläün-「別れる」、など) と異なり、V-(i)p jat-形式の場合、sozul-「伸びる」、keril-「伸びる」、čële-「占める」、memire-「穏やかになる」、baylanıştir-「結びつけ合わせる」、などのような動詞が現れた。なお、これらの《主体の空間的な関係を表わす動詞》は、文学作品にあまり出でこなく、Fizikalik geografiya「物理的な地理学」、Biologiya「生物学」、Fizika「物理学」、Astronomiya「天文学」といった学校の教科書から多く現れたのが特徴的である。

《主体の擬態的な様態を表わす動詞》は、キルギス語でいわれる člestüü čtišter「表象的な動詞 (擬声語・擬態語)」は、tur-と otur-の場合に現れるのが特徴的である。このタイプの動詞の場合、副動詞の表わす動きが tur-にとって付帯状況的である。これらの場合、主体の〈恒常的な状態〉の意味を表わす。このような動詞の場合に現る tur-と otur-を補助動詞として扱うかどうかという点で議論が分かれるかもしれないが、今回の言語資料から用例が出たので、別のタイプとして位置付けておく。

《主体の付帯的な動作を表わす動詞》は、副詞的な動詞であり、これらの動きが otur-にとって付帯状況的である。

- (649) Ėki nebere-si ėki tize-si-ne janaša čon ata-si-n
 二 孫-3:POSS 二 ひざ-3:POSS-DAT 近い 大きい 父-3:POSS-ACC
 tuura-p **tizele-p oltur-uš-tu**. (Küyümdüü jurök)
 まねる-CVB 膝付く-CVB otur-PRES-RECIP-PST1
 「二人の孫は二つのひざの近くでお爺さんをまねてひざついて座った。」

上の用例では、膝をついた状態のままで「座る」動作を行ったことを表わす。つまり、otur-にとって付帯的な状況である。この場合、主体の〈付帯的な状態〉を表わすと位置付けた。この用例では、otur-は本動詞である、あるいは補助動詞であることが明確に規定できない。同じようなことが他の補助動詞の場合もいえる。

《主体の状態的な性質を表わす動詞》には、[人 ADJ alip jüröt] という形式で現れる文がはいる。これらの用例では、主動詞の語彙的なレベルで性質を表して、その性質の持ち主が恒常的に存在する場合である。つまり、主体の〈状態的な性質〉を表わす。このタイプの動詞は、それほど頻度が高いわけではないが、V-(i)p jür-形式の場合にのみ現れるので、別に取り上げている。

「内的感情動詞」

各補助動詞形式における「内的感情動詞」は、《主体の思考活動動作を表わす動詞》、《主体の感情を表わす動詞》、《主体の評価的な態度を表わす動詞》に分類される。これらのタイプはすべての補助動詞の場合に現れる。

《主体の思考活動動作を表わす動詞》のタイプは、一見、《主体の活動動作を表わす動詞》のタイプに近くみえる。しかし、《主体の思考活動動作を表わす動詞》の場合は、動作自体が目に見えないもので、思考活動を表わす動詞である。だから、「内的感情動詞」にいて、考えた。このタイプの場合、主体の〈思考動作の持続〉を表わすと位置付けておいた。また、一人称の文だけではなく、二人称・三人称の場合にも使われる。

《主体の感情を表わす動詞》、《主体の評価的な態度を表わす動詞》は、〈心理的な状態〉の意味を表わす。

なお、「内的感情動詞」は、基本的に人主語に限る。

以上、すべての主動詞の意味的なタイプについて、詳しい用例をあげることはできなかったが、各補助動詞形式における文法的な意味、そして、特徴的なことを示した。

18.1.3. V-a/-y AUXV 形式のまとめ

ここでは、V-a/-y AUXV 形式の場合に現れる文法的な意味についてまとめる。今回の言語資料からこの形式の場合、用例数は圧倒的に少なかったにも関わらず（表 7 を参照）、各補助動詞形式に特有の特徴がみられた。なお、今回のデータからは、V-a/-y otur-形式の用例は得られなかった。以下、V-a/-y jat-形式、V-a/-y tur-形式、V-a/-y jür-形式について、簡単にまとめる。

- V-a/-y jat-形式の場合

以下、V-a/-y jat-形式の全体を以下に示す。

表 31 V-a/-y jat-形式のまとめ

主動詞の意味的なタイプ	形式的な特徴	文法的な意味
《主体の移動動作を表わす動詞》(kel-「来る」bar-「行く」)	[V-a/-y jat-]	現在における〈動作の持続〉 ☆ 現在における〈うごきの持続〉 ☆ 〈変化の結果の状態〉
	[V-(i)p V-a/-y jat-] (以下のように、更に下位分類される)	
	[主体の移動の様態を表わす動詞-(i)p 移動動詞-a/-y jat-]	現在における〈動作の持続〉
	[主体の長期的な活動動作を表わす動詞-(i)p 移動動詞-a/-y jat-]	長期にわたる〈動作の持続〉
	[主体の漸進的な変化を表わす動詞-(i)p 移動動詞-a/-y jat-]	〈変化の進展〉
	《主体の活動動作を表わす動詞》(kör-「見る」、al-「連れる」)	körö jatarbüz
ala jat		

V-a/-y jat-形式の場合、今回の言語資料から 4 つの動詞としか組み合わせられないことが明らかになった。特に、主体の移動を表わす動詞、kel-「来る」と bar-「行く」が圧倒的に多かった。その他に、kör-「見る」、al-「連れる」の動詞と組み合わせることが分かった。

V-a/-y jat-形式の考察の際、kel-「来る」と bar-「行く」をが本動詞としての現れる場合〔移動動詞-a/-y jat-〕形と補助動詞として現れる場合〔V-(i)p 移動動詞-a/-y jat-〕の形に分けた考えた。

まず、移動動詞が本動詞としての現れる場合、主体の具体的な移動動作がちょうど行われている過程をさし、**現在における〈動作の持続〉**の意味を表わす。そのほか、**現在における〈うごきの持続〉**、そして事主語の場合、主体の**〈変化の結果の状態〉**の意味を表わすことを述べた。これに対して、〔V-(i)p 移動動詞-a/-y jat-〕形式で現れる場合、V-(i)p の V にくる動詞のタイプによって、jat-の文法的な意味が変わることが分かった。**現在における〈動作の持続〉**、**長期にわたる〈動作の持続〉**、**〈変化の進展〉**といった文法的な意味を表わすことを確認した。

・ V-a/-y tur-形式の場合

以下、V-a/-y tur-形式の全体を以下に示す。

表 32 V-a/-y tur-形式のまとめ

主動詞の意味的なタイプ	形式的な特徴	文法的な意味
《人の活動動作を表わす動詞》	[V-a/-y tur-gan]	〈過去の回想〉
	[V-a/-y tur-gan N]	未来における〈動作の持続〉
	[V-a/-y tur-gan bol-]	「～することになる」
	[V-a/-y tur-IMP]	〈一時的な動作の持続〉
		☆ある一定の時間における 〈動作の持続〉

V-a/-y tur-形式は、かなり限られた語彙的・文法的な条件のもとで成り立っていることが分かった。今回の調査によれば、特に〔V-a/-y tur-gan〕という固定した形式と、〔V-a/-y tur-IMP〕の命令形で現れる用例がほとんどであった。

〔V-a/-y tur-gan〕の場合、〈過去の回想〉、**未来における〈動作の持続〉**の意味を表わすが、〔V-a/-y tur-IMP〕の場合、〈一時的な動作の持続〉の意味を表わす。

なお、V-a/-y tur-形式の場合に現れる主動詞の意味的なタイプについていえば、ほとんど《人の活動動作を表わす動詞》である。

・ **V-a/-y jür-形式の場合**

以下、V-a/-y jür-形式の全体を以下に示す。

表 33 V-a/-y jür-形式のまとめ

主動詞の意味的なタイプ	形式的な特徴	文法的な意味
《主体の連帯的な動作を表わす動詞》	ěčřite jür-	長期にわたる〈動作の持続〉
	košo ala jür-	
《人の活動動作を表わす動詞》	[jür-が常に命令形で現われる]	未来における〈動作の持続〉

V-a/-y jür-形式の場合、《主体の連帯的な動作を表わす動詞》の動詞のタイプや[jür-が常に命令形で現われる]の形しか現れなかった。前者の場合、**長期にわたる〈動作の持続〉**の意味を表わすが、後者の場合、**未来における〈動作の持続〉**の意味を表わす。

そもそも、jür-は、V-a/-y jür-形式で現われる場合、補助動詞としてはたらくか、或いは本動詞としてはたらくかが疑問であり、今後、用例数を増やし、さらなる調査が必要である。

上のようなことから、各補助動詞形式が-a/-y 副動詞接尾辞に後接する場合、各補助動詞形式によって、主動詞の意味的なタイプにしても、形式にしても、かなりの制限があることを確認した。

18.2. 第Ⅲ部のまとめ

第Ⅲ部では、補助動詞・主動詞が一定の形態をとることによって生じるいくつかの特徴について述べた。

その際、以下の形で現れる各補助動詞の文法的な意味について考えてきた。

- ・ 各補助動詞が文中に [V-(i)p AUXV-(i)p] の形で現れる場合 (第13章)
- ・ 主動詞が否定接尾辞を含む [V-NEG-CVB AUXV] の形 (第14章)
- ・ 補助動詞が否定接尾辞を含む [V-CVB AUXV-NEG-] の形 (第15章)
- ・ 主動詞が受身接尾辞を含む [V-PASS-CVB AUXV] の形 (第16章)

最後に、本研究の考察対象である補助動詞が主動詞として現れる場合にみられる特徴 (第17章) について考察を行った。

第Ⅲ部の内容のまとめは、各章のおわりに、章ごとのまとめとして、述べたので、それとの重複にならないよう、ここでは、行わない。

18.3. 本動詞としての「語彙的な意味」と補助動詞としての「文法的な意味」

本節では、ここまで考察してきた補助動詞 *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*の文法的な意味の中に本動詞としての語彙的な意味の有無について考える。

18.3.1. V-(i)p AUVX 形式の場合

本論文で取り上げている4つの補助動詞は、文法的な意味(主としてアスペク的な意味)を表わしていることは確かである。しかし、本来の語彙的な意味も残っている用例も存在する。

たとえば、前節での《主体の活動動作を表わす動詞》の場合に現れる動詞 *jaz-*「書く」の用例についていえば、*jazip jat-* (622)、*jazip tur-* (623) の場合、「横たわって書いている」、或いは、「立って書いている」という意味で解釈できない。これらの用例の場合、本来の語彙的な意味が残ってなく、完全に文法化されているといえる。一方、*jazip otur-* (624)、*jazip jür-* (625) の場合、「座って書いている」、「動いて書いている」という語彙的な意味がある程度残っていると読み取れることから、語彙的な意味が全く関係ないとはいえない。

また、各補助動詞の語彙的な意味は、一部の動詞の場合にのみ感じられるが、圧倒的に多くの動詞の場合は、語彙的な意味が薄くなって、文法化が進んでいる。

まず、*jat-*についていえば、動詞 *öl-*「死ぬ」と *ukta-*「寝る」の場合に、*jat-*の「横たわる」という意味が強く感じられる。

次に、*tur-*についていえば、特に《主体の活動動作を表わす動詞》や《主体の視覚・聴覚活動を表わす動詞》の場合に、*tur-*の「立つ」という語彙的な意味が読み取れる用例がある。

*otur-*の場合も、特に《主体の活動動作を表わす動詞》のタイプの場合に語彙的な意味が読み取れる用例がある。

そして、*jür-*は、《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》のタイプに後接する場合、語彙的な意味が強い。

但し、これらの語彙的な意味は各タイプの中に出てくる一部の動詞の場合にのみみられる。

その他の《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》、《自然現象の動きを表わす動詞》、《主体の移動動作を表わす動詞》、《主体の漸進的な変化を表わす動詞》、《主体の表示を表わす動詞》などのタイプの場合、各補助動詞が本来の語彙的な意味が関係しているとは考えに

くく、完全に文法化されている。

なお、「状態動詞」の《主体の空間的な関係を表わす動詞》の場合は、各補助動詞の語彙的な意味が読み取れないが、《主体の擬態的な様態を表わす動詞》、《主体の付帯的な動作を表わす動詞》、《主体の状態的な性質を表わす動詞》の場合、語彙的な意味がある程度残っている。

「内的感情動詞」の場合、各補助動詞の語彙的な意味が完全に失っているとは言いにくい。そもそも、これらの場合に現れる各補助動詞を本論文では、補助動詞として扱ったが、本動詞というふうに考えることも可能である。そもそも「補助動詞」と「本動詞」の切り目について、今後、議論していかなければいけない課題である。

18.3.2. V-a/-y AUVX 形式の場合

まず、V-a/-y jat-形式の場合、《主体の移動を表わす動詞》kel-「来る」bar-「行く」、そして、《主体の活動動作を表わす動詞》のkör-「見る」の場合、語彙的な意味が全く読み取れない。しかし、動詞al-「連れる」の場合、jat-の語彙的な意味がある程度残っている。

次に、V-a/-y tur-形式の場合、《人の活動動作を表わす動詞》のタイプは出ているが、tur-の語彙的な意味は読み取れない。

最後に、V-a/-y jür-形式の場合だが、《人の活動動作を表わす動詞》の場合、語彙的な意味は残っていないが、《主体の連帯的な動作を表わす動詞》の場合、jür-は、主たる動作に常に共同で連帯して行われる動作を表わしているので、語彙的な意味が完全に失っているとは言いにくい。前にも述べたが、補助動詞としてはたらくか、或いは本動詞としてはたらくかが疑問である。

第19章 残された課題

筆者が本研究の考察対象である補助動詞 *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*のアスペク的な意味に関心をもったのは、日本語を学習する経験、そして、キルギス語母語話者に日本語を教えた経験があったからである。キルギス語を母語とする日本語学習者にとって、日本語の「シテイル」形式の使い分けは習得しにくい。日本語の「シテイル」形式に対して、キルギス語では4つの補助動詞が使われる。しかし、これらの補助動詞はどういうふうに使分けられているかと聞かれると、キルギス語母語話者であってもそう簡単には説明できない。従来の先行研究においても、キルギス語をはじめ、他のチュルク諸語の言語でも、この4つの補助動詞がアスペク的な意味を表わすものとしてしばしば取り上げられていた。しかし、多くは内省や直感によるものであり、具体的な実例をきめ細かに検証するということも行われてこなかった。筆者は、これらの補助動詞は、実際にどのようなアスペク的な意味をもち、具体的にどのように使分けられているのかを確認したいと考えたのが、この研究の出発点だった。筆者自身にとっても本研究の考察によって、多くの新しいことを学んだ。しかし、それと同時に、たくさんの課題を抱えはじめた。筆者も、本論文に取り組む前までは、この4つの補助動詞の使い方については、「現在時制」を表わすものだったといった単純な発想をもっていた。各補助動詞によって、主動詞の意味的なタイプが関係しているとは考えていなかった。たとえば、補助動詞 *jat-*は、*-a/-y* 副動詞接尾辞と組み合わせる場合、《主体の移動動作を表わす動詞》がほとんどであること、或いは、補助動詞 *otur-*は、*-a/-y* 副動詞接尾辞と組み合わせられないこととか、などのように各補助動詞の特徴があるということを確認していなかった。しかし、本論文の検討を終えて、キルギス語における各補助動詞形式のアスペク的な意味や使い方などは、そう単純に決まっているわけではなかったことが分かった。本研究をもって、これらの補助動詞だけがアスペク的な意味を表わすのではなく、主動詞の意味的なタイプや文中で構文的・文法的な要素などが深くかかわっていることを確認し、実際に示した。

本論文で取り組んだ仕事は、キルギス語の研究のわずかな考察にすぎない。しかし、本論文で集めたデータと論考は、新しい課題をたくさんもたらしてくれた。今後、各補助動詞の更なる解明にむかって、更に調査していきたい。

最後に、本研究の考察・分析を終えた現時点において筆者が把握している、本研究の問題点を指摘し、今後の課題としたい。

- 各補助動詞形式の実現するアスペク的な意味と、それを実現する条件について記述した。しかし、各補助動詞のテンス的な性格にまったく触れられなかった。たとえば、次のようなものである。

例) Al üstöl-dö otur-a-t.
 彼 椅子-LOC otur-PRES-3
 「彼は椅子に座っている。」

例) Al kitep oku-p otur-a-t.
 彼 本 読む otur-PRES-3
 「彼は本を読んでいる。」

これらの用例では、otur-は *oturat* という現在の形ででている。本動詞としての場合の現在形と補助動詞としての場合の現在形はどう違うのか、或いは同じようなものなのか、などについて本論文では考えていない。今後の課題と残る。

- 本動詞 *jat-*、*tur-*、*otur-*、*jür-*の派生的な意味の〈存在〉(第8章を参照)と各補助動詞のアスペク的な意味との因果関係については、本論文でまだ十分に説明できていない。
- 〔V-a/-y AUXV-(i)p〕形や主動詞が否定接尾辞を含む用例は数がかなり少ないため、考察が十分にできていない。
- 今回、取り上げた補助動詞の意味の通時的な変化についてまったく論じることができなかった。
- 言語資料を収集する当初から、「本動詞」の用例も集めたが、本論文では、全く使わなかった。

用例出典

本研究で使用した言語資料は、以下のとおりである。それぞれの言語資料全体から手作業で実例を収集した。キルギス語の国語教科書の場合、小説の出版年ではなく、教科書の出版年を記す。

<言語資料>

国家教科書

・ Mambetova, Z. J. (2004) *Meken taanuu 2-klass*. Bilim kutu, Biškeek.

・ Artıkbayev, K. & B.Isakov. (2008) *Kırgız adabiyatı 5-klass*. Biyiktik, Biškeek.

Aytmatov, Č. Bugu ěne.

Aytmatov, Č. Atadan kalgan tuyak.

Baytemirov, N. Tarıx ěsteligi.

Beyşenaliev, Š. Kıčan.

Ėsenkojoev, K. Üčünčü šar.

Jantöşev, K. Čolponbay.

Tolstoy, A. N. Altın kuš.

Ömürbaev, S. Telegey.

不詳 Kekiremaysa.

不詳 Akılduu dıykan.

不詳 Akıl karačač.

・ Smanbaev, A. & N. İškeev. (2007) *Kırgız adabiyatı 6-klass*. Bilim-komp'yuter, Biškeek.

Akmatov, K. Mezgl.

Aytmatov, Č. Birinči mugalim.

Aytmatov, Č. Betme-bet.

Ėlebaev, M. Boorondun künü.

Kasımbekov, T. Darga suu.

Kasımbekov, T. Moyukum tragediyası.

Mavlyanov, J. Nan.

Sartov, B. On üçünčü tolkun.

Sartov, B. Robottun tuulgan künü.

Sıdıkbekov, T. Kık asaba.
Sıdıkbekov, T. Kık serek.
Stamov, A. Ŭč męřrim1.
Stamov, A. Ŭč męřrim2.
Tokombaev, A. Kűnűn sıřı.
Tokombaev, A. Akıľmandın joobu.

• Alımov, B. & A.Muratov. (2000) *Kırgız adabiyatı 7-klass*. Pedagogika, Bıřkek.

Aytmatov, Č. Ęrte kelgen turnalar.
Jakiev, B. Atanın tagdıřı.
Sıdıkbekov, T. Arbak bolgondo.
Sıdıkbekov, T. “Kıřı-kıyıkke” aylanganda.
Sıdıkbekov, T. Kuyručuk atka kongondo.
Tokombaev, A. Jaralangan jűrok.

• その他の教科書

Bakirov, N. & ř. Tokombaev. (2002) *Fizikalik geografiya 6-klass*. Pedagogika, Bıřkek.
Subanova, M. & M. Botbaeva. (2000) *Biologiya 6-7-klass*. Pedagogika, Bıřkek.
Mambetakunov, Ę. & T. Karařev. (2000) *Fizika 7-klass*. Mektep, Bıřkek.
Toktogulov, M. (1993) *Astronomiya 11-klass*. Mektep, Bıřkek.

小説

Ařımbaev, K. (2007) *Kıyűmdűű jurık*. Učkun, Bıřkek.
Beyřenaliev, ř. (1998) *Jaralanbagan jaraluular*. Kırğızstan, Bıřkek.
Danikeev, Ő. (1984) *Ęne męřrimi*. Kırğızstan, Bıřkek.
Jantıřev, K. (1985) *Kanıbek*. Kırğızstan, Bıřkek.
Jęnčoroev, J. (1990) *Čalgınčılar (Kumdagı iz)*. Adabiyat, Frunze.
Jęnčoroev, J. (1990) *Čalgınčılar (Kıraakı kız-kelinder)*. Adabiyat, Frunze.
Jęnčoroev, J. (1990) *Čalgınčılar (Men kičinekey Ęmesmin)*. Adabiyat, Frunze.
Jęnčoroev, J. (1990) *Čalgınčılar (Kızıl joolukčan)*. Adabiyat, Frunze.
Jęnčoroev, J. (1990) *Čalgınčılar (Jılan)*. Adabiyat, Frunze.
Karagulova, B. (2007) *Selsayak*. Ayat, Bıřkek.
Kasımbekov, T. (1986) *Kelkel*. Kırğızstan, Bıřkek.
Kasımbekov, T. (1990) *Őműr tamıřı*. Adabiyat, Frunze.
Kasımbekov, T. (1990) *Teņir menen sıylıřűű*. Adabiyat, Frunze.
Sooronbaeva, Z. (2006) *Astra gűlű*. Biyiktik, Bıřkek.

Osmonkulov, J. (1993) *Kün kizarip batkanda*. Biškeek.

インターネット

キルギスのサイト、<http://www.literatura.kg/>に掲載されている書籍から収集した。このサイトから収集した作品は次のとおりである。最終閲覧日は、2010年3月31日である。

Ašimbaev, K. (2006) *Bataköy çal*. Ėrkin-Too, Biškeek.

Ašimbaev, K. (2007) *Boy tumar*. Ėrkin-Too, Biškeek.

Ašimbaev, K. (2008) *Akilmändin kauxar taši*. Biškeek.

Ėlebesov, B. (2008) *Turmuštan jaralgan çoku*. Karakol.

Ėšimkulova, G. (2005) *Tagdır*. Biyiktik, Biškeek.

Kadırov, S. K. (2007) *Ėkinçi ömür*. Mamlekettik til jana enciklopediya borboru.

Kulmambetov, J. (2005) *Kanat menen Zarina*. Biškeek.

Kulmambetov, J. (2008) *Aksidagı atuu, je Bospiektegi karan tün*. Biškeek.

Turusbek MADİLBAŪ. (1990) *Dubal*. Adabiyat, Frunze.

ノンフィクション

Akmataliev, A. (2002) *Kaada-salt, ürp-adat, adamdik oñ-ters sapat*. Biyiktik, Biškeek, Publittstika.

新聞

Ėrkin Too	02. 07. 2010	№59 (1979)
Ėrkin Too	03. 08. 2010	№ 69 (1989)
Ėrkin Too	06. 07. 2010	№60 (1980)
Ėrkin Too	09. 07. 2010	№62 (1982)
Ėrkin Too	13. 07. 2010	№63 (1983)
Ėrkin Too	16. 07. 2010	№64 (1984)
Ėrkin Too	20. 07. 2010	№65 (1985)
Ėrkin Too	23. 07. 2010	№66 (1986)
Ėrkin Too	27. 07. 2010	№67 (1987)
Ėrkin Too	30. 07. 2010	№ 68 (1988)
Kırgız Tuusu	03. 08. 2010	№58 (23446)
Kırgız Tuusu	13. 07. 2010	№52 (23444)
Kırgız Tuusu	27. 07. 2010	№56 (23444)
Kırgız Tuusu	30. 07. 2010	№57 (23445)
Kutbilim	01. 05. 2010	№16 (10378)
Kutbilim	02. 07. 2010	№25 (10387)

Kutbilim	04. 06. 2010	№21 (10383)
Kutbilim	05. 02. 2010	№4 (10366)
Kutbilim	05. 03. 2010	№8 (10370)
Kutbilim	09. 07. 2010	№26 (10388)
Kutbilim	12. 02. 2010	№5 (10367)
Kutbilim	14. 05. 2010	№18 (10380)
Kutbilim	16. 07. 2010	№27 (10389)
Kutbilim	19. 02. 2010	№6 (10368)
Kutbilim	26. 03. 2010	№11 (10373)

雜誌

Šookum	2007 Iyul'	№7 (12)
Zamandaš	2010Aprel'	№4 (81)

初出一覧

以下に、本論文の内容のもとになった論文や研究ノートなどを記す。但し、本論文の執筆にあたり、内容を大幅に修正している。

論文

- ・ 「キルギス語の授受を表す補助動詞について」、東京外国語大学日本課程、『日本研究教育年報』14、pp.1-20、2009.
- ・ 「キルギス語の補助動詞について—補助動詞 *otur*-の意味用法—」、『ユーラシア諸言語の動態Ⅱ (多重言語地域の言語研究)』、神戸市看護大学人間科学領域、CSELN^o17、pp.153-173、2011.

研究ノート

- ・ 「キルギス語の補助動詞について—補助動詞 *tur*-の意味用法—」、東京外国語大学大学院総合国際学研究院グローバル COE プログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」、『コーパスに基づく言語学教育研究報告』6、pp.259-278、2011.

データ

- ・ 「キルギス語 (データ:「アスペクト」、テーマ企画:特集「アスペクト」)」、東京外国語大学語学研究所、『語学研究所論集』15、pp.338-347、2010.
- ・ 「キルギス語—データ:「モダリティ」」、東京外国語大学語学研究所、『語学研究所論集』16、pp.203-209、2011.
- ・ 「キルギス語—データ:「ヴォイスとその周辺」」、東京外国語大学語学研究所、『語学研究所論集』17、pp.212-219、2012.

参考文献

チュルク諸語に関する参考文献

- Abdubaliev, I. (2008) *Kirgiz tilinin morfologiyasi* 「キルギス語の形態論」⁵⁶. Biškeek.
- Abduldaev, E. (1998) *Azirki kirgiz tili* 「現代キルギス語」. Kirgizstan, Biškeek.
- Baskakov, N. A. (1969) *Vvedenie v izučenie tyurkskix yazikov* 「チュルク諸語入門」. Visšaya škola, Moskva.
- Boeschoten, H. (1998) “The Speakers of Turkic Languages”, In Johanson, L. & Csató, É.Á.(eds.), *The Turkic Languages*. pp.1-15. London, New York:Routledge.
- Davletov, S. & S. Kudaybergenov. (1980) *Azirki kirgiz tili: Morfologiya* 「現代キルギス語・形態論」. Mektep, Frunze.
- Gregory, D. S. Anderson. (2006) *Auxiliary verb constructions*. Oxford University Press, USA.
- Kirchner, M. (1998) “Kirghiz”, In Johanson, L.& Csató, É.Á (eds.) , *The Turkic Languages*. pp.344-356. London, New York:Routledge.
- Kononov, A. N. (1982) *Istoriya izučeniya tyurkskix yazikov v Rossii* 「ロシアにおけるチュルク諸語学」. Nauka, Leningrad.
- Kudaybergenov, S. (1979) *Kirgiz tilinde etištın jasalıšı* 「キルギス語の動詞の形成」. Mektep, Biškeek.
- Kudaybergenov, S. (1980) *Kirgiz adabiy tilinin grammatikası* 「キルギス語の標準語の文法」. Ilim, Frunze.
- Kudaybergenov, S. (1981) *Kirgiz tilindegi ėlestüü etištér* 「キルギス語の表象的な動詞」. Mektep, Frunze.
- Mamanov, I. (1949) *Vspomogatel'niye glagoli v kazaxskom yazıke* 「カザフ語の補助動詞」. Akademiya Nauk Kazaxskoy SSR, Alma-Ata.
- Nasilov, D. (1989) *Problema tyurkskoy aspektologii* 「チュルク諸語のアスペクトの問題」. Nauka, Leningrad.
- Haspelmath, M. & E.König. (eds.) (1995) *Converbs in cross-linguistic perspective*. Berlin: Mouton de Gruyter.
- Oruzbaeva, B. O. (1965) *Glagol kak časti reči v kirgizskom yazıke* 「キルギス語における動詞」. Trudi IYLI AN Kirg.SSR.
- Sauranbaev, N. T. (1944) *Semantika i funkcii deepričastiy v kazaxskom yazıke* 「カザフ語の副動詞の機能について」. Alma-Ata.

⁵⁶ 括弧内は筆者による日本語訳である。

- Ščerbak, A. M. (1981) *Očerki po sravnitel'noy morfologii tyurkskix yazikov (glagol)* 「チュルク諸語の対照形態論概説 (動詞)」. Nauka, Leningrad.
- Tan, A. (2005) *Kırgız türkçesinde tasvir filleri*. Çukurova Üniversitesi Sosyal Bilimler Enstitüsü Yayınlanmamış Doktora Tezi, Adana.
- Üsönaliev, S. & B. Ömüraliev. (2004) *Azirkı kırgız tilinin tablicaları (Fonetika, morfologiya jana sintaksis)* 「現代キルギス語の分類表 (音声論、形態論、そして、統語論)」. ARXI, Biškeek.
- Yuldaşev, A. (1965) *Analitičeskiye formi glagola v tyurkskix yazıkax* 「チュルク諸語における分析的動詞形式」. Nauka, Moskva.
- Yuldaşev, A. (1977) *Sootnoşeniye deepričastnıx i ličnıx form glagola v tyurkskix yazıkax* 「チュルク諸語における副動詞形の相互関係」. Nauka, Moskva.
- Yunusaliev, B. M. (1966) “Kirgizskiy yazık”, *Yazıki narodov SSSR. Tyurkskie yazıki* 「ソ連の言語・チュルク諸語」. pp. 482-505. Nauka, Moskva.
- Zaxarova, O. B. (1987) *Grammatika kirgizskogo literaturnogo yazıka* 「キルギス語の標準語の文法」. Ilim, Frunze.

辞書・辞典類

- Abduldaev, E. (1984) *Kırgız tilinin tüşündürmө sözdüğü* 「例解キルギス語国語辞典」. Mektep, Frunze.
- Akmataliev, A. (2010) *Kırgız tilinin sözdüğü* 「キルギス語辞典」. AVRASYA JAYINCILIK, Biškeek.
- Krippes, Karl A. (1998) *Kyrgyz-English Dictionary*. Kensington, Md.: Dunwoody Press.
- Sevortyan, E. V. (1974) *Etimologičeskiy slovar' tyurkskix yazıkov* 「チュルク諸語の語源の辞典」. Nauka, Moskva.
- Sevortyan, E. V. (1978) *Etimologičeskiy slovar' tyurkskix yazıkov* 「チュルク諸語の語源の辞典」. Nauka, Moskva.
- Seydaxmatov, K. (1988) *Kırgız tilinin kiskača etimologiyalik sözdüğü* 「キルギス語の語源辞典」. Ilim, Frunze.
- Yudaxin, K. (1965) *Kirgizsko-russkiy slovar'* 「キルギス語-ロシア語辞典」. Sovetskaya Enciklopediya, Moskva.

日本語の参考文献

- 新井裕子 (2005) 「「シテイテ」の用法について」、東京外国語大学『日本研究教育年報』
9、pp.65-80、東京外国語大学日本課程・留学生課共編。
- 飯沼英三 (1994) 『キルギス語入門』、ベスト社。
- 大崎紀子 (2006) 『チュルク語・モンゴル語の使役と受動の研究 ―キルギス語と中期モンゴル語を中心として―』、博士論文 京都大学大学院文学研究科。
- 奥田靖雄 (1967) 「語彙的な意味のあり方」、『教育国語』8、教育科学研究会国語部会、
[奥田 1984 に所収、pp.3-20] 。
- 奥田靖雄 (1977) 「アスペクトの研究をめぐって―金田一的段階―」、『国語国文』8、
宮城教育大学、[奥田 1984 に所収、pp.85-104] 。
- 奥田靖雄 (1979) 「意味と機能」、『教育国語』58、[奥田 1984 に所収、pp.159-169] 。
- 奥田靖雄 (1984) 『ことばの研究・序説』、むぎ書房。
- 奥田靖雄 (1993) 「動詞の終止形 (その1)」、『教育国語』2-9: 44-53、むぎ書房。
- 奥田靖雄 (1994) 「動詞の終止形 (その2)」、『教育国語』2-12: 27-42、むぎ書房。
- 風間伸次郎 (2003) 「アルタイ諸言語の3グループ (チュルク、モンゴル、ツングース)、
及び朝鮮語、日本語の文法は本当に似ているのか: 対照文法の試み」、アレキサンダー・ボビン、長田俊樹編『日本語系統論の現在』、pp. 249-340、国際日本文化研究センター。
- 菅野裕臣 (1990) 『動詞アスペクトについて (I)』、学習院大学東洋文化研究所編。
- 菅野裕臣 (1992) 『動詞アスペクトについて (II)』、学習院大学東洋文化研究所編。
- 金田一春彦 (1950) 「国語動詞の一分類」、『国語研究』15、(金田一春彦編 (1976) 『日本語動詞のアスペクト』、むぎ書房、pp. 5-26.に再録) 。
- 金田一春彦 (1976) 『日本語動詞のアスペクト』、むぎ書房。
- 工藤真由美 (1982a) 「シテイル形式の意味記述」、『武蔵大学人文学会雑誌』13-4: pp.51-88、
武蔵大学人文学会。
- 工藤真由美 (1982b) 「シテイル形式の意味のあり方」、『日本語学』12、pp.38-47、明治
書院。
- 工藤真由美 (1995) 『アスペクト・テンス体系とテキスト―現代日本語の時間の表現―』、
ひつじ書房。
- 久野暉 (1973) 『日本文法研究』、大修館。
- 言語学研究会・構文論グループ (1989a) 「なかどめ―動詞の第二なかどめのばあい―」、
『ことばの科学』2、pp.11-47、むぎ書房。
- 言語学研究会・構文論グループ (1989b) 「なかどめ―動詞の第一なかどめのばあい―」、
『ことばの科学』3、pp.163-179、むぎ書房。
- 国立国語研究所 (2004) 『分類語彙表―増補改訂版―』、大日本図書。

- 庄垣内正弘 (1988) 「キルギス語」、亀井孝・河野六郎・千野栄一編、『言語学大辞典』第1巻、pp.1416-1422、三省堂。
- 庄垣内正弘 (1989) 「チュルク諸語」、亀井孝・河野六郎・千野栄一編、『言語学大辞典』第2巻、pp.937-950、三省堂。
- 鈴木重幸 (1972) 『日本語文法・形態論』、むぎ書房。
- ターライベク キズ、ジャーナルクリ (2007) 「日本語の「V-テイル」に対応するキルギス語の「V-jat」のアスペク的な意味用法をめぐって」、国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学編、『日本言語文化研究会論集』、pp.305-334、日本言語文化研究会。
- 高橋太郎 (2003) 『動詞九章』、ひつじ書房。
- 徳川宗賢・宮島達夫編 (1972) 『類義語辞典 再版』、東京堂出版、(初版 1972 年)。
- 中山健一編 (2010) 『外大生のための日本語研究ガイドブック』、東京外国語大学大学院地域文化研究科グローバル COE プログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」(増補改訂版)。
- 仁田義雄 (1995) 「シテ形接続をめぐって」、『複文の研究 上』、pp.87-126、くろしお出版。
- 早津恵美子 (2009) 「語彙と文法との関わりーカテゴリーカルな意味ー」、『政大日本研究【第六号】』、pp.1-70、(台湾) 国立政治大学日本語文学系。
- ホッパー、P. J. & E. C.トラウゴット(1993) 『文法化』(日野資成訳) (2003)、九州大学出版会。
- 宮島達夫 (1972) 『動詞の意味・用法の記述的研究』、秀英出版。
- 村木新次郎 (1991) 『日本語動詞の諸相』、ひつじ書房。
- 森山卓郎 (1988) 『日本語動詞述語文の研究』、明治書院。
- 吉川武時 (1982) 「日本語教育におけるテンス・アスペクトのあつかい」、『日本語教育』12、日本語教育学会。

辞書・辞典類

- 小泉保・船城道雄・本田晶治・仁田義雄・塚本秀樹編 (1989) 『日本語基本動詞用法辞典』、大修館書店。
- 国語学会・『国語学辞典』編集委員会編 (1963) 『国語学辞典 訂正 10 版』、東京堂、(初版 1955 年)。
- 柴田武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄編 (2005) 『新明解 国語辞典 第六版』、三省堂、(初版 1972 年)。

資料一覧

資料 I 動詞類に含まれる動詞のリスト

ここから、それぞれの動詞グループに含まれる動詞の代表的なものをあげておく。各動詞の日本語訳は筆者によるものである。なお、場合によっては、意識を用いる。ただし、グロスでは、逐語訳も付すこととする。

「動作動詞」

「動作動詞」とは、主体の動きの側面を表わす動詞である。これらは主体の動的な運動をとらえている動詞らしい動詞である。現代キルギス語の動詞の圧倒的多数がここに属している。

《主体の活動動作を表わす動詞》

・ ayda-「運転する」、al-「取る、買う」、bašta-「始める」、ber-「与える」、oku-「読む」、oyno-「遊ぶ」、oyno-「(演技を)する」、oyno-「(曲を)引く」、jaz-「書く」、jasa-「作る」、je-「食べる」、izde-「探す」、ište-「働く」、ič-「飲む」、iyla-「泣く」、kač-「逃げる」、kül-「笑う」、kıl-「やる、する」、küt-「待つ」、sakta-「守る」、tart-「(曲を)引く」、tap-「見つける」、tos-「迎える」、など

・ aktangansi-「言い訳する」、arızdan-「クレームを言う」、ayt-「言う」、bakır-「叫ぶ」、biyle-「踊る」、döödürö-「無駄に喋る」、döörü-「無駄に喋る」、čakır-「呼ぶ」、čanır-「叫ぶ」、čuldura-「意味不明に喋る」、ėbire-「喋る」、ėjekele-「姉という」、ırda-「歌う」、jalın-「懇願する」、joop ber-「返事する」、karkilda-「喋る」、kečir-「許す」、kep sal-「話をする」、kiykır-「叫ぶ」、kiyt de-「擬声語+言う」、kobura-「つぶやく」、ötün-「願う」、sana-「教える」、sayra-「喋る、鳴く」、šibira-「ささやく」、sögün-「暴言をはく」、sögünüp — sagın-「暴言をはく」、sök-「暴言をはく」、söz kıl-「話をする」、sura-「尋ねる」、suroo ber-「質問する」、süylö-「話す」、tamaša kıl-「冗談をいう」、tamtaŋda-「適当に喋る」、tantıra-「無駄に喋る」、tilde-「叱る」、tile-「祈る」、tüšündür-「説明する」、tuyundur-「説明する」、unčuk-「話し出す」、uyu-「(耳を)傾ける」、bayanda-「語る」、kjučöldö-「騒ぐ(騒がしくする)」、čulda-「騒ぐ(煩くする)」、など

・ süylöš-「話し合う」、aŋgemeleš-「話し合う」、sırdaš-「打ち明けて話し合う」、akildaš-「相談する」、keješ-「相談する」、koburaš-「話し合う」、čukuldaš-「話し合う、喋る」、kiykiriš-「叫びあう」、sögüş-「口喧嘩する」、など

・ ušint-「こうする」、mint-「こうする」、momint-「こうする」、ošent-「そうする」、ant-「ああする」、など

《主体の長期的な活動動作を表わす動詞》

jaz-「書く、執筆する」、jaša-「生きる、暮らす、生活する」、bak-「育てる、養う」、tarbiyala-「教育する」、izilde-「研究する」、ötkör-「過ごす」、ište-「勤務する、働く」、oku-「勉強する」、süylöš-「付き合う」、など

《主体の視覚・視聴活動を表わす動詞》

kara-「見る」、kör-「見る」、körün-「見える」、tikte-「見つめる」、baykal-「見える」、karat-「見させる」、körgönsü-「見る」、köz жүгүрт-「見渡す」、šikaala-「こっそり見る」、tikteš-「見つめあう」、tüstön-「見える」、uk-「聞く」、tünša-「立ち聞きする」、ugul-「聞こえる」、kulak sal-「耳を傾ける」、など

《主体の再帰的な動作を表わす動詞》

kiy-「着る、履く、かぶる」、kiyin-「着る」、kirin-「入浴する」、kurčan-「ベルトをする」、jamīn-「(布団を)かける」、juun-「洗う」、čečin-「脱ぐ」、tagīn-「しめる」、tartīn-「つける」、čalīn-「つまづく」、など

《主体の生理的な動きを表わす動詞》

dirilde-「震える」、kalčilda-「震える」、kaltıra-「震える」、tībīrčila-「震える」、tībira-「震える」、titire-「震える」、tuyla-「震える」、solkulda-「震える」、など⁵⁷

《自然現象の動きを表わす動詞》

jaa-「降る」、jaan kuy-「雨が降る」、tök-「(雨が激しく)降る」、ak-「流れる」、jür-「(風が)そよぐ」、ur-「(風が)吹く」、aŋilda-「(風が)悲鳴をあげる」、šingir-「鳴る」、など

《主体の移動動作を表わす動詞》

「移動動詞」とは、主体の位置を変えるような動き、つまり、移動を伴う動作を表わす動詞である。移動動詞が表わす移動の過程は、出発、移動の様態、移動そのものの3つの要素からなる。これらの要素が各補助動詞形式のアスペクト的な意味に深く関係しているので、更に分ける必要がある。

・移動の出発を表わす動詞

jönö-「発つ」、attan-「出発する」、čik-「出る、出かける」

・移動の様態を表わす動詞

bas-「歩く」、arala-「歩き回る」、aylan-「歩きまわる」、kidir-「歩き回る」、kirda-「歩く、添う」、kes-「歩く」、öt-「通る、過ぎる」、keč-「(水を)渡る」、jügür-「走る」、čurka-「走る」、bulku-「(動物が)走る」、jörgölö-「(人が)這う」、soylo-「(動物が)這う」、süz-「泳ぐ」、uč-「飛ぶ」、zīmīra-「早く飛ぶ」、tegeren-「飛び回る」、otto-「(動物が)食べ回る」、ördö-「(動物が)食べ回る」、kibira-「動く」、jil-「動く」、jür-「行く、動く」

・移動そのものを表わす動詞

kel-「来る」、bar-「行く」、ket-「行く、帰る」、čik-「出る」、jet-「たどり着く」、kir-「入る」、kayt-「戻る」、tart-「戻る」

「変化動詞」

「変化動詞」とは、主体の変化の側面を表わす動詞である。これらの動詞の場合、動作が終わった後、主体の状態が変わることになる。

《主体の無意志的な状態変化を表わす動詞》

・art-「超える」、aš-「超える」、bat-「いっぱいになる」、biš-「熟す」、bol-「なる」、bol-「起こる」、čap-「(事が)伝わる」、čik-「出る(出現)」、čik-「(年齢に)なる」、iy-「胸から乳が出る」、jan-「輝く」、jar-「響く」、jet-「届く」、jet-「足りる」、juk-「移る」、jür-

⁵⁷ これらの動詞を日本語に訳そうとすると、すべて「震える」になってしまうが、キルギス語の場合、人や動物によって動詞が使い分けられる。

「行われる」、kal-「残る」、(jüt) kel-「(匂いが) くる」、koš-「力をささげる」、küy-「焼ける」、mal-「入れる」、öl-「死ぬ」、ön-「実る」、öt-「行われる」、saa-「もたらす」、sür-「出す」、sür-「なる」、ADJ+bol-「～になる」、tart-「引く」、tiy-「晴れる」、tiy-「関わる」、tiy-「とる」、tol-「あふれる」、toņ-「凍る」、toy-「満足する」、tun-「沈む」、tüš-「落ちる」、tuu-「生む」、ur-「(歴史が) 感じられる」

• ajıra-「(認識が) 薄れる」、aloolo-「燃える」、bagitta-「方向づける」、bikilda-「あふれる」、burkura-「匂う」、daldaala-「隠れる」、dürbü-「騒ぐ」、güldö-「咲く」、idira-「(友情が) 壊れる」、kapta-「覆う」、karmal-「保たれる」、kayna-「湧く」、kičira-「冷える」、kiyra-「崩れる」、kölküldö-「食べたくなりそう」、mončokto-「汗が落ちる」、muzda-「冷える」、orgušta-「湧き出る」、tamčila-「滴が落ちる」、terde-「汗をかく」、tokto-「止まる」、toopto-「聞かない、ふてくされる」、učura-「壊れる」、ura-「倒れる」、zirkira-「冷える」

• alin-「雇われる」、ašin-「超える」、bölön-「負われる」、bülün-「壊れる」、čaralar körün-「対策が練られる」、ilin-「掛かる」、kulan-「落ちる」、kulpun-「輝く」、taarin-「(自然が) ふてくされる」、tölön-「支払われる」、bilin-「知られる」

• čigar-「出す」、jañir-「更新する」、jañir-「響く」、jašar-「若返る」、kizar-「赤くなる」、kubar-「青ざめる」、kumsar-「青ざめる」、kuušur-「こだわる」、möltür-「食べたくなりそう」、semir-「太る」、tünör-「暗くなる」、tüšür-「(物が物を) 落とす」、tüšür-「騒ぐ」

• aksa-「(教育問題が) 不足する」、bula-「(煙が) 上がる」、ėri-「溶ける」、iši-「暖まる」、jara-「役に立つ」、jarī-「充実する」、kana-「血が出る」、kizi-「盛り上がる」、kübü-「落ちる」、kula-「倒れる」、ooru-「病む」、orno-「建つ」、tara-「消える」、tütö-「煙る」、uyu-「(不幸が) 重なる」、suusa-「のどが渴く」

• čyirik-「冷える」、kečik-「(事が) 遅れる」

• almaš-「交代する」、aralaš-「混ざる」、aruulaš-「混ざる」、jabiš-「くつつく」、jañiliš-「間違える」、jetiš-「足りる」、jetiš-「成功する」、kabiš-「(おなかが) すく」、kamališ-「閉じ込められる」、kiyiš-「合致する」、maylaniš-「油ぼくなる」

• čapči-「握る」、tinči-「落ち着く」

• ilji-「酔っぱらう」、kubulju-「輝く」

• bürkü-「出る」、jabirka-「倒産する」、kalki-「浮く」、uyulgu-「(煙が) 上がる」

• jetkir-「導く」、jetkir-「伝える」、jürgüzül-「行われる」、kilgür-「いっぱいになる」• aylan-「四捨五入する」、aylan-「変わる」、baylan-「縛られる」、bücürlön-「実る」、butaktan-「実る」、buulan-「活発化する」、buulan-「泡をたてる」、čipkalan-「浮く」、jaralan-「傷つく」、jardan-「同伴する」、jarıktan-「電気がつく」、jittan-「臭う」、kaytalan-「繰り返す」、öndön-「似る、思わせる」、örttön-「燃える」、uulan-「毒になる」

• bikši-「腐る」、jaši-「涙ぐむ」、kakša-「冷える」、niksira-「お腹いっぱいになる」、taši-「あふれる」、tekebersi-「えらそうにする」

• alsızdik kil-「弱る」、aša čap-「いきすぎる、やりすぎる」、boyunan tüš-「流産する」、bürköo tart-「曇りになる」、jarik kil-「(太陽が) 明るくする」、kamına čaap-「なる」、kolgo

tüş-「逮捕される」、korkunuč bas-「恐怖が起きる」、kumarga bat-「誘惑される」、kursak aç-「お腹がすく」、öön uçura-「目をそむける」、šišimik tart-「むくむ」、taasir tiygiz-「影響を与える」、tilden kal-「話せなくなる」、töp kel-「ぴったりくる（ぴったりになる）」、toy tüšür-「幸せをもたらす」、ubayimga bat-「なる」、など

《主体の動作が客体の変化を引き起こす動詞》

kaz-「掘る」、kaynat-「沸かす」、kirk-「切る」、jilit-「暖める」、jarat-「(事を)産む、作る」、iyle-「もむ」、buz-「壊す」、čigar-「出す」、čogult-「集める」、sal-「入れる」、bas-「押す」、böl-「破る」、koy-「置く」、sürt-「拭く」、muunt-「(首を)絞める」、ornot-「築く」、tüšür-「書き写す」、toktot-「止める」、など

《主体の姿勢変化を表わす動詞》

tur-「起きる、立つ」、oltur-「座る」、kon-「(動物が)座る」、jat-「横たわる」、ukta-「寝る、眠る」、oygon-「起きる」

《主体の社会的な変化を表わす動詞》

ajiraš-「離れる」、baš koš-「結婚する」

《主体の漸進的な変化を表わす動詞》

azay-「減る」、alısta-「遠ざかる」、basaŋda-「減る」、seyrektele-「減る」、kičireyt-「減らす」、küböy-「増える」、čoŋoy-「拡大する」、küčö-「拡大する」、küč al-「強まる」、öydölöt-「上昇する」、kötörül-「進行する(上昇する)」、sozul-「進む(伸びる)」、ula-「進める」、ulan-「進む」、uzart-「伸ばす」、ös-「伸びる」、ön-「成功する」、özgör-「変わる」、özgört-「変える」、tezde-「早まる」、jakında-「近づく」、など

《主体の表示的な意味を表わす動詞》

ayginele-「示す」、bildir-「表わす」、körsöt-「表わす」、közdö-「表わす」、ayırmala-「区別する」、ayırmalan-「目立つ」、artıktal-「目立つ」、bilin-「知られる」、čap-「(事が)伝わる」、okšo-「似る」、öŋdön-「似る」、tüz-「成立する」、ündöš-「関係する」、dalilde-「証明する」、tastıkta-「証明する」、anıкта-「確かめる」、など

「状態動詞」

「状態動詞」とは、主体の状態を表わす動詞である。

《主体の空間的な関係を表わす動詞》

kurča-「囲む」、kapta-「覆う」、kamti-「含む」、ěle-「占める」、bölün-「かけ離れる」、karmal-「(海が)保たれる」、böl-「わける」、sozul-「伸びる」、keril-「伸びる」、kötörül-「上がる(地上に突き出る)」、baylanıştir-「結び付け合わせる」、biriktir-「結びつける」、など

《主体の擬態的な様態を表わす動詞》

balpay-「堂々とする様子だ」、bilk et-「じっとする」、čepey-「驚く様子だ」、čiytiy-「悲しむ様子だ」、dompoy-「とがる」、düküy-「猫背の様子だ」、jilmay-「にこにこする」、kuluy-「驚く様子だ」、oŋuray-「穴が開いている様子だ」、ošton-「嫌がらせする」、šalday-「へとへとだ」、seksey-「ボサボサした様子だ」、seldey-「ショックを受ける様子だ」、seley-「驚く様子だ」、šilküy-「しょんぼりする様子だ」、soldoy-「あきれる様子だ」、telmir-「驚

く様子だ」、tomsor-「驚く様子だ」、など

《主体の付帯的な動作を表わす動詞》

tizele-「床に膝をつく様子だ」、kučakta-「抱く」、tayan-「腰に手を置く」、
tišten-「歯を食いしばる」、など

《主体の状態的な性質を表わす動詞》

[ADJ alip jür-] の形で現れる動詞がはいる。

taza alip jür-「きれいにふるまう」、kötörünkü alip jür-「高くふるまう」、jeñil alip
jür-「軽くふるまう」、など

「内的感情動詞」

「内的感情動詞」、主体の内的な感情を表わす動詞である。これらの動詞は、人の考えや
思いや感情など、つまり、人の心の動きを表わす動作動詞である。

《主体の思考活動動作を表わす動詞》

oylo-「考える」、oylon-「考える」、oygo al-「気にする、考える」、oygo bat-「考え込む」、
oygo čulgan-「考え込む、夢中になる」、oygo beril-「考え込む、夢中になる」、ěske tüš-
「思い出す」、bil-「知る」、sez-「感じる」、išen-「信じる」、išenim art-「希望をもたらす」、
kaala-「望む」、šekši-「推測する」、tüšün-「分かる」、tüšüngönsü-「分かる」、tuy-「分か
る」、tuyguz-「理解する」、aŋda-「理解する」、közüm jet-「理解する」、boljo-「予想する」、
kiyaldan-「妄想する」、čalki-「妄想する」、(tüšümö) kir-「夢想する(夢に出る)」、unut-
「忘れる」、ěs tutumuna tüy-「記憶にとどめる」、ělestet-「想像する」、など

《主体の感情を表わす動詞》

・ ačuulan-「怒る」、kijün-「怒る」、küülön-「怒る」、apkaari-「怖がる」、kork-「怖がる」、
čočula-「怖がる」、šekten-「怖がる」、aya-「惜しむ、気の毒に思う」、azap ček-「苦勞す
る」、azap tart-「苦勞する」、azaptan-「苦勞する」、keyi-「悩む」、kiyna-「苦しめる」、kiynal-
「苦しむ」、zapki kör-「苦勞する」、čök-「悲しむ」、jötkür-「悲しむ」、kapalan-「悲しむ」、
kara bas-「困る、悲しむ」、kaygır-「悲しむ」、kaza jut-「悲しむ」、kuurul-「悲しむ」、küy-
「悲しむ」、küyütün tart-「悲しむ」、sızda-「悲しむ」、sızdat-「痛ませる、悲しませる」、
öyü-「(心が)痛む」、suz tar-「悲しむ」、tunjura-「悲しむ」、üşkür-「ため息をする、悲
しむ」、jani açi-「(心が)痛む」、sanaa tart-「悩む」、kisil-「苦しむ」、sanaarka-「落ち込
む」、izalan-「悔しくなる」、jokto-「寂しがる」、sagın-「なつかしむ」、saginiš-「慕う」、
aylaları kur-「困る」、buydaan-「困惑する」、ěşsesi kur-「困る、疲れる」、esir-「困る」、
janiña bat-「困る」、kuura-「困る」、sapır-「(心を)かきみだす、痛ませる」、ubaralan-「困
る」、kokuyła-「困る」、tiněsizdan-「心配する」、zarla-「懇願する」

・ kimında-「喜ぶ」、kuban-「喜ぶ」、tolku-「わくわくする」、opkolju-「ドキドキする」、
sok-「(心が)打つ、ドキドキする」、suktan-「感心する」、tolkundan-「感動する」、jalında-
「興奮する」、

・ ayran kal-「驚く」、čoču-「驚く」、tañ kal-「驚く」、ürkü-「(馬が)びっくりする」

・ 感情 ADJ bol-「～になる」、など

《主体の評価的な態度を表わす動詞》

- čarča-「疲れる」、sabil-「強く疲れる」、čimirkan-「耐える」、čida-「我慢する」、tokton-「我慢する」、kašikta-「頑張る」、kögör-「頑固する」、öjörön-「頑張る」、talpin-「前に進む、頑張る」、türmiş-「一生懸命に頑張る」、jan talaš-「でしゃばる」
- siymiktan-「誇りに思う」、jak-「気に入る」、jaksi kör-「好きになる」、jaktir-「好む」、köjüldön-「欲しがる、気に入る」、jaman kör-「嫌になる」、jek körün-「嫌がられる」、süy-「愛する」、süyüp-küy-「愛する」、zarkan-「嫌がる」、ič küy-「嫉妬する」、tari-「嫉妬する」、siyla-「尊敬する」、urmatta-「尊敬する」、tartın-「遠慮する」、maktan-「自慢する」、köp-「高ぶる」、karga-「にらむ」、kiyaldan-「妄想する」、kizik-「あこがれる」、uyal-「恥ずかしがる」、uyalıñkira-「遠慮する」、ökün-「後悔する」、tüñül-「あきらめる」、mëërim tök-「優しさをそそぐ」

〔受身接尾辞で現れる動詞〕⁵⁸

ačil-「開く」、aširil-「実行される」、aytil-「言われる」、aniktal-「確認される」、asil-「(鍋が)置かれる」、aširil-「実行される」、azgiril-「誘惑される」、agil-「(車が)流れる」、alin-「(話題に)出る」、atil-「撃たれる」、atkaril-「果たされる」、bagištal-「贈られる」、basil-「(ピラフが)作られる」、beril-「放送される」、bagil-「育てられる」、basil-「収まる」、jasal-「作られる」、jayil-「干される」、jazil-「書かれる」、joyul-「開放される」、juul-「洗われる」、joyul-「開放される」、jürgüzül-「行われる」、kamtil-「把握される」、karal-「検討される」、katil-「隠れる」、kazil-「掘られる」、ketiril-「間違いが起こされる」、kisil-「挟まれる」、kiyil-「(木が)切られる」、körsötül-「見せられる」、körül-「検討される」、kurul-「建てられる」、tartılıš-「引かれる」、tartil-「(アニメが)撮影される」、tigil-「作られる」、töšöl-「敷かれる」、tüšündürül-「説明される」、tuul-「生まれる」、ötkörül-「行われる」、saktal-「保存される」、sezil-「感じられる」、ëñširil-「あふれ出る」、ištäl-「検討される」、čaynal-「嘔まれる」、čečil-「決められる」、čektel-「限定される」、čigaril-「出される」、čömül-「溺れる」、ötkörül-「行われる」、plandaštiril-「計画される」、satil-「販売される」、sural-「聞かれる」、üyül-「積る」、など

⁵⁸ 受身を表わす-(i)l-接尾辞は、受身以外に自動詞の場合にも使われる。従って、他のタイプの場合にも同じ形の動詞が出てくることがある。たとえば、ugul-「聞こえる」は《主体の視覚・視聴活動を表わす動詞》の中にはいる。

資料Ⅱ コーパス内の主動詞と補助動詞の詳細

資料Ⅱの欄の説明

A 欄：主動詞

B 欄：当該の主動詞の日本語訳である。すべて筆者によるものである。なお、具体的な文において、動詞の訳が異なる場合がある。

C 欄：当該の主動詞につづく副動詞接尾辞

D 欄：当該の主動詞につづく補助動詞

E 欄：当該の主動詞の出現頻度

F 欄：当該の主動詞の語形接尾辞の詳細（Kudaybergenov(1979)及び Davletov & Kudaybergenov(1980)を参考にして、筆者が分類したものである。）

なお、資料Ⅱの動詞リストには、al-（可能の意味を表わす場合）、ber-、jat-、jür-、kal-、kel-、ket-、koy-、sal-（補助動詞として現れる場合）は入っていない。

	A	B	C	D	E	F
1	主動詞	主動詞の日本語訳	副動詞接尾辞	補助動詞	主動詞の出現頻度	語形接尾辞
2	aarči	拭く	(i)p	jür	1	ča,či
3	abakele	兄と言う	(i)p	tur	1	la
4	ač	開ける	(i)p	jat	1	語幹
5	ačil	開く	(i)p	otur	1	il
6	ačil	開く	(i)p	tur	2	il
7	ačil	開く	NEG	jat	1	il
8	ačiš	(心が)痛む	(i)p	otur	1	iš,iš
9	ačit	発酵する	a/y	tur	1	t
10	ačtir	開く、開けさせる	(i)p	jat	1	dir
11	ačuulan	怒る	(i)p	jat	1	lan
12	adaš	迷う	(i)p	tur	2	iš,iš
13	adaštir	迷わせる	(i)p	jat	1	dir
14	adaštir	迷わせる	(i)p	tur	1	dir
15	agil	(車が)流れる	(i)p	jat	1	il
16	ajikizdan	頑固になる	(i)p	otur	1	lan
17	ajira	(認識が)薄れる、はなれる	(i)p	tur	1	ra
18	ajiraš	離れる	(i)p	jat	1	iš,iš
19	ajiraš	離れる	(i)p	otur	1	iš,iš
20	ak	流れる	(i)p	jat	8	語幹
21	ak	流れる	(i)p	tur	1	語幹
22	akildaš	相談する	(i)p	jür	1	iš,iš
23	akmala	看視する	(i)p	jür	2	la
24	akmala	看視する	(i)p	otur	1	la
25	akmala	看視する	(i)p	tur	1	la
26	aksa	(教育問題が)不足する	(i)p	jat	1	a,e
27	aktangansi	言い訳を言う	(i)p	jat	1	si, si
28	al	買う	(i)p	jat	1	語幹
29	al	受ける	(i)p	jat	2	語幹
30	al	取る	(i)p	jat	6	語幹
31	al	持つ	(i)p	jür	4	語幹
32	al	ADJ+al	(i)p	jür	5	語幹
33	al	取る	(i)p	jür	5	語幹
34	al	ADJ+al	(i)p	otur	2	語幹
35	al	取る	(i)p	otur	2	語幹
36	al	受ける	(i)p	tur	3	語幹
37	al	取る	(i)p	tur	5	語幹
38	al	取る	a/y	jat	2	語幹
39	al	持つ	a/y	jür	3	語幹
40	al	受ける	a/y	tur	1	語幹
41	al	取る	a/y	tur	5	語幹
42	alaksit	慰める、気をひかせる	(i)p	jür	1	t
43	alda	だます	(i)p	jür	4	da,de
44	aldeyle	赤ん坊を寝かせる	(i)p	tur	1	la
45	aldir	取られる	(i)p	jat	1	dir
46	aldir	(髪を)そる	(i)p	tur	1	dir
47	alın	(話題に)出る	(i)p	jat	1	il
48	alın	雇われる	NEG	tur	1	in,in
49	alip bar	連れていく	(i)p	jür	1	複合動詞
50	alip kel	持ってくる	(i)p	jat	2	複合動詞
51	alip kel	持ってくる	(i)p	jür	1	複合動詞

	A	B	C	D	E	F
52	alip kel	持ってくる	(i)p	tur	2	複合動詞
53	alip kel	持ってくる	a/y	jat	1	複合動詞
54	alip kel	持ってくる	a/y	tur	2	複合動詞
55	ališ	生活する、暮らす	(i)p	otur	1	iš,iš
56	alista	遠ざかる	(i)p	jür	1	da,de
57	alka	ほめる	(i)p	jat	1	a,e
58	almaš	交代する	(i)p	tur	3	iš,iš
59	almaštir	変える	(i)p	tur	1	dir
60	almaštir	変える	NEG	tur	1	dir
61	aloolo	燃える	(i)p	tur	2	la
62	alsizdik kil	弱る	(i)p	jat	1	複合動詞
63	amaldan	ずるずる	(i)p	jat	1	lan
64	analizde	分析する	(i)p	otur	1	da,de
65	anikta	確かめる	(i)p	tur	1	da,de
66	anikta	確かめる	a/y	tur	2	da,de
67	aniktal	確認される	NEG	tur	1	il
68	ant	ああする	(i)p	otur	1	語幹
69	ant	ああする	a/y	tur	1	語幹
70	añ uula	狩る	(i)p	jür	1	la
71	añda	理解する	(i)p	tur	1	da,de
72	añdi	尾行する	(i)p	jür	1	di,ti
73	añdi	尾行する	(i)p	tur	1	di,ti
74	añgemeleş	話しあう	(i)p	otur	1	iš,iš
75	añilda	(風が)悲鳴をあげる	(i)p	tur	1	da,de
76	apkaari	怖がる	(i)p	jat	1	ra
77	aračala	媒介する	(i)p	tur	1	la
78	araket jasa	努力をする	(i)p	jat	1	複合動詞
79	araketten	努力する	(i)p	jat	3	lan
80	arala	歩きまわる	(i)p	jür	9	la
81	aralaš	混ざる	(i)p	jür	1	iš,iš
82	aralaša koy	加わる	(i)p	jür	1	複合動詞
83	aralaštir	混ぜる	(i)p	jat	1	dir
84	arbaš	競いあう、戦いあう	(i)p	jat	1	iš,iš
85	arbī	増える	(i)p	tur	1	ba
86	arizdan	クレームを言う	(i)p	jat	1	lan
87	arizdan	クレームを言う	(i)p	jür	1	lan
88	art	超える	(i)p	jat	1	語幹
89	artiktal	目立つ	(i)p	tur	1	il
90	artil	超える	(i)p	tur	2	il
91	arttir	超える	a/y	jür	1	dir
92	aruulaš	混ざる	(i)p	tur	1	iš,iš
93	aš	超える	(i)p	otur	1	語幹
94	aš	超える	(i)p	tur	3	語幹
95	aš	超える	NEG	jür	1	語幹
96	aša čap	いきすぎる、やりすぎる	(i)p	jat	1	複合動詞
97	asil	抱きつく	(i)p	jat	1	il
98	asil	(鍋が)おかれる	(i)p	tur	1	il
99	ašin	超える	(i)p	tur	2	in,in
100	aširil	実行される	(i)p	jat	2	il
101	aširil	実行される	a/y	tur	1	il
102	at	撃つ	(i)p	tur	2	語幹
103	atal	名づけられる	(i)p	jür	1	il

	A	B	C	D	E	F
104	atayıla	わざとする	(i)p	tur	1	la
105	atayin jasa	わざとする、わざとやる	(i)p	otur	1	複合動詞
106	atil	撃たれる	(i)p	jat	2	il
107	atil	噴火する	(i)p	tur	2	il
108	atkar	果たす	(i)p	jat	5	kar,kir
109	atkar	果たす	(i)p	jur	3	kar,kir
110	atkar	果たす	(i)p	tur	2	kar,kir
111	atkar	果たす	a/y	tur	4	kar,kir
112	atkar	果たす	NEG	tur	1	kar,kir
113	atkaril	果たされる、実行される	(i)p	jat	2	il
114	attan	出発する	(i)p	jat	2	lan
115	attan	出発する	(i)p	otur	1	lan
116	aya	惜しむ、気の毒に思う	(i)p	jat	3	a,e
117	aya	惜しむ、気の毒に思う	NEG	tur	1	a,e
118	ayarlan	気を付ける	a/y	jur	1	lan
119	ayda	追う	(i)p	jur	1	da,de
120	ayda	耕す	(i)p	jur	1	da,de
121	ayda	運転する	(i)p	jur	3	da,de
122	ayginele	明らかにする、明確にする	(i)p	tur	1	la
123	ayilcilaš	遊びあう、遊びに行く	(i)p	tur	2	iš,iš
124	ayipta	攻める、非難する	(i)p	jat	1	da,de
125	ayirmala	区別する	(i)p	tur	1	la
126	ayirmalan	目立つ	(i)p	tur	9	lan
127	ayirmalan	目立つ	a/y	jur	1	lan
128	ayirmalan	目立つ	a/y	tur	2	lan
129	aylaları kur	困る、仕方がなくなる	(i)p	tur	1	複合動詞
130	aylan	回る	(i)p	jat	2	lan
131	aylan	回る	(i)p	otur	1	lan
132	aylan	変わる	(i)p	otur	1	lan
133	aylandir	回す	(i)p	jat	1	dir
134	ayran kal	驚く	(i)p	tur	1	複合動詞
135	ayt	言う	(i)p	jat	30	語幹
136	ayt	言う	(i)p	jur	20	語幹
137	ayt	言う	(i)p	otur	7	語幹
138	ayt	言う	(i)p	tur	11	語幹
139	ayt	言う	a/y	jur	4	語幹
140	ayt	言う	a/y	tur	6	語幹
141	ayt	言う	NEG	jur	6	語幹
142	ayt	言う	NEG	tur	1	語幹
143	aytil	言われる	(i)p	jat	5	il
144	aytil	言われる	(i)p	jur	12	il
145	aytil	言われる	(i)p	tur	1	il
146	aytil	言われる	a/y	tur	1	il
147	aytil	言われる	NEG	tur	1	il
148	ayttir	言わせる	(i)p	jat	1	dir
149	ayttir	言わせる	(i)p	otur	2	dir
150	azap çek	苦勞する	(i)p	jat	2	複合動詞
151	azap çek	苦勞する	(i)p	jur	1	複合動詞
152	azap tart	苦勞する	(i)p	jur	2	複合動詞
153	azaptan	苦勞する	(i)p	jat	1	lan
154	azay	減る	(i)p	otur	2	ay,ey
155	azdik kil	不満に思う、物足りなく感	a/y	tur	1	複合動詞

	A	B	C	D	E	F
156	azgüril	騙される、誘惑される	(i)p	tur	1	il
157	baa ber	評価する	(i)p	jür	1	複合動詞
158	baala	評価する	(i)p	jat	1	la
159	baala	評価する	a/y	jür	1	la
160	baamda	評価する	(i)p	tur	2	da,de
161	baamda	評価する	a/y	tur	1	da,de
162	bagil	育てられる	(i)p	tur	1	il
163	bagistal	贈られる、向けられる	(i)p	jat	1	il
164	bagitta	方向づける	(i)p	jat	1	da,de
165	bagitta	方向づける	(i)p	tur	1	da,de
166	bak	見張る、監視する	(i)p	jür	1	語幹
167	bak	育てる	(i)p	jür	5	語幹
168	bak	育てる	(i)p	tur	1	語幹
169	bakir	叫ぶ	(i)p	jat	2	ar,er
170	bakir	叫ぶ	(i)p	jür	1	ar,er
171	balin tat	味わう、楽しむ	(i)p	jür	1	複合動詞
172	balki	楽しむ	(i)p	jat	1	ka,ki
173	balpay	堂々とする様子だ	(i)p	otur	1	ay,ey
174	bar	行く	(i)p	jat	5	語幹
175	bar	行く	(i)p	otur	1	語幹
176	bar	行く	(i)p	tur	9	語幹
177	bar	行く	a/y	jat	53	語幹
178	bar	行く	a/y	tur	5	語幹
179	bar	行く	NEG	jat	1	語幹
180	barakta	紙をめくる	(i)p	otur	2	da,de
181	bas	歩く	(i)p	jür	16	語幹
182	bas	歩く	(i)p	otur	2	語幹
183	bas	押す	(i)p	otur	4	語幹
184	bas	押す	(i)p	tur	2	語幹
185	bas	歩く	(i)p	tur	3	語幹
186	bas	踏む	NEG	tur	1	語幹
187	baš koš	結婚する	(i)p	jat	1	複合動詞
188	basapda	減る	(i)p	otur	1	da,de
189	basil	(ピラフが)作られる	(i)p	jat	1	il
190	basil	収まる	NEG	tur	1	il
191	baškar	指導する	(i)p	otur	1	kar,kir
192	baškar	指導する	(i)p	tur	4	kar,kir
193	bašta	始める	(i)p	tur	1	da,de
194	bašta	始める	a/y	tur	3	da,de
195	bastir	(馬を)歩かせる	(i)p	jür	3	dir
196	bat	いっぱいになる、あふれる	NEG	jür	1	語幹
197	bat	入る	NEG	tur	1	語幹
198	bata al	(人から)祝福をもらう	a/y	jür	1	複合動詞
199	bata ber	(人に)祝福をする	(i)p	jür	2	複合動詞
200	bayanda	語る	(i)p	tur	1	da,de
201	bayit	増やす	(i)p	jat	1	t
202	bayit	増やす	(i)p	jür	1	t
203	bayit	増やす	a/y	jür	1	t
204	bayka	観察する	(i)p	jür	3	ka,ki
205	bayka	観察する	(i)p	otur	2	ka,ki
206	bayka	観察する	(i)p	tur	2	ka,ki
207	bayka	観察する	a/y	jür	1	ka,ki

	A	B	C	D	E	F
208	bayka	観察する	NEG	jür	1	ka,kî
209	bayka	観察する	NEG	tur	1	ka,kî
210	baykal	見える	(i)p	tur	8	il
211	baykoo jürgüz	観察を行う	(i)p	tur	1	複合動詞
212	bayla	縛る	(i)p	jat	1	la
213	bayla	縛る	(i)p	jür	1	la
214	bayla	縛る	(i)p	tur	1	la
215	baylan	縛られる	(i)p	jat	2	lan
216	baylan	縛られる	(i)p	tur	4	lan
217	baylan	縛られる	a/y	tur	1	lan
218	baylanıştir	結び付け合わせる	(i)p	jat	1	dir
219	baylanıştir	結び付け合わせる	(i)p	tur	2	dir
220	bekin	隠れる	(i)p	jat	3	in,in
221	bekin	隠れる	(i)p	otur	1	in,in
222	bekit	隠す	(i)p	jür	1	t
223	belgile	印をつける	(i)p	jür	1	la
224	ber	与える	(i)p	jat	13	語幹
225	ber	与える	(i)p	jür	1	語幹
226	ber	与える	(i)p	otur	2	語幹
227	ber	与える	(i)p	tur	17	語幹
228	ber	与える	a/y	tur	7	語幹
229	ber	与える	NEG	jat	1	語幹
230	berdir	与えさせる、与える	(i)p	jat	1	dir
231	beril	(番組が)放送される	(i)p	jat	1	il
232	beril	与えられる	(i)p	jat	7	il
233	beril	与えられる	(i)p	otur	1	il
234	beril	渡される	(i)p	tur	1	il
235	beril	与えられる	(i)p	tur	2	il
236	beril	与えられる	NEG	jat	2	il
237	bikilda	込みあう	(i)p	jür	1	da,de
238	bikşı	腐る	(i)p	jat	1	şa,şı
239	bil	知る	(i)p	jat	5	語幹
240	bil	知る	(i)p	jür	6	語幹
241	bil	知る	(i)p	otur	1	語幹
242	bil	知る	(i)p	tur	15	語幹
243	bil	知る	a/y	jür	2	語幹
244	bil	知る	a/y	tur	5	語幹
245	bil	知る	NEG	jür	1	語幹
246	bil	知る	NEG	tur	9	語幹
247	bildir	表わす	(i)p	jat	1	dir
248	bildir	表わす	(i)p	otur	2	dir
249	bildir	知らせる	(i)p	tur	1	dir
250	bildir	表わす	(i)p	tur	2	dir
251	bilgiz	知らせる	NEG	tur	1	kaz,kiz
252	bilin	知られる	(i)p	tur	10	in,in
253	bilin	知られる	NEG	jür	2	in,in
254	bilk ęt	動く	NEG	tur	2	複合動詞
255	biriktir	組み合わせる	(i)p	tur	2	dir
256	bış	熱す	(i)p	jat	1	語幹
257	bış	熱す	(i)p	tur	2	語幹
258	bışakta	号泣する	(i)p	tur	1	da,de
259	biyle	踊る	(i)p	jat	1	la

	A	B	C	D	E	F
260	biyle	踊る	(i)p	tur	1	la
261	bizilde	急ぐ	(i)p	jat	1	da,de
262	bol	起こる	(i)p	jat	2	語幹
263	bol	MOD+bol	(i)p	jat	5	語幹
264	bol	ADJ+bol	(i)p	jat	16	語幹
265	bol	なる	(i)p	jat	33	語幹
266	bol	MOD+bol	(i)p	jür	1	語幹
267	bol	ADJ+bol	(i)p	jür	23	語幹
268	bol	なる	(i)p	jür	25	語幹
269	bol	MOD+bol	(i)p	otur	1	語幹
270	bol	ADJ+bol	(i)p	otur	5	語幹
271	bol	なる	(i)p	otur	11	語幹
272	bol	MOD+bol	(i)p	tur	2	語幹
273	bol	ADJ+bol	(i)p	tur	32	語幹
274	bol	なる	(i)p	tur	45	語幹
275	bol	ADJ+bol	a/y	jür	1	語幹
276	bol	MOD+bol	a/y	tur	1	語幹
277	bol	ADJ+bol	a/y	tur	3	語幹
278	bol	なる	a/y	tur	16	語幹
279	bol	なる	NEG	jat	2	語幹
280	bol	なる	NEG	jür	1	語幹
281	bol	なる	NEG	tur	11	語幹
282	böl	分ける	(i)p	jat	1	語幹
283	böl	破る	(i)p	tur	1	語幹
284	böl	分ける	(i)p	tur	2	語幹
285	böl	分ける	a/y	tur	1	語幹
286	boljo	見通す、予測する	(i)p	otur	1	jü,ji
287	bölön	負われる	(i)p	tur	1	in,in
288	bölün	(何かで)放れる	(i)p	tur	2	in,in
289	bošot	開放する	a/y	tur	1	t
290	boylo	散歩する	(i)p	jür	2	la
291	boyunan tüš	流産する	(i)p	tur	1	複合動詞
292	bozdo	号泣する	(i)p	jat	1	da,de
293	bozdo	号泣する	(i)p	jür	2	da,de
294	bozdo	号泣する	(i)p	otur	1	da,de
295	büčürlön	実る	(i)p	jat	1	lan
296	büjür	怖がる	(i)p	jat	1	ar,er
297	büjürö	わだかまる	(i)p	otur	1	ra
298	bula	(煙が)上がる	(i)p	tur	1	a,e
299	bulat	煙らせる	(i)p	jat	1	t
300	bulga	けなす	(i)p	jat	1	ka,ki
301	bulku	(動物が)走る	(i)p	jür	1	ka,ki
302	bülün	壊れる	(i)p	tur	1	in,in
303	bülün	壊れる	a/y	tur	1	in,in
304	bur	曲げる	(i)p	tur	2	語幹
305	bur	向く	a/y	tur	1	語幹
306	bürköl	(気分が)曇る	(i)p	otur	1	il
307	bürköö tart	曇りになる、曇る	(i)p	tur	1	複合動詞
308	bürkü	出る	(i)p	jat	1	ka,ki
309	burkura	匂う	(i)p	tur	1	ra
310	burul	曲がる	NEG	tur	1	il
311	butaktan	実る	(i)p	jat	1	lan

	A	B	C	D	E	F
312	bütür	終わらせる	a/y	tur	1	ar,er
313	buul	詰まる	(i)p	tur	1	il
314	buulan	活発化する	(i)p	jat	1	lan
315	buulan	泡をたてる	(i)p	tur	1	lan
316	buydaan	困惑する	(i)p	tur	1	lan
317	buz	壊す	(i)p	jat	3	語幹
318	buz	壊す	NEG	tur	1	語幹
319	buzul	変わる	(i)p	tur	2	il
320	buzupjar	関係を壊す	(i)p	otur	1	語幹
321	čabīl	走らせる	(i)p	jür	1	il
322	čabiš	戦いあう、喧嘩しあう	a/y	tur	1	iš,iš
323	čabitta	思い出す	(i)p	jür	1	da,de
324	čabuul koy	喧嘩を始める	(i)p	jür	1	複合動詞
325	čač	種を撒く	(i)p	jür	1	語幹
326	čač	散らかす	(i)p	jür	1	語幹
327	čač	(種を)撒く	(i)p	tur	1	語幹
328	čagarakta	活動する	(i)p	tur	1	da,de
329	čagiliš	反射する	(i)p	tur	1	iš,iš
330	čak	噛む、割る	NEG	jür	1	語幹
331	čaka	むせる	(i)p	jat	1	a,e
332	čakir	呼ぶ	(i)p	jat	3	ar,er
333	čakir	呼ぶ	(i)p	jür	2	ar,er
334	čakir	呼ぶ	(i)p	otur	1	ar,er
335	čakir	呼ぶ	(i)p	tur	2	ar,er
336	čal	(草を)刈る	(i)p	jat	1	語幹
337	čal	(電話を)掛ける	(i)p	jat	1	語幹
338	čal	(足を)ける	(i)p	tur	1	語幹
339	čalīn	つまづく	(i)p	jat	1	in,in
340	čalīn	つまづく	(i)p	jür	1	in,in
341	čalki	楽しむ、妄想する	(i)p	jat	1	ka,ki
342	čan	(人を)ふる	(i)p	jat	1	語幹
343	čan	(人を)ふる	(i)p	jür	2	語幹
344	čan	(人を)ふる	(i)p	otur	1	語幹
345	čaḡir	叫ぶ	(i)p	jat	1	ar,er
346	čap	(馬を)走らせる	(i)p	jür	2	語幹
347	čap	(事が)伝わる	(i)p	otur	1	語幹
348	čap	(事が)伝わる	(i)p	tur	2	語幹
349	čapči	握る	(i)p	tur	2	ča,či
350	čapkila	(馬を)走らせる	(i)p	jür	2	la
351	čaptir	(馬を)走らせる	(i)p	jür	1	dir
352	čaralar körün	対策が練られる	(i)p	jat	1	in,in
353	čarča	疲れる	(i)p	tur	1	ča,či
354	čarda	楽しむ	(i)p	jat	1	da,de
355	čatak čigar	喧嘩を始める	(i)p	jür	1	複合動詞
356	čatak kil	喧嘩をする	(i)p	jat	2	複合動詞
357	čayna	噛む	(i)p	jat	1	na,ne
358	čayna	噛む	(i)p	otur	2	na,ne
359	čaynal	噛まれる	(i)p	otur	1	il
360	čeč	決める	(i)p	jat	1	語幹
361	čeč	脱ぐ	(i)p	jat	1	語幹
362	čečil	決まる	(i)p	jat	3	il
363	čečil	決まる	a/y	tur	1	il

	A	B	C	D	E	F
364	čečil	決まる	NEG	jat	1	il
365	čečin	脱ぐ	(i)p	otur	1	in,in
366	ček	雇う	a/y	tur	1	語幹
367	čektel	限定される	(i)p	tur	1	il
368	čepey	驚く様子だ	(i)p	otur	1	ay,ey
369	čert	(楽器を)引く	(i)p	jat	1	語幹
370	čič	大便を出す	(i)p	jat	1	語幹
371	čida	我慢する	(i)p	jat	1	a,e
372	čida	我慢する	(i)p	jür	2	a,e
373	čida	我慢する	(i)p	otur	1	a,e
374	čida	我慢する	(i)p	tur	4	a,e
375	čida	我慢する	a/y	tur	3	a,e
376	čida	我慢する	NEG	tur	1	a,e
377	čigar	出す	(i)p	jat	2	ar,er
378	čigar	出す	(i)p	jür	2	ar,er
379	čigar	出す	(i)p	tur	2	ar,er
380	čigar	出す	(i)p	tur	2	ar,er
381	čigar	出す	a/y	tur	1	ar,er
382	čigaril	出される	(i)p	jat	1	il
383	čigış	参加する	(i)p	jat	1	iş,iş
384	čik	出る	(i)p	jat	1	語幹
385	čik	(年齢に)なる	(i)p	jat	2	語幹
386	čik	出る(出現)	(i)p	jat	9	語幹
387	čik	出る(出現)	(i)p	otur	2	語幹
388	čik	登る	(i)p	tur	2	語幹
389	čik	出る(出現)	(i)p	tur	11	語幹
390	čik	出る(出現)	a/y	tur	2	語幹
391	čik	出る(出現)	NEG	jat	1	語幹
392	čik	出る(出現)	NEG	tur	1	語幹
393	čik	出る	NEG	tur	1	語幹
394	čilim tütöt	タバコを吸う	(i)p	tur	1	t
395	čimirkan	耐える	(i)p	jür	1	lan
396	čimirkan	耐える	(i)p	tur	1	lan
397	čipkalan	浮く	(i)p	tur	1	lan
398	čirak as	明るくする、ろうそくをつ	(i)p	tur	1	語幹
399	čirildaş	もめる	(i)p	jür	1	iş,iş
400	čirildat	騒がせる	(i)p	tur	1	t
401	čirit	腐らせる	(i)p	jat	1	t
402	čirkilda	鳴く	(i)p	tur	1	da,de
403	čiy	描く	(i)p	otur	1	語幹
404	čiyrik	冷える	(i)p	jat	1	ik,ik
405	čiyrik	冷える	(i)p	tur	1	ik,ik
406	čiytüy	悲しむ様子だ	(i)p	tur	1	ay,ey
407	čoçu	驚く、びっくりする	(i)p	jür	1	ča,či
408	čoçula	怖がる	(i)p	jat	2	la
409	čoçula	怖がる	(i)p	tur	1	la
410	čogul	集まる	(i)p	otur	3	il
411	čogul	集まる	(i)p	tur	1	il
412	čogul	集まる	NEG	jat	1	il
413	čogult	集める	(i)p	jat	1	t
414	čogult	集める	(i)p	jür	4	t
415	čök	悲しみに陥る、悲しむ	(i)p	jür	1	語幹

	A	B	C	D	E	F
416	čok sal	火をつける	a/y	tur	1	複合動詞
417	čömölö	(草を)積む	(i)p	jat	1	la
418	čömül	溺れる	(i)p	jat	1	il
419	čoṇoy	成長する	(i)p	jat	1	ay,ey
420	čoṇoy	増える	(i)p	otur	3	ay,ey
421	čoṇoy	成長する	(i)p	tur	1	ay,ey
422	čoṇoyt	育てる	(i)p	jat	1	t
423	čoy	引く	(i)p	jat	1	語幹
424	čoydur	伸ばす	a/y	jür	1	dir
425	čuku	ひっかきまわす	(i)p	otur	1	a,e
426	čukuldaš	しゃべる、もめる	(i)p	otur	1	iš,iš
427	čuldura	無駄にしゃべる	(i)p	jat	1	ra
428	čurka	走る	(i)p	jür	2	ka,ki
429	čuu kötör	騒ぎを起こす	(i)p	jür	1	複合動詞
430	čuulda	騒ぐ	(i)p	jat	1	da,de
431	daamdaš	一緒に食事をする	(i)p	jür	1	iš,iš
432	daldaala	隠す	(i)p	tur	1	la
433	daldaalan	隠れる	a/y	tur	1	lan
434	dalilde	証明する	(i)p	jat	1	da,de
435	dalilde	証明する	(i)p	otur	2	da,de
436	dalilde	証明する	(i)p	tur	2	da,de
437	daṇ sal	自身をもって行動する	(i)p	jür	1	複合動詞
438	daṇazala	誇りに思う	(i)p	jür	1	la
439	darila	治療する	(i)p	jür	2	la
440	darilan	治療する	(i)p	jat	1	lan
441	dayarda	準備する	(i)p	jat	3	da,de
442	dayarda	準備する	(i)p	jür	2	da,de
443	dayarda	準備する	(i)p	tur	3	da,de
444	dayarda	準備する	a/y	tur	1	da,de
445	dayardan	準備する	(i)p	jat	1	lan
446	dayardan	準備する	(i)p	otur	1	lan
447	dayardik kör	準備を整える	(i)p	jür	1	複合動詞
448	de	という	(i)p	jat	20	語幹
449	de	という	(i)p	jür	14	語幹
450	de	という	(i)p	otur	6	語幹
451	de	という	(i)p	tur	25	語幹
452	de	という	a/y	tur	2	語幹
453	dem ber	勇気を与える	a/y	tur	1	複合動詞
454	demde	蒸す	(i)p	tur	1	da,de
455	deportacijalan	追放される	(i)p	jat	1	lan
456	dirilde	震える	(i)p	tur	1	da,de
457	dobuš ber	投票する	(i)p	jat	1	複合動詞
458	dompoy	とがる	(i)p	tur	1	ay,ey
459	döödürö	無駄にしゃべる	(i)p	jat	1	ra
460	döörü	無駄にしゃべる	(i)p	jat	1	ra
461	düküy	猫背の様子だ	(i)p	tur	1	ay,ey
462	dumuktur	支配する	(i)p	tur	1	dir
463	düngüröt	活躍する、目立って行動す	(i)p	tur	1	t
464	dürbö	騒ぐ	(i)p	jat	1	ba
465	dürbö	騒ぐ	(i)p	jür	1	ba
466	dürbü	騒ぐ	(i)p	tur	1	ba
467	dürmöt	(銃を)準備する	(i)p	tur	1	t

	A	B	C	D	E	F
468	ěbire	しゃべる	(i)p	jat	1	ra
469	ěčle	占める	(i)p	jat	1	la
470	ěčle	占める	(i)p	jür	1	la
471	ěčle	占める	(i)p	tur	7	la
472	ěčle	占める	a/y	tur	1	la
473	ěčr tokun	(馬に)くらを置く	(i)p	tur	1	in,in
474	ěčrči	追いかける	(i)p	jür	2	ča,čĩ
475	ěčrčĩt	つれる	(i)p	jür	1	t
476	ěčrčĩt	つれる	a/y	jür	2	t
477	ějekele	姉という	(i)p	jür	1	la
478	ělekte	鍊る	(i)p	otur	1	da,de
479	ělestet	想像する	(i)p	jat	1	t
480	ělestet	想像する	(i)p	jür	1	t
481	ělestet	想像する	(i)p	otur	1	t
482	ěm	乳を飲む	(i)p	tur	1	語幹
483	ěmde	魔除けをする	a/y	tur	1	da,de
484	ěmgek ět	仕事をする	(i)p	jür	1	複合動詞
485	ěmgekten	働く	(i)p	jat	1	lan
486	ěmiz	授乳する	(i)p	tur	1	iz,iz
487	ěnčileš	与える、贈る	(i)p	tur	1	iš,iš
488	ěntele	頑張る	(i)p	jür	1	la
489	ěņse	欲しがる	(i)p	tur	1	sa,se
490	ěņsesi kur	疲れる	(i)p	jat	1	複合動詞
491	ěņširil	あふれ出る	(i)p	jat	1	il
492	ěpte	なんとかする	(i)p	jat	1	da,de
493	ěpte	なんとかする	(i)p	tur	1	da,de
494	ěrerke	甘える	(i)p	otur	1	ka,kĩ
495	ěrgit	楽しませる、とせさせる	(i)p	tur	1	t
496	ěri	溶ける	(i)p	jat	1	a,e
497	ěri	溶ける	(i)p	jür	1	a,e
498	ěrit	溶かす	(i)p	tur	1	t
499	ěrkele	甘える	(i)p	jat	1	la
500	ěrkele	甘える	a/y	tur	1	la
501	ěrkelet	甘やかす	(i)p	tur	2	t
502	ěs al	休憩する	(i)p	jat	2	複合動詞
503	ěs al	休憩する	(i)p	jür	1	複合動詞
504	ěs al	休憩する	(i)p	otur	3	複合動詞
505	ěs al	休憩する	a/y	tur	1	複合動詞
506	ěs tutumuna tüy	記憶にとどめる	(i)p	jat	1	複合動詞
507	ěsiņe al	覚える	a/y	jür	3	複合動詞
508	esir	困る	(i)p	otur	1	ar,er
509	ěske tüš	思い出す	(i)p	jat	1	複合動詞
510	ěske tüš	思い出す	(i)p	tur	1	複合動詞
511	ěske tüš	思い出す	a/y	jür	1	複合動詞
512	ěske tüš	思い出す	NEG	jat	1	複合動詞
513	ěsker	思い出す	(i)p	jat	2	kar,kĩr
514	ěsker	思い出す	(i)p	jür	1	kar,kĩr
515	ěsker	思い出す	a/y	jür	1	kar,kĩr
516	ěste	思い出す	(i)p	jür	1	da,de
517	ěste	思い出す	a/y	jür	1	da,de
518	güldö	咲く	(i)p	jat	1	da,de
519	güldö	咲く	(i)p	tur	5	da,de

	A	B	C	D	E	F
520	ič	飲む	(i)p	jat	1	語幹
521	ič	飲む	(i)p	jür	4	語幹
522	ič	飲む	(i)p	otur	7	語幹
523	ič	飲む	(i)p	tur	1	語幹
524	ič	飲む	a/y	tur	4	語幹
525	ič	飲む	NEG	jür	1	語幹
526	ič küy	嫉妬する	(i)p	jat	1	複合動詞
527	ič küy	嫉妬する	(i)p	tur	1	複合動詞
528	ičindir	養う、育てる	(i)p	otur	1	dir
529	ičint	飲ませる、育てる	(i)p	jat	1	t
530	idira	(友情が)壊れる	(i)p	tur	1	ra
531	ik koy	準備をする	(i)p	jat	1	複合動詞
532	iktit	しゃっくりする	(i)p	tur	1	t
533	ildıyla	下る	(i)p	otur	3	la
534	ilikte	調べる	a/y	tur	3	da,de
535	ilin	かかる	(i)p	tur	4	in,in
536	ilin	かかる	NEG	jür	1	in,in
537	ilji	酔っぱらう	(i)p	jat	1	jü,ji
538	imeril	曲がる	(i)p	tur	1	il
539	irda	歌う	(i)p	jat	2	da,de
540	irda	歌う	(i)p	jür	4	da,de
541	irda	歌う	(i)p	otur	1	da,de
542	irda	歌う	(i)p	tur	2	da,de
543	irdal	歌われる	(i)p	jür	1	il
544	irčenjıt	気持ちを悪くする	(i)p	otur	1	t
545	irette	整理する	(i)p	jat	1	da,de
546	irgamiš ęt	する	(i)p	tur	1	複合動詞
547	irgi	ジャンプする、下りる	(i)p	tur	1	ka,ki
548	irgıt	投げる	(i)p	otur	2	t
549	iš alıp bar	仕事をする	(i)p	jat	4	複合動詞
550	iš kil	仕事をする	(i)p	otur	1	複合動詞
551	išen	信じる	(i)p	tur	1	語幹
552	išen	信じる	NEG	tur	2	語幹
553	išenim art	希望をもたらす	(i)p	tur	1	複合動詞
554	iši	暖まる	(i)p	otur	2	a,e
555	iši	暖まる	(i)p	tur	2	a,e
556	ište	働く	(i)p	jat	43	da,de
557	ište	働く	(i)p	jür	22	da,de
558	ište	働く	(i)p	otur	1	da,de
559	ište	働く	(i)p	tur	1	da,de
560	ište	働く	a/y	tur	2	da,de
561	ište	働く	NEG	jat	1	da,de
562	ište	働く	NEG	jür	1	da,de
563	ištel	検討される	(i)p	jat	1	il
564	išteš	共同で仕事をする	(i)p	jat	1	iš,iš
565	išteš	共同で仕事をする	(i)p	jür	1	iš,iš
566	it kil	バカにする、虐める	(i)p	jat	1	複合動詞
567	iy	乳が出る	(i)p	tur	2	語幹
568	iyil	下がる(謙遜する)	(i)p	otur	1	il
569	iyil	下がる	(i)p	tur	1	il
570	iyil	下がる	(i)p	tur	2	il
571	iykegile	(頭を)下げる	(i)p	tur	1	la

	A	B	C	D	E	F
572	īyla	泣く	(i)p	jat	20	la
573	īyla	泣く	(i)p	jür	4	la
574	īyla	泣く	(i)p	otur	13	la
575	īyla	泣く	(i)p	tur	6	la
576	īyla	泣く	a/y	tur	1	la
577	īyla	泣く	NEG	jür	1	la
578	īyle	もむ	(i)p	jat	1	a,e
579	īyle	練る	(i)p	jür	2	la
580	īzalan	悔しくなる	a/y	tur	1	lan
581	izde	探す	(i)p	jat	5	da,de
582	izde	探す	(i)p	jür	20	da,de
583	izde	探す	(i)p	otur	1	da,de
584	īzilda	(風が)悲鳴をあげる	(i)p	jür	1	da,de
585	izilde	研究する	(i)p	jür	1	da,de
586	jaa	降る	(i)p	jat	3	語幹
587	jaa	降る	(i)p	otur	1	語幹
588	jaa	(幸せが)降る	(i)p	tur	1	語幹
589	jaa	降る	(i)p	tur	2	語幹
590	jaan kuy	雨が降る	(i)p	tur	1	複合動詞
591	jab	隠す	(i)p	tur	2	語幹
592	jabirka	倒産する	(i)p	tur	1	ka,kī
593	jabiš	くつつく	(i)p	jür	2	iš,iš
594	jadirapjayna	楽しむ	(i)p	jür	1	na,ne
595	jadirapjayna	楽しむ	(i)p	otur	2	na,ne
596	jak	火を焼く	(i)p	jat	1	語幹
597	jak	火を焼く	(i)p	otur	4	語幹
598	jak	気に入る	(i)p	tur	2	語幹
599	jak	気に入る	(i)p	jat	1	語幹
600	jakinda	近づく	(i)p	otur	2	da,de
601	jakinda	近づく	(i)p	tur	1	da,de
602	jakindaš	近づく	(i)p	otur	1	iš,iš
603	jakši kör	好きになる	(i)p	jür	1	複合動詞
604	jakši kör	好きになる	(i)p	tur	1	語幹
605	jakši kör	好きになる	a/y	tur	3	複合動詞
606	jakšila	改善する	(i)p	tur	1	la
607	jektir	好む	(i)p	jür	3	ar,er
608	jektir	好む	(i)p	tur	1	ar,er
609	jala	なめる	(i)p	tur	1	a,e
610	jalaa kil	誰かのせいにする	(i)p	otur	1	複合動詞
611	jaldira	依頼する、懇願する	(i)p	jür	1	ra
612	jalın	懇願する	(i)p	jat	1	in,in
613	jalın	懇願する	(i)p	jür	1	in,in
614	jalın	懇願する	(i)p	otur	1	in,in
615	jalında	興奮する、燃える	(i)p	tur	1	da,de
616	jalmala	なめる	(i)p	jat	1	la
617	jaman kör	嫌になる、嫌う	(i)p	jür	1	複合動詞
618	jamın	かける	(i)p	otur	1	in,in
619	jan	輝く	(i)p	tur	2	語幹
620	jan talaš	でしゃばる	(i)p	jat	1	iš,iš
621	jan talaš	でしゃばる	(i)p	jür	1	iš,iš
622	jan tart	応援する	(i)p	tur	1	複合動詞
623	janaš	難破する	(i)p	jür	1	iš,iš

	A	B	C	D	E	F
624	janaš	難破する	a/y	tur	1	iš,iš
625	janda	頼る	(i)p	jür	1	da,de
626	janı ači	心が痛む	(i)p	tur	1	複合動詞
627	janıŋa bat	苦しむ	(i)p	jat	1	複合動詞
628	jaŋıl	間違える	(i)p	jat	5	il
629	jaŋıla	更新する	(i)p	tur	1	la
630	jaŋılıš	間違える	(i)p	jat	1	iš,iš
631	jaŋır	更新する	(i)p	tur	1	ar,er
632	jaŋır	響く	(i)p	tur	1	ar,er
633	jaŋırıkta	響く	(i)p	jat	1	da,de
634	jaŋırt	響かせる	(i)p	jat	1	t
635	jaŋırt	新しくする	(i)p	tur	2	t
636	jar	響く	(i)p	tur	1	語幹
637	jar	響く	a/y	tur	1	語幹
638	jara	役に立つ	a/y	tur	2	a,e
639	jaral	現れる	(i)p	tur	1	il
640	jaralan	傷つく	(i)p	jat	2	lan
641	jarat	(事を)生む、作る	(i)p	jat	2	t
642	jardam ber	手伝う	(i)p	jat	3	複合動詞
643	jardam ber	手伝う	(i)p	tur	2	複合動詞
644	jardam ber	手伝う	a/y	tur	3	複合動詞
645	jardamdaš	手伝いあう	(i)p	jat	1	iš,iš
646	jardamdaš	手伝いあう	(i)p	tur	1	iš,iš
647	jardamdaš	手伝いあう	a/y	tur	1	iš,iš
648	jardan	同伴する	(i)p	tur	1	lan
649	jarı	充実する	NEG	jür	1	a,e
650	jarık kıl	光を与える、明るくする	(i)p	tur	1	複合動詞
651	jarıktan	電気がつく	(i)p	tur	1	lan
652	jarıl	爆発される	(i)p	jat	2	il
653	jarkilda	光る	(i)p	tur	1	da,de
654	jarkıra	光る	(i)p	tur	1	ra
655	jarkıt	機嫌よくする	(i)p	tur	2	t
656	jasal	作る	(i)p	jat	7	a,e
657	jasal	作る	(i)p	jür	1	a,e
658	jasal	作る	a/y	tur	2	a,e
659	jaša	暮らす	(i)p	jat	13	a,e
660	jaša	暮らす	(i)p	jür	15	a,e
661	jaša	暮らす	(i)p	tur	12	a,e
662	jaša	暮らす	a/y	tur	3	a,e
663	jasal	作られる	(i)p	jat	1	il
664	jasal	作られる	(i)p	tur	1	il
665	jašar	若返る	(i)p	tur	3	ar,er
666	jaši	涙ぐむ	(i)p	tur	1	ša,ši
667	jašin	隠れる	(i)p	jat	1	in,in
668	jašin	隠れる	(i)p	otur	1	in,in
669	jašin	隠れる	(i)p	tur	2	in,in
670	jašır	隠す	(i)p	jür	1	ar,er
671	jašırın	隠れる	(i)p	tur	2	in,in
672	jat	横たわる	(i)p	jür	1	語幹
673	jat	いる	(i)p	tur	2	語幹
674	jat	横たわる	a/y	tur	6	語幹
675	jatkız	寝かせる	(i)p	jat	1	kaz,kız

	A	B	C	D	E	F
676	jay	干す	(i)p	jat	1	語幹
677	jay	(動物を)休ませる	(i)p	jür	1	語幹
678	jay	(動物を)休ませる	(i)p	otur	1	語幹
679	jayil	(動物が)休む	(i)p	jat	1	il
680	jayil	(動物が)休む	(i)p	jür	7	il
681	jayil	干される	(i)p	tur	1	il
682	jayla	無くす、殺す	(i)p	jat	1	la
683	jayla	定住する	(i)p	tur	1	la
684	jaylan	居座る	(i)p	jür	1	lan
685	jayna	あふれる	(i)p	jür	1	na,ne
686	jayna	あふれる	(i)p	tur	1	na,ne
687	jaz	書く	(i)p	jat	4	語幹
688	jaz	(髪を)解く	(i)p	jür	1	語幹
689	jaz	書く	(i)p	jür	10	語幹
690	jaz	書く	(i)p	otur	3	語幹
691	jaz	書く	(i)p	tur	4	語幹
692	jaz	書く	a/y	tur	1	語幹
693	jaz	書く	NEG	jat	1	語幹
694	jazil	書かれる	(i)p	tur	1	il
695	jaziš	共同で書く	a/y	tur	1	iš,iš
696	je	食べる	(i)p	jat	4	語幹
697	je	食べる	(i)p	jür	2	語幹
698	je	食べる	(i)p	tur	1	語幹
699	je	食べる	a/y	tur	1	語幹
700	jek körün	嫌がられる、嫌われる	(i)p	jür	1	in,in
701	jelpin	軽く行動する	(i)p	jür	1	in,in
702	jemele	追い詰める	(i)p	tur	1	la
703	jet	たどり着く	(i)p	jat	1	語幹
704	jet	届く	(i)p	jat	1	語幹
705	jet	たどり着く	(i)p	otur	1	語幹
706	jet	足りる	(i)p	tur	3	語幹
707	jet	たどり着く	a/y	tur	1	語幹
708	jet	足りる	a/y	tur	2	語幹
709	jet	追いつく	NEG	jat	1	語幹
710	jet	届く	NEG	jat	1	語幹
711	jet	足りる	NEG	tur	1	語幹
712	jetekte	指導する	(i)p	jür	1	da,de
713	jetele	連れる	(i)p	otur	1	la
714	jetelet	連れる	(i)p	jür	1	t
715	jetiš	成功する	(i)p	otur	1	iš,iš
716	jetiš	足りる	NEG	jat	4	iš,iš
717	jetkir	見送る	(i)p	jür	1	kar,kir
718	jetkir	導く	(i)p	otur	1	kar,kir
719	jetkir	伝える	(i)p	otur	1	kar,kir
720	jetkir	持っていく	(i)p	tur	2	kar,kir
721	jetkiz	伝える	a/y	tur	1	kaz,kiz
722	jiber	送る	(i)p	jat	1	ar,er
723	jiber	送る	(i)p	otur	2	ar,er
724	jibit	柔らかくする	(i)p	tur	1	t
725	jigil	倒れる	(i)p	otur	1	il
726	jil	動く	(i)p	jat	2	語幹
727	jil	動く	(i)p	otur	1	語幹

	A	B	C	D	E	F
728	jil	動く	NEG	tur	1	語幹
729	jilit	温める	(i)p	jat	1	t
730	jilmay	にここにこする	(i)p	tur	2	ay,ey
731	jiluula	暖める	(i)p	jür	1	la
732	jinden	(風が)吹き荒れる	(i)p	jat	1	lan
733	jirga	楽しむ	(i)p	jat	4	ka,ki
734	jirga	楽しむ	(i)p	jür	1	ka,ki
735	jitta	嗅ぐ	(i)p	jat	1	da,de
736	jitta	嗅ぐ	(i)p	jür	1	da,de
737	jitta	嗅ぐ	(i)p	tur	1	da,de
738	jittan	臭う	(i)p	jür	1	lan
739	jittan	臭う	(i)p	tur	2	in,in
740	jiiyntikta	終了する、終わらせる	(i)p	jat	1	da,de
741	jinya	片づける	(i)p	jat	1	na,ne
742	jinya	片づける	a/y	tur	1	na,ne
743	jogol	居なくなる、なくなる	(i)p	jür	1	il
744	jok kil	失う	(i)p	jat	1	複合動詞
745	jokto	寂しがる、泣く	(i)p	otur	1	da,de
746	jokto	寂しがる、泣く	(i)p	tur	1	da,de
747	jol tos	待つ、迎える	(i)p	tur	1	複合動詞
748	jölön	寄る	(i)p	jat	1	in,in
749	jölön	寄る	(i)p	otur	2	in,in
750	joluguš	会う	(i)p	jür	1	iš,iš
751	joluguš	会う	a/y	tur	1	iš,iš
752	joluk	会う	(i)p	jür	1	ik,ik
753	joluk	会う	(i)p	tur	1	ik,ik
754	jönö	出発する	(i)p	jat	3	a,e
755	jönöt	送る	(i)p	jat	1	t
756	jönöt	送る	(i)p	otur	1	t
757	jönöt	送る	(i)p	tur	1	t
758	joop ber	返事する	(i)p	jat	2	複合動詞
759	joopkerçilik al	責任を取る	(i)p	otur	1	複合動詞
760	jooru	占う	(i)p	jat	1	ra
761	jor	推測する	(i)p	jür	1	語幹
762	jörgölö	這う	(i)p	jür	2	la
763	jörmö	編む	(i)p	jat	1	ma,me
764	jötkür	悲しむ	(i)p	tur	1	kar,kir
765	jötöl	咳をする	(i)p	otur	1	語幹
766	joyul	開放する	a/y	tur	1	il
767	jügür	走る	(i)p	jür	6	ar,er
768	jügür	走る	(i)p	otur	1	ar,er
769	juk	移る	(i)p	jat	1	語幹
770	jüktö	積む	(i)p	jür	1	da,de
771	julkun	暴れる	(i)p	tur	1	lan
772	julun	暴れる	(i)p	jat	2	in,in
773	julun	欲張る	(i)p	otur	1	in,in
774	jumša	使う、利用する	(i)p	jat	2	ša,ši
775	jumšart	和らげる	(i)p	tur	1	t
776	jür	(車が)走る	(i)p	jat	1	語幹
777	jür	行われる	(i)p	jat	29	語幹
778	jür	(風が)そよぐ	(i)p	otur	1	語幹
779	jür	行く	(i)p	otur	18	語幹

	A	B	C	D	E	F
780	jür	(風が)そよぐ	(i)p	tur	3	語幹
781	jür	行われる	(i)p	tur	12	語幹
782	jür	動く	a/y	tur	1	語幹
783	jür	いる	a/y	tur	7	語幹
784	jürgüz	行う	(i)p	jat	8	kaz,kiz
785	jürgüz	行う	(i)p	tur	1	kaz,kiz
786	jürgüzül	行われる	(i)p	jat	5	kaz,kiz
787	juu	洗う	(i)p	jat	3	語幹
788	juu	洗う	(i)p	otur	2	語幹
789	juu	洗う	(i)p	tur	1	語幹
790	juul	洗われる	NEG	tur	1	il
791	juun	洗う	(i)p	jat	1	in,in
792	juur	練る	(i)p	jat	1	ar,er
793	juur	練る	(i)p	otur	1	ar,er
794	kaala	望む	(i)p	jat	1	la
795	kaala	望む	(i)p	tur	2	la
796	kabıl	ひどい目にあう	(i)p	otur	1	il
797	kabıl al	受け付ける	(i)p	jat	1	複合動詞
798	kabiş	(おなかが)すく	(i)p	tur	1	iş,iş
799	kaç	逃げる	(i)p	jat	2	語幹
800	kaç	逃げる	(i)p	jür	8	語幹
801	kaç	逃げる	(i)p	tur	1	語幹
802	kaçıboz	逃げる、逃げ回る	(i)p	jür	1	語幹
803	kadal	止まる	a/y	tur	1	il
804	kadirin sal	コネを生かす	(i)p	jat	1	複合動詞
805	kakşa	冷える	(i)p	otur	2	şa,şi
806	kaktal	日焼けする	(i)p	jür	1	il
807	kaktan	暖まる	(i)p	jat	1	lan
808	kal	残る	(i)p	jat	5	語幹
809	kal	残る	a/y	tur	1	語幹
810	kalçilda	震える	(i)p	tur	1	da,de
811	kalki	浮く	(i)p	jür	4	ka,ki
812	kalkit	浮かばせる、浮かす	(i)p	jür	1	t
813	kaltir	残す	(i)p	jür	1	dir
814	kaltir	残す	a/y	tur	1	dir
815	kaltira	震える	(i)p	jat	2	ra
816	kaltira	震える	(i)p	otur	1	ra
817	kaltira	震える	(i)p	tur	1	ra
818	kama	逮捕する	(i)p	otur	1	a,e
819	kamaliş	閉じこもられる	(i)p	tur	1	iş,iş
820	kamdan	準備する	(i)p	jat	1	lan
821	kamın	準備する	(i)p	jat	2	in,in
822	kamın	準備する	(i)p	jür	2	in,in
823	kamına çaap	なる	(i)p	jat	1	複合動詞
824	kamıra	心配する	NEG	jür	1	ra
825	kamsiz kil	備える、手配する	(i)p	tur	2	複合動詞
826	kamsiz kil	備える、手配する	a/y	tur	2	複合動詞
827	kamtı	含む	(i)p	jat	1	di,ti
828	kamtı	含む	(i)p	tur	1	di,ti
829	kamtıl	把握される	(i)p	tur	1	il
830	kana	血が出る	(i)p	tur	1	a,e
831	kanaat ber	勇気を与える	(i)p	tur	1	複合動詞

	A	B	C	D	E	F
832	kag̃i	吠える	(i)p	jür	1	ka,k̃i
833	kapalan	悲しむ	(i)p	jür	1	lan
834	kapta	囲む	(i)p	jat	1	da,de
835	kapta	囲む	(i)p	tur	1	da,de
836	kapta	囲む	(i)p	tur	3	da,de
837	kaptir	吠えらせる	(i)p	jat	1	dir
838	kara	見る	(i)p	jat	12	語幹
839	kara	見る	(i)p	jür	2	語幹
840	kara	見る	(i)p	otur	16	語幹
841	kara	見る	(i)p	tur	73	語幹
842	kara	見る	a/y	tur	4	語幹
843	kara	見る	NEG	jür	1	語幹
844	kara bas	悲しみに陥る	(i)p	jür	1	複合動詞
845	karal	検討される	(i)p	otur	1	il
846	karal	検討される	a/y	tur	1	il
847	karala	泥を塗る	(i)p	jat	1	la
848	karala	面倒をみる	(i)p	otur	1	la
849	karalaš	世話をする	(i)p	tur	1	iš,iš
850	karaštir	調べる、みまわる	(i)p	jür	1	dir
851	karat	見させる	(i)p	tur	5	t
852	karga	睨む、誰かの不幸を願う	(i)p	otur	1	ka,k̃i
853	karit	衰えさせる	(i)p	jat	1	t
854	karkilda	しゃべる	(i)p	jat	1	da,de
855	karma	営む	(i)p	jür	1	ma,me
856	karma	持つ	(i)p	jür	3	ma,me
857	karma	持つ	(i)p	otur	2	ma,me
858	karma	持つ	(i)p	tur	26	ma,me
859	karma	持つ	a/y	tur	1	ma,me
860	karmal	保たれる	(i)p	tur	2	il
861	karmal	保たれる	(i)p	tur	2	ma,me
862	karmaš	競いあう	(i)p	jat	1	iš,iš
863	karmaš	競いあう	(i)p	jür	1	iš,iš
864	karši čik	反対する	(i)p	tur	1	複合動詞
865	karsildaš	戦いあう、競いあう	(i)p	jat	1	iš,iš
866	kašikta	頑張る	(i)p	jür	1	da,de
867	kat	隠す	(i)p	jür	3	語幹
868	kat	隠す	(i)p	otur	1	語幹
869	kat	隠す	(i)p	tur	1	語幹
870	katil	隠れる	(i)p	jat	1	il
871	katiš	参加する	(i)p	jat	1	iš,iš
872	katiš	参加する	(i)p	otur	3	iš,iš
873	katiš	人付き合いをする	(i)p	tur	1	iš,iš
874	katkir	大笑いする	(i)p	tur	1	kar,kir
875	katta	登録する	(i)p	tur	2	da,de
876	kaygir	悲しむ	(i)p	jat	2	kar,kir
877	kaygir	悲しむ	(i)p	otur	1	kar,kir
878	kayna	湧く	(i)p	jat	4	na,ne
879	kayna	湧く	(i)p	tur	3	na,ne
880	kaynat	沸かす	(i)p	jat	1	t
881	kaypakta	うろうろする	(i)p	jür	1	da,de
882	kayril	依頼する	(i)p	jat	1	il
883	kayril	依頼する	(i)p	jür	2	il

	A	B	C	D	E	F
884	kayrİL	依頼する	(i)p	otur	2	İL
885	kayrİL	依頼する	a/y	tur	1	İL
886	kayt	戻る	(i)p	jat	1	語幹
887	kayt	戻る	(i)p	tur	1	語幹
888	kaytala	繰り返す	(i)p	jat	1	la
889	kaytalan	繰り返す	(i)p	jat	1	lan
890	kaytalan	繰り返す	(i)p	tur	2	lan
891	kaytar	(動物を)担当する	(i)p	jür	8	dir
892	kaytar	(動物を)担当する	(i)p	otur	1	dir
893	kaytar	(動物を)担当する	(i)p	tur	1	dir
894	kaz	掘る	(i)p	jat	5	語幹
895	kaza jut	悲しむ	(i)p	otur	2	複合動詞
896	kaza jut	悲しむ	(i)p	tur	1	複合動詞
897	kazdir	掘らせる	(i)p	jat	1	dir
898	kazdir	掘らせる	(i)p	tur	1	dir
899	kazil	掘られる	(i)p	jat	1	İL
900	keč	水を渡る	(i)p	jür	2	語幹
901	kečik	(事が)遅れる	(i)p	jat	1	ik,ik
902	kečir	許す	a/y	jür	1	ar,er
903	keken	脅かす	(i)p	jür	1	in,in
904	keket	困らせる、脅かす	(i)p	otur	1	t
905	kel	欲しがる	(i)p	jat	1	語幹
906	kel	来る	(i)p	jat	10	語幹
907	kel	来る	(i)p	jür	6	語幹
908	kel	来る	(i)p	otur	11	語幹
909	kel	欲しがる	(i)p	tur	7	語幹
910	kel	来る	(i)p	tur	15	語幹
911	kel	来る	a/y	jat	64	語幹
912	kel	来る	a/y	tur	9	語幹
913	kel	来る	NEG	jür	1	語幹
914	kel	来る	NEG	tur	2	語幹
915	kelištir	合わせる	(i)p	tur	1	dir
916	keltir	動かす	(i)p	tur	1	dir
917	keměčte	コントロールする	(i)p	jür	1	da,de
918	kepeš	相談する	(i)p	jat	2	iš,iš
919	kepeš	相談する	(i)p	otur	1	iš,iš
920	kep sal	話をする	(i)p	otur	1	複合動詞
921	ker	(体を)伸ばす	(i)p	jat	1	語幹
922	keril	伸びる	(i)p	jat	1	İL
923	keril	(体が)伸びる	(i)p	tur	1	İL
924	kes	歩く	(i)p	jür	1	語幹
925	ket	行く	(i)p	jat	10	語幹
926	ket	行く	(i)p	jür	10	語幹
927	ket	行く	(i)p	otur	2	語幹
928	ket	行く	(i)p	tur	8	語幹
929	ket	行く	a/y	tur	3	語幹
930	ket	行く	NEG	otur	1	語幹
931	ket	行く	NEG	tur	1	語幹
932	ketir	失くす	(i)p	jat	1	ar,er
933	ketir	行かす	NEG	tur	1	ar,er
934	ketiril	(間違いが)起こされる、許さ	(i)p	jat	1	İL
935	keyi	悩む	(i)p	jat	1	a,e

	A	B	C	D	E	F
936	keyi	悩む	(i)p	tur	1	a,e
937	kezdeř	遭遇する	(i)p	jür	1	iř,iř
938	kezigiš	会う	(i)p	tur	1	iř,iř
939	keziktir	会う	(i)p	jür	1	dir
940	kübira	動く	(i)p	jat	1	ra
941	küçira	冷える	(i)p	tur	1	ra
942	küçira	冷える	(i)p	tur	1	ra
943	kiçirey	小さくなる	(i)p	tur	1	ay,ey
944	kiçireyt	減らす	(i)p	otur	1	t
945	kiçireyt	減らす	(i)p	tur	1	t
946	küdür	歩きまわる	(i)p	jür	2	ar,er
947	küdür	歩きまわる	(i)p	otur	1	ar,er
948	küjin	怒る	(i)p	jat	1	in,in
949	kil	する	(i)p	jat	4	語幹
950	kil	する	(i)p	jür	9	語幹
951	kil	する	(i)p	otur	1	語幹
952	kil	する	(i)p	tur	2	語幹
953	kil	する	a/y	tur	1	語幹
954	kilgür	いっぱいになる	(i)p	tur	1	kar,kir
955	kilgürt	泣きそうになる	(i)p	tur	1	t
956	kimüda	喜ぶ	(i)p	jat	1	da,de
957	kir	入る	(i)p	jat	2	語幹
958	kir	入る	(i)p	jür	1	語幹
959	kir	入る	a/y	tur	3	語幹
960	kir	入る	NEG	jat	1	語幹
961	kirda	歩く、浴う	(i)p	otur	1	da,de
962	kirin	洗う	(i)p	jat	1	in,in
963	kiriř	始める	(i)p	otur	1	iř,iř
964	kirk	切る	(i)p	tur	1	ik,ik
965	kirkira	(動物が)鳴く	(i)p	jat	1	ra
966	kis	入れる	(i)p	jür	1	語幹
967	kis	プレッシャーを与える	(i)p	tur	1	語幹
968	kisil	挟まれる	(i)p	jat	1	il
969	kisil	苦しむ	(i)p	jür	1	il
970	kisil	挟まれる	(i)p	otur	1	il
971	kisil	苦しむ	(i)p	tur	1	il
972	kiskart	減らす	(i)p	jat	1	t
973	kiřta	冬を過ごす	a/y	tur	1	da,de
974	kiy	着る	(i)p	jat	2	語幹
975	kiy	着る	(i)p	jür	8	語幹
976	kiy	着る	(i)p	otur	1	語幹
977	kiy	着る	(i)p	tur	1	語幹
978	kiy	着る	a/y	tur	1	語幹
979	küy	犠牲にする	(i)p	jat	1	語幹
980	küyaldan	妄想する	(i)p	jür	2	lan
981	küyil	(木が)切られる	(i)p	jat	1	il
982	kiyin	着替える	(i)p	jat	2	in,in
983	kiyin	着替える	(i)p	jür	4	in,in
984	küyünda	難航する	(i)p	tur	1	da,de
985	küyüř	合致する	NEG	jat	1	iř,iř
986	küykir	叫ぶ	(i)p	jat	1	kar,kir
987	küykir	叫ぶ	(i)p	jür	1	kar,kir

	A	B	C	D	E	F
988	käykär	叫ぶ	(i)p	otur	1	kar,kär
989	käykär	叫ぶ	(i)p	tur	2	kar,kär
990	käykirš	騒ぐ	(i)p	jür	1	iš,iš
991	kiyligiš	中入りする	a/y	tur	1	iš,iš
992	kiyligiš	中入りする	NEG	tur	1	iš,iš
993	käymilda	動く	(i)p	jat	1	da,de
994	käymilda	動く	NEG	tur	1	da,de
995	käyna	苦しませる	(i)p	jat	2	na,ne
996	käyna	苦しませる	(i)p	jür	2	na,ne
997	käyna	苦しませる	(i)p	tur	1	na,ne
998	käynal	苦しむ	(i)p	jat	4	il
999	käynal	苦しむ	(i)p	jür	5	il
1000	käynal	苦しむ	(i)p	tur	4	il
1001	käyra	崩れる	(i)p	jat	1	ra
1002	käyt de	擬声語+言う	(i)p	tur	1	複合動詞
1003	käzar	赤くなる	(i)p	tur	2	ar,er
1004	käzi	盛り上がる	(i)p	tur	2	a,e
1005	käzik	興味を持つ、憧れる	(i)p	tur	1	ik,ik
1006	käzmat kil	仕事をする	(i)p	jür	2	複合動詞
1007	käzmattan al	職を辞めさせる、首になる	a/y	tur	1	複合動詞
1008	köböy	増える	(i)p	jür	1	ay,ey
1009	köböy	増える	(i)p	otur	1	ay,ey
1010	kobura	つぶやく	(i)p	tur	1	ra
1011	koburaš	話しあう、しゃべりあう	(i)p	otur	2	iš,iš
1012	köč	引越す	(i)p	jür	1	語幹
1013	kögör	頑固になる	(i)p	jür	1	ar,er
1014	kögör	頑固になる	(i)p	otur	2	ar,er
1015	kögör	頑固になる	a/y	tur	1	ar,er
1016	kögört	上がる	NEG	tur	1	t
1017	kokuyla	困る	(i)p	otur	1	la
1018	kol koy	サインする	(i)p	jat	2	複合動詞
1019	kol üz	縁を切る、関係をやめる	(i)p	jat	1	複合動詞
1020	koldo	応援する	(i)p	jür	4	da,de
1021	koldo	応援する	a/y	tur	3	da,de
1022	koldon	利用する	(i)p	jür	3	lan
1023	koldon	利用する	a/y	tur	1	lan
1024	koldon kel	実行できる	(i)p	tur	3	複合動詞
1025	koldon kel	実行できる	a/y	tur	1	複合動詞
1026	koldoogo al	応援する	(i)p	tur	1	複合動詞
1027	kolgo al	管理する	NEG	jat	1	複合動詞
1028	kolgo tüš	逮捕される	(i)p	otur	1	複合動詞
1029	kölküldö	食べたくなる	(i)p	tur	1	da,de
1030	kömül	溺れる	(i)p	otur	1	il
1031	kon	定住する	(i)p	jür	3	語幹
1032	kon	定住する	(i)p	otur	2	語幹
1033	kon	定住する	(i)p	tur	1	語幹
1034	kögül böi	注目する	NEG	jat	1	複合動詞
1035	kögül bur	注目する	(i)p	otur	1	複合動詞
1036	kögüldön	欲しがる	(i)p	tur	1	lan
1037	koçuruk tart	いびきをする	(i)p	jat	2	複合動詞
1038	köö jak	泥を塗る	(i)p	otur	1	複合動詞
1039	koozdo	飾る	(i)p	tur	1	da,de

	A	B	C	D	E	F
1040	köp	高ぶる	(i)p	jür	1	語幹
1041	köp	高ぶる	(i)p	tur	1	語幹
1042	köptür	甘やかしすぎる	(i)p	jat	1	dir
1043	kör	見る	(i)p	jat	10	語幹
1044	kör	見る	(i)p	jür	15	語幹
1045	kör	見る	(i)p	otur	9	語幹
1046	kör	見る	(i)p	tur	39	語幹
1047	kör	見る	a/y	jat	3	語幹
1048	kör	見る	a/y	tur	2	語幹
1049	kör	見る	NEG	jür	1	語幹
1050	kör	見る	NEG	tur	3	語幹
1051	kor kil	苦勞させる	(i)p	jür	1	複合動詞
1052	kordo	虐める、苦勞させる	(i)p	jat	1	da,de
1053	korgo	守る	(i)p	jür	1	ka,ki
1054	korgo	守る	(i)p	tur	4	ka,ki
1055	korgo	守る	a/y	tur	1	ka,ki
1056	korgol	守られる	(i)p	tur	2	il
1057	korgon	隠れる	(i)p	jat	2	lan
1058	körgönsü	見た気がする	(i)p	tur	1	si, si
1059	körgöz	見せる	(i)p	jat	2	kaz,kiz
1060	kork	怖がる	(i)p	jat	10	ik,ik
1061	kork	怖がる	(i)p	jür	3	ik,ik
1062	kork	怖がる	(i)p	otur	2	ik,ik
1063	kork	怖がる	(i)p	tur	2	ik,ik
1064	kork	怖がる	NEG	tur	1	ik,ik
1065	körktöndür	繁榮する	(i)p	tur	1	dir
1066	korkunuç bas	恐怖が起きる	(i)p	tur	1	複合動詞
1067	korkut	脅す	(i)p	jat	1	t
1068	korkut	脅す	(i)p	tur	1	t
1069	korot	散財する、なくす	(i)p	jür	1	t
1070	korot	散財する、なくす	a/y	tur	2	t
1071	körsöt	見せる	(i)p	jat	8	söt
1072	körsöt	見せる	(i)p	tur	1	söt
1073	körsöt	表わす	(i)p	tur	4	söt
1074	körsöt	見せる	a/y	tur	1	söt
1075	körsötül	見せられる	(i)p	jat	1	il
1076	körül	検討される	(i)p	jat	2	il
1077	körün	見える	(i)p	jat	2	in,in
1078	körün	見える	(i)p	jür	1	in,in
1079	körün	見える	(i)p	tur	35	in,in
1080	körün	見える	a/y	tur	1	in,in
1081	körüş	目にかかる	(i)p	tur	2	iş,iş
1082	koş	加える	(i)p	jat	1	語幹
1083	koş	(力を) ささげる	(i)p	tur	1	語幹
1084	koşkur	(馬が) 鳴く	(i)p	jat	1	kar,kir
1085	koşok koş	泣く(人が亡くなった時に言	(i)p	otur	1	複合動詞
1086	koşoktoş	同伴する	(i)p	jür	1	iş,iş
1087	koşomat kil	おべっかを使う	(i)p	jür	1	複合動詞
1088	koşomattan	人に気にいるようにする	(i)p	jat	1	lan
1089	košto	伴う	(i)p	jür	2	da,de
1090	koštoş	別れる	(i)p	jat	2	iş,iş
1091	koštoş	別れる	(i)p	tur	1	iş,iş

	A	B	C	D	E	F
1092	košul	加わる	(i)p	jat	1	il
1093	košul	加わる	(i)p	jür	1	il
1094	košul	加わる	(i)p	otur	2	il
1095	košul	加わる	(i)p	tur	2	il
1096	kötör	持つ	(i)p	jür	3	ar,er
1097	kötör	持つ	(i)p	tur	5	ar,er
1098	kötör	持つ	a/y	tur	1	ar,er
1099	kötört	持たせる	a/y	tur	1	t
1100	kötörül	上がる	(i)p	jat	1	il
1101	kötörül	上がる	(i)p	jür	1	il
1102	kötörül	上がる	(i)p	otur	1	il
1103	kötörül	上がる	(i)p	tur	5	il
1104	kötörün	背負う	(i)p	jür	2	in,in
1105	koy	置く	(i)p	jür	1	語幹
1106	koy	行う	(i)p	jür	1	語幹
1107	koy	置く	(i)p	tur	2	語幹
1108	koy	待つ	a/y	tur	13	語幹
1109	koy	やめる	NEG	tur	1	語幹
1110	koygula	打つ	(i)p	otur	1	la
1111	koygulaš	喧嘩する	(i)p	jat	1	iš,iš
1112	koyul	(問題が)提案される	(i)p	jat	1	il
1113	köz art	感激する、うらやむ	(i)p	otur	1	複合動詞
1114	köz jügürt	見渡す	(i)p	tur	1	t
1115	köz sal	見守る	a/y	jür	2	複合動詞
1116	köz sal	見守る	a/y	tur	1	複合動詞
1117	közdö	目指す	(i)p	jat	2	da,de
1118	közdö	目指す	(i)p	otur	1	da,de
1119	közdö	表わす	(i)p	tur	1	da,de
1120	kozgo	取り上げる	(i)p	jat	1	ka,ki
1121	kozgo	取り上げる	NEG	tur	1	ka,ki
1122	közgö il	相手にする	NEG	jür	1	複合動詞
1123	közömöldö	把握する	(i)p	tur	1	da,de
1124	közüm jet	理解する	(i)p	tur	1	複合動詞
1125	kubala	追いかける	(i)p	jür	1	la
1126	kuban	喜ぶ	(i)p	jat	2	in,in
1127	kuban	喜ぶ	(i)p	jür	6	in,in
1128	kuban	喜ぶ	(i)p	tur	2	in,in
1129	kubanğa	曇る	(i)p	tur	1	da,de
1130	kubar	青ざめる	(i)p	tur	1	ar,er
1131	kübü	落ちる	(i)p	jat	2	a,e
1132	kubulju	輝く	(i)p	tur	1	ji,ji
1133	küč al	強まる	(i)p	tur	1	複合動詞
1134	kučakta	抱く	(i)p	jat	2	da,de
1135	kučakta	抱く	(i)p	otur	1	da,de
1136	kučakta	抱く	(i)p	tur	2	da,de
1137	kučaktaš	抱きあう	(i)p	otur	1	iš,iš
1138	kučaktaš	抱きあう	(i)p	tur	1	iš,iš
1139	küčö	増える	(i)p	jat	1	a,e
1140	küčö	増える	(i)p	jür	1	a,e
1141	küčöt	増やす	a/y	tur	1	t
1142	küjüldö	騒ぐ	(i)p	jat	1	da,de
1143	kül	笑う	(i)p	jat	2	語幹

	A	B	C	D	E	F
1144	kül	笑う	(i)p	jür	3	語幹
1145	kül	笑う	(i)p	tur	5	語幹
1146	kül	笑う	a/y	tur	1	語幹
1147	kula	倒れる	(i)p	tur	1	a,e
1148	kulak sal	耳を傾ける	(i)p	tur	1	複合動詞
1149	kulak tür	聞く、耳を傾ける	(i)p	jat	1	複合動詞
1150	kulan	落ちる	(i)p	jat	1	in,in
1151	küldür	笑わせる	(i)p	jür	2	dir
1152	kulpun	輝く	(i)p	tur	1	in,in
1153	külümsürö	にこにこする	(i)p	tur	3	sıra
1154	külüpdö	にこにこする	(i)p	tur	1	da,de
1155	külüš	笑う	a/y	tur	1	iš,iš
1156	kuluy	驚く様子だ	(i)p	jür	1	ay,ey
1157	kumarga bat	誘惑される	(i)p	jat	1	複合動詞
1158	kumarlan	楽しむ	(i)p	otur	1	lan
1159	kumsar	青ざめる	(i)p	tur	1	ar,er
1160	künöölö	非難する	(i)p	jür	1	la
1161	kur	建てる	(i)p	jat	2	語幹
1162	kurča	囲む	(i)p	tur	12	ča,či
1163	kurčan	ベルトをする	(i)p	jat	1	in,in
1164	kurgat	乾かす	NEG	tur	1	t
1165	kürkürö	活躍する	(i)p	tur	1	ra
1166	kurmandikka čal	神に捧げる(動物を殺す場合)	(i)p	jat	1	複合動詞
1167	küröš	戦う	(i)p	jat	1	iš,iš
1168	kursak ač	お腹がすく	(i)p	tur	1	複合動詞
1169	kursak ač	お腹がすく	NEG	jür	1	複合動詞
1170	kurul	建てられる	(i)p	jat	2	il
1171	kurut	腐らせる	(i)p	jat	1	t
1172	küşüldö	息を苦しく吸う	(i)p	jat	1	da,de
1173	küt	待つ	(i)p	jat	4	語幹
1174	küt	待つ	(i)p	jür	9	語幹
1175	küt	待つ	(i)p	otur	9	語幹
1176	küt	待つ	(i)p	tur	26	語幹
1177	küt	待つ	a/y	tur	4	語幹
1178	kutkar	救う	(i)p	jat	1	kar,kir
1179	kutkar	救う	a/y	tur	1	kar,kir
1180	kuttukta	祝う	(i)p	jat	4	da,de
1181	kuu	追う	(i)p	jür	3	語幹
1182	kuuguntuktal	追われる	(i)p	jür	1	il
1183	küüldö	(風が)悲鳴をあげる	(i)p	tur	1	da,de
1184	küülön	怒る	(i)p	jür	1	lan
1185	kuura	困る	(i)p	jat	1	ra
1186	kuura	困る	(i)p	jür	1	ra
1187	kuurul	悲しむ	(i)p	tur	1	il
1188	kuušur	こだわる	(i)p	otur	1	ar,er
1189	kuy	そそぐ	(i)p	tur	2	語幹
1190	küy	焼ける	(i)p	jat	3	語幹
1191	küy	悲しむ	(i)p	jür	1	語幹
1192	küy	焼ける	(i)p	tur	1	語幹
1193	küy	光る	(i)p	tur	2	語幹
1194	küygüz	(タバコに火を)つける	(i)p	jür	1	kaz,kiz
1195	küyütün tart	悲しむ	(i)p	jür	1	複合動詞

	A	B	C	D	E	F
1196	maanekte	遊ぶ	(i)p	jür	1	da,de
1197	maara	羊が鳴く	(i)p	tur	1	ra
1198	makta	ほめる	(i)p	jat	1	da,de
1199	makta	ほめる	(i)p	jür	1	da,de
1200	makta	ほめる	(i)p	tur	1	da,de
1201	maktan	自慢する	(i)p	jat	1	lan
1202	maktan	自慢する	(i)p	jür	1	lan
1203	makuldaş	納得する	NEG	tur	1	iş,iş
1204	mal	入れる	(i)p	tur	1	語幹
1205	maşakafin tart	楽しむ	(i)p	jür	1	複合動詞
1206	maşik	訓練する	a/y	jür	1	ik,ik
1207	maskarala	からかう	(i)p	jat	1	la
1208	maydala	細かくする	(i)p	otur	1	la
1209	maylanış	油ぼくなる	(i)p	tur	2	iş,iş
1210	mayramda	祝う	(i)p	jat	1	da,de
1211	meltilde	あふれる	(i)p	tur	1	da,de
1212	memire	静かにいる	(i)p	jat	1	ra
1213	memire	静かになる	(i)p	tur	1	ra
1214	mijik	もむ	(i)p	otur	1	ik,ik
1215	mijik	もむ	(i)p	tur	1	ik,ik
1216	min	乗る	(i)p	jür	6	語幹
1217	min	乗る	(i)p	otur	1	語幹
1218	min	乗る	(i)p	tur	2	語幹
1219	mingiz	乗せる	(i)p	jür	1	kaz,kiz
1220	mint	こうする	(i)p	otur	4	t
1221	mint	こうする	(i)p	tur	1	t
1222	mint	こうする	NEG	jür	1	t
1223	möltür	食べたくなりそう	(i)p	tur	1	ar,er
1224	momint	こうする	(i)p	otur	1	t
1225	momint	こうする	(i)p	tur	1	t
1226	monçokto	汗が落ちる	(i)p	jat	1	da,de
1227	möörö	牛が鳴く	(i)p	tur	1	ra
1228	moynuna al	責任を取る	(i)p	jat	1	複合動詞
1229	müljü	噛む	(i)p	jür	1	jü,ji
1230	mümkünçülük tüz	可能性を作る	(i)p	jat	1	複合動詞
1231	muštaş	競いあう	(i)p	jür	1	iş,iş
1232	muun	詰まる	(i)p	tur	1	in,in
1233	muunt	(首を)絞める	(i)p	jat	2	t
1234	muzda	冷える	(i)p	otur	1	da,de
1235	muzda	冷える	(i)p	tur	1	da,de
1236	nietten	期待する	(i)p	jat	1	lan
1237	nıksıra	お腹いっぱいになる	(i)p	jat	1	sıra
1238	nimda	濡らす	(i)p	tur	2	da,de
1239	oboçolon	気にする	(i)p	jür	1	lan
1240	öbüş	キスする	(i)p	jat	1	iş,iş
1241	öçür	消す	NEG	jür	1	ar,er
1242	öjörön	頑張る	(i)p	otur	1	lan
1243	ökçö	遊ぶ	(i)p	otur	1	語幹
1244	okšo	似る	(i)p	tur	1	şa,şı
1245	okšo	似る	NEG	tur	1	şa,şı
1246	öksö	号泣する	(i)p	tur	1	sa,se
1247	okšoştur	似せる	(i)p	jat	1	dir

	A	B	C	D	E	F
1248	oku	勉強する	(i)p	jat	3	語幹
1249	oku	読む	(i)p	jat	5	語幹
1250	oku	読む	(i)p	jür	1	語幹
1251	oku	勉強する	(i)p	jür	15	語幹
1252	oku	読む	(i)p	otur	6	語幹
1253	oku	読む	(i)p	tur	2	語幹
1254	ökün	後悔する	(i)p	jat	2	in,in
1255	ökün	後悔する	(i)p	jür	1	in,in
1256	okut	教える	(i)p	jat	2	t
1257	okut	教える	(i)p	jür	2	t
1258	okut	教える	a/y	tur	2	t
1259	okutul	教わる	(i)p	jat	1	il
1260	öl	死ぬ	(i)p	jat	8	語幹
1261	öl	死ぬ	(i)p	tur	1	語幹
1262	öl	死ぬ	NEG	otur	1	語幹
1263	ölçö	図る	(i)p	otur	1	ča,či
1264	öltür	殺す	(i)p	otur	1	dir
1265	olun	騒ぐ	(i)p	otur	1	in,in
1266	ön	実る	(i)p	jat	1	語幹
1267	ön	成功する	(i)p	otur	1	語幹
1268	ön	増える	NEG	jür	1	語幹
1269	onto	唸る	(i)p	jat	2	da,de
1270	önük	発展する	(i)p	jat	2	ik,ik
1271	önük	発展する	(i)p	tur	1	ik,ik
1272	önüktür	発展させる	(i)p	otur	1	dir
1273	oḡdo	修理する	(i)p	jür	1	da,de
1274	oḡdo	修理する	(i)p	tur	1	da,de
1275	öḡdön	似る	(i)p	jat	1	lan
1276	öḡdön	似る	(i)p	jür	1	lan
1277	öḡdön	似る	(i)p	tur	1	lan
1278	oḡuray	穴が開いている様子だ	(i)p	tur	1	ay,ey
1279	oodaril	転がる	(i)p	tur	1	il
1280	ookat kil	生活をする	(i)p	jat	2	複合動詞
1281	ookat kil	生活をする	(i)p	jür	3	複合動詞
1282	öön uçura	目をそむける	(i)p	otur	1	複合動詞
1283	ooru	病む	(i)p	jat	5	a,e
1284	ooru	病む	(i)p	jür	4	a,e
1285	ooru	病む	(i)p	tur	9	a,e
1286	ooru	病む	NEG	jür	1	a,e
1287	ooz aç	口を開ける	(i)p	jür	1	複合動詞
1288	oozant	食べさせる	(i)p	tur	1	t
1289	operaciya jasa	手術する	(i)p	jat	1	複合動詞
1290	opkolju	ドキドキする	(i)p	tur	1	jü,ji
1291	öpkülö	キスする	(i)p	jat	2	la
1292	or	(草を)刈る	(i)p	jat	2	語幹
1293	or	(草を)刈る	(i)p	jür	1	語幹
1294	ördö	(動物が)食べ回る	(i)p	otur	1	da,de
1295	ordun bas	後を継ぐ	a/y	tur	1	複合動詞
1296	orgušta	湧き出る、あふれ出る	(i)p	jat	1	da,de
1297	örkündö	発展する、成長する	(i)p	jat	1	da,de
1298	orno	建つ	(i)p	tur	1	a,e
1299	ornot	建てる	a/y	tur	1	t

	A	B	C	D	E	F
1300	örttön	燃える	(i)p	jat	2	lan
1301	orunda	実現する	NEG	tur	1	da,de
1302	ös	伸びる	(i)p	jat	2	語幹
1303	ös	伸びる	(i)p	otur	2	語幹
1304	ös	伸びる	(i)p	tur	5	語幹
1305	ös	伸びる	a/y	tur	1	語幹
1306	ošent	そうする	(i)p	jat	1	t
1307	ošent	そうする	(i)p	jür	1	t
1308	ošton	嫌がらせする	NEG	otur	1	lan
1309	öt	行われる	(i)p	jat	1	語幹
1310	öt	(授業を)行う	(i)p	jat	2	語幹
1311	öt	通る、過ぎる	(i)p	jat	12	語幹
1312	öt	通る、過ぎる	(i)p	jür	1	語幹
1313	öt	通る、過ぎる	(i)p	otur	1	語幹
1314	öt	行われる	(i)p	tur	1	語幹
1315	öt	通る、過ぎる	(i)p	tur	9	語幹
1316	öt	通る、過ぎる	a/y	tur	2	語幹
1317	öt	行われる	a/y	tur	4	語幹
1318	öt	通る、過ぎる	NEG	tur	1	語幹
1319	öt	(授業を)行う	NEG	tur	1	語幹
1320	ötkör	過ごす	(i)p	jat	1	kar,kir
1321	ötkör	通す	(i)p	jat	1	kar,kir
1322	ötkör	体験する	(i)p	jat	1	kar,kir
1323	ötkör	行う	(i)p	jat	4	kar,kir
1324	ötkör	過ごす	(i)p	jür	1	kar,kir
1325	ötkör	通す	(i)p	tur	1	kar,kir
1326	ötkörül	行われる	(i)p	jat	1	il
1327	ötkörül	行われる	(i)p	tur	1	il
1328	ötö	(義務を)果たす	(i)p	jür	4	a,e
1329	ötö	(義務を)果たす	(i)p	tur	1	a,e
1330	otto	(動物が草を)食べ回る	(i)p	jür	9	da,de
1331	ötün	願う	(i)p	tur	1	in,in
1332	otur	座る	(i)p	otur	1	語幹
1333	otur	座る	(i)p	tur	3	語幹
1334	otur	座る	a/y	tur	4	語幹
1335	otur	座る	NEG	jür	2	語幹
1336	oturguz	座らせる	(i)p	jür	1	kaz,kiz
1337	öydölöt	上に動かす	(i)p	otur	1	t
1338	oygo al	気にする	a/y	tur	1	複合動詞
1339	oygo bat	考え込む	(i)p	tur	2	複合動詞
1340	oygon	起きる	NEG	tur	1	in,in
1341	oygot	起こす	a/y	tur	1	t
1342	oylo	考える	(i)p	jat	2	la
1343	oylo	考える	(i)p	jür	10	la
1344	oylo	考える	(i)p	otur	3	la
1345	oylo	考える	(i)p	tur	1	la
1346	oylon	考える	(i)p	jat	4	lan
1347	oylon	考える	(i)p	jür	1	lan
1348	oylon	考える	(i)p	otur	12	lan
1349	oylon	考える	(i)p	tur	11	lan
1350	oylon	考える	a/y	tur	1	lan
1351	oylon	考える	NEG	tur	2	lan

	A	B	C	D	E	F
1352	oylondur	考えさせる	a/y	tur	1	dir
1353	oyno	(演技を)する	(i)p	jat	1	a,e
1354	oyno	(曲を)引く	(i)p	jat	1	a,e
1355	oyno	遊ぶ	(i)p	jat	5	a,e
1356	oyno	遊ぶ	(i)p	jür	25	a,e
1357	oyno	遊ぶ	(i)p	otur	4	a,e
1358	oyno	遊ぶ	(i)p	tur	4	a,e
1359	oyno	遊ぶ	a/y	tur	1	a,e
1360	oynoš	遊ぶ	a/y	tur	1	iš,iš
1361	öyü	(心が)痛む	(i)p	jat	1	a,e
1362	oyun sal	遊びをする	(i)p	jat	1	複合動詞
1363	özdöstür	こなす	(i)p	jat	2	dir
1364	özdöstür	こなす	(i)p	tur	1	dir
1365	özdöstür	こなす	a/y	tur	1	dir
1366	özgör	変わる	(i)p	otur	2	kar,kir
1367	özgör	変わる	(i)p	tur	5	kar,kir
1368	özgört	変える	(i)p	otur	1	t
1369	özgörül	変わる	(i)p	tur	3	il
1370	paydalan	利用する	(i)p	jür	1	lan
1371	paydalan	利用する	a/y	tur	1	lan
1372	paydası tiy	役に立つ	a/y	tur	1	複合動詞
1373	plandaştırıl	計画される	(i)p	jat	2	il
1374	saa	もたらず	(i)p	tur	1	語幹
1375	saba	たたく	(i)p	jat	1	a,e
1376	saba	たたく	a/y	tur	1	a,e
1377	sabak ber	授業をする	(i)p	jür	1	複合動詞
1378	sabıl	強く疲れる	(i)p	otur	1	il
1379	sabir kil	落ち着く	a/y	tur	1	複合動詞
1380	sagin	なつかしむ	(i)p	jür	2	in,in
1381	sagin	なつかしむ	(i)p	tur	3	in,in
1382	saginiš	慕う	(i)p	tur	1	iš,iš
1383	sakta	守る	(i)p	jür	6	da,de
1384	sakta	守る	(i)p	otur	3	da,de
1385	sakta	守る	(i)p	tur	2	da,de
1386	saktal	保存される	(i)p	tur	2	da,de
1387	saktal	保存される	(i)p	tur	5	il
1388	saktaš	守る	a/y	tur	1	iš,iš
1389	sal	敷く	(i)p	jat	1	語幹
1390	sal	作る	(i)p	jat	2	語幹
1391	sal	入れる	(i)p	jat	6	語幹
1392	sal	入れる	(i)p	jür	3	語幹
1393	sal	入れる	(i)p	tur	3	語幹
1394	šalakta	楽しむ	(i)p	jür	1	da,de
1395	šalday	へとへとな様子だ	(i)p	otur	1	ay,ey
1396	salgilaš	戦いあう	(i)p	jür	1	iš,iš
1397	salimin koš	貢献する	(i)p	jat	1	複合動詞
1398	salištir	比べる	(i)p	otur	1	dir
1399	sana	数える	(i)p	jür	1	a,e
1400	sana	数える	a/y	tur	1	a,e
1401	sanaa tart	悩む	(i)p	jür	1	複合動詞
1402	sanaaga batir	考えさせる	(i)p	jat	1	複合動詞
1403	sanaarka	落ち込む	(i)p	jür	1	ka,ki

	A	B	C	D	E	F
1404	sanaarka	落ち込む	(i)p	tur	1	ka,kı
1405	sanal	数えられる	(i)p	tur	1	il
1406	sapir	困らせる	(i)p	jat	1	ar,er
1407	sapiril	(空が)荒れる	(i)p	jat	1	il
1408	řarakta	楽しむ	(i)p	otur	2	da,de
1409	sarisapta	面倒をみる	(i)p	otur	1	da,de
1410	řarpilda	(波が)上がる	(i)p	jat	1	da,de
1411	řař	急ぐ	(i)p	jat	3	語幹
1412	řař	急ぐ	(i)p	jür	4	語幹
1413	řařtısin ketir	急がせてしまう	(i)p	jat	1	複合動詞
1414	sat	売る	(i)p	jat	1	語幹
1415	sat	売る	(i)p	jür	3	語幹
1416	satıl	売る	(i)p	jat	1	語幹
1417	satıl	売る	(i)p	jat	1	il
1418	say	刺す	(i)p	tur	1	語幹
1419	saygıla	刺す	(i)p	jat	1	la
1420	sayra	鳴く	(i)p	jat	1	ra
1421	sayra	しゃべる	(i)p	tur	1	ra
1422	sayra	鳴く	(i)p	jür	1	ra
1423	sayranda	楽しむ	(i)p	jür	1	da,de
1424	řetkala	(歯を)磨く	(i)p	jat	1	la
1425	sekir	ジャンプする	(i)p	jat	1	ar,er
1426	seksey	バサバサする様子だ	(i)p	tur	1	ay,ey
1427	řekři	推測する	(i)p	tur	2	řa,ři
1428	řekten	怖がる	(i)p	tur	1	lan
1429	seldey	ショックを受ける様子だ	(i)p	tur	3	ay,ey
1430	seley	驚く様子だ	(i)p	tur	1	ay,ey
1431	semir	太る	(i)p	jür	1	ar,er
1432	řep	撒く	(i)p	jür	1	語幹
1433	sesten	怖がる、用心深くする	(i)p	otur	1	lan
1434	seyilde	散歩する	(i)p	jür	3	da,de
1435	seyrektele	減る	(i)p	otur	1	il
1436	sez	感じる	(i)p	jat	3	語幹
1437	sez	感じる	(i)p	jür	2	語幹
1438	sez	感じる	(i)p	tur	7	語幹
1439	sez	感じる	NEG	jür	1	語幹
1440	sezil	感じられる	(i)p	jat	1	il
1441	sezil	伝わる	(i)p	tur	1	語幹
1442	sezil	感じられる	(i)p	tur	5	il
1443	řibira	ささやく	(i)p	jat	1	ra
1444	řikaala	こっそり見る	(i)p	tur	1	la
1445	řıla	なでる	(i)p	jat	2	a,e
1446	řıla	なでる	(i)p	tur	2	a,e
1447	řıldığda	からかう	(i)p	otur	1	da,de
1448	řile	積む	(i)p	jat	1	a,e
1449	silk	拭く	(i)p	jat	2	ik,ik
1450	řilkiy	しょんぼりする様子だ	(i)p	otur	2	ay,ey
1451	řilta	任せる	(i)p	otur	1	da,de
1452	řimři	探す	(i)p	jür	1	řa,ři
1453	řıggir	鳴る	(i)p	tur	1	kar,kir
1454	řipir	(ほうきで)片づける	(i)p	jür	1	ar,er
1455	řipka	飲み干す	(i)p	jat	1	ka,kı

	A	B	C	D	E	F
1456	sırdaş	打ち明けて話しあう	(i)p	otur	1	iş,iş
1457	şişimik tart	むくむ	(i)p	tur	1	複合動詞
1458	siy körsöt	敬意を表する、尊敬する	(i)p	otur	1	söt
1459	siyın	祈る	a/y	tur	1	in,in
1460	sıyła	尊敬する	(i)p	jür	2	la
1461	sıyła	尊敬する	(i)p	tur	2	la
1462	sıymıktan	誇りに思う	(i)p	jür	2	lan
1463	sıymıktan	誇りに思う	a/y	tur	1	lan
1464	sıypala	探す	(i)p	otur	1	la
1465	sızda	悲しむ	(i)p	otur	1	da,de
1466	sızda	悲しむ	(i)p	tur	4	da,de
1467	sızdat	痛ませる	(i)p	jat	1	t
1468	sızdat	痛ませる	(i)p	tur	1	t
1469	sızgır	炒める	(i)p	jat	1	ar,er
1470	sızgır	炒める	(i)p	otur	1	ar,er
1471	sögün	暴言をはく	(i)p	tur	1	in,in
1472	sögünüpsagın	暴言をはく	(i)p	tur	1	in,in
1473	soguş	戦う	(i)p	jür	1	iş,iş
1474	sögüş	口喧嘩する	(i)p	jat	1	iş,iş
1475	sögüş	口喧嘩する	(i)p	jür	1	iş,iş
1476	sok	打つ、叩く	(i)p	tur	3	語幹
1477	sök	暴言をはく	a/y	jür	1	語幹
1478	soldoy	あきれられる様子だ	(i)p	otur	1	ay,ey
1479	solkulda	震える	(i)p	jat	1	da,de
1480	soodasatik kil	商売をする	(i)p	jür	1	複合動詞
1481	soorot	慰める	(i)p	jür	1	t
1482	sor	吸う	(i)p	jat	2	語幹
1483	şorun katır	困らせる、苦勞させる	(i)p	tur	1	複合動詞
1484	soy	(動物を)殺す	(i)p	jat	1	語幹
1485	soylo	這う	(i)p	jür	3	la
1486	söz kil	話をする	(i)p	jat	1	複合動詞
1487	söz kil	話をする	(i)p	jür	1	複合動詞
1488	söz kil	話をする	a/y	tur	1	複合動詞
1489	sozul	伸びる	(i)p	jat	14	il
1490	sozul	伸びる	(i)p	otur	1	il
1491	sugar	水をやる	(i)p	jat	1	ar,er
1492	suktan	感心する	(i)p	tur	1	lan
1493	sun	差し出す	(i)p	tur	1	語幹
1494	sür	出す	(i)p	jat	1	語幹
1495	sür	なる	(i)p	jat	1	語幹
1496	sura	尋ねる	(i)p	jat	2	ra
1497	sura	尋ねる	(i)p	jür	4	ra
1498	sura	尋ねる	(i)p	otur	2	ra
1499	sura	尋ねる	a/y	tur	2	ra
1500	sura	尋ねる	NEG	jür	2	ra
1501	sura	尋ねる	NEG	tur	1	ra
1502	sural	聞かれる	(i)p	jat	1	il
1503	sürö	応援する	(i)p	jat	1	a,e
1504	suroo ber	質問をする	(i)p	jat	1	複合動詞
1505	süröön kil	騒ぎを起こす	(i)p	jat	1	複合動詞
1506	sürt	拭く	(i)p	jat	1	t
1507	sürt	拭く	(i)p	jür	1	t

	A	B	C	D	E	F
1508	suu jay	水をやる	(i)p	jür	1	複合動詞
1509	suuga tüš	水で泳ぐ	(i)p	jat	2	複合動詞
1510	suusa	のどが渴く	(i)p	tur	1	sa,se
1511	süy	愛する	(i)p	jür	2	語幹
1512	süy	愛する	a/y	tur	3	語幹
1513	süylö	話す	(i)p	jat	12	la
1514	süylö	話す	(i)p	jür	1	la
1515	süylö	話す	(i)p	otur	5	la
1516	süylö	話す	(i)p	tur	2	la
1517	süylö	話す	NEG	jür	1	la
1518	süylöš	話しあう	(i)p	jat	5	iš,iš
1519	süylöš	付きあう	(i)p	jür	6	iš,iš
1520	süylöš	話しあう	(i)p	otur	10	iš,iš
1521	süylöš	話しあう	(i)p	tur	6	iš,iš
1522	süylöš	話しあう	a/y	tur	1	iš,iš
1523	süyrö	引きずる	a/y	tur	1	ra
1524	süyünt	喜ばせる	(i)p	otur	1	t
1525	süyüpküy	愛する	(i)p	jür	1	語幹
1526	süz	泳ぐ	(i)p	jür	3	語幹
1527	suz tar	悲しむ	(i)p	tur	1	複合動詞
1528	taanī	分かる、知る	(i)p	jat	4	a,e
1529	taanī	分かる、知る	(i)p	jür	1	a,e
1530	taanī	分かる、知る	NEG	tur	1	a,e
1531	taanīt	見せる	(i)p	jür	1	t
1532	taarin	(自然が)ふてくされる	(i)p	jat	1	in,in
1533	taasir ber	影響を与える	(i)p	tur	1	複合動詞
1534	taasir ët	影響をする	(i)p	jat	1	複合動詞
1535	taasir tiygiz	影響を与える	(i)p	jat	3	複合動詞
1536	taasir tiygiz	影響を与える	(i)p	tur	1	複合動詞
1537	taasir tiygiz	影響を与える	a/y	tur	1	複合動詞
1538	taasirlen	影響する	(i)p	otur	1	lan
1539	tabala	攻める	(i)p	otur	1	la
1540	tabil	見つかる	(i)p	tur	1	il
1541	tagin	つける	(i)p	jür	2	in,in
1542	tagin	つける	(i)p	tur	1	in,in
1543	tak	つける	(i)p	jat	1	語幹
1544	tak ët	する	(i)p	jat	1	複合動詞
1545	takta	確認する	(i)p	otur	1	da,de
1546	talabın koy	要求を求める	(i)p	jat	1	複合動詞
1547	talap kil	要求する	(i)p	jat	1	複合動詞
1548	talap kil	要求する	(i)p	otur	1	複合動詞
1549	talap kil	要求する	(i)p	tur	2	複合動詞
1550	talaš	取合う、競う	(i)p	jat	1	iš,iš
1551	talaš	取合う、競う	(i)p	jür	2	iš,iš
1552	talda	議論する	a/y	tur	1	da,de
1553	talpın	前に進む、頑張る	(i)p	jat	1	in,in
1554	talpın	前に進む、頑張る	(i)p	jür	1	in,in
1555	tamaša kil	冗談を言う	(i)p	jat	3	複合動詞
1556	tamašalaš	冗談を言いあう	(i)p	otur	1	iš,iš
1557	tamčila	滴が落ちる	(i)p	tur	1	la
1558	tameki tart	タバコを吸う	(i)p	otur	1	複合動詞
1559	tamtağda	無駄に喋る	(i)p	jat	1	da,de

	A	B	C	D	E	F
1560	tanda	選ぶ	(i)p	jat	2	da,de
1561	tanda	選ぶ	(i)p	jür	1	da,de
1562	tanda	選ぶ	(i)p	otur	3	da,de
1563	tanda	選ぶ	(i)p	tur	1	da,de
1564	tantıra	無駄に喋る	(i)p	otur	1	ra
1565	tağ kal	驚く	(i)p	jat	2	複合動詞
1566	tağ kal	驚く	(i)p	tur	1	複合動詞
1567	tağdandır	驚かす	a/y	tur	1	dir
1568	tağuula	任せる	(i)p	otur	1	la
1569	tap	見つける	(i)p	jat	1	語幹
1570	tap	見つける	(i)p	jür	2	語幹
1571	tap	見つける	(i)p	tur	1	語幹
1572	tap	見つける	a/y	tur	2	語幹
1573	tap	見つける	NEG	jür	5	語幹
1574	tap ber	脅かす	(i)p	jat	1	複合動詞
1575	taptır	見つかる	NEG	jür	1	dir
1576	tara	消える、なくなる	(i)p	tur	1	a,e
1577	tara	広がる	a/y	tur	1	a,e
1578	tarazala	図る	(i)p	otur	1	la
1579	tarbiya ber	教育を与える	(i)p	tur	1	複合動詞
1580	tarbiyala	教育する	(i)p	jat	1	la
1581	tarbiyala	教育する	(i)p	jür	2	la
1582	tarī	嫉妬する	(i)p	jat	1	a,e
1583	tarkat	開放する	(i)p	jür	1	t
1584	tarsturs ət	する	(i)p	jür	1	複合動詞
1585	tart	(絵を)描く	(i)p	jat	1	語幹
1586	tart	引く	(i)p	jat	1	語幹
1587	tart	(曲を)引く	(i)p	jat	1	語幹
1588	tart	戻る	(i)p	jür	1	語幹
1589	tart	(罪を)償う	(i)p	jür	1	語幹
1590	tart	引く	(i)p	jür	1	語幹
1591	tart	(絵を)描く	(i)p	otur	1	語幹
1592	tart	ADJ+tart	(i)p	otur	1	語幹
1593	tart	引く	(i)p	tur	1	語幹
1594	tart	ADJ+tart	(i)p	tur	2	語幹
1595	tart	引く	a/y	tur	1	語幹
1596	tart	御馳走する	a/y	tur	1	語幹
1597	tart	(罪を)償う	a/y	tur	1	語幹
1598	tart	作る	(i)p	jat	1	語幹
1599	tartil	(アニメが)撮影される	(i)p	jat	1	il
1600	tartil	見える	(i)p	jat	1	il
1601	tartil	引かれる	NEG	jat	1	il
1602	tartiliš	引かれる	(i)p	tur	1	il
1603	tarün	遠慮する	(i)p	jür	1	in,in
1604	tarün	付ける	(i)p	jür	1	in,in
1605	tartkila	引く	(i)p	otur	1	la
1606	taši	あふれる	(i)p	jat	1	ša,ši
1607	taši	運ぶ	(i)p	jat	2	ša,ši
1608	taši	運ぶ	(i)p	tur	1	ša,ši
1609	taši	あふれる	(i)p	tur	2	ša,ši
1610	tastikta	証明する	(i)p	tur	2	da,de
1611	tat	味わう	(i)p	jat	1	語幹

	A	B	C	D	E	F
1612	tat	味わう	(i)p	otur	1	語幹
1613	taya	腰に手を置く	(i)p	otur	1	a,e
1614	tayakta	たたく	(i)p	jat	1	da,de
1615	tayan	頼る	(i)p	jür	1	in,in
1616	tayan	腰に手を置く	(i)p	tur	1	in,in
1617	tayan	腰に手を置く	(i)p	tur	1	in,in
1618	taylaš	競争する	a/y	tur	1	iş,iş
1619	tazala	きれいにする、片づける	(i)p	jat	1	la
1620	tazala	きれいにする、片づける	(i)p	jür	1	la
1621	tazala	きれいにする、片づける	(i)p	tur	4	la
1622	tazala	きれいにする、片づける	a/y	tur	1	la
1623	tazart	片づけさせる	(i)p	tur	1	t
1624	tebele	踏む	(i)p	jat	1	la
1625	tegerekte	囲む	(i)p	otur	1	da,de
1626	tegeren	飛び回る	(i)p	jür	1	in,in
1627	tekebersi	えらそうにする	(i)p	tur	1	sī, si
1628	tekşer	調べる	(i)p	jür	2	ar,er
1629	telmir	驚く様子だ	(i)p	otur	1	ar,er
1630	temteğde	過ごす	(i)p	jür	1	da,de
1631	tenti	うろうろする	(i)p	jür	2	dī,tī
1632	těp	蹴る	(i)p	jür	1	語幹
1633	těp	運転する	(i)p	jür	1	語幹
1634	těp	蹴る	(i)p	tur	1	語幹
1635	těp	蹴る	NEG	jür	1	語幹
1636	tepe	踏む	(i)p	jat	1	sa,se
1637	tepe	踏む	(i)p	otur	1	sa,se
1638	tepele	踏む	(i)p	jat	1	la
1639	ter	集める	(i)p	jür	4	語幹
1640	terde	汗をかく	(i)p	jür	1	da,de
1641	terde	汗をかく	(i)p	tur	1	da,de
1642	terin agiz	汗をかく、一生懸命する	(i)p	jür	1	iz,iz
1643	teriştir	調査する	(i)p	jat	1	dir
1644	teriştir	調査する	(i)p	otur	1	dir
1645	termele	集める	(i)p	jür	1	la
1646	teske	教育する	(i)p	tur	2	ka,kī
1647	teyle	管理する	(i)p	jür	1	la
1648	tezde	早まる、早める	(i)p	otur	1	da,de
1649	tībira	震える	(i)p	jat	1	ra
1650	tībīrčīla	震える	(i)p	jat	1	la
1651	tībīrčīla	震える	(i)p	tur	1	la
1652	tigil	作られる	(i)p	tur	3	il
1653	tikte	見つめる	(i)p	jür	1	da,de
1654	tikte	見つめる	(i)p	otur	4	da,de
1655	tikte	見つめる	(i)p	tur	12	da,de
1656	tikteş	見つめあう	(i)p	otur	1	iş,iş
1657	tikteş	見つめあう	(i)p	tur	1	iş,iş
1658	tīl	切る	(i)p	jür	2	語幹
1659	tilde	叱る	(i)p	jat	1	da,de
1660	tilden kal	話せなくなる	(i)p	jat	1	複合動詞
1661	tilden kal	話せなくなる	(i)p	tur	1	複合動詞
1662	tile	祈る	(i)p	jür	1	a,e
1663	tile	祈る	NEG	jür	1	a,e

	A	B	C	D	E	F
1664	tün	休む	a/y	tur	1	語幹
1665	tün	休む	NEG	jat	1	語幹
1666	tün	休む	NEG	jür	1	語幹
1667	tünči	落ち着く	NEG	tur	1	ča,či
1668	tünčsizdan	心配する	(i)p	jür	1	lan
1669	tünčsizdan	心配する	(i)p	tur	1	lan
1670	tünčsizdandır	心配させる	(i)p	jat	1	dir
1671	tüjša	立ち聞きする	(i)p	jat	1	ša,ši
1672	tüjša	立ち聞きする	(i)p	otur	1	ša,ši
1673	tüjša	立ち聞きする	(i)p	tur	6	ša,ši
1674	türmala	掻く	(i)p	jat	4	la
1675	türmala	掻く	(i)p	otur	1	la
1676	türmalayda	なんとか生活をする	(i)p	jür	1	da,de
1677	türmiş	頑張る	(i)p	jat	1	iş,iş
1678	türmiş	頑張る	(i)p	jür	1	iş,iş
1679	türmiş	頑張る	(i)p	otur	1	iş,iş
1680	tişte	歯を食いしばる	(i)p	jür	1	da,de
1681	tişte	噛む	(i)p	tur	1	da,de
1682	tišten	歯を食いしばる	(i)p	otur	1	lan
1683	tüt	つむぐ	(i)p	otur	1	語幹
1684	titire	震える	(i)p	otur	1	ra
1685	titire	震える	(i)p	tur	7	ra
1686	tiy	関わる	(i)p	tur	1	語幹
1687	tiy	晴れる	(i)p	tur	3	語幹
1688	tiy	とる	a/y	tur	1	語幹
1689	tüy	口に気をつける	(i)p	jür	1	語幹
1690	tizele	膝で座る	(i)p	otur	2	la
1691	tizele	膝で座る	(i)p	tur	1	la
1692	tögül	あふれ出す	(i)p	tur	2	il
1693	tök	捨てる	(i)p	jat	1	語幹
1694	tök	頑張る	(i)p	jür	1	語幹
1695	tök	号泣する	(i)p	otur	1	語幹
1696	tök	(雨が激しく)降る	(i)p	tur	1	語幹
1697	tök	(気持ちを)そそぐ	(i)p	tur	1	語幹
1698	tök	号泣する	(i)p	tur	1	語幹
1699	tokto	止まる	(i)p	jat	2	da,de
1700	tokto	止まる	(i)p	tur	3	da,de
1701	tokto	止まる	a/y	tur	5	da,de
1702	tokto	止まる	NEG	jat	1	da,de
1703	tokto	止まる	NEG	jür	3	da,de
1704	tokton	止まる	(i)p	tur	1	lan
1705	toktot	止める	(i)p	jat	2	t
1706	toktot	止める	a/y	tur	2	t
1707	toku	編む	(i)p	jür	1	a,e
1708	tol	あふれる	(i)p	jat	3	語幹
1709	tol	あふれる	(i)p	tur	5	語幹
1710	tol	あふれる	NEG	jat	1	語幹
1711	töldö	産む	(i)p	jat	3	da,de
1712	tölgö tart	占う	(i)p	jat	1	複合動詞
1713	tolku	(波が)押し寄せる	(i)p	jat	1	ka,ki
1714	tolku	わくわくする	(i)p	tur	1	ka,ki
1715	tolkundandır	感動する	(i)p	jat	1	lan

	A	B	C	D	E	F
1716	tölö	払う	(i)p	jat	1	a,e
1717	tölö	払う	(i)p	tur	1	a,e
1718	tölön	支払われる	a/y	tur	1	in,in
1719	toltur	記入する	(i)p	jat	1	dir
1720	tolukta	数える、確かめる	(i)p	tur	1	da,de
1721	tomolon	転がる	(i)p	jat	1	lan
1722	tomsor	驚く様子だ	(i)p	otur	3	ar,er
1723	tomsor	驚く様子だ	(i)p	tur	1	ar,er
1724	tono	盗む	(i)p	tur	1	a,e
1725	toḡ	凍る	(i)p	tur	2	語幹
1726	toopto	気にしない様子だ	NEG	tur	1	da,de
1727	töp kel	びったりになる	(i)p	tur	1	複合動詞
1728	toptol	集まる	(i)p	otur	1	il
1729	toptol	集まる	(i)p	tur	1	il
1730	toptoš	集まる	(i)p	tur	5	iš,iš
1731	tos	迎える	(i)p	jat	1	語幹
1732	tos	邪魔する	(i)p	jür	1	語幹
1733	tos	迎える	(i)p	jür	1	語幹
1734	tos	迎える	(i)p	otur	1	語幹
1735	tos	迎える	(i)p	tur	8	語幹
1736	töšö	傾ける	(i)p	otur	1	a,e
1737	töšök tart	病気になる、倒れる	(i)p	jat	1	複合動詞
1738	töšöl	敷かれる	(i)p	jat	1	il
1739	toy	満足する	NEG	jür	1	語幹
1740	toy tüšür	幸せをもたらす	(i)p	tur	1	複合動詞
1741	toyguz	満腹させる	(i)p	tur	1	kaz,kiz
1742	toylo	楽しむ	(i)p	jür	1	la
1743	toyun	お腹いっぱいになる	(i)p	jat	1	in,in
1744	tügöt	終わらせる、使い切る	(i)p	tur	1	t
1745	tükür	唾を吐く	(i)p	jat	1	ar,er
1746	tun	沈む	(i)p	tur	1	語幹
1747	tunjura	悲しむ	(i)p	otur	1	ra
1748	tünö	泊まる	(i)p	jür	3	a,e
1749	tünör	暗くなる	(i)p	jat	1	ar,er
1750	tüpül	あきらめる	(i)p	jat	1	il
1751	tur	起きる	(i)p	jat	2	語幹
1752	tur	起きる	(i)p	jür	1	語幹
1753	tur	立つ	(i)p	tur	4	語幹
1754	tur	立つ	a/y	tur	4	語幹
1755	turuksuzduk kil	不安定にする	(i)p	jür	1	複合動詞
1756	tüš	謝る	(i)p	jat	1	語幹
1757	tüš	ADJ+tüš	(i)p	jat	3	語幹
1758	tüš	下りる	(i)p	jat	3	語幹
1759	tüš	落ちる	(i)p	jat	4	語幹
1760	tüš	ADJ+tüš	(i)p	jür	1	語幹
1761	tüš	追いかける	(i)p	jür	1	語幹
1762	tüš	賭けにでる	(i)p	jür	1	語幹
1763	tüš	落ちる	(i)p	otur	1	語幹
1764	tüš	落ちる	(i)p	tur	6	語幹
1765	tüš	下りる	NEG	jür	1	語幹
1766	tüš	落ちる	NEG	tur	1	語幹
1767	tüstön	見える	(i)p	tur	1	in,in

	A	B	C	D	E	F
1768	tüşün	分かる	(i)p	jat	4	in,in
1769	tüşün	分かる	(i)p	tur	8	in,in
1770	tüşün	分かる	a/y	tur	3	in,in
1771	tüşün	分かる	NEG	otur	1	in,in
1772	tüşün	分かる	NEG	tur	1	in,in
1773	tüşündür	説明する	(i)p	jat	2	dir
1774	tüşündür	説明する	(i)p	otur	1	dir
1775	tüşündürül	説明される	(i)p	otur	1	il
1776	tüşüngönsü	分かる	(i)p	tur	1	si, si
1777	tüşür	落とす	(i)p	jat	1	ar,er
1778	tüşür	騒ぐ	(i)p	jat	1	ar,er
1779	tüşür	落とす	(i)p	tur	1	ar,er
1780	tüşür	書き写す	(i)p	tur	2	ar,er
1781	tutkaktaş	戦いあう	(i)p	jat	1	iş,iş
1782	tütö	煙る	(i)p	jat	1	a,e
1783	tuu	生む	(i)p	jat	1	語幹
1784	tuudur	生ませる	(i)p	jat	1	dir
1785	tuul	生まれる	(i)p	otur	1	il
1786	tuura	みじん切りにする	(i)p	jat	1	ra
1787	tuurul	乾く	(i)p	jür	1	il
1788	tuurul	乾く	(i)p	tur	1	il
1789	tuy	覚える	(i)p	jür	1	語幹
1790	tuy	分かる	(i)p	tur	2	語幹
1791	tüy	結ぶ	(i)p	jat	1	語幹
1792	tüy	心に刻む	a/y	tur	1	語幹
1793	tuyguz	理解する	(i)p	tur	1	kaz,kiz
1794	tuyla	震える	(i)p	jat	1	la
1795	tuyla	震える	(i)p	tur	2	la
1796	tüyül	手がする	(i)p	otur	1	il
1797	tuyundur	説明する	(i)p	otur	1	dir
1798	tüz	成立する	(i)p	jür	1	語幹
1799	tüz	成立する	(i)p	otur	1	語幹
1800	tüz	成立する	(i)p	tur	2	語幹
1801	tüz	成立する	a/y	tur	2	語幹
1802	ubaralan	困る	(i)p	jat	3	lan
1803	ubayımga bat	なる	(i)p	jat	1	複合動詞
1804	uç	飛ぶ	(i)p	jat	1	語幹
1805	uç	飛ぶ	(i)p	jür	15	語幹
1806	uç	飛ぶ	(i)p	otur	1	語幹
1807	uçupküy	心配する	(i)p	jür	2	語幹
1808	uçura	壊れる	(i)p	jat	1	ra
1809	uçurat	遭遇する	a/y	tur	1	t
1810	ugul	聞こえる	(i)p	jat	4	il
1811	ugul	聞こえる	(i)p	tur	4	il
1812	ügüttö	宣伝する	(i)p	jat	1	da,de
1813	uguz	聞かせる	a/y	jür	1	iz,iz
1814	uk	聞く	(i)p	jat	11	語幹
1815	uk	聞く	(i)p	jür	4	語幹
1816	uk	聞く	(i)p	otur	7	語幹
1817	uk	聞く	(i)p	tur	10	語幹
1818	uk	聞く	a/y	tur	2	語幹
1819	uk	聞く	NEG	tur	1	語幹

	A	B	C	D	E	F
1820	ukta	眠る	(i)p	jat	20	da,de
1821	ukta	眠る	(i)p	jür	2	da,de
1822	ukta	眠る	(i)p	otur	2	da,de
1823	ukta	眠る	(i)p	tur	1	da,de
1824	ukta	眠る	a/y	tur	2	da,de
1825	ukta	眠る	NEG	jat	1	da,de
1826	ula	続ける	(i)p	otur	1	a,e
1827	ula	続ける	(i)p	tur	1	a,e
1828	ulan	続く	(i)p	otur	1	in,in
1829	ulan	続く	(i)p	tur	1	in,in
1830	ulant	続ける	(i)p	jat	1	t
1831	ulantil	続く	(i)p	tur	1	t
1832	ulantil	続く	a/y	jür	1	il
1833	ulutun	ため息をはく	(i)p	otur	1	in,in
1834	umtul	目指す	(i)p	jat	1	il
1835	ün kat	音を立てる	NEG	jür	2	複合動詞
1836	unčuk	話し出す	NEG	jür	1	ik,ik
1837	unčuk	話し出す	NEG	otur	1	ik,ik
1838	unčuk	話し出す	NEG	tur	2	ik,ik
1839	ündöš	関係する	(i)p	tur	2	iš,iš
1840	unut	忘れる	NEG	jür	1	語幹
1841	ur	叩く、打つ	(i)p	jat	1	語幹
1842	ur	叩く、打つ	(i)p	jür	2	語幹
1843	ur	叩く、打つ	(i)p	otur	1	語幹
1844	ur	(歴史が)感じられる	(i)p	tur	1	語幹
1845	ur	(風が)吹きつける	(i)p	tur	1	語幹
1846	ur	叩く、打つ	(i)p	tur	1	語幹
1847	ura	倒れる	(i)p	jat	1	ra
1848	urat	倒す	(i)p	jat	1	t
1849	urgula	たたく	(i)p	tur	1	la
1850	ürkü	(馬が)びっくりする	(i)p	jat	1	a,e
1851	urmatta	尊敬する	(i)p	tur	1	da,de
1852	urmatta	尊敬する	a/y	tur	1	da,de
1853	ürö	(お金を沢山)稼ぐ	(i)p	jat	1	a,e
1854	uruš	喧嘩する	(i)p	jür	1	iš,iš
1855	uruštur	喧嘩させる	(i)p	jat	1	dir
1856	ušala	もむ	(i)p	otur	1	la
1857	ušint	こうする	(i)p	jat	1	t
1858	ušint	こうする	(i)p	jür	2	t
1859	ušint	こうする	(i)p	otur	4	t
1860	ušint	こうする	(i)p	tur	1	t
1861	üşkür	ため息をする	a/y	tur	1	kar,kir
1862	üstömdük kil	支配する	(i)p	tur	1	複合動詞
1863	uulan	中毒する	(i)p	jat	1	lan
1864	uulandir	中毒させる	(i)p	jat	1	dir
1865	uulandir	中毒させる	(i)p	jür	1	dir
1866	uurda	盗む	(i)p	jür	1	da,de
1867	üy	積む	(i)p	otur	1	語幹
1868	uyal	恥ずかしがる	(i)p	jat	1	il
1869	uyal	恥ずかしがる	a/y	tur	1	il
1870	uyaliŋkira	遠慮する	(i)p	tur	1	ra
1871	üyrön	勉強する	(i)p	jat	1	lan

	A	B	C	D	E	F
1872	üyrön	勉強する	(i)p	jür	2	lan
1873	üyrön	勉強する	a/y	tur	2	lan
1874	uyu	(不幸が)重なる	(i)p	jat	1	a,e
1875	uyu	(耳を)傾ける	(i)p	otur	1	a,e
1876	üyül	積る	(i)p	jat	2	il
1877	uyulgu	(煙が)上がる	(i)p	tur	1	ka,ki
1878	uyuštur	主催する	(i)p	jat	4	dir
1879	uyuštur	主催する	(i)p	jür	2	dir
1880	uyuštur	主催する	a/y	tur	1	dir
1881	üz	(連絡が)切れる	NEG	jür	1	語幹
1882	uzart	伸ばす	(i)p	otur	1	t
1883	uzart	伸ばす	(i)p	tur	1	t
1884	uzat	見送る	(i)p	jat	5	t
1885	uzat	見送る	(i)p	jür	1	t
1886	uzat	見送る	(i)p	tur	2	t
1887	zapki kör	苦勞する	(i)p	jür	1	複合動詞
1888	zarkan	嫌がる	(i)p	tur	1	lan
1889	zarla	懇願する、苦勞する	(i)p	jür	2	la
1890	zirkira	冷える	(i)p	jür	1	ra

キルギス語の〈持続〉を表わす補助動詞
—jat-、tur-、otur-、jür-を中心に—

2013年12月3日 東京外国語大学大学院 総合国際学研究科提出

東京外国語大学大学院 総合国際学研究科
博士後期課程 言語文化専攻

アクマタリエワ ジャクシルク
Akmatalieva Jakshylyk 著

jakshylyk@hotmail.com
